

**文化に関する県民アンケート調査
報告書**

令和4年8月

富山県

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査の結果	2
1. 回答者の属性	2
2. ウェルビーイングについて	4
3. 文化活動への評価・誇れる文化資源	13
4. 文化活動の状況	27
5. 文化ボランティア活動	112
6. 地域の民俗芸能・祭礼行事	118
7. 施策に対する要望	124
8. コロナ対策について	132
9. 文化観光について	133
10. 文化に関する交流人口について	135
11. 食文化について	137
III. 参考資料	139
1. 全国調査	139
2. 調査票	149

<この報告書の見方>

[文化の分野の大別]…本調査では、便宜的に以下の通り大別する。

(1)美術	絵画、デザイン、イラスト、版画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真、現代美術など
(2)音楽	クラシック音楽、ポピュラー音楽、歌謡曲、オペラ、童謡、楽器演奏、合唱、民族音楽、作詞、作曲など
(3)演劇・演芸	現代演劇、人形劇、ミュージカル、落語、浪曲、漫才、講談など
(4)舞踊	バレエ、モダンダンス、ストリートダンス、民族舞踊（フラダンスなど）など
(5)生活文化	生け花、茶道、ファッション、人形、料理、盆栽、園芸、囲碁、将棋など
(6)文芸	小説、児童文学、詩、短歌、俳句、評論、川柳、現代文学、古典文学、随筆など
(7)映画	映画、ビデオなど（アニメーション除く）
(8)メディア芸術	漫画、アニメーションなど
(9)伝統芸能	歌舞伎、文楽、能楽、日本舞踊、民俗舞踊、邦楽、民謡、神楽、祭礼行事など

- ・調査結果は百分率で表示している。百分率は小数点第二位を四捨五入し表示した。そのため合計値が合わない場合がある。
- ・一つの質問に対して、2つ以上の回答を求めているものは、百分率の母数を回答者数としている。
- ・図表中の「N」とは、分析する各属性の対象者数である。

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

「新世紀とやま文化振興計画」に係る、今後重点的に取り組むべき施策の策定にあたって、文化行政を取り巻く環境の変化に対応するとともに、県民ニーズ等を踏まえながら今後のさらなる展開の検討に資するため、県民の文化に関する意識や活動の状況、文化振興施策に対するニーズを調査するもの。

2. 調査項目

- (1) 文化活動の状況
- (2) ウェルビーイングについて
- (3) 文化活動への評価・誇れる文化資源
- (4) 文化ボランティア活動
- (5) 地域の民俗芸能・祭礼行事
- (6) 施策に対する要望
- (7) コロナ対策について
- (8) 文化観光について
- (9) 文化に関する交流人口について
- (10) 食文化について

3. 調査対象

富山県全域、満18歳以上の男女、1,200名を無作為抽出

4. 調査時期

令和4年6月～7月

5. 調査方法

郵送調査

6. 有効回答

467件(38.9%)

II. 調査の結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

	回答者 (人)	構成比 (%)
男 性	159	34.0
女 性	206	44.1
答えたくない	2	0.4
無回答	100	21.4
合計	467	100

(2) 年齢

	回答者 (人)	構成比 (%)		回答者 (人)	構成比 (%)
18～29歳	24	5.1	18、19歳	5	1.1
			20～24歳	7	1.5
			25～29歳	12	2.6
30～34歳	41	8.8	30～34歳	22	4.7
			35～39歳	19	4.1
40～44歳	68	14.6	40～44歳	31	6.6
			45～49歳	37	7.9
50～54歳	72	15.4	50～54歳	41	8.8
			55～59歳	31	6.6
60～64歳	87	18.6	60～64歳	46	9.9
			65～69歳	41	8.8
70～79歳	130	27.8	70～79歳	130	27.8
80歳以上	43	9.2	80歳以上	43	9.2
無回答	2	0.4	無回答	2	0.4
合計	467	100	合計	467	100

(3) 職業

	回答者 (人)	構成比 (%)		回答者 (人)	構成比 (%)
自営業 ・家族従事者	57	12.2	農林水産業	13	2.8
			商工・サービス ・自由業	44	9.4
会社員 、公務員等	235	50.3	管理職	26	5.6
			事務・技術・営業職など	90	19.3
			労務・技能職	51	10.9
			パートタイム、アルバイト 、派遣社員など	68	14.6
無職	159	34.0	家事専業(主夫・主婦)	109	23.3
			学生	9	1.9
			その他	41	8.8
無回答	16	3.4	無回答	16	3.4
合計	467	100	合計	467	100

(4) 居住地

	回答者 (人)	構成比 (%)		回答者 (人)	構成比 (%)
富山地域	156	33.4	富山市	156	33.4
高岡地域	136	29.1	高岡市	80	17.1
			氷見市	23	4.9
			射水市	33	7.1
新川地域	100	21.4	魚津市	20	4.3
			滑川市	21	4.5
			黒部市	19	4.1
			舟橋村	1	0.2
			上市町	9	1.9
			立山町	11	2.4
			入善町	12	2.6
			朝日町	7	1.5
砺波地域	71	15.2	砺波市	25	5.4
			小矢部市	22	4.7
			南砺市	24	5.1
無回答	4	0.9	無回答	4	0.9
合計	467	100	合計	467	100

2. ウェルビーイングについて

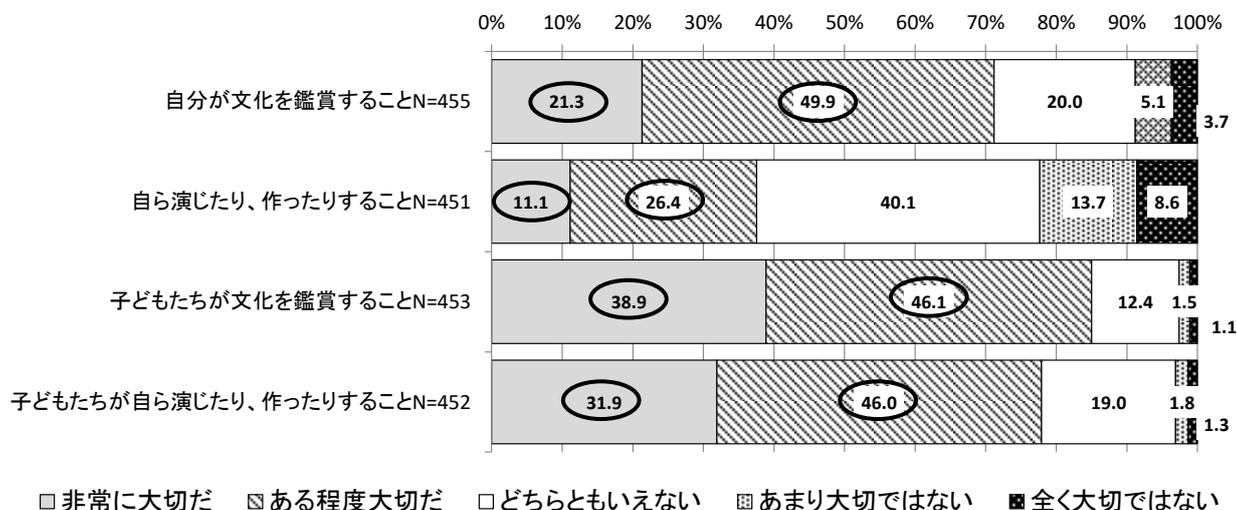
(1) 文化鑑賞・創作活動に関する意識

① 概要

問9 (1) 日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、自分の「真の幸せ」(ウェルビーイング)の向上にとって大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

問9 (2) 子どもたちにとって、文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

- ・日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞することが、自分の「真の幸せ」(ウェルビーイング)の向上にとって大切だと思うか尋ねたところ、『大切だ(「非常に大切だ」+「ある程度大切だ」)』と回答した割合は71.2%であった。また、自分が演じたり、作ったりすることが『大切だ』と回答した割合は37.5%であった。
- ・一方、子どもたちにとって文化を鑑賞することが『大切だ』との回答は85.0%、子どもたちが演じたり、作ったりすることが『大切だ』との回答は、77.9%であった。

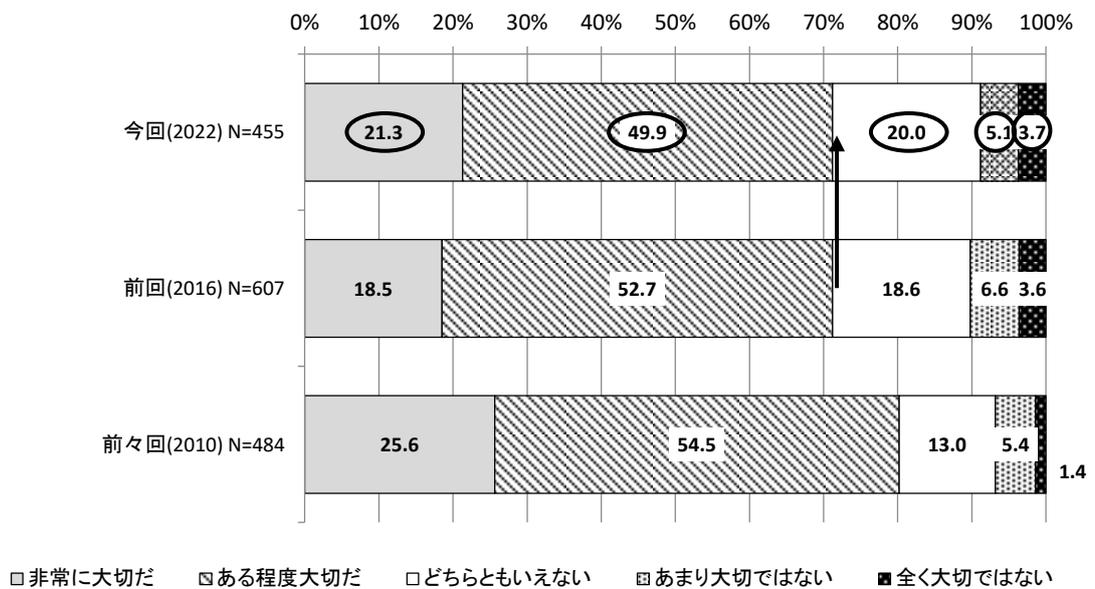


②日常生活の中で文化鑑賞や創作活動が大切だと思うか

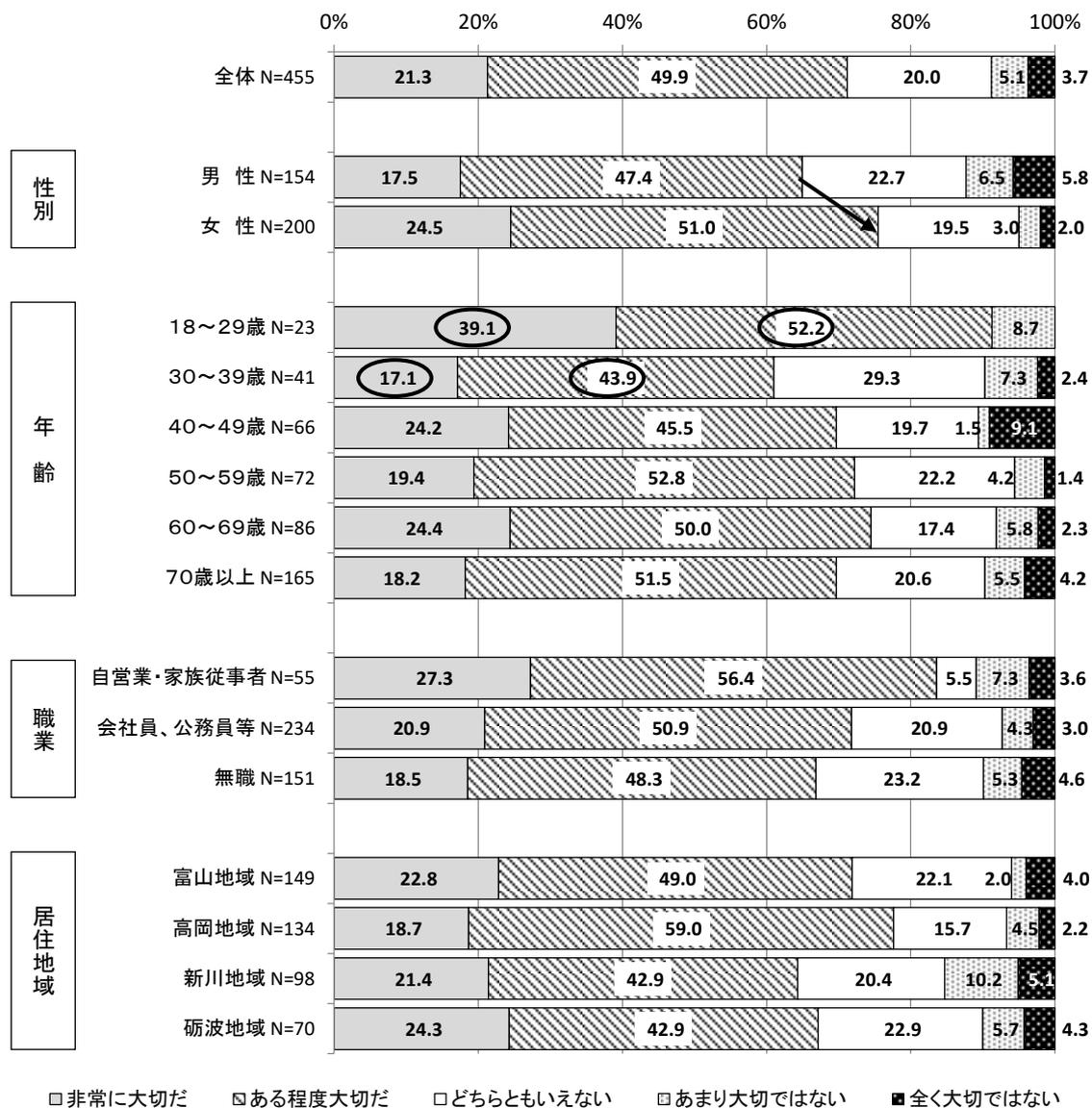
問9 (1) 日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、自分の「真の幸せ」(ウェルビーイング)の向上にとって大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

1) 文化を鑑賞することの大切さ

- ・「非常に大切だ」が 21.3%、「ある程度大切だ」が 49.9%であり、『大切だ(「非常に大切だ」+「ある程度大切だ」)』は 71.2%であった。
- ・一方、「どちらともいえない」は 20.0%、「あまり大切でない」が 5.1%、「まったく大切でない」が 3.7%であり、『大切ではない(「あまり大切ではない」+「まったく大切ではない」)』は 8.8%である。
- ・前回調査と設問がやや異なるが、『大切だ』との回答に前回との変化はない。

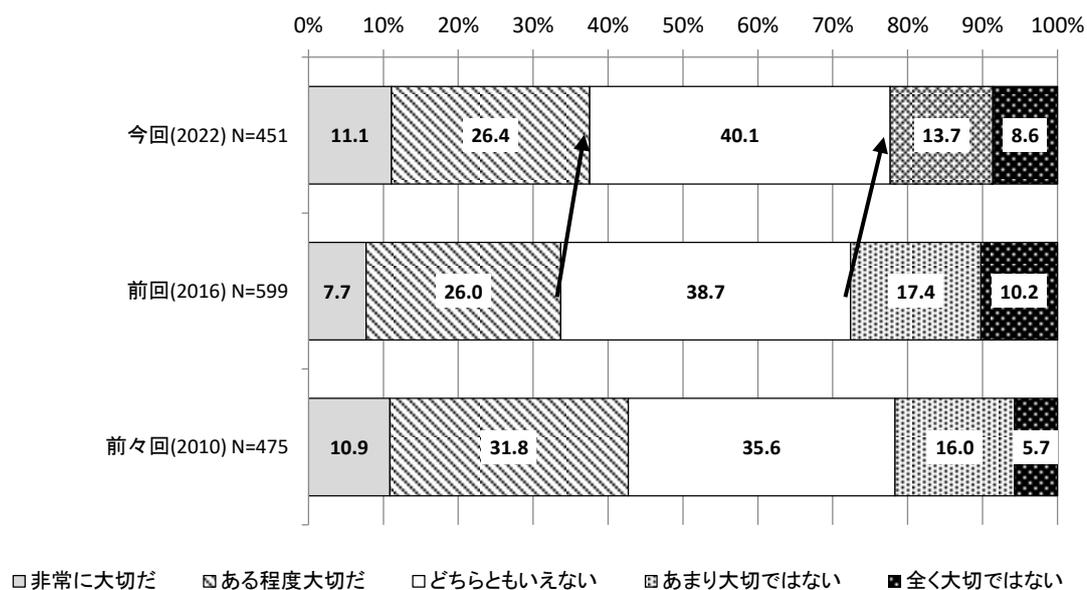


- ・男女別に見ると、『大切だ』との回答は「男性」が 64.9%、「女性」が 75.5%であり、「女性」が 10.6 ポイント高い。
- ・年齢別に見ていくと、『大切だ』との回答は、「18～29歳」で 91.3%と各年齢で最も高いが、「30～39歳」では 61.0%と各年齢で最も低くなっている。

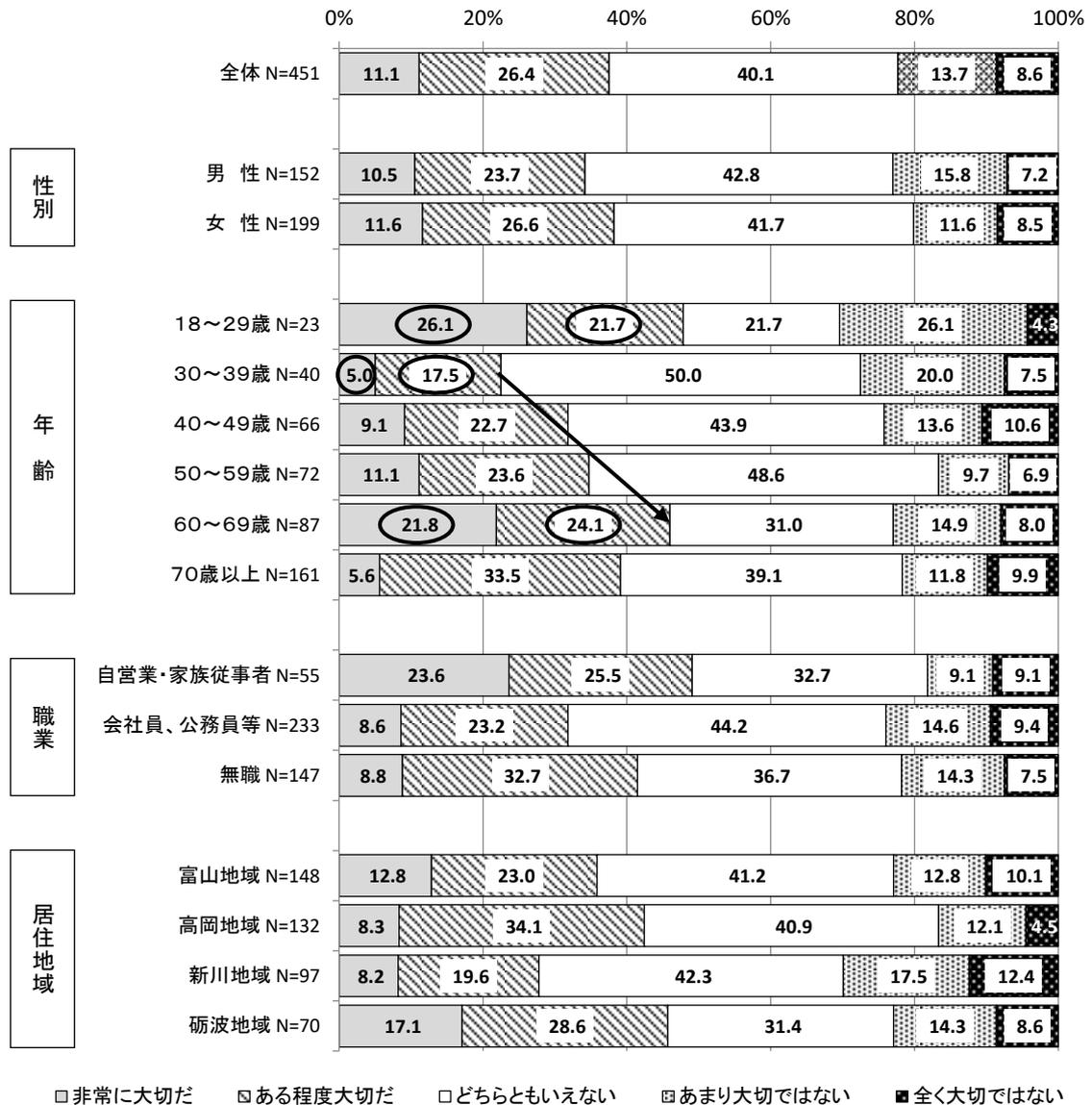


2) 自分が自ら演じたり、作ったりすることの大切さ

- ・「非常に大切だ」が 11.1%、「ある程度大切だ」が 26.4%であり、『大切だ』は 37.5%であった。
- ・一方、「どちらともいえない」は 40.1%、「あまり大切でない」が 13.7%、「まったく大切でない」が 8.6%であり、『大切ではない』は 22.3%である。
- ・前回調査と設問がやや異なるが、『大切だ』との回答は、前回調査に比べて 3.8 ポイント増加し、『大切ではない』との回答は 5.3 ポイント減少している。



・年齢別に見ると、「18～29歳」の『大切だ』との回答は47.8%と最も高い。『大切だ』との回答は「30～39歳」が22.5%で最も低く、「60～69歳」では46.0%と、年齢が高くなるにつれて高くなっている。

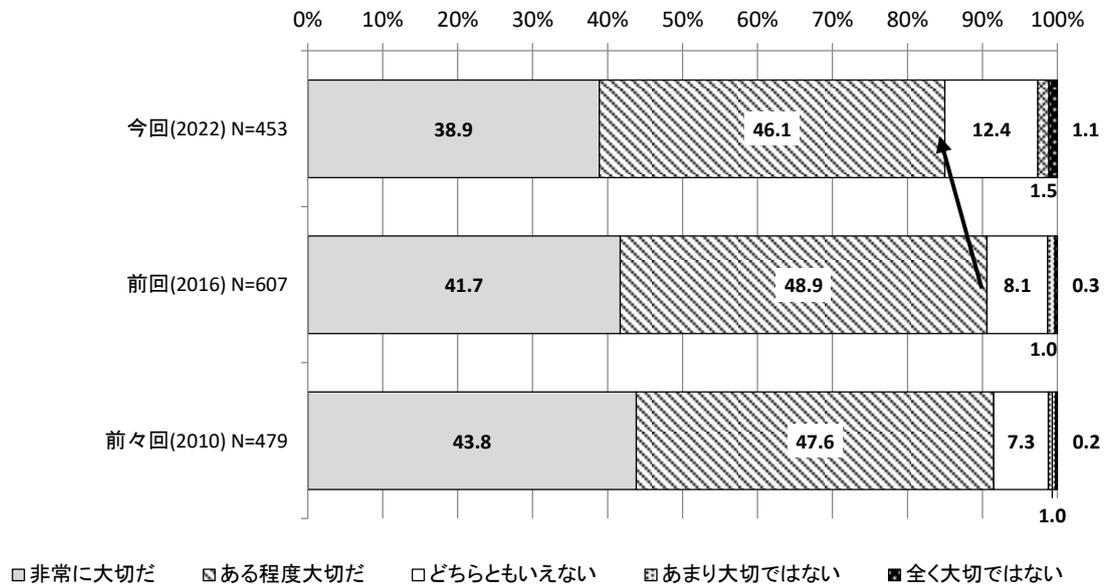


③子どもたちにとって文化鑑賞や創作活動は大切だと思うか

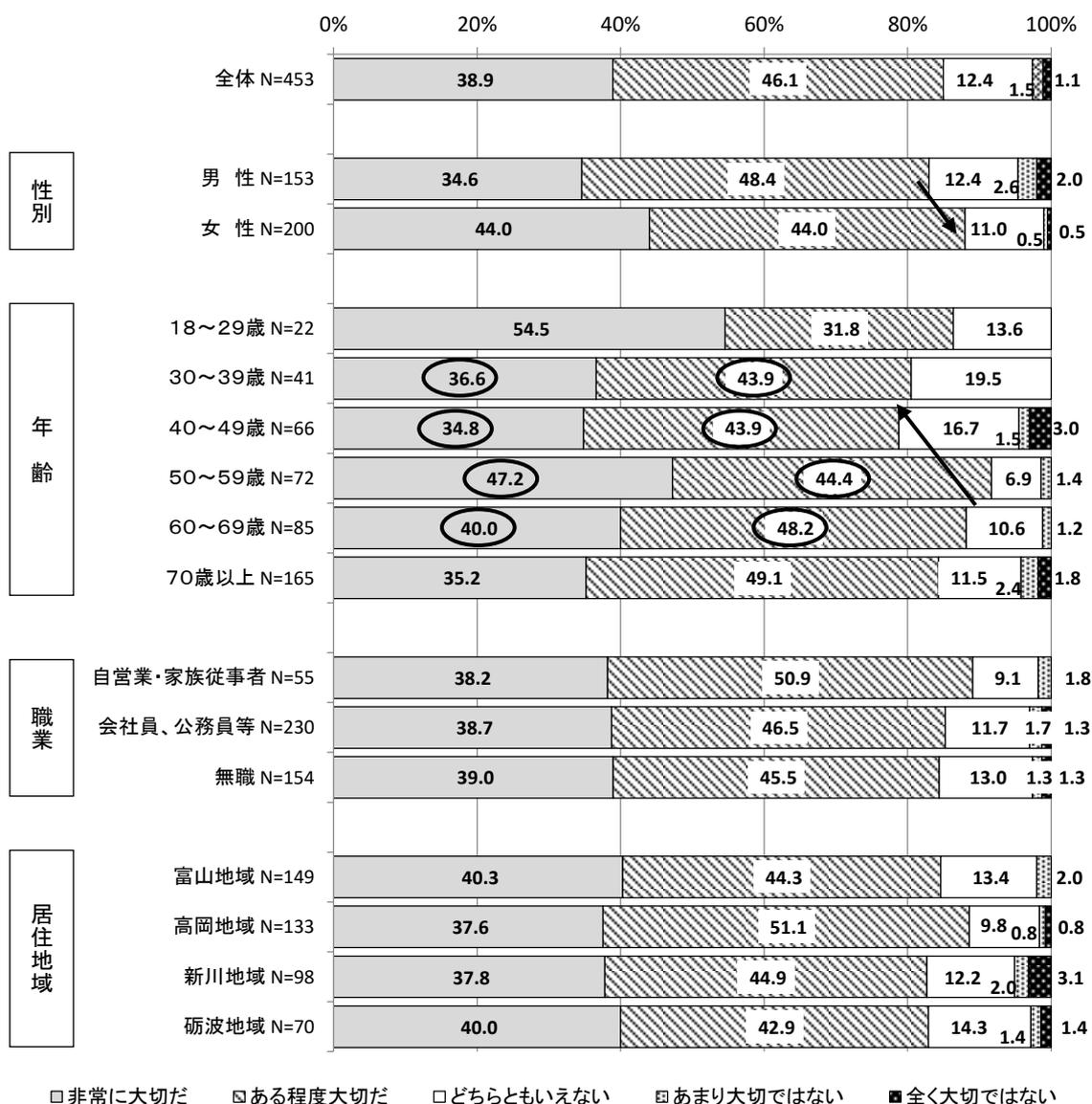
問9 (2) 子どもたちにとって、文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

1) 子どもたちにとって文化を鑑賞することの大切さ

- ・「非常に大切だ」が 38.9%、「ある程度大切だ」が 46.1%であり、『大切だ』は 85.0%であった。
- ・一方、「どちらともいえない」は 12.4%、「あまり大切でない」が 1.5%、「まったく大切でない」が 1.1%であり、『大切ではない』は 2.6%である。
- ・前回調査では『大切だ』との回答が 90.6%と 9割を超えていたが、今回調査では 5.6ポイント減少した。

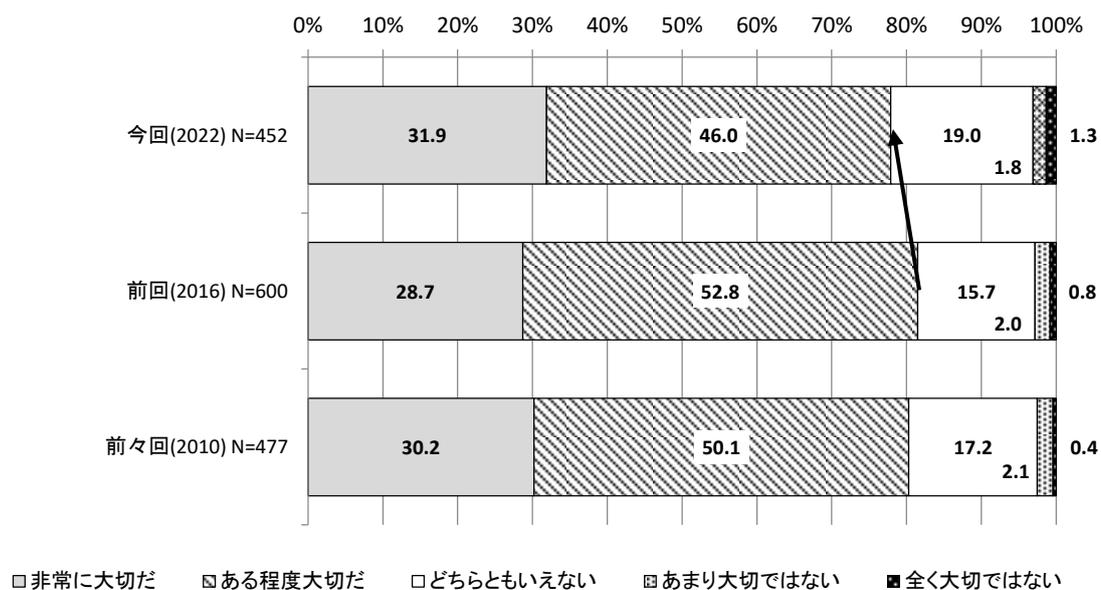


- ・男女別に見ると、『大切だ』との回答は「男性」が 83.0%、「女性」が 88.0%であり、「女性」が 5.0 ポイント高い。
- ・年齢別に見ていくと、『大切だ』との回答は、「50～59歳」で 91.6%と各年齢で最も高く、次いで「60～69歳」が 88.2%である。「30～39歳」は 80.5%、「40～49歳」は 78.8%と他の年代に比べて低くなっている。

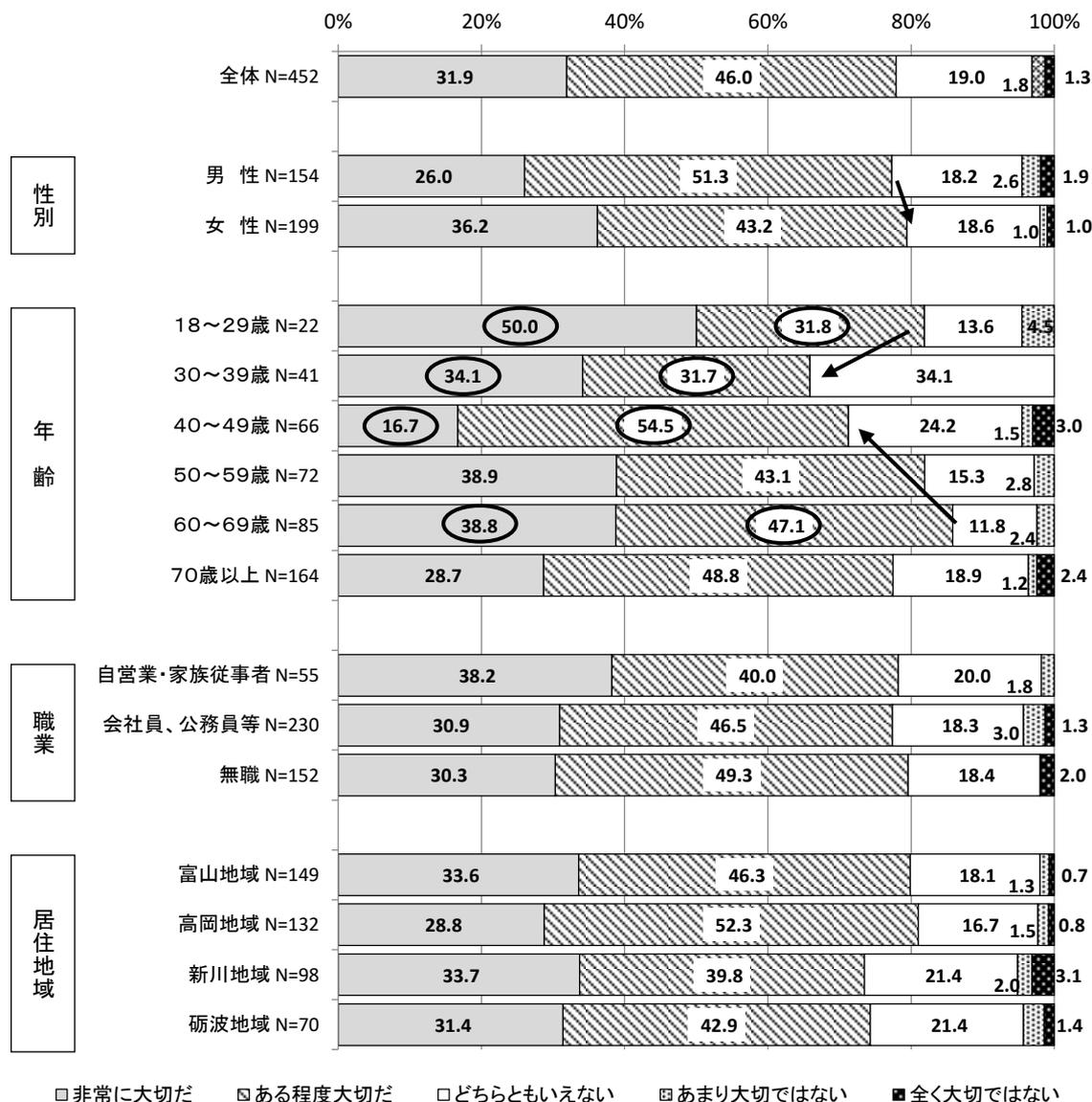


2) 子どもたちにとって自ら演じたり、作ったりすることの大切さ

- ・「非常に大切だ」が 31.9%、「ある程度大切だ」が 46.0%であり、『大切だ』は 77.9%であった。
- ・一方、「どちらともいえない」は 19.0%、「あまり大切でない」が 1.8%、「まったく大切でない」が 1.3%であり、『大切ではない』は 3.1%である。
- ・前回調査に比べて『大切だ』との回答は 81.5%から 77.9%へ 3.6 ポイント減少した。



- ・男女別に見ると、『大切だ』との回答は「男性」が 77.3%、「女性」が 79.4%であり、「女性」が 2.1 ポイント高い。
- ・年齢別に見ていくと、『大切だ』との回答は、「60～69歳」で 85.9%と最も高く、次いで「50～59歳」が 82.0%である。「30～39歳」は 65.9%、「40～49歳」は 71.2%と他の年代に比べて低い。



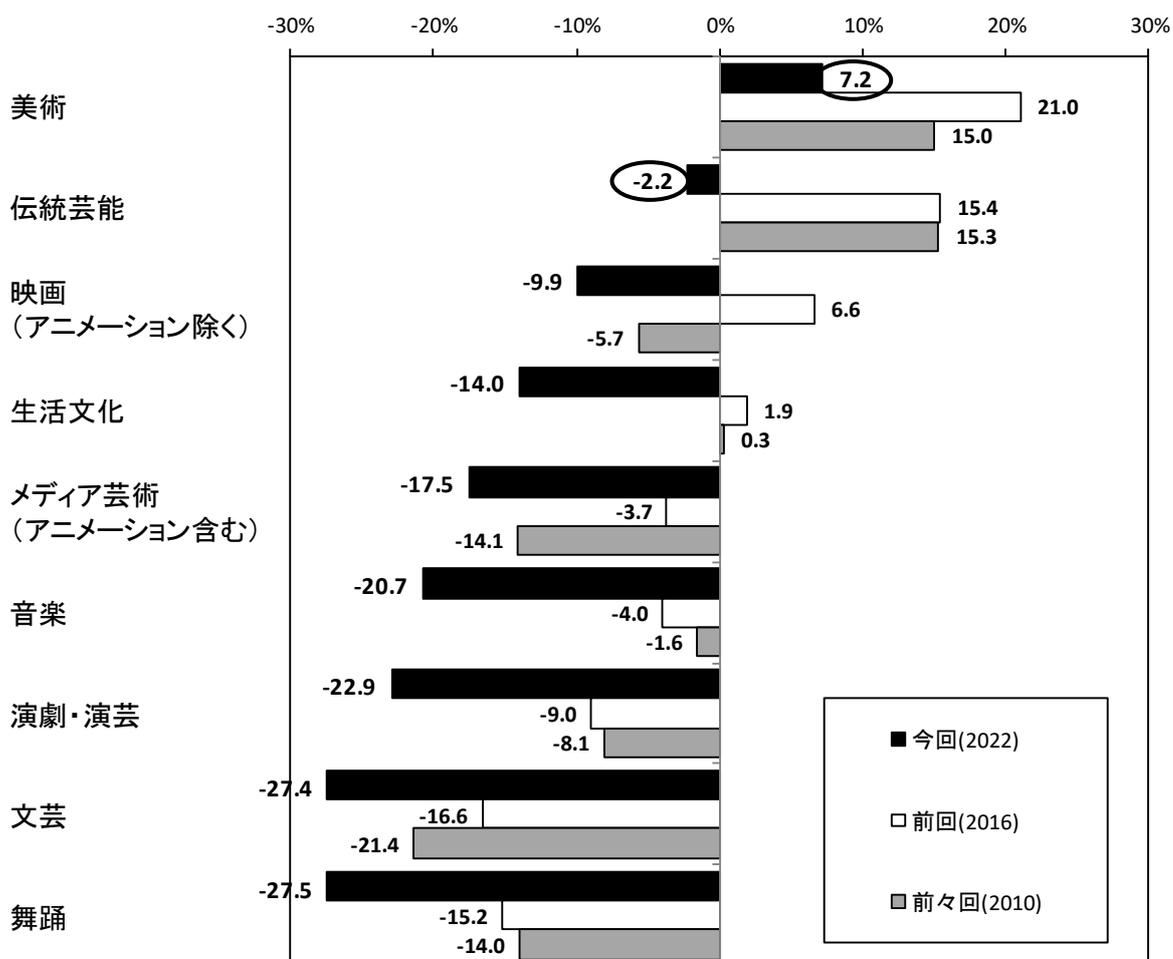
3. 文化活動への評価・誇れる文化資源

(1) 本県の文化活動は盛んだと思うか（分野ごと）

問 10 本県の文化活動は盛んであると思いますか。次にあげる分野について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。

①各分野の概要

- ・ 9つの文化の分野について、『盛んである（「盛んである」＋「どちらかという盛んだ」）』との回答から、『盛んでない（「あまり盛んでない」＋「盛んでない」）』の回答を引いたポイントで見ると、「美術」が最も高く 7.2 ポイント、次いで「伝統芸能」が▲2.2 ポイントとなっており、「美術」を除く分野で『盛んでない』との回答が、『盛んである』を上回っている。
- ・ 前回調査に比べて、全ての分野で減少している。



・各分野について、『盛んである』との回答を見ると、「美術」は 33.0%、「伝統芸能」が 27.2%、「映画（アニメーション除く）」は 20.1%となっている。

	回答者 人	盛んである（A）	盛んである	盛んだけれどどちらかというところ	どちらでもない	盛んでない（B）	あまり盛んでない	盛んでない	A-B ポイント
		%	%	%		%	%	%	
(1)美術	403	33.0	4.7	28.3	41.2	25.8	17.1	8.7	7.2
(2)音楽	396	16.4	1.5	14.9	46.5	37.1	26.8	10.4	▲ 20.7
(3)演劇・演芸	397	15.1	1.3	13.9	46.9	38.0	26.4	11.6	▲ 22.9
(4)舞踊	396	11.6	1.8	9.8	49.2	39.1	26.3	12.9	▲ 27.5
(5)生活文化	401	15.7	2.5	13.2	54.6	29.7	20.9	8.7	▲ 14.0
(6)文芸	394	9.4	1.0	8.4	53.8	36.8	24.4	12.4	▲ 27.4
(7)映画（アニメーション除く）	393	20.1	2.8	17.3	49.9	30.0	19.8	10.2	▲ 9.9
(8)メディア芸術（アニメーション含む）	395	16.5	2.0	14.4	49.6	33.9	23.0	10.9	▲ 17.5
(9)伝統芸能	404	27.2	5.2	22.0	43.3	29.5	20.0	9.4	▲ 2.2

②各分野

1) 美術

- ・『盛んである』は33.0%、「どちらでもない」は41.2%、『盛んでない』は25.8%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて7.2ポイント高い。
- ・年齢別に見ていくと、「40～49歳」で『盛んである』との回答が27.3%と最も低く、「60～69歳」で38.5%と最も高い。
- ・「40～49歳」で『盛んである』－『盛んでない』が▲9.1ポイントと『盛んである』が『盛んでない』を下回り、『60～69歳』では逆に23.1ポイントと大きく上回る。
- ・居住地別に見ていくと、「富山地域」で『盛んである』との回答が43.9%と最も高くなっている。

	回答者	盛んである (A)			どちらでもない	盛んでない (B)			A-B ポイント	
		人	%	%		%	%	%		%
全体	403		33.0	4.7	28.3	41.2	25.8	17.1	8.7	7.2
性別	男性	141	32.6	4.3	28.4	44.0	23.4	15.6	7.8	9.2
	女性	177	33.9	4.5	29.4	40.1	26.0	17.5	8.5	7.9
年齢	18～29歳	22	31.8	-	31.8	31.8	36.4	22.7	13.6	▲4.5
	30～39歳	41	31.7	4.9	26.8	48.8	19.5	9.8	9.8	12.2
	40～49歳	66	27.3	4.5	22.7	36.4	36.4	22.7	13.6	▲9.1
	50～59歳	70	34.3	4.3	30.0	38.6	27.1	15.7	11.4	7.1
	60～69歳	78	38.5	5.1	33.3	46.2	15.4	10.3	5.1	23.1
	70歳以上	124	33.1	5.6	27.4	41.9	25.0	19.4	5.6	8.1
職業	自営業・ 家族従事者	46	26.1	2.2	23.9	50.0	23.9	17.4	6.5	2.2
	会社員、 公務員等	218	33.9	4.6	29.4	39.9	26.1	15.6	10.6	7.8
	無職	128	34.4	6.3	28.1	39.8	25.8	19.5	6.3	8.6
居住地	富山地域	132	43.9	6.1	37.9	28.8	27.3	18.2	9.1	16.7
	高岡地域	118	22.0	3.4	18.6	45.8	32.2	22.0	10.2	▲10.2
	新川地域	90	28.9	3.3	25.6	50.0	21.1	13.3	7.8	7.8
	砺波地域	59	37.3	6.8	30.5	45.8	16.9	10.2	6.8	20.3

2) 音楽

- ・『盛んである』は16.4%、「どちらでもない」は46.5%、『盛んでない』は37.1%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて20.7ポイント低い。
- ・年齢別に見ていくと、「18～29歳」では、『盛んでない』との回答が72.7%と最も高く、『盛んである』との差(『盛んである』－『盛んでない』)も▲59.1ポイントと最も差が大きい。「60～69歳」では『盛んである』－『盛んでない』は▲10.3ポイントと最も小さい。

	回答者	盛んである (A)			どちらでもない	盛んでない (B)			A-B ポイント	
		人	%	%		%	%	%		
全体	396	16.4	1.5	14.9	46.5	37.1	26.8	10.4	▲20.7	
性別	男性	138	15.9	2.2	13.8	51.4	32.6	21.7	10.9	▲16.7
	女性	175	16.0	1.1	14.9	44.6	39.4	29.7	9.7	▲23.4
年齢	18～29歳	22	13.6	-	13.6	13.6	72.7	54.5	18.2	▲59.1
	30～39歳	41	9.8	2.4	7.3	53.7	36.6	22.0	14.6	▲26.8
	40～49歳	66	9.1	1.5	7.6	48.5	42.4	28.8	13.6	▲33.3
	50～59歳	69	24.6	1.4	23.2	31.9	43.5	30.4	13.0	▲18.8
	60～69歳	78	15.4	1.3	14.1	59.0	25.6	19.2	6.4	▲10.3
	70歳以上	118	19.5	1.7	17.8	50.0	30.5	23.7	6.8	▲11.0
職業	自営業・ 家族従事者	45	13.3	-	13.3	55.6	31.1	24.4	6.7	▲17.8
	会社員、 公務員等	216	14.4	1.9	12.5	45.4	40.3	26.9	13.4	▲25.9
	無職	125	20.8	1.6	19.2	44.8	34.4	28.0	6.4	▲13.6
居住地域	富山地域	130	20.8	1.5	19.2	38.5	40.8	29.2	11.5	▲20.0
	高岡地域	116	11.2	0.9	10.3	49.1	39.7	30.2	9.5	▲28.4
	新川地域	90	17.8	2.2	15.6	51.1	31.1	20.0	11.1	▲13.3
	砺波地域	57	15.8	1.8	14.0	52.6	31.6	22.8	8.8	▲15.8

3) 演劇・演芸

- ・『盛んである』は15.1%、「どちらでもない」は46.9%、『盛んでない』は38.0%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて22.9ポイント低い。
- ・年齢別に見ていくと、「18～29歳」で『盛んである』－『盛んでない』が▲31.8ポイントと最も差が大きく、次いで「40～49歳」が▲28.8ポイントとなっている。「50～59歳」が▲17.4ポイントで最も差が小さい。

	回答者	盛んである (A)			どちらでもない	盛んでない (B)			A-B ポイント	
		人	%	%		%	%	%		
全体	397	15.1	1.3	13.9	46.9	38.0	26.4	11.6	▲ 22.9	
性別	男性	137	13.9	1.5	12.4	51.1	35.0	24.1	10.9	▲ 21.2
	女性	177	15.8	1.1	14.7	45.8	38.4	28.8	9.6	▲ 22.6
年齢	18～29歳	22	22.7	-	22.7	22.7	54.5	36.4	18.2	▲ 31.8
	30～39歳	41	12.2	-	12.2	56.1	31.7	22.0	9.8	▲ 19.5
	40～49歳	66	10.6	1.5	9.1	50.0	39.4	25.8	13.6	▲ 28.8
	50～59歳	69	20.3	1.4	18.8	42.0	37.7	21.7	15.9	▲ 17.4
	60～69歳	77	13.0	1.3	11.7	53.2	33.8	26.0	7.8	▲ 20.8
	70歳以上	120	15.8	1.7	14.2	45.8	38.3	28.3	10.0	▲ 22.5
職業	自営業・ 家族従事者	44	13.6	-	13.6	56.8	29.5	22.7	6.8	▲ 15.9
	会社員、 公務員等	216	14.8	1.4	13.4	47.7	37.5	23.6	13.9	▲ 22.7
	無職	127	15.7	1.6	14.2	42.5	41.7	32.3	9.4	▲ 26.0
居住地域	富山地域	129	17.1	0.8	16.3	38.8	44.2	33.3	10.9	▲ 27.1
	高岡地域	116	9.5	0.9	8.6	49.1	41.4	26.7	14.7	▲ 31.9
	新川地域	90	15.6	2.2	13.3	55.6	28.9	17.8	11.1	▲ 13.3
	砺波地域	59	22.0	1.7	20.3	47.5	30.5	22.0	8.5	▲ 8.5

4) 舞踊

- ・『盛んである』は11.6%、「どちらでもない」は49.2%、『盛んでない』は39.1%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて27.5ポイント低い。
- ・男女別に見ると、「男性」は『盛んである』－『盛んでない』が▲21.2ポイント、「女性」は同じく▲31.5ポイントと、「女性」の方が差が約10ポイント大きい。
- ・年齢別に見ていくと、「18～29歳」で『盛んである』－『盛んでない』が▲45.5ポイントと最も差が大きく、次いで「50～59歳」が▲37.1ポイントとなっている。

	回答者	盛んである (A)	盛んである 盛んだ		どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない	盛んでない	A-B ポイント
			盛んである	盛んだ					
	人	%	%	%	%	%	%	%	
全体	396	11.6	1.8	9.8	49.2	39.1	26.3	12.9	▲27.5
性別	男性	137	14.6	2.9	11.7	49.6	35.8	23.4	▲21.2
	女性	178	9.0	1.1	7.9	50.6	40.4	29.8	▲31.5
年齢	18～29歳	22	13.6	4.5	9.1	27.3	59.1	40.9	▲45.5
	30～39歳	41	7.3	2.4	4.9	63.4	29.3	19.5	▲22.0
	40～49歳	66	12.1	1.5	10.6	53.0	34.8	19.7	▲22.7
	50～59歳	70	7.1	-	7.1	48.6	44.3	28.6	▲37.1
	60～69歳	76	13.2	1.3	11.8	52.6	34.2	23.7	▲21.1
	70歳以上	119	14.3	2.5	11.8	45.4	40.3	28.6	▲26.1
職業	自営業・ 家族従事者	44	9.1	-	9.1	63.6	27.3	18.2	▲18.2
	会社員、 公務員等	216	10.6	1.4	9.3	50.9	38.4	24.1	▲27.8
	無職	126	13.5	3.2	10.3	42.1	44.4	32.5	▲31.0
居住地域	富山地域	128	10.2	1.6	8.6	43.8	46.1	34.4	▲35.9
	高岡地域	117	7.7	1.7	6.0	49.6	42.7	26.5	▲35.0
	新川地域	90	12.2	2.2	10.0	55.6	32.2	18.9	▲20.0
	砺波地域	58	20.7	1.7	19.0	51.7	27.6	19.0	▲6.9

5) 生活文化

- ・『盛んである』は15.7%、「どちらでもない」は54.6%、『盛んでない』は29.7%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて14.0ポイント低い。
- ・年齢別に見ていくと、「18～29歳」で『盛んである』－『盛んでない』が▲36.4ポイントと最も差が大きい。一方、「60～69歳」では▲2.6ポイント、「70歳以上」では▲4.9ポイントと差が小さくなっている。
- ・地域別に見ると、「砺波地域」で『盛んである』が23.7%と他の地域に比べて高く、『盛んでない』は15.3%と他の地域に比べて低くなっている。

	回答者	盛んである (A)	どちらでもない		盛んでない (B)	あまり盛んでない	盛んでない	A-B		
			盛んである	盛んだ どちらかという と						
	人	%	%	%	%	%	%	ポイント		
全体	401	15.7	2.5	13.2	54.6	29.7	20.9	8.7	▲14.0	
性別	男性	138	12.3	2.2	10.1	61.6	26.1	16.7	9.4	▲13.8
	女性	178	15.2	2.2	12.9	53.9	30.9	23.0	7.9	▲15.7
年齢	18～29歳	22	18.2	-	18.2	27.3	54.5	40.9	13.6	▲36.4
	30～39歳	41	4.9	-	4.9	68.3	26.8	17.1	9.8	▲22.0
	40～49歳	66	9.1	1.5	7.6	57.6	33.3	18.2	15.2	▲24.2
	50～59歳	70	15.7	1.4	14.3	50.0	34.3	20.0	14.3	▲18.6
	60～69歳	77	19.5	5.2	14.3	58.4	22.1	18.2	3.9	▲2.6
	70歳以上	123	20.3	3.3	17.1	54.5	25.2	21.1	4.1	▲4.9
職業	自営業・ 家族従事者	45	8.9	-	8.9	68.9	22.2	13.3	8.9	▲13.3
	会社員、 公務員等	218	15.1	3.2	11.9	55.0	29.8	19.3	10.6	▲14.7
	無職	127	18.1	2.4	15.7	49.6	32.3	26.8	5.5	▲14.2
居住地域	富山地域	132	15.9	2.3	13.6	47.0	37.1	28.0	9.1	▲21.2
	高岡地域	117	11.1	2.6	8.5	56.4	32.5	22.2	10.3	▲21.4
	新川地域	90	16.7	3.3	13.3	58.9	24.4	15.6	8.9	▲7.8
	砺波地域	59	23.7	1.7	22.0	61.0	15.3	10.2	5.1	8.5

6) 文芸

- ・『盛んである』は9.4%、「どちらでもない」は53.8%、『盛んでない』は36.8%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて27.4ポイント低い。
- ・年齢別に見ていくと、「18～29歳」で『盛んである』－『盛んでない』が▲40.9ポイントと最も差が大きく、次いで「50～59歳」が▲36.2ポイントとなっている。一方、「70歳以上」では▲21.0ポイント、「30～39歳」では▲22.0ポイントと差が小さくなっている。

	回答者	盛んである (A)			どちらでもない	盛んでない (B)			A-B ポイント	
		人	%	%		%	%	%		%
全体	394		9.4	1.0	8.4	53.8	36.8	24.4	12.4	▲27.4
性別	男性	136	9.6	1.5	8.1	56.6	33.8	22.1	11.8	▲24.3
	女性	175	8.6	0.6	8.0	53.1	38.3	26.9	11.4	▲29.7
年齢	18～29歳	22	18.2	-	18.2	22.7	59.1	36.4	22.7	▲40.9
	30～39歳	41	4.9	-	4.9	68.3	26.8	19.5	7.3	▲22.0
	40～49歳	66	9.1	1.5	7.6	54.5	36.4	19.7	16.7	▲27.3
	50～59歳	69	5.8	-	5.8	52.2	42.0	21.7	20.3	▲36.2
	60～69歳	75	6.7	1.3	5.3	60.0	33.3	26.7	6.7	▲26.7
	70歳以上	119	13.4	1.7	11.8	52.1	34.5	25.2	9.2	▲21.0
職業	自営業・ 家族従事者	44	9.1	-	9.1	63.6	27.3	18.2	9.1	▲18.2
	会社員、 公務員等	214	7.0	0.9	6.1	57.5	35.5	21.5	14.0	▲28.5
	無職	126	12.7	1.6	11.1	45.2	42.1	31.0	11.1	▲29.4
居住地域	富山地域	126	9.5	0.8	8.7	48.4	42.1	28.6	13.5	▲32.5
	高岡地域	116	4.3	-	4.3	53.4	42.2	26.7	15.5	▲37.9
	新川地域	90	13.3	2.2	11.1	61.1	25.6	15.6	10.0	▲12.2
	砺波地域	59	11.9	1.7	10.2	55.9	32.2	23.7	8.5	▲20.3

7) 映画(アニメーション除く)

- ・『盛んである』は20.1%、「どちらでもない」は49.9%、『盛んでない』は30.0%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて9.9ポイント低い。
- ・年齢別に見ていくと、「40～49歳」で『盛んである』－『盛んでない』が1.5ポイントと『盛んである』が『盛んでない』を上回っている。
- ・地域別に見ると、「砺波地域」や「富山地域」で『盛んである』と『盛んでない』がほぼ拮抗している。

	回答者	盛んである(A)	ど ち ら か と い う と		ど ち ら で も な い	盛 ん で な い (B)	あ ま り 盛 ん で な い	盛 ん で な い	A-B	
			盛 ん で あ る	盛 ん だ						%
	人	%	%	%	%	%	%	%	ポイント	
全体	393	20.1	2.8	17.3	49.9	30.0	19.8	10.2	▲ 9.9	
性別	男性	136	19.9	3.7	16.2	50.7	29.4	19.1	10.3	▲ 9.6
	女性	174	21.3	2.9	18.4	48.3	30.5	20.1	10.3	▲ 9.2
年齢	18～29歳	22	31.8	4.5	27.3	31.8	36.4	18.2	18.2	▲ 4.5
	30～39歳	41	14.6	2.4	12.2	56.1	29.3	19.5	9.8	▲ 14.6
	40～49歳	65	30.8	3.1	27.7	40.0	29.2	16.9	12.3	1.5
	50～59歳	70	18.6	4.3	14.3	48.6	32.9	20.0	12.9	▲ 14.3
	60～69歳	76	21.1	1.3	19.7	53.9	25.0	19.7	5.3	▲ 3.9
	70歳以上	117	14.5	2.6	12.0	55.6	29.9	20.5	9.4	▲ 15.4
職業	自営業・ 家族従事者	44	9.1	2.3	6.8	68.2	22.7	15.9	6.8	▲ 13.6
	会社員、 公務員等	215	23.3	2.8	20.5	47.0	29.8	18.6	11.2	▲ 6.5
	無職	124	18.5	3.2	15.3	48.4	33.1	23.4	9.7	▲ 14.5
居住 地域	富山地域	128	29.7	3.9	25.8	39.1	31.3	22.7	8.6	▲ 1.6
	高岡地域	115	13.0	1.7	11.3	50.4	36.5	23.5	13.0	▲ 23.5
	新川地域	88	13.6	3.4	10.2	61.4	25.0	14.8	10.2	▲ 11.4
	砺波地域	59	22.0	1.7	20.3	55.9	22.0	13.6	8.5	0.0

8) メディア芸術(アニメーション含む)

- ・『盛んである』は16.5%、「どちらでもない」は49.6%、『盛んでない』は33.9%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて17.5ポイント低い。
- ・年齢別に見ていくと、「40～49歳」で『盛んである』－『盛んでない』が▲9.1ポイントと最も差が小さい。一方、「70歳以上」では▲24.6ポイント、「18～29歳」では▲22.7ポイントと差が大きくなっている。
- ・地域別に見ると、「砺波地域」で『盛んである』が25.9%と他の地域に比べて高く、『盛んでない』を3.4ポイント上回っている。

	回答者	盛んである(A)	どちらでもない		盛んでない(B)	あまり盛んでない	盛んでない	A-B		
			盛んである	盛んだ						
	人	%	%	%	%	%	%	ポイント		
全体	395	16.5	2.0	14.4	49.6	33.9	23.0	10.9	▲17.5	
性別	男性	137	18.2	3.6	14.6	48.9	32.8	21.2	11.7	▲14.6
	女性	175	16.0	1.1	14.9	49.7	34.3	24.6	9.7	▲18.3
年齢	18～29歳	22	27.3	9.1	18.2	22.7	50.0	31.8	18.2	▲22.7
	30～39歳	41	12.2	-	12.2	56.1	31.7	22.0	9.8	▲19.5
	40～49歳	66	25.8	1.5	24.2	39.4	34.8	22.7	12.1	▲9.1
	50～59歳	70	15.7	2.9	12.9	52.9	31.4	18.6	12.9	▲15.7
	60～69歳	76	17.1	1.3	15.8	55.3	27.6	19.7	7.9	▲10.5
	70歳以上	118	11.0	1.7	9.3	53.4	35.6	25.4	10.2	▲24.6
職業	自営業・ 家族従事者	44	9.1	-	9.1	65.9	25.0	18.2	6.8	▲15.9
	会社員、 公務員等	216	18.5	2.3	16.2	48.6	32.9	20.8	12.0	▲14.4
	無職	125	15.2	2.4	12.8	45.6	39.2	28.8	10.4	▲24.0
居住地域	富山地域	129	19.4	2.3	17.1	43.4	37.2	29.5	7.8	▲17.8
	高岡地域	116	12.1	0.9	11.2	45.7	42.2	26.7	15.5	▲30.2
	新川地域	89	10.1	2.2	7.9	64.0	25.8	13.5	12.4	▲15.7
	砺波地域	58	25.9	3.4	22.4	51.7	22.4	15.5	6.9	▲3.4

9) 伝統芸能

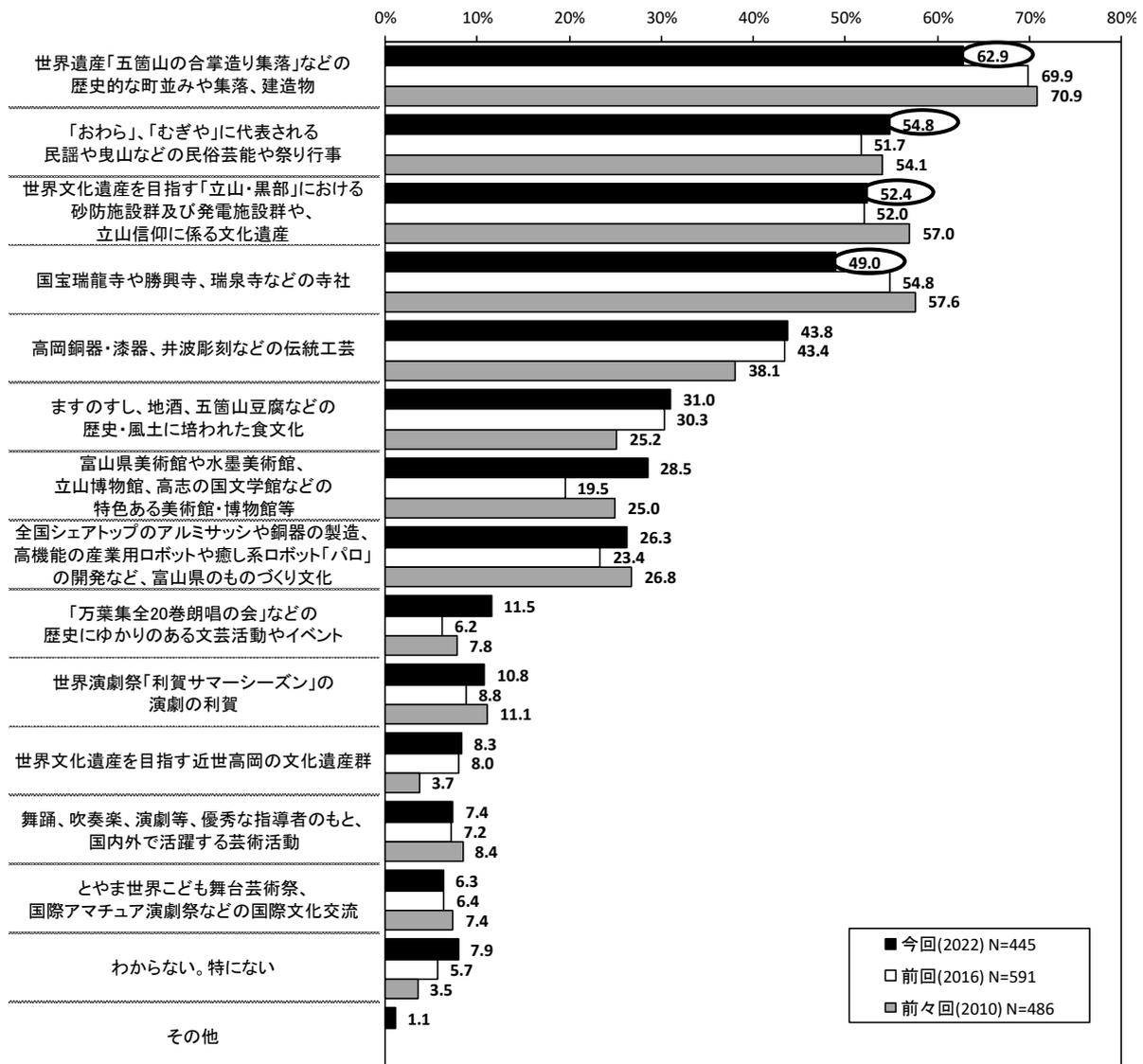
- ・『盛んである』は27.2%、「どちらでもない」は43.3%、『盛んでない』は29.5%である。
- ・『盛んである』は『盛んでない』に比べて2.2ポイント低い。
- ・男女別にみると、「男性」は『盛んである』が『盛んでない』を9.2ポイント上回る一方、「女性」は▲9.6ポイントと『盛んである』が下回る。
- ・年齢別に見ていくと、30～59歳で『盛んである』が『盛んでない』を下回り▲6.2～7.3ポイントとなっている。一方、「18～29歳」では『盛んである』が『盛んでない』を4.5ポイント、「70歳以上」では2.3ポイント上回る。
- ・職業別に見ると、「会社員、公務員等」で『盛んである』が『盛んでない』を下回り▲7.9ポイントとなった。
- ・地域別に見ると、「砺波地域」で『盛んである』が50.8%と他の地域に比べて高い。また、『盛んである』－『盛んでない』が38.1ポイントと、他の地区を大きく上回る。

	回答者	盛んである (A)			どちらでもない	盛んでない (B)			A-B ポイント	
		人	%	%		%	%	%		%
全体	404	27.2	5.2	22.0	43.3	29.5	20.0	9.4	▲2.2	
性別	男性	141	34.0	7.8	26.2	41.1	24.8	17.7	7.1	9.2
	女性	178	21.9	3.4	18.5	46.6	31.5	20.2	11.2	▲9.6
年齢	18～29歳	22	36.4	9.1	27.3	31.8	31.8	18.2	13.6	4.5
	30～39歳	41	19.5	7.3	12.2	53.7	26.8	17.1	9.8	▲7.3
	40～49歳	65	24.6	4.6	20.0	44.6	30.8	16.9	13.8	▲6.2
	50～59歳	69	24.6	5.8	18.8	43.5	31.9	20.3	11.6	▲7.2
	60～69歳	77	27.3	5.2	22.1	46.8	26.0	22.1	3.9	1.3
	70歳以上	128	31.3	3.9	27.3	39.8	28.9	20.3	8.6	2.3
職業	自営業・ 家族従事者	46	28.3	4.3	23.9	54.3	17.4	10.9	6.5	10.9
	会社員、 公務員等	216	24.1	5.1	19.0	44.0	31.9	21.8	10.2	▲7.9
	無職	131	31.3	5.3	26.0	39.7	29.0	19.8	9.2	2.3
居住地域	富山地域	130	23.8	5.4	18.5	40.0	36.2	26.2	10.0	▲12.3
	高岡地域	118	23.7	3.4	20.3	44.9	31.4	18.6	12.7	▲7.6
	新川地域	90	18.9	2.2	16.7	52.2	28.9	21.1	7.8	▲10.0
	砺波地域	63	50.8	12.7	38.1	36.5	12.7	7.9	4.8	38.1

(2) 全国的に又は国際的に誇れる本県の「文化」、「文化活動」及び「文化財」はあるか

問 11 (1) あなたが、全国的にまたは国際的に誇れる「文化」、「文化活動」及び「文化財」とお考えのものはありますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

- ・「世界遺産「五箇山の合掌造り集落」などの歴史的な町並みや集落、建造物」が 62.9%で最も高く、次いで「「おわら」、「むぎや」に代表される民謡や曳山などの民俗芸能や祭り行事」が 54.8%、「世界文化遺産を目指す「立山・黒部」における砂防施設群及び発電施設群や、立山信仰に係る文化遺産」が 52.4%、「国宝瑞龍寺や勝興寺、瑞泉寺などの寺社」が 49.0%とそれぞれ5割程度で続く。
- ・前回調査と比較すると、「世界遺産「五箇山の合掌造り集落」などの歴史的な町並みや集落、建造物」は前回調査でも最も高い。「「おわら」、「むぎや」に代表される民謡や曳山などの民俗芸能や祭り行事」は前回調査の4位から2位に、「国宝瑞龍寺や勝興寺、瑞泉寺などの寺社」は2位から4位となっている。その他としては、「獅子舞」、「アニメ、ゲーム」、「黒部峡谷鉄道」、「富山湾の魚」、「宗教施設」をあげる回答者がいた。



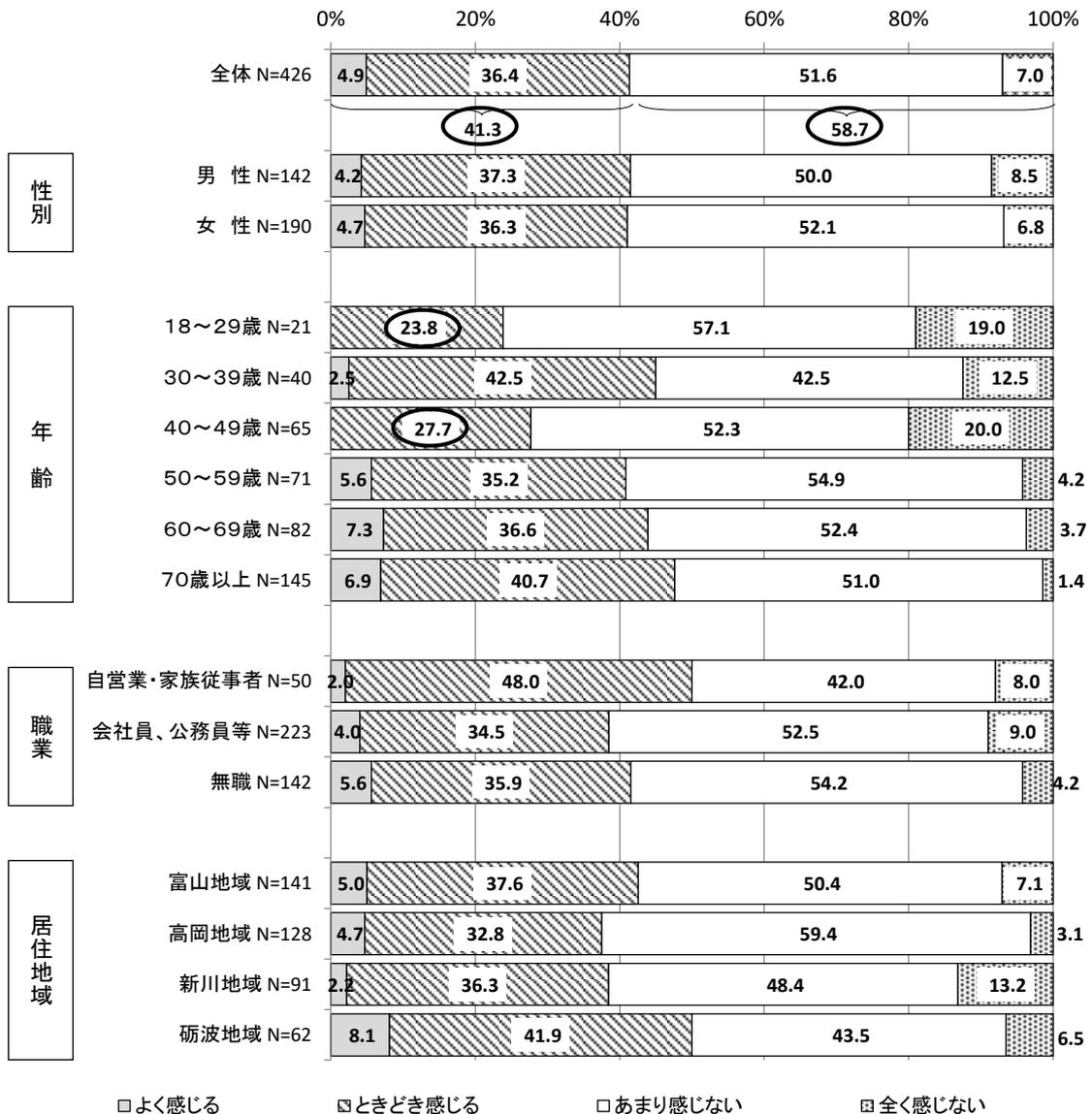
- ・年齢別に見ていくと、「世界遺産「五箇山の合掌造り集落」などの歴史的な町並みや集落、建造物」は全ての年齢で6割近い。「おわら」、「むぎや」に代表される民謡や曳山などの民俗芸能や祭り行事」は「70歳以上」で65.8%である一方で、「18～29歳」では29.2%となっている。

	合計	国宝瑞龍寺や勝興寺、瑞泉寺などの神社	世界遺産「五箇山の合掌造り集落」などの歴史的な町並みや集落、建造物	世界文化遺産を目指す「立山・黒部」における砂防施設群及び発電施設群や、立山信仰に係る文化遺産	世界文化遺産を目指す近世高岡の文化遺産群	「おわら」、「むぎや」に代表される民謡や曳山などの民俗芸能や祭り行事	高岡銅器・漆器、井波彫刻などの伝統工芸	ますのすし、地酒、五箇山豆腐などの歴史・風土に培われた食文化	世界演劇祭「利賀サマーシーズン」の演劇の利賀	劇祭などの国際文化交流	とやま世界こども舞台芸術祭、国際アマチュア演劇祭	内外で活躍する芸術活動	富山県美術館や水墨美術館、立山博物館、高志の国文学館などの特色ある美術館・博物館等	「万葉集全20巻朗唱の会」などの歴史にゆかりのある文芸活動やイベント	高機能の産業用ロボットや癒し系ロボット「パロ」の開発など、富山県のものづくり文化	全国シェアトップのアルミサッシや銅器の製造、わからない。特にな	その他
全体	445	49.0	62.9	52.4	8.3	54.8	43.8	31.0	10.8	6.3	7.4	28.5	11.5	26.3	7.9	1.1	
性別	男性	151	47.7	60.9	49.7	6.0	53.0	46.4	27.8	9.3	5.3	6.0	25.2	11.3	26.5	6.6	0.7
	女性	198	51.5	64.6	52.5	10.6	56.6	44.9	32.3	11.6	6.6	8.6	26.8	12.6	25.8	8.6	1.0
年齢	18～29歳	24	41.7	62.5	33.3	8.3	29.2	25.0	33.3	4.2	-	4.2	12.5	8.3	8.3	16.7	4.2
	30～39歳	40	32.5	62.5	47.5	10.0	55.0	35.0	45.0	7.5	2.5	5.0	22.5	12.5	25.0	2.5	-
	40～49歳	64	37.5	57.8	46.9	4.7	45.3	37.5	29.7	4.7	3.1	4.7	18.8	4.7	15.6	14.1	-
	50～59歳	72	47.2	62.5	54.2	11.1	51.4	37.5	37.5	12.5	5.6	8.3	20.8	9.7	19.4	6.9	2.8
	60～69歳	82	45.1	62.2	54.9	9.8	52.4	50.0	32.9	12.2	8.5	8.5	35.4	12.2	34.1	7.3	1.2
	70歳以上	161	61.5	66.5	57.1	7.5	65.8	50.9	24.2	13.7	8.7	8.7	36.6	14.9	32.9	5.6	0.6
職業	自営業・家族従事者	54	55.6	66.7	59.3	9.3	55.6	42.6	29.6	11.1	7.4	13.0	29.6	11.1	24.1	11.1	1.9
	会社員、公務員等	225	41.8	60.9	48.0	7.1	48.9	36.9	32.4	9.8	3.6	4.9	26.2	8.0	23.1	6.7	1.8
	無職	151	56.3	63.6	56.3	9.9	64.9	52.3	29.8	12.6	7.9	8.6	31.8	15.9	31.8	8.6	-
居住地域	富山地域	146	51.4	60.3	55.5	6.2	50.0	37.0	28.8	11.6	5.5	7.5	32.9	7.5	24.7	8.2	-
	高岡地域	134	50.0	63.4	47.0	10.4	54.5	50.7	26.9	9.0	6.7	9.0	26.1	17.2	25.4	5.2	2.2
	新川地域	94	43.6	64.9	59.6	7.4	53.2	42.6	41.5	7.4	6.4	5.3	19.1	9.6	31.9	11.7	1.1
	砺波地域	67	50.7	68.7	47.8	10.4	68.7	46.3	28.4	17.9	6.0	7.5	35.8	10.4	22.4	7.5	1.5

(3) 文化の魅力が生かした取り組みがされていると感じるか

問 11 (2) 前問 (1) でご回答いただいた「文化」、「文化活動」及び「文化財」をはじめ、富山県の文化の魅力や力が、県や市町村の取り組みに活かされていると感じますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。また、どういった場面でそのように感じるか教えてください。

- ・「よく感じる」が 4.9%、「ときどき感じる」が 36.4%であり、『感じる(「よく感じる」+「ときどき感じる」)』は 41.3%であった。
- ・一方、「あまり感じない」は 51.6%、「まったく感じない」が 7.0%であり『感じない(「あまり感じない」+「まったく感じない」)』は 58.7%となり、『感じる』は『感じない』を 17.4 ポイント下回る。
- ・年齢別に見ると、『感じる』は「18～29歳」で 23.8%、「40～49歳」で 27.7%と他の世代に比べて低い。



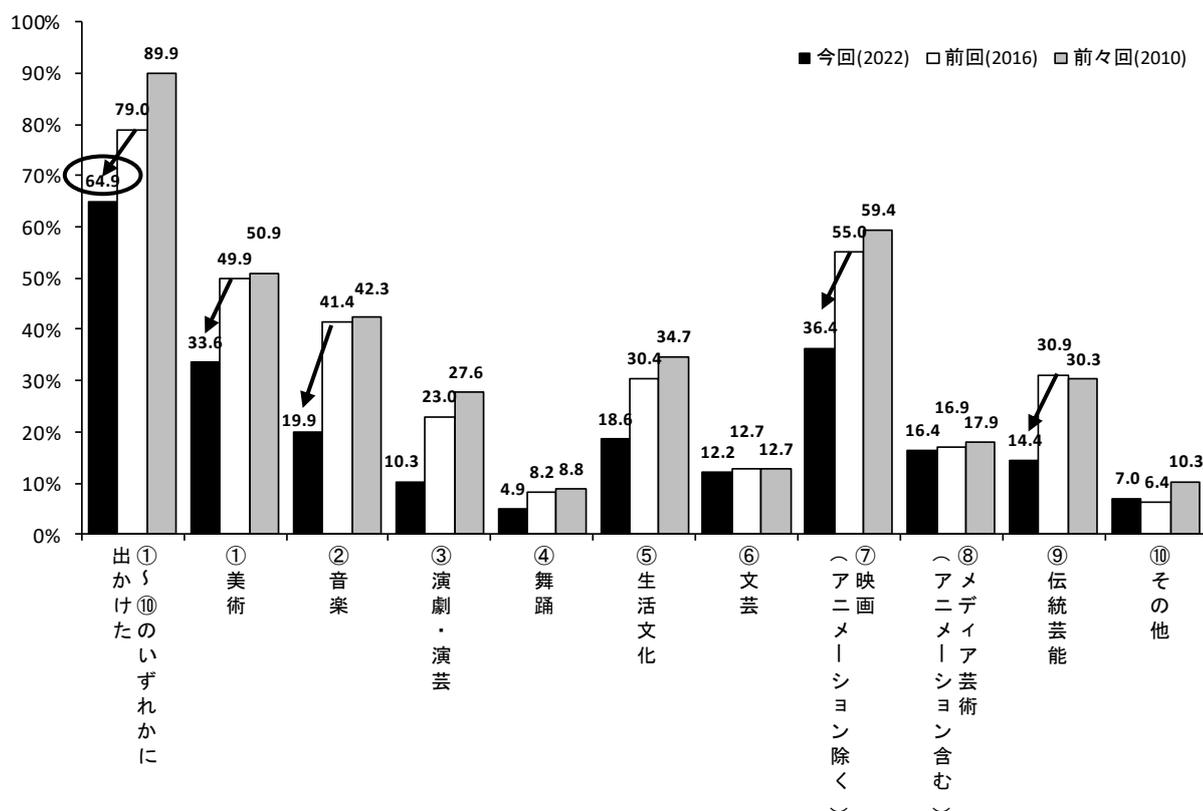
4. 文化活動の状況

(1) 文化鑑賞の頻度

問1 この1年間に、公演や展覧会などを直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD、DVD（ブルーレイ含む記録媒体）、インターネット配信を除く）した文化は、どの分野ですか。また何回出かけましたか。【表1】の左列にあげる分野について、①～⑥の中から分野ごとに1つ選んで○をつけてください。

①概要

- ・この1年間に公演や展覧会などを直接鑑賞または出かけた状況を尋ねたところ、選択肢のうち少なくともいずれかひとつに『出かけたことがある』と回答した方の割合は64.9%となった。前回調査に比べて14.1ポイント減少している。
- ・分野ごとに前回調査と比較すると、『出かけたことがある（出かけたことがあるとの回答の合計）』は「その他」以外の全ての項目で減少している。
- ・「音楽」は前回から21.5ポイントと最も大きく減少している。次いで「映画（アニメーション除く）」が18.6ポイント、「伝統芸能」が16.5ポイント、「美術」が16.5ポイント減少している。



・どの分野にも『出かけていない』との回答を集計すると 35.1%であるが、令和3年度に行われた全国調査において直接「鑑賞したものはなし」との回答は 60.3%であった。

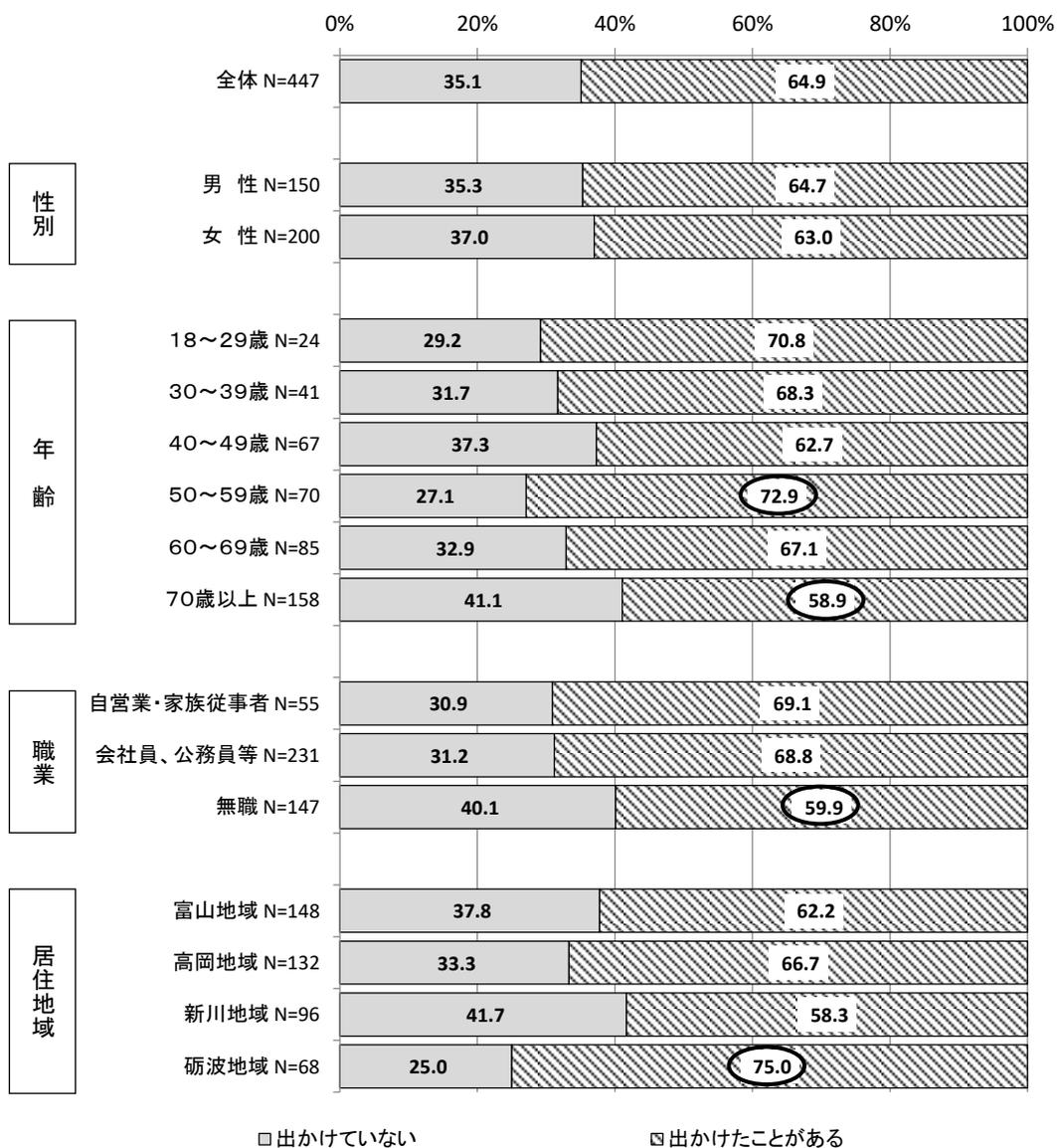
	回答者(人)	出かけていない	出かけたことがある	出かけたことのある程度					
				年1～3回	年4～6回程度	月1～3回	月4～6回程度	それ以上	
(1)～(10)のいずれかに出かけた	今回調査	447	35.1	64.9					
	前回調査	575	21.0	79.0					
(1)美術	417	66.4	33.6	26.6	5.5	0.7	0.2	0.5	
(2)音楽	396	80.1	19.9	13.9	3.5	1.3	0.0	1.3	
(3)演劇・演芸	397	89.7	10.3	8.3	1.3	0.5	0.3	0.0	
(4)舞踊	391	95.1	4.9	3.8	1.0	0.0	0.0	0.0	
(5)生活文化	398	81.4	18.6	11.8	2.8	2.8	0.5	0.8	
(6)文芸	392	87.8	12.2	7.4	2.0	2.0	0.3	0.5	
(7)映画 (アニメーション除く)	404	63.6	36.4	26.0	7.2	1.5	0.5	1.2	
(8)メディア芸術 (アニメーション含む)	385	83.6	16.4	13.0	0.5	1.0	0.8	1.0	
(9)伝統芸能	382	85.6	14.4	12.3	1.8	0.3	0.0	0.0	
(10)その他	143	93.0	7.0	5.6	0.7	0.0	0.7	0.0	

R3年度全国調査(文化に関する世論調査、文化庁)
 ●あなたは、この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞(テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞)をしたことはありますか。(複数回答)

鑑賞したものはなし	60.3
美術	10.9
美術のうち、特に現代美術	2.2
オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	6.1
ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	8.9
現代演劇、児童演劇、人形劇	1.9
ミュージカル	2.7
演芸	2.3
バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	1
ストリートダンス、ジャズダンス、民族舞踊、社交ダンスなど	1.3
花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント	2
食文化の展示、イベント	2.1
映画	17.6
アニメーション映画	9.6
日本舞踊	0.6
伝統芸能	2
地域の伝統的な芸能や祭り	2.1

※本調査は各分野毎の単数回答である一方、全国調査は各分野の複数回答であること、また選択肢も異なることから参考値として記載する。

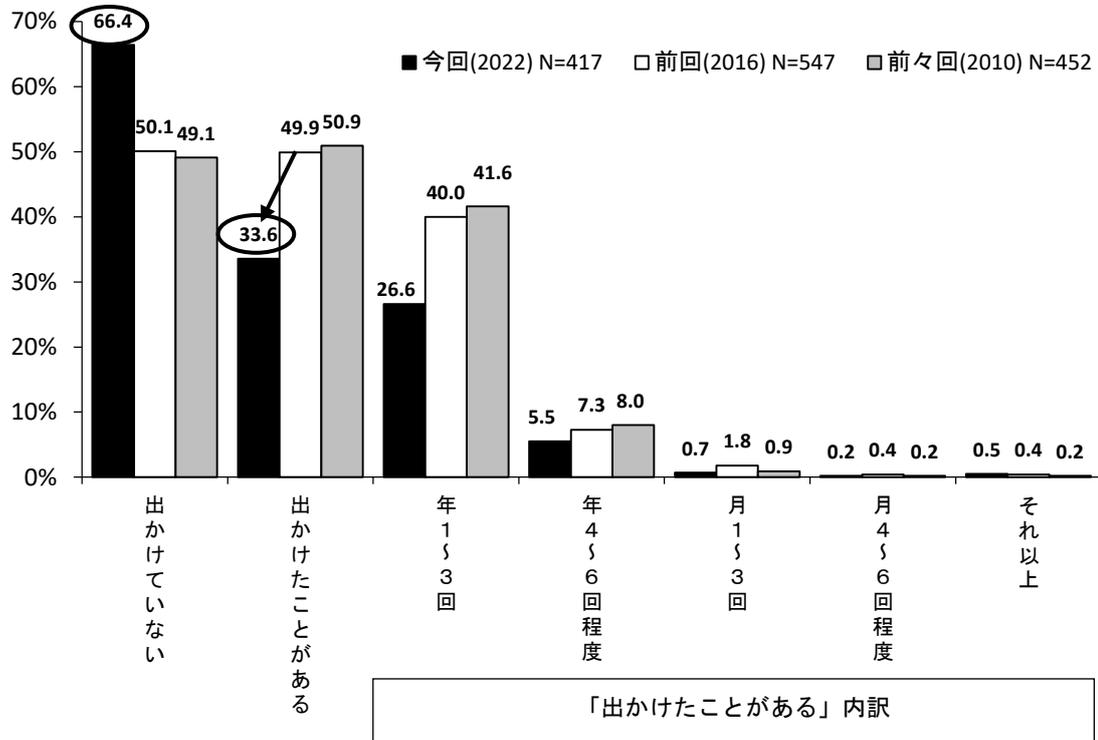
- ・年齢別に見ると、『出かけたことがある』と回答したのは、「50～59歳」で72.9%と最も高く、「70歳以上」で58.9%で最も低くなった。
- ・職業別に見ると、『出かけたことがある』と回答したのは、「無職」が59.9%低くなっている。
- ・地域別にみると、「砺波地域」が75.0%と最も高い。



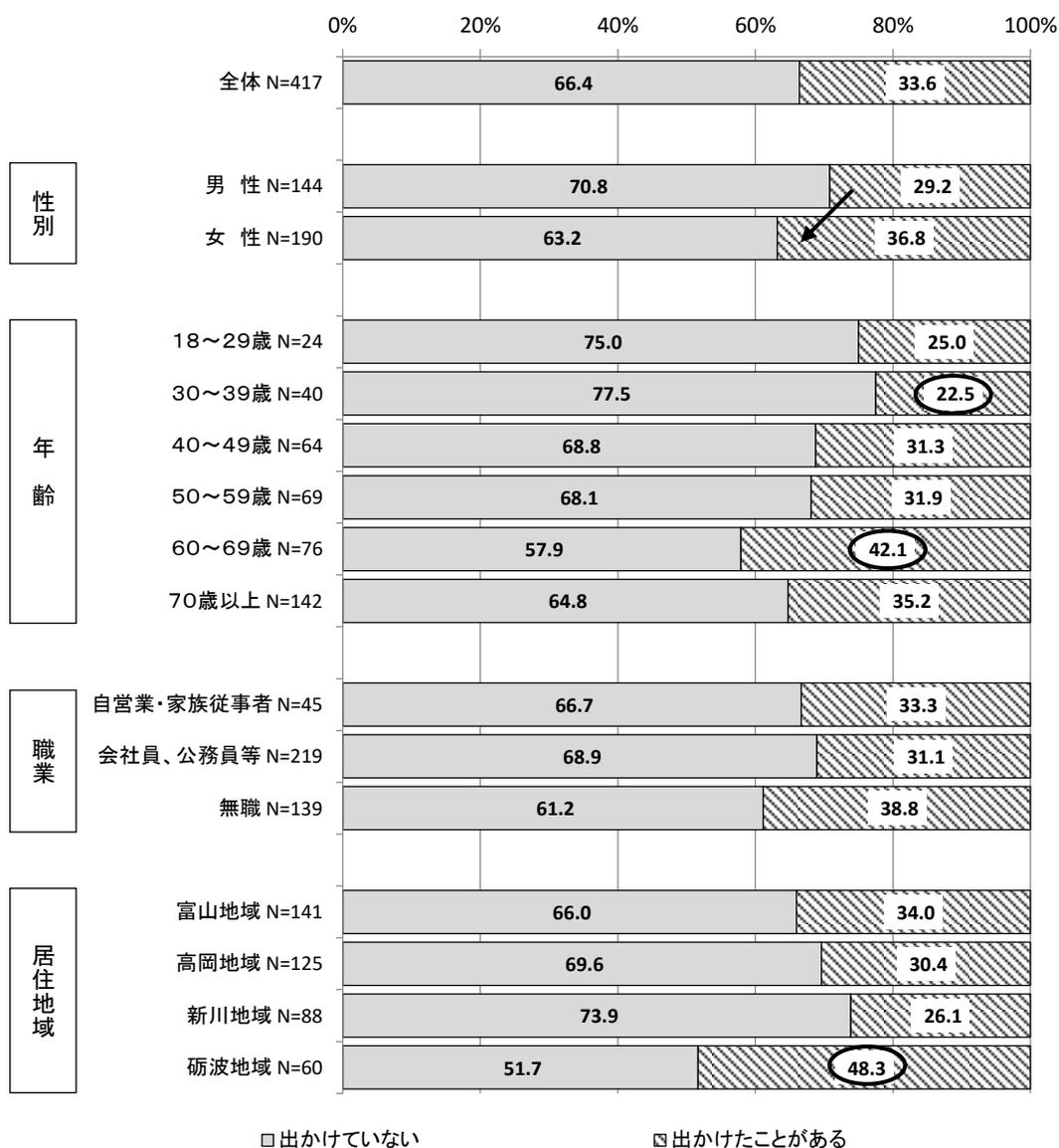
②各分野

1) 美術

・「美術」の鑑賞に「出かけていない」との回答は66.4%、『出かけたことがある』との回答は33.6%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査に比べて16.3ポイント減少した。

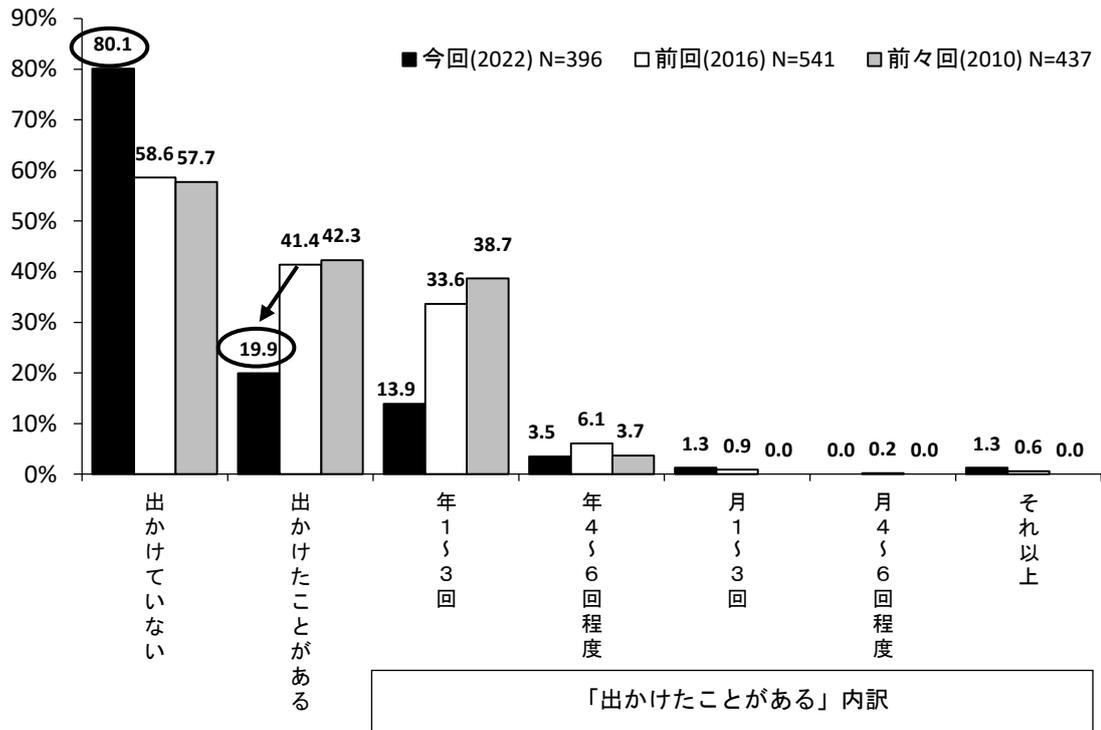


- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「女性」が「男性」に比べて 7.6 ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「60～69歳」で『出かけたことがある』との回答が 42.1%と最も高い。一方で、「30～39歳」では 22.5%と他の年齢よりも低くなっている。
- ・居住地域別に見ると、「砺波地域」では『出かけたことがある』との回答が 48.3%と最も高くなっている。

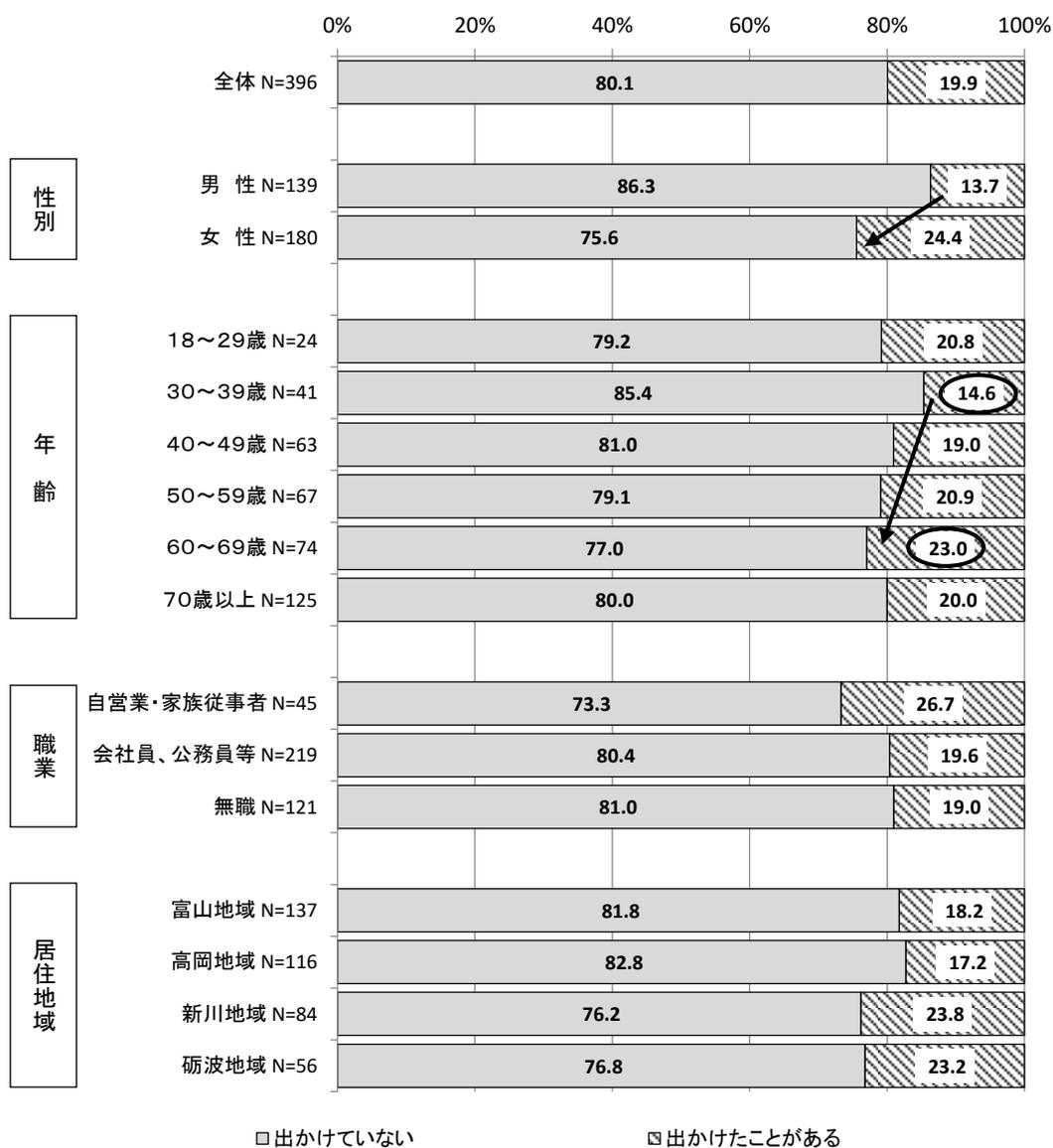


2) 音楽

- ・「音楽」の鑑賞に「出かけていない」との回答は 80.1%、『出かけたことがある』との回答は 19.9%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査に比べて 21.5 ポイント減少した。

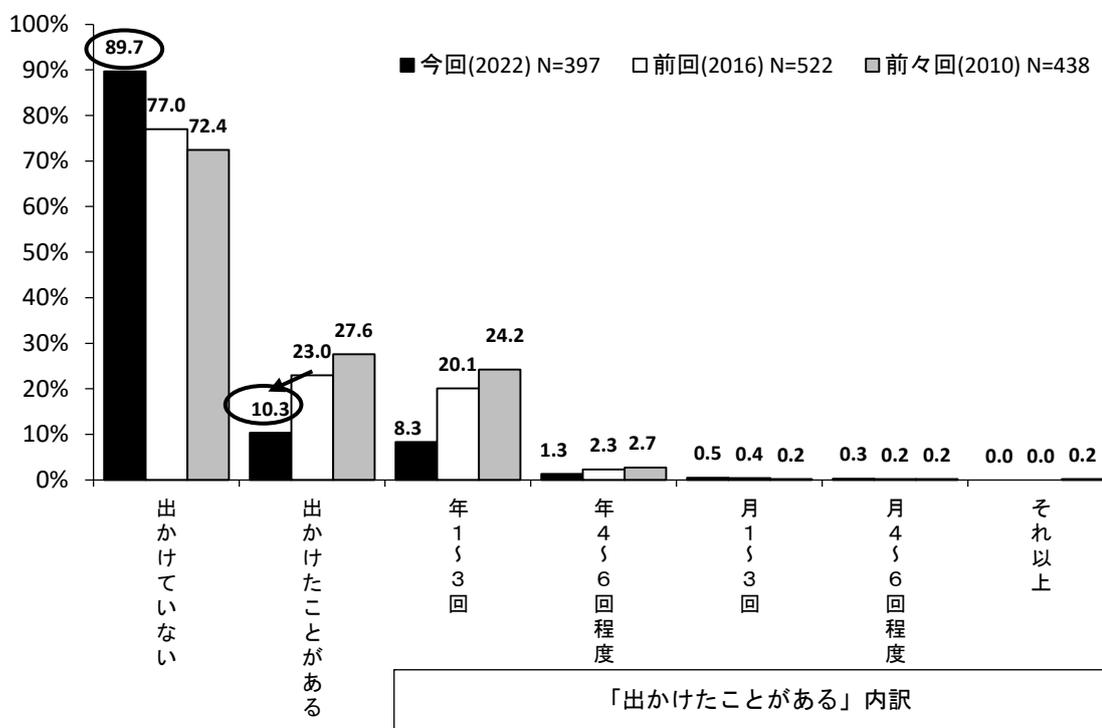


- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「女性」が「男性」に比べて 10.7 ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「30～39歳」では 14.6%と他の年代よりも低くなっており、年齢が高くなるにつれて高くなり、「60～69歳」では『出かけたことがある』との回答が 23.0%と最も高い。

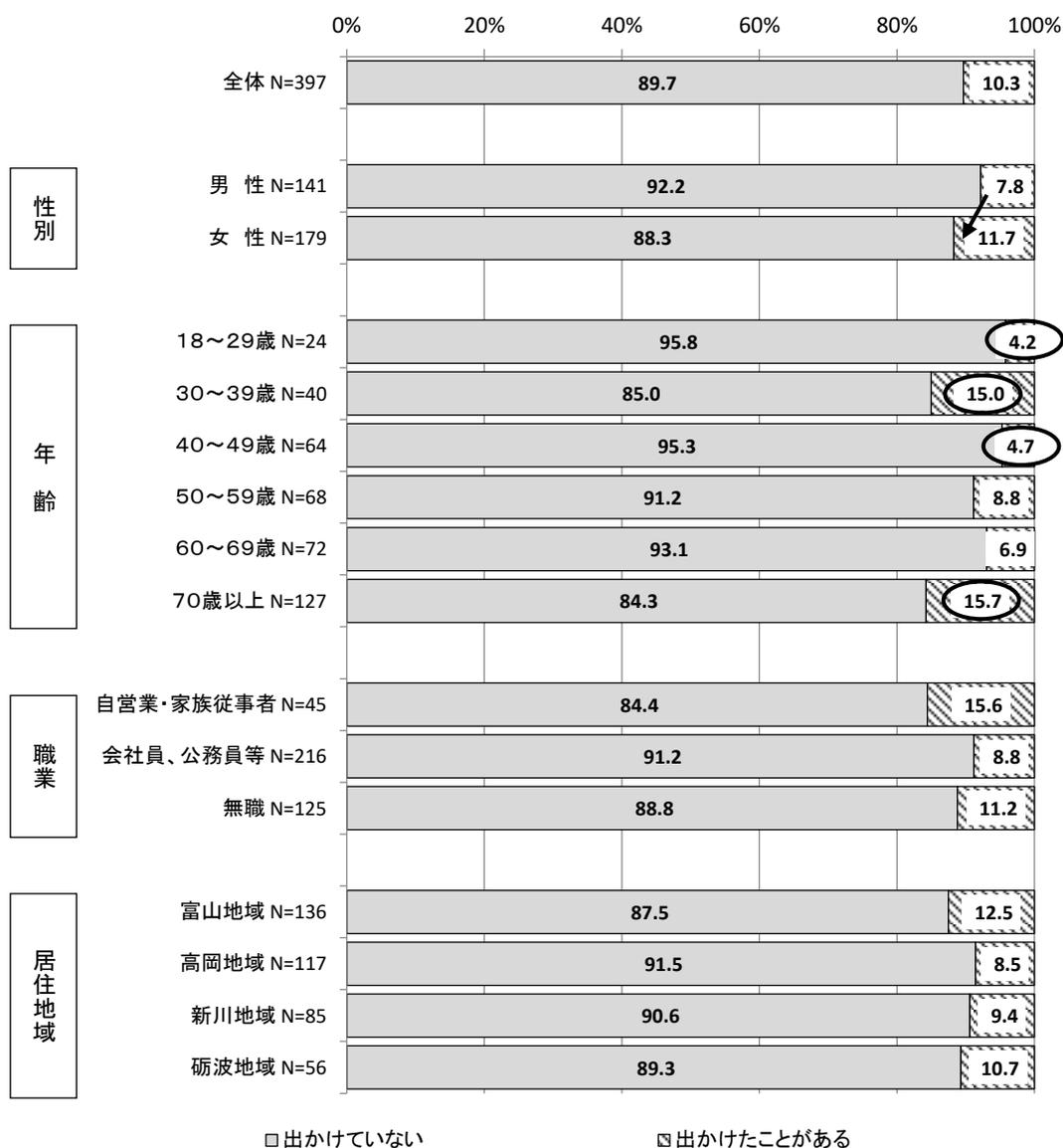


3) 演劇・演芸

・「演劇・演芸」の鑑賞に「出かけていない」との回答は 89.7%、『出かけたことがある』との回答は 10.3%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査に比べて 12.7 ポイント減少した。

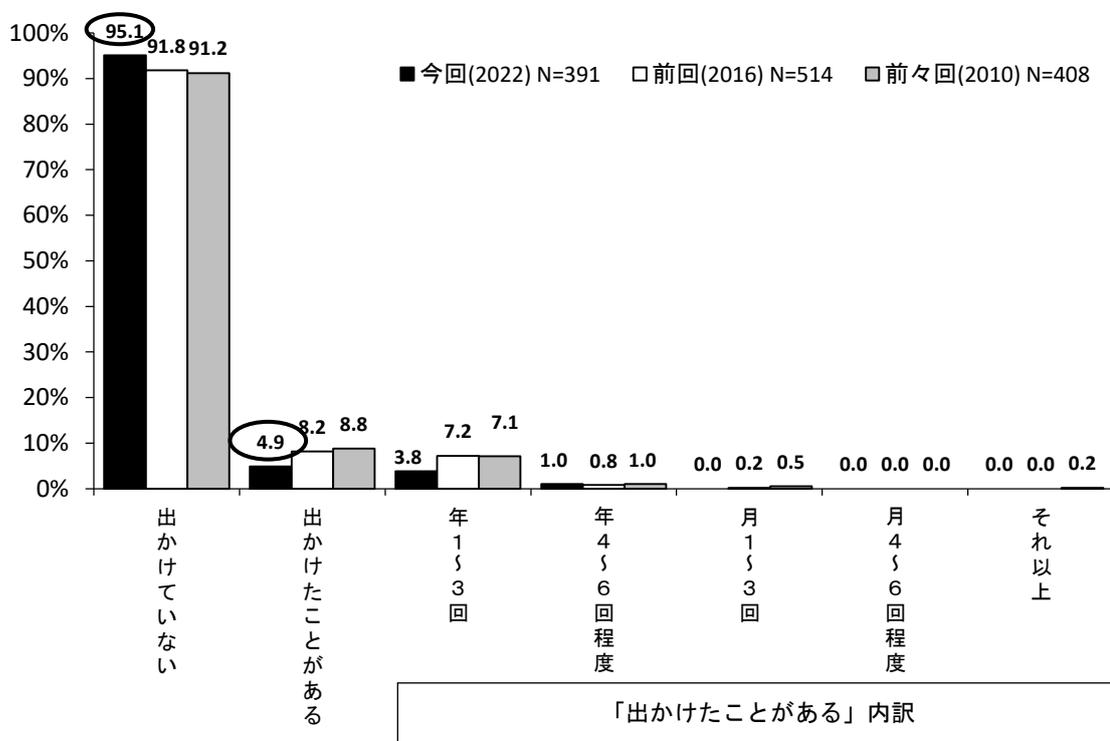


- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「女性」が「男性」に比べて 3.9 ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「70歳以上」で『出かけたことがある』との回答が 15.7%と最も高く、「30～39歳」が 15.0%で続く。「18～29歳」は 4.2%、「40～49歳」は 4.7%と低い。

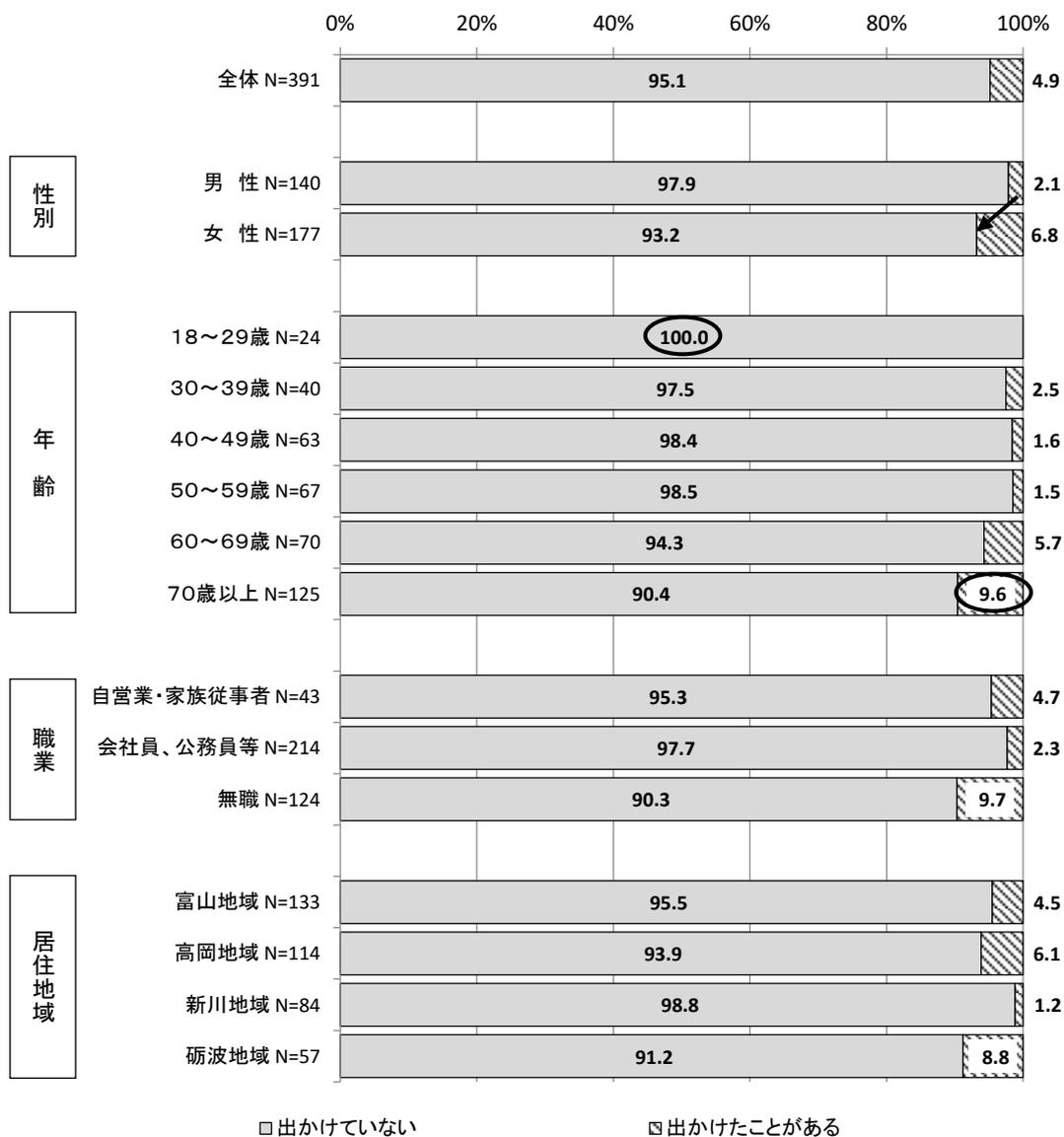


4) 舞踊

- ・「舞踊」の鑑賞に「出かけていない」との回答は95.1%、『出かけたことがある』との回答は4.9%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査に比べて3.3ポイント減少した。

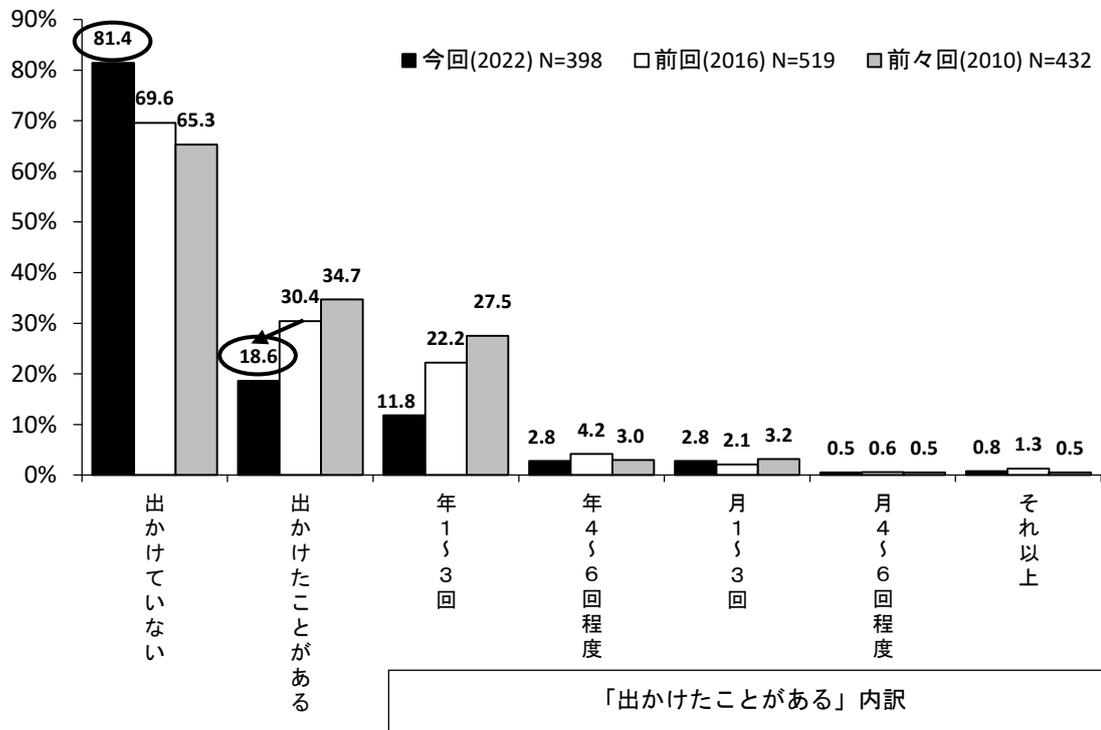


- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「女性」が「男性」に比べて 4.7 ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「70歳以上」で『出かけたことがある』との回答が 9.6%と最も高い。一方で、「18～29歳」では『出かけたことがある』との回答は無い。

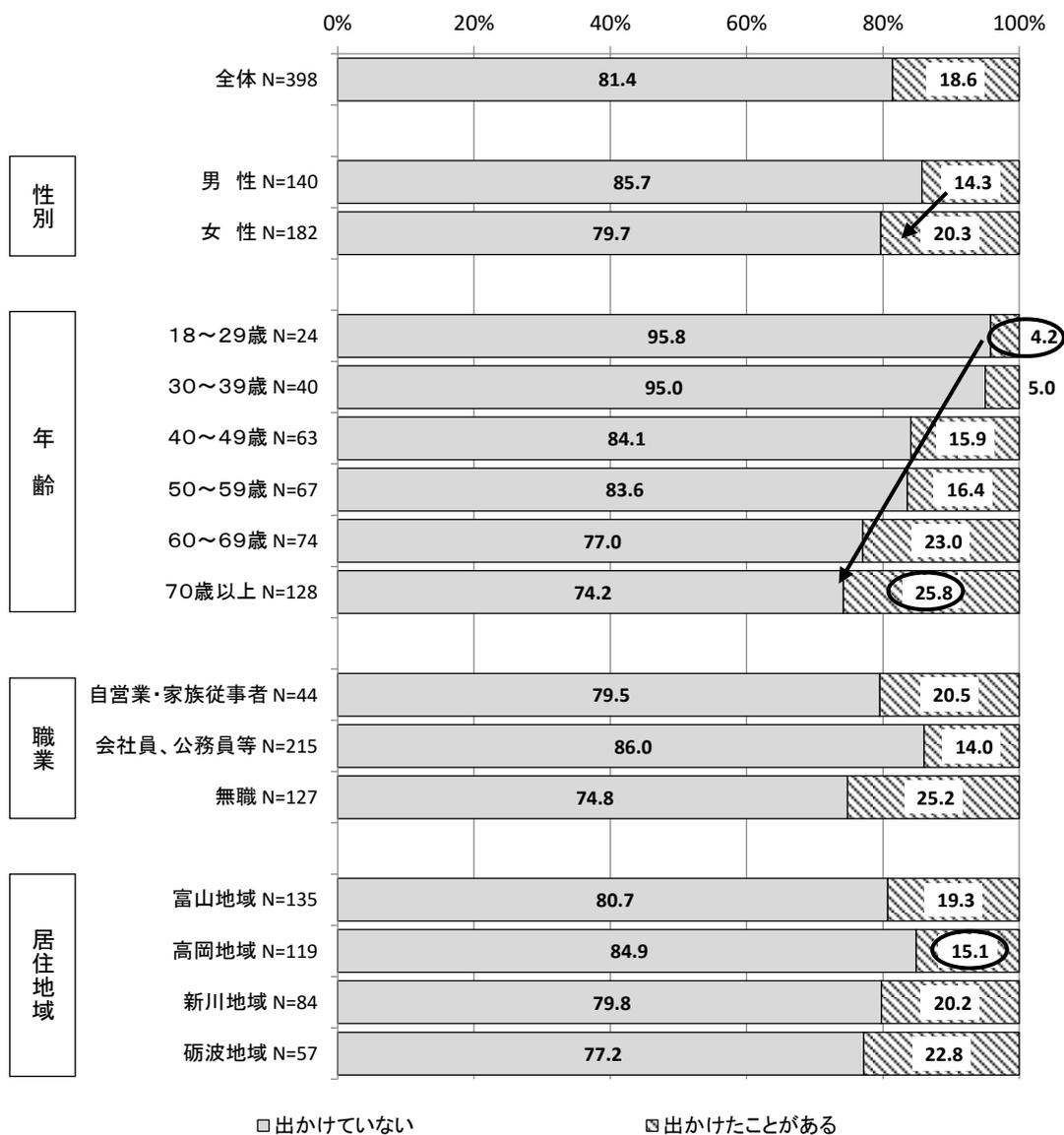


5) 生活文化

- ・「生活文化」の鑑賞に「出かけていない」との回答は81.4%、『出かけたことがある』との回答は18.6%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査に比べて11.8ポイント減少した。

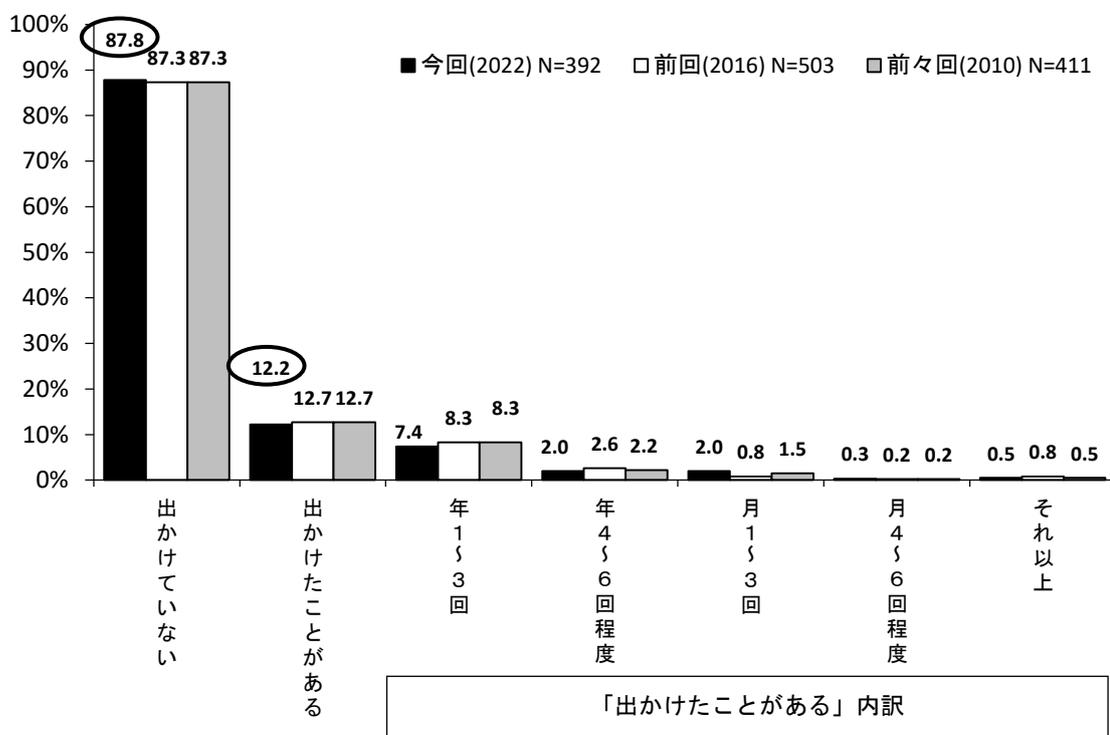


- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「女性」が「男性」に比べて6.0ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「18～29歳」で『出かけたことがある』との回答が4.2%と最も低く、年齢が高くなるにつれて高くなり、「70歳以上」では25.8%と最も高い。
- ・居住地域別に見ると、「高岡地域」では『出かけたことがある』との回答が15.1%と最も低い。

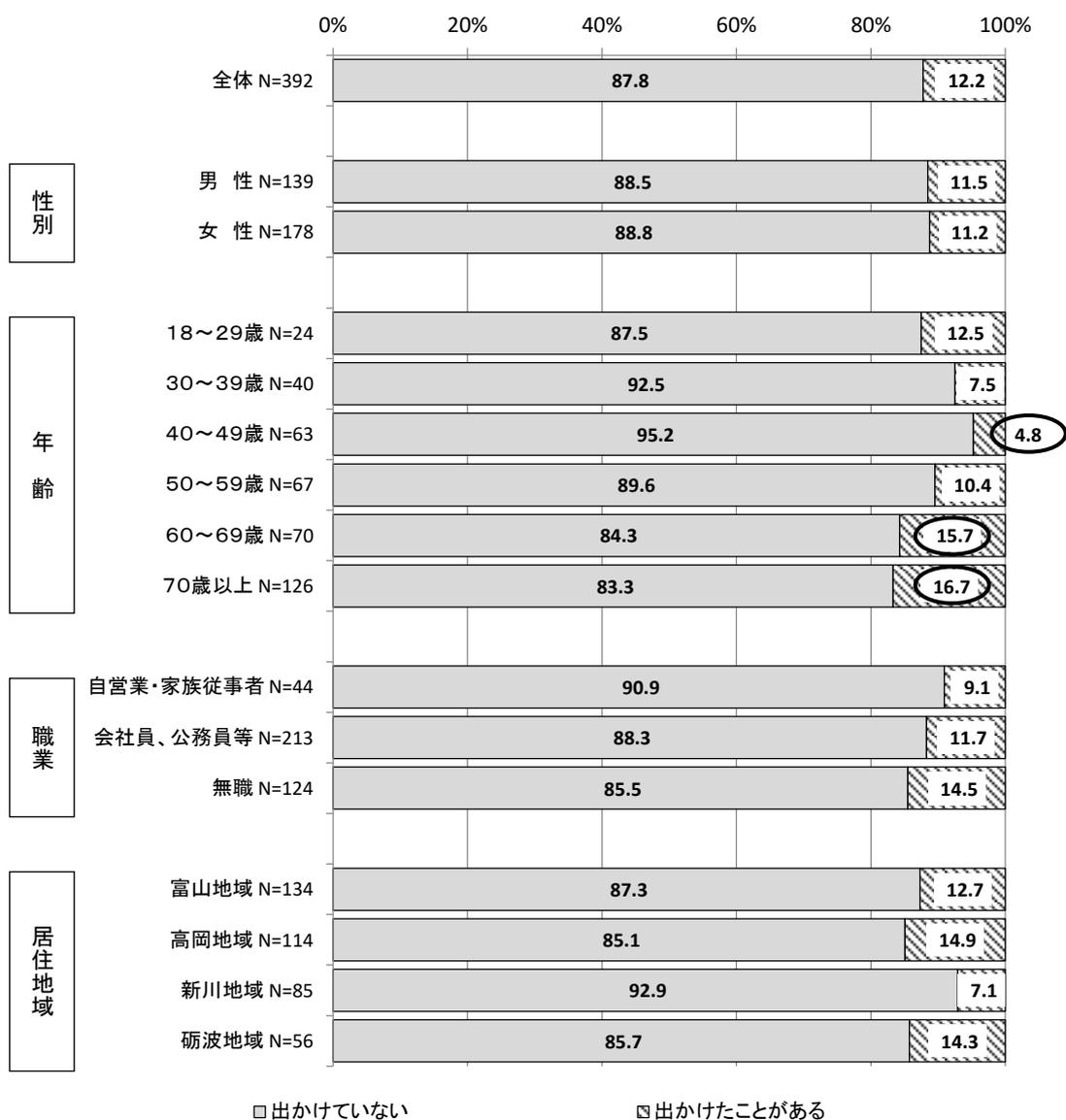


6) 文芸

- ・「文芸」の鑑賞に「出かけていない」との回答は 87.8%、『出かけたことがある』との回答は 12.2%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査とほぼ変わらず、0.5 ポイントとわずかに減少した。

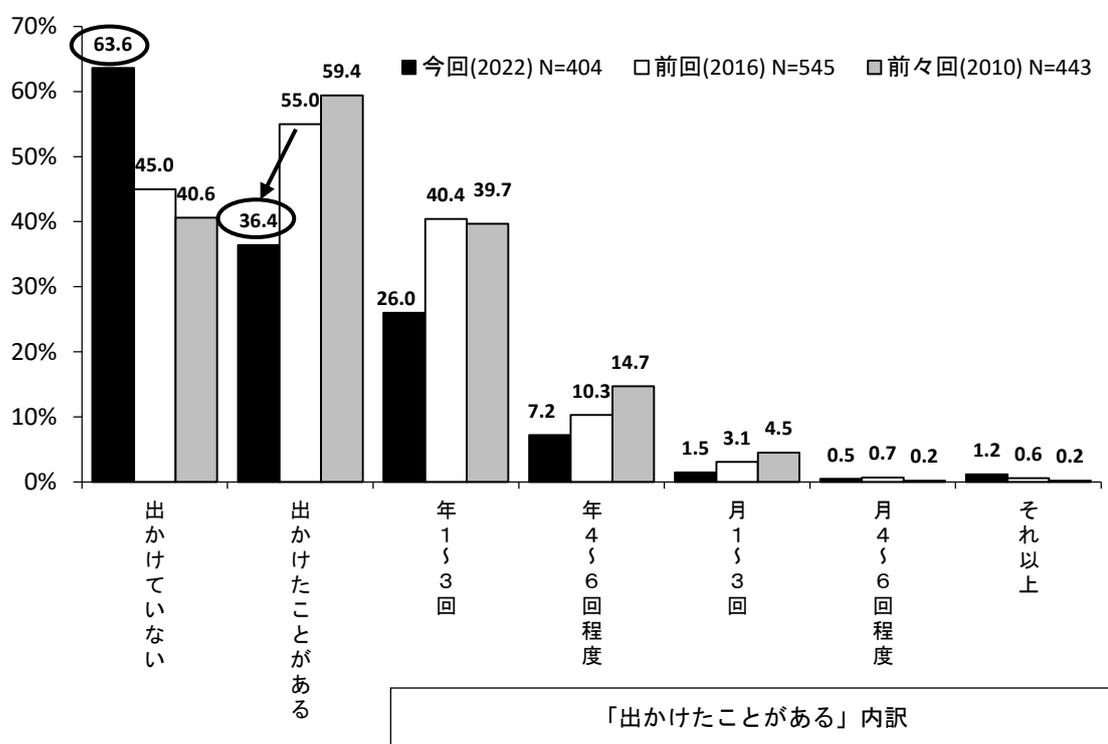


- ・年齢別に見ると、「40～49歳」で『出かけたことがある』との回答が4.8%と最も低い。
「60～69歳」では15.7%、「70歳以上」では16.7%となっている。

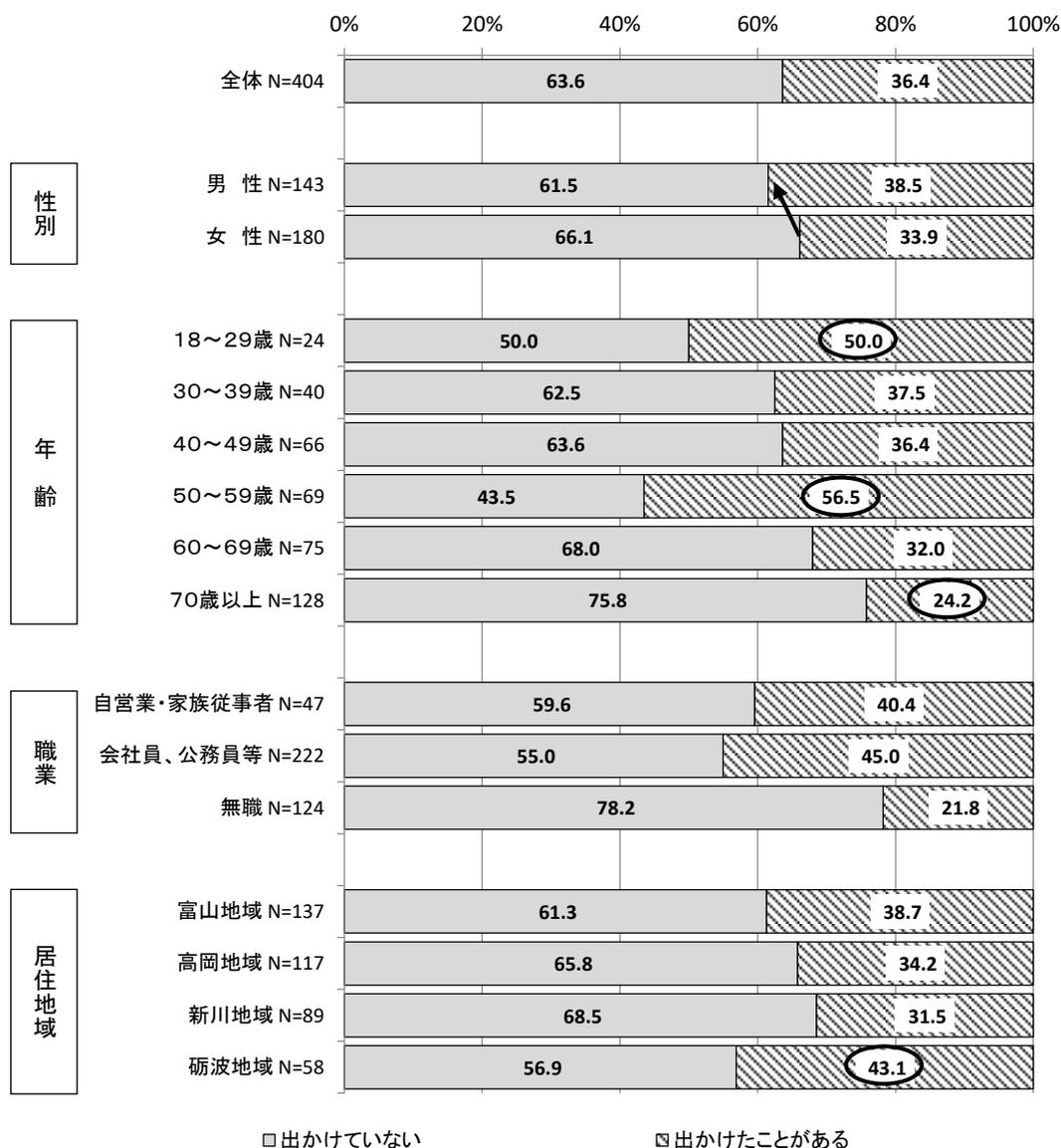


7) 映画(アニメーション除く)

- ・「映画(アニメーション除く)」の鑑賞に「出かけていない」との回答は 63.6%、『出かけたことがある』との回答は 36.4%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査に比べて 18.6 ポイント減少した。

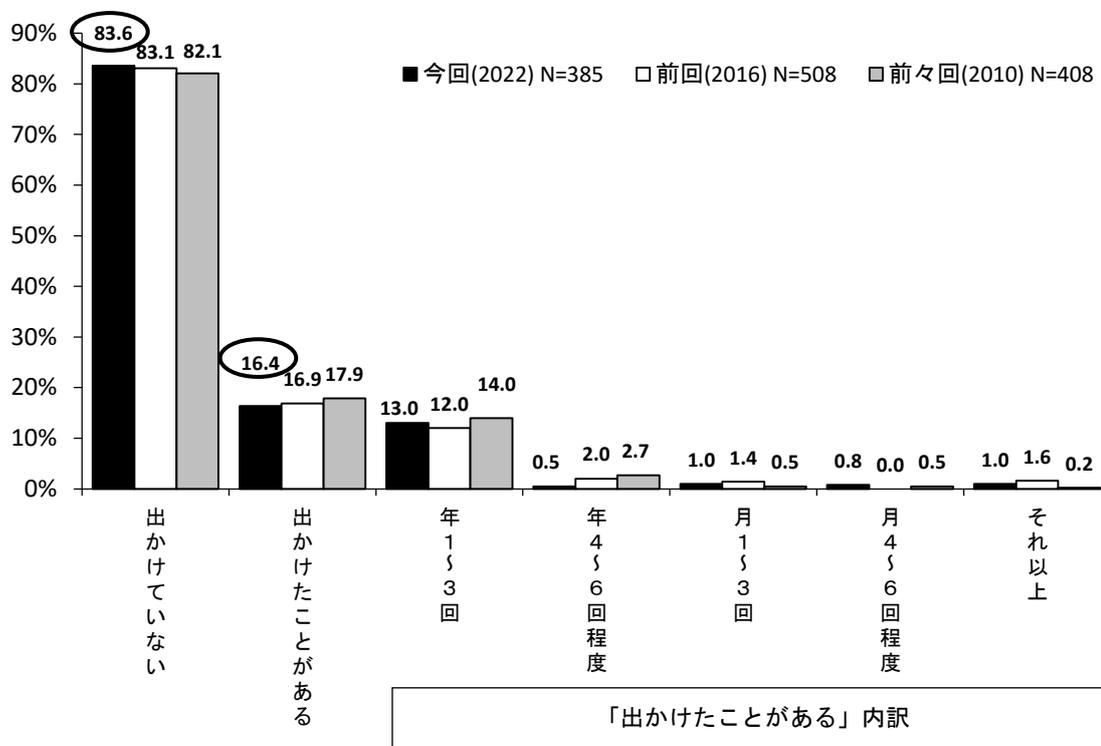


- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「男性」が「女性」に比べて 4.6 ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「50～59歳」で『出かけたことがある』との回答が 56.5%と最も高く、「18～29歳」が 50.0%で続く。一方で、「70歳以上」では 24.2%と他の年代よりも低くなっている。
- ・居住地別に見ると、「砺波地域」では『出かけたことがある』との回答が 43.1%と最も高くなっている。

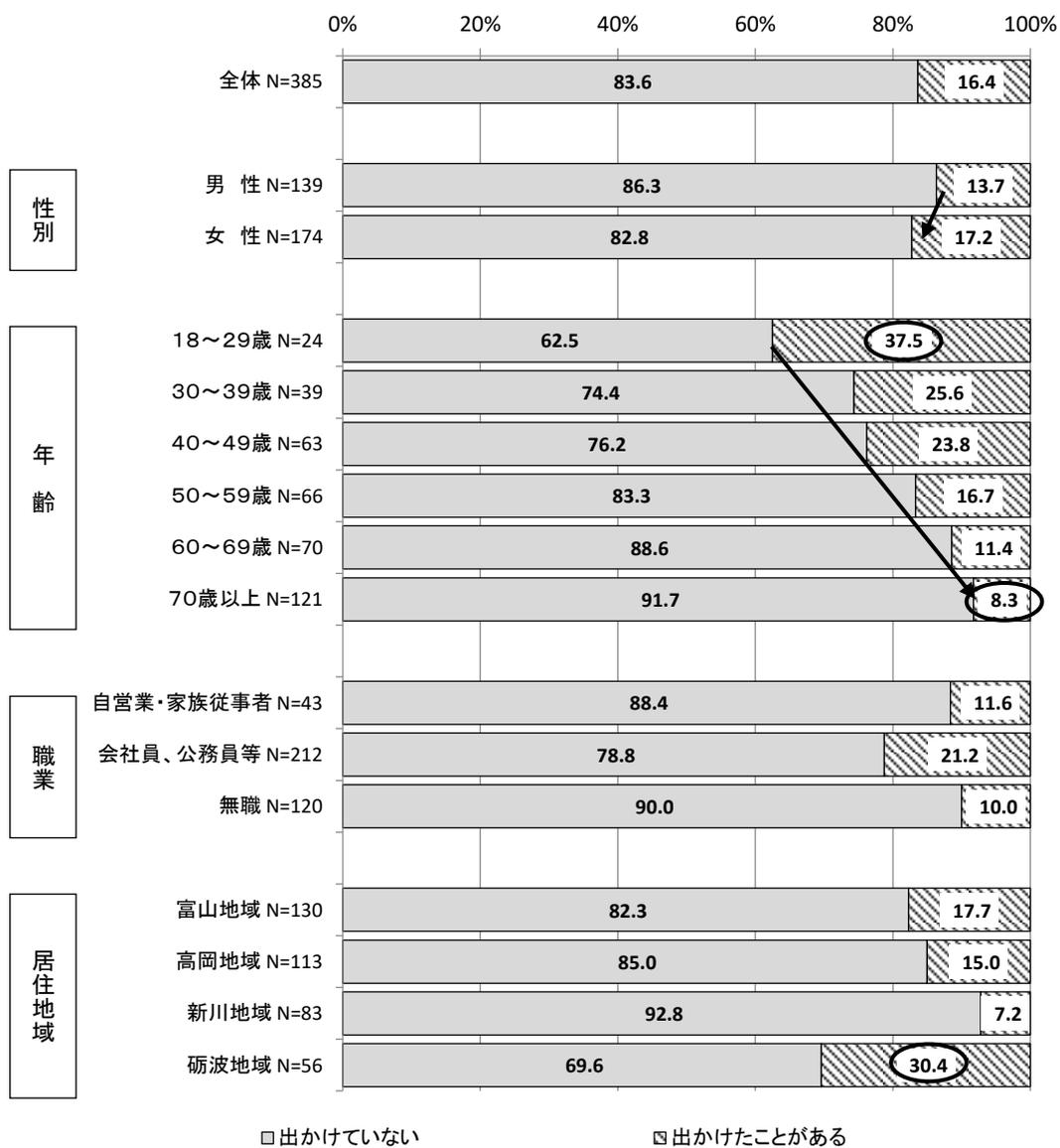


8) メディア芸術(アニメーション含む)

- ・「メディア芸術(アニメーション含む)」の鑑賞に「出かけていない」との回答は 83.6%、『出かけたことがある』との回答は 16.4%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査とほぼ変わらず、0.5 ポイントとわずかに減少した。

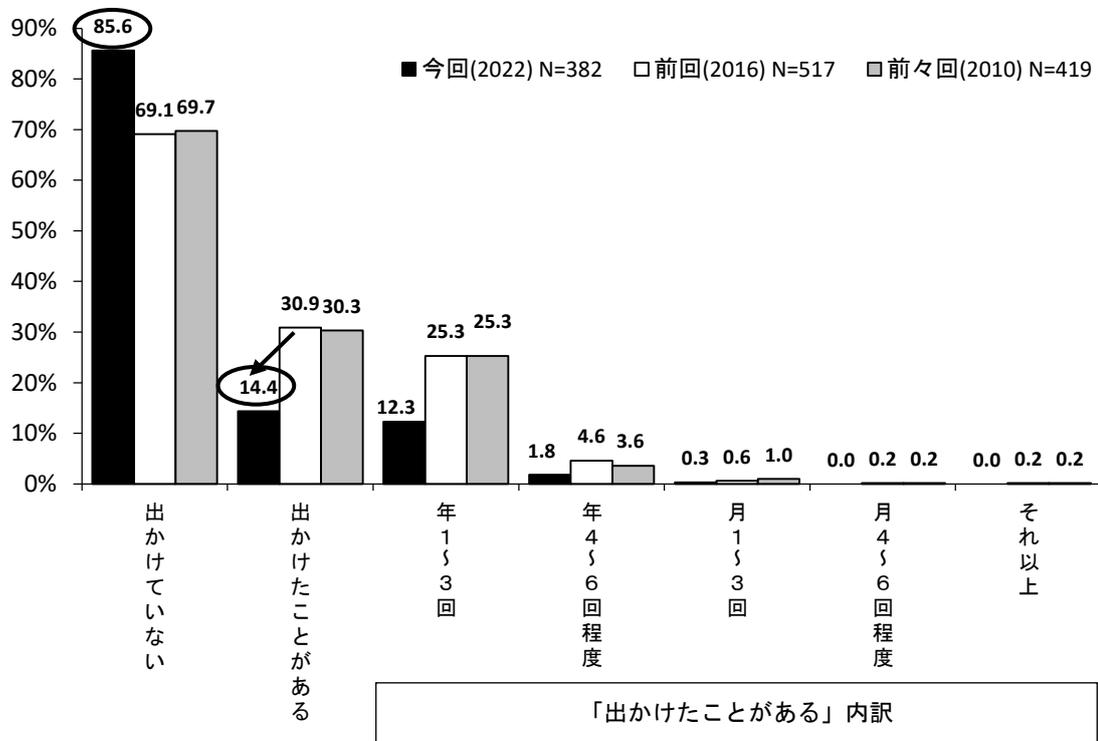


- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「女性」が「男性」に比べて3.5ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「18～29歳」で『出かけたことがある』との回答が37.5%と最も高く、年齢が高くなるにつれて減少し、「70歳以上」では8.3%と最も低くなっている。
- ・居住地域別に見ると、「砺波地域」では『出かけたことがある』との回答が30.4%と他の地域に比べて高くなっている。

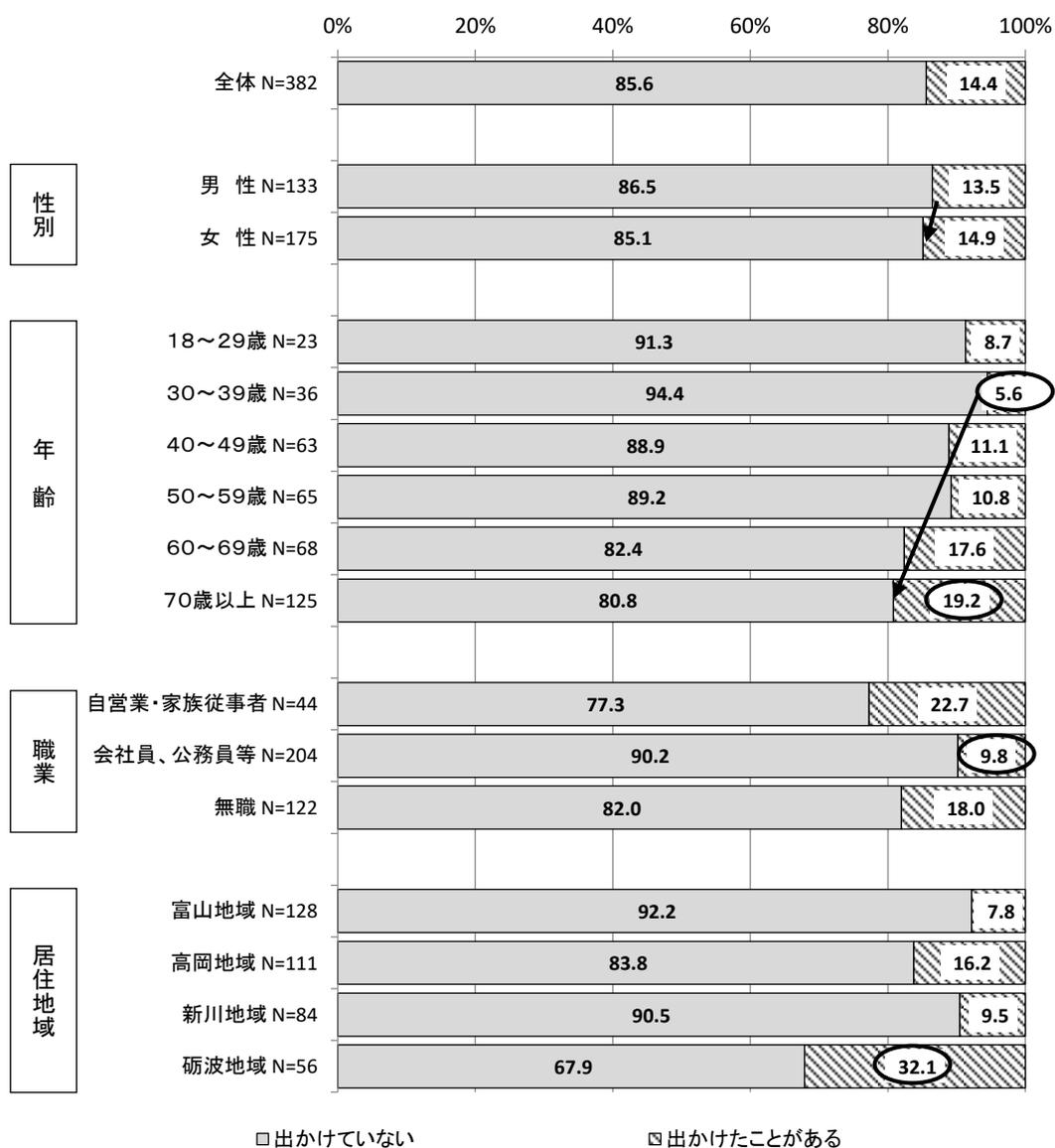


9) 伝統芸能

- ・「伝統芸能」の鑑賞に「出かけていない」との回答は 85.6%、『出かけたことがある』との回答は 14.4%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査に比べて 16.5 ポイント減少した。

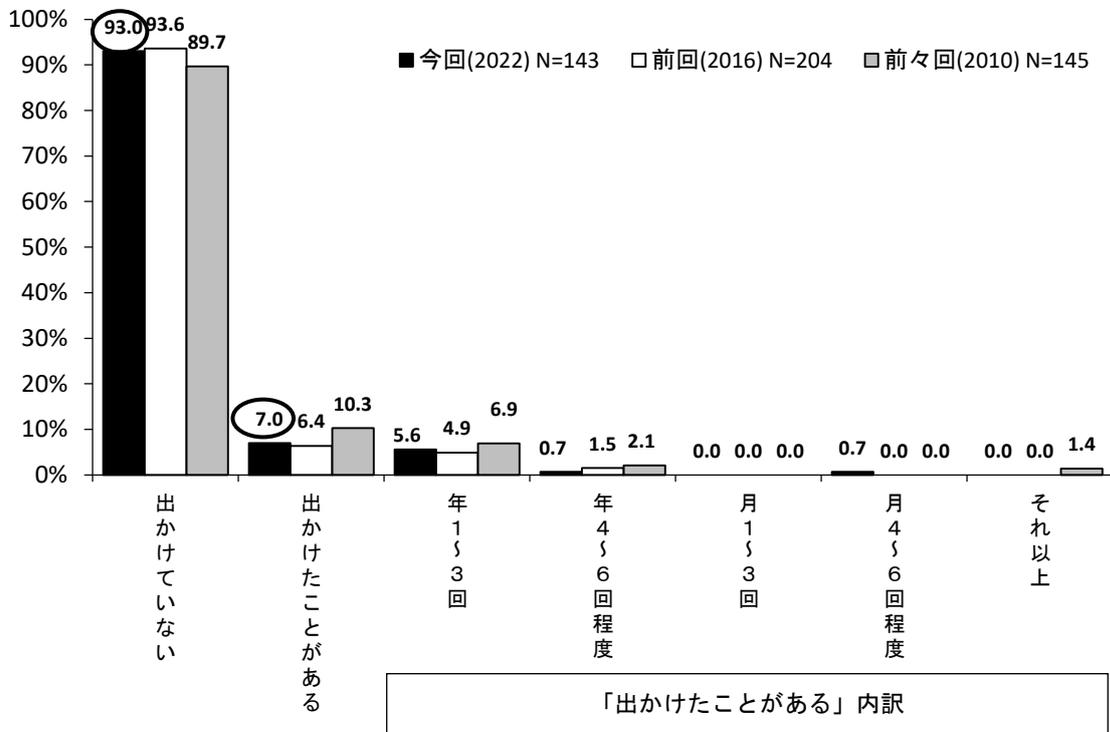


- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「女性」が「男性」に比べて 1.4 ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「30～39歳」で『出かけたことがある』との回答が 5.6%と最も低く、年齢が高くなるにつれて高くなり、「70歳以上」では 19.2%と最も高い。
- ・職業別に見ると「会社員、公務員等」が 9.8%と他の職業に比べて低くなっている。
- ・居住地別に見ると、「砺波地域」では『出かけたことがある』との回答が 32.1%と他の地域に比べて高くなっている

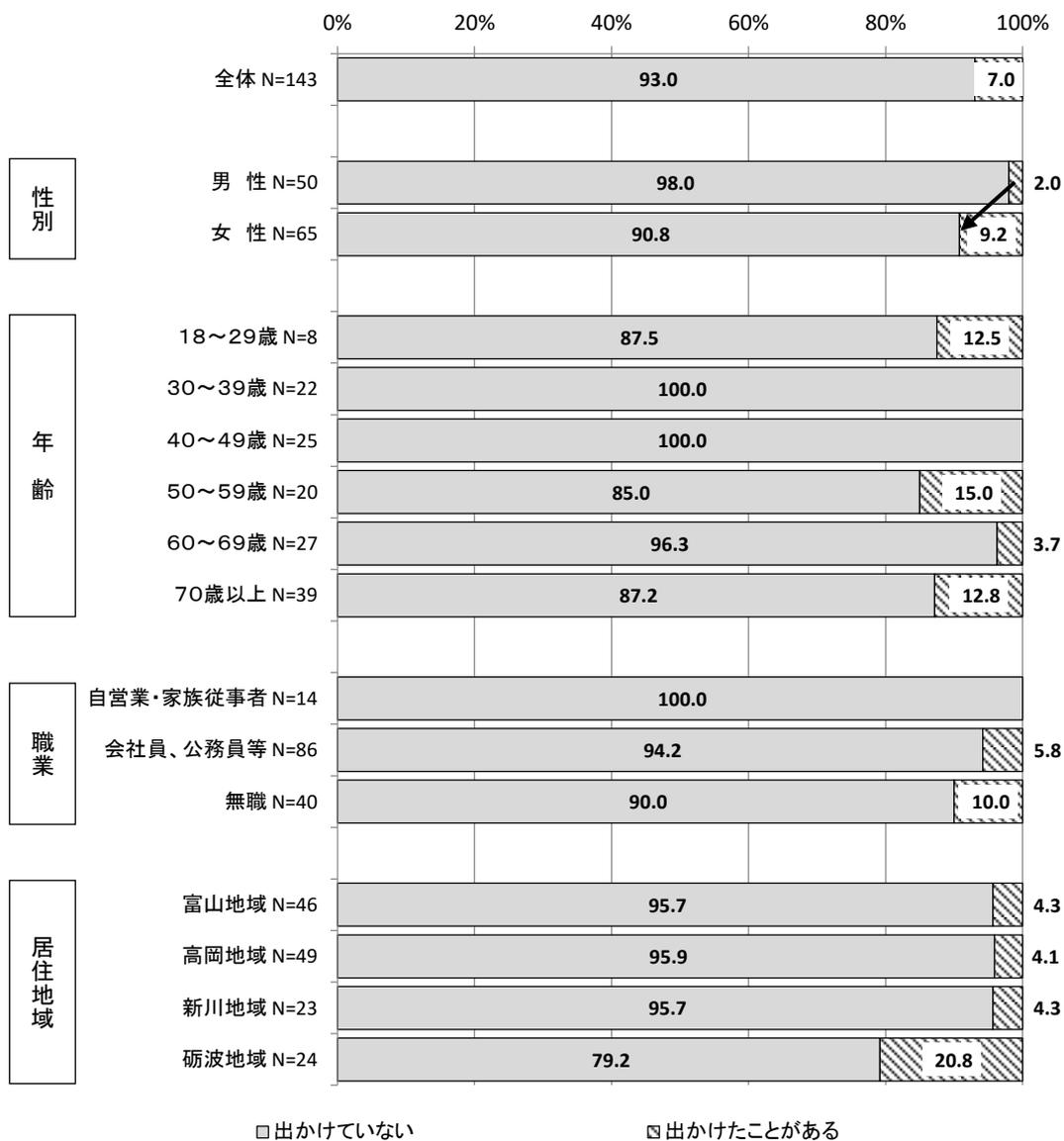


10) その他

- ・「その他」の分野の鑑賞に「出かけていない」との回答は93.0%、『出かけたことがある』との回答は7.0%である。『出かけたことがある』との回答は、前回調査に比べてわずかに増加した。その他の項目としては、「刀剣鑑賞」、「スポーツ観戦」などを挙げた回答者がいた。



・男女別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「女性」が「男性」に比べて7.2ポイント高い。



(2) 文化を鑑賞する上で支障となっていること

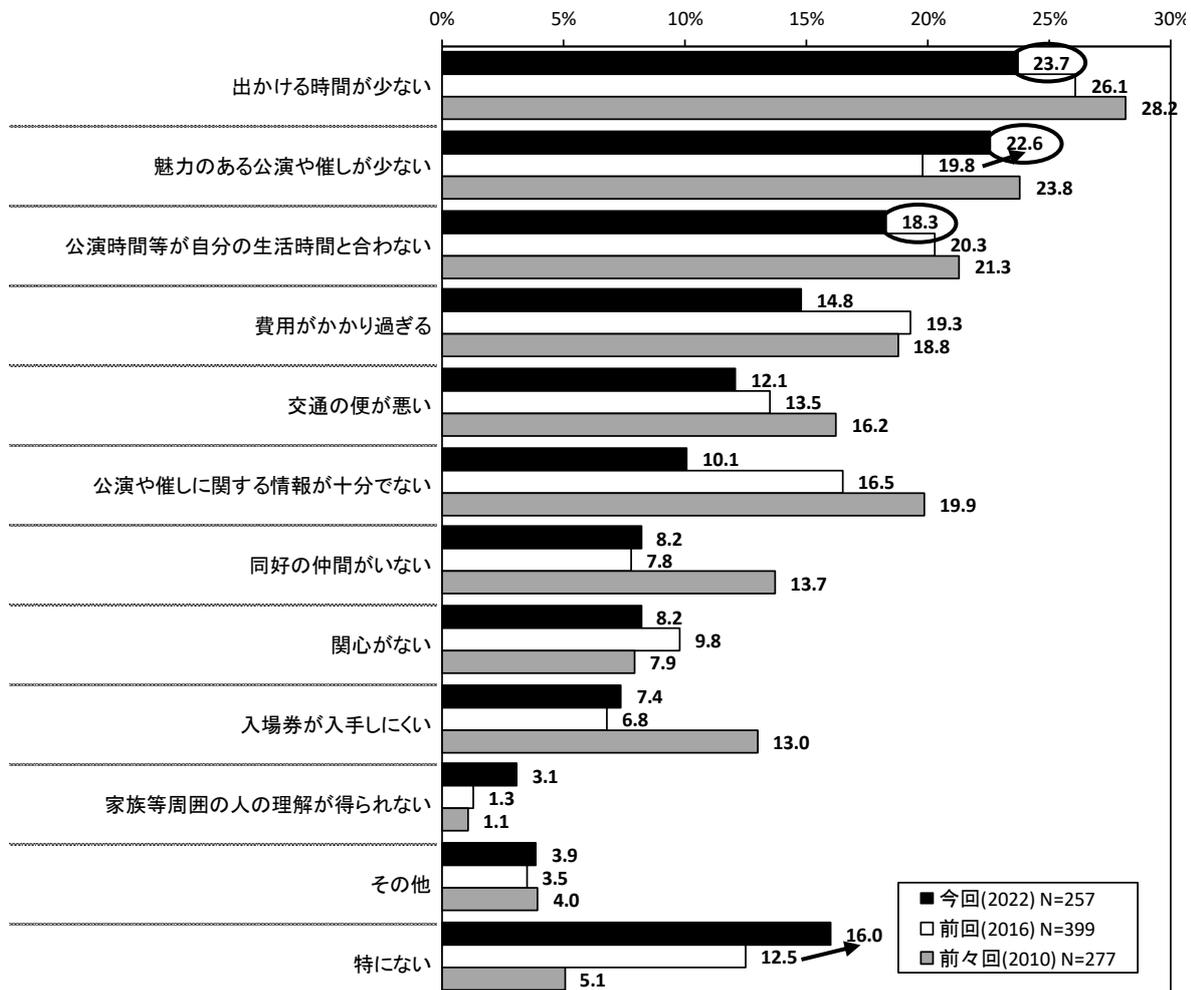
①文化を鑑賞する上で支障となっていること（新型コロナウイルス以外の理由）

問2 (1) 公演や展覧会など文化の鑑賞に出かけるうえで、新型コロナウイルス以外の理由で、支障となっていることは何ですか。また、出かけていない分野がある方はその理由は何ですか。

下の【表2】の中からそれぞれ2つまで選んで○をつけてください

1) 出かける上で支障となっていること

- ・公演や展覧会など文化の鑑賞に一度でも出かけた方に、新型コロナウイルス以外の理由で出かけるうえで支障となっていることを聞いたところ、「出かける時間が少ない」が23.7%で最も高く、「魅力ある公演や催しが少ない」が22.6%、「公演時間等が自分の生活時間と合わない」が18.3%と続く。
- ・前回調査に比べて、「特になし」との回答が3.5ポイント、「魅力のある公演や催しが少ない」が2.8ポイント増加している。
- ・一方、「公演や催しに関する情報が十分でない」が6.4ポイント、「費用がかかり過ぎる」は4.5ポイント、「出かける時間が少ない」は2.4ポイント、それぞれ減少した。
- ・その他としては、「健康上の理由」、「介護や子育て」などがあげられている。

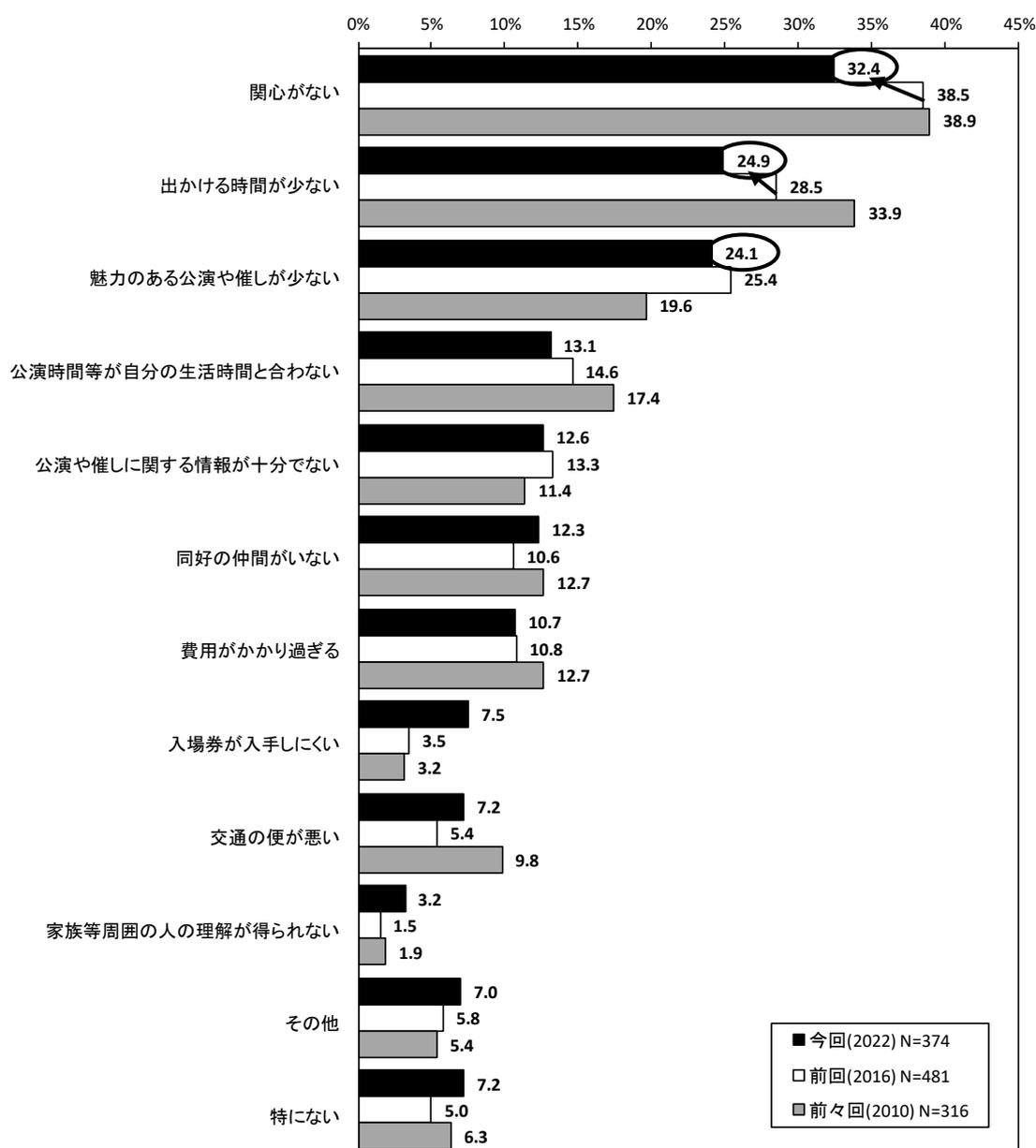


- ・男女別に見ると、「公演や催しに関する情報が十分でない」では 9.7 ポイント、「魅力ある講演や催しが少ない」では 9.1 ポイント、「男性」が「女性」を上回る。一方で、「交通の便が悪い」は 5.5 ポイント、「家族等周囲の人の理解が得られない」では 5.4 ポイント「女性」が「男性」を上回る。
- ・年齢別に見ると、「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」で「出かける時間が少ない」が3割を超える。

	回答者(人)	出かける時間が少ない	交通の便が悪い	同好の仲間がない	家族等周囲の人の理解が得られない	魅力のある公演や催しが少ない	公演や催しに関する情報が十分でない	費用がかかり過ぎ	入場券が入手しにくい	公演時間等と自分の生活時間とが合わない	関心がない	その他	特になし	
全体	257	23.7	12.1	8.2	3.1	22.6	10.1	14.8	7.4	18.3	8.2	3.9	16.0	
性別	男性	86	23.3	7.0	5.8	-	27.9	15.1	12.8	7.0	24.4	9.3	2.3	15.1
	女性	112	25.0	↓12.5	7.1	↓5.4	↑18.8	↑5.4	17.0	8.0	20.5	8.0	6.3	15.2
年齢	18～29歳	17	11.8	23.5	-	5.9	23.5	11.8	29.4	0.0	11.8	5.9	5.9	11.8
	30～39歳	26	34.6	15.4	11.5	3.8	15.4	3.8	19.2	3.8	19.2	0.0	7.7	19.2
	40～49歳	39	30.8	10.3	2.6	-	17.9	5.1	33.3	2.6	30.8	7.7	2.6	20.5
	50～59歳	48	37.5	-	6.3	8.3	18.8	4.2	10.4	8.3	22.9	14.6	-	14.6
	60～69歳	51	17.6	11.8	5.9	2.0	33.3	17.6	13.7	9.8	21.6	3.9	5.9	9.8
	70歳以上	74	14.9	16.2	14.9	1.4	21.6	13.5	4.1	10.8	8.1	10.8	4.1	18.9
職業	自営業・家族従事者	37	45.9	8.1	10.8	2.7	21.6	5.4	13.5	5.4	18.9	10.8	-	16.2
	会社員、公務員等	145	24.1	7.6	7.6	3.4	22.1	9.7	19.3	7.6	22.8	6.9	2.8	13.8
	無職	71	11.3	23.9	8.5	2.8	23.9	14.1	7.0	7.0	9.9	9.9	7.0	21.1
居住地	富山地域	81	24.7	11.1	4.9	2.5	22.2	11.1	16.0	6.2	19.8	4.9	3.7	22.2
	高岡地域	76	25.0	10.5	7.9	3.9	27.6	13.2	17.1	7.9	18.4	6.6	5.3	7.9
	新川地域	53	18.9	17.0	9.4	3.8	24.5	9.4	9.4	5.7	20.8	11.3	5.7	11.3
	砺波地域	45	24.4	8.9	13.3	2.2	13.3	4.4	15.6	11.1	11.1	13.3	-	24.4

2) 出かけていない理由

- ・一度も出かけていない方に、出かけていない理由を聞いたところ、「関心がない」が32.4%で最も高く、「出かける時間が少ない」が24.9%、「魅力のある公演や催しが少ない」が24.1%と続く。
- ・前回調査に比べて、「関心がない」との回答が6.1ポイント、「出かける時間が少ない」が3.6ポイント減少した。
- ・その他としては、「健康上の理由」、「介護や子育て」などがあげられている。
- ・選択肢が異なるものの、令和3年度全国調査では、コロナの影響を除くと「関心が無い」が22.8%で最も高く、次いで「近所で公演や展覧会などが行われていない」が16.3%となっている。本調査で24.9%と2番目に高かった「出かける時間が少ない」は、「仕事・学業などで時間がなかなか取れない」が3.4%、「育児・介護などで時間がなかなか取れない」が2.6%などと高い値ではない。



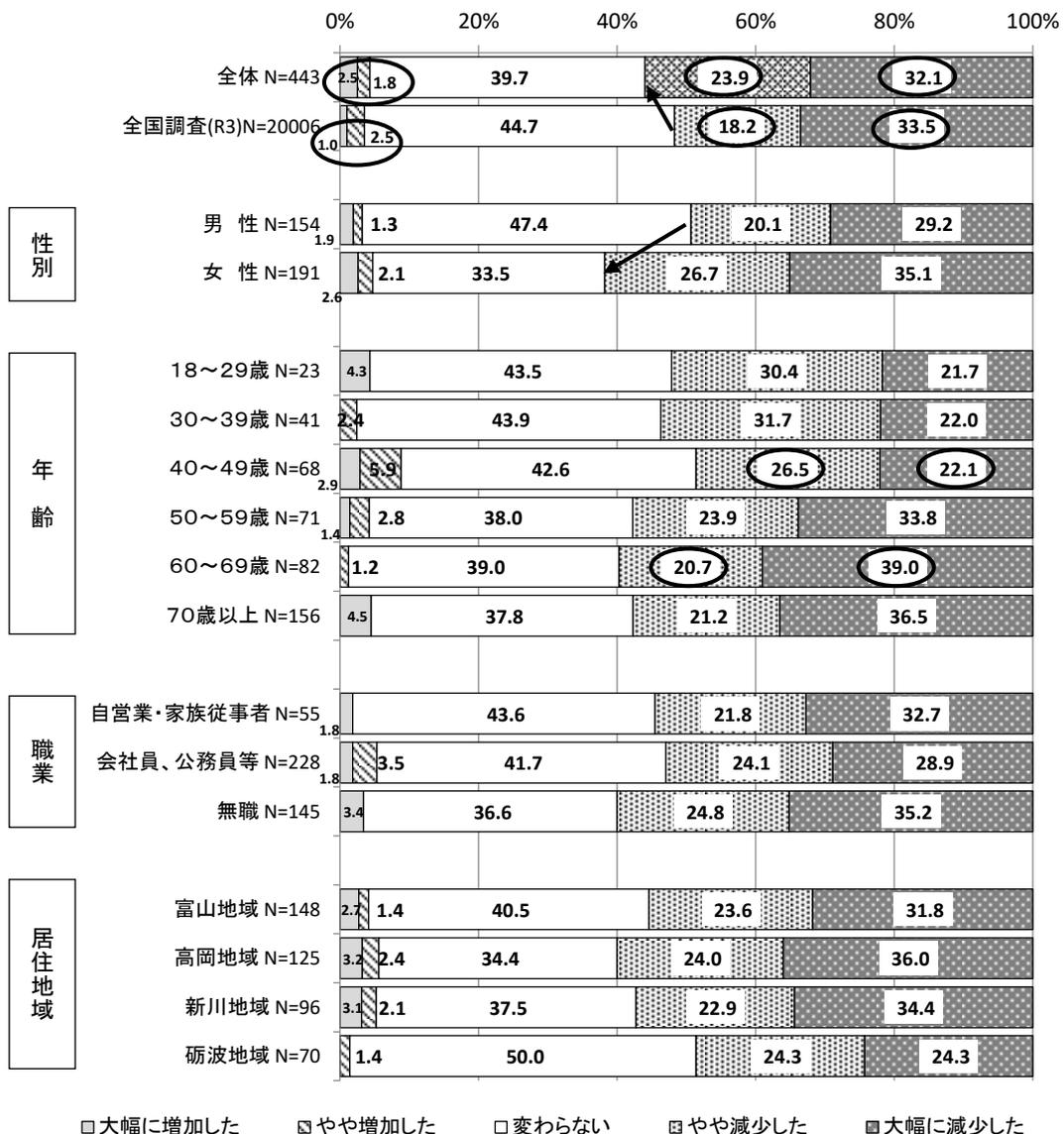
- ・男女別に見ると、「魅力のある公演や催しが少ない」や「公演や催しに関する情報が十分でない」で「男性」が「女性」をそれぞれ約5ポイント上回る。一方で、「同好の仲間がいない」、「費用がかかり過ぎる」、「交通の便が悪い」では、それぞれ約4ポイント「女性」が「男性」を上回る。
- ・年齢別に見ると、「18～29歳」で「関心がない」が50.0%と、他の年代に比べて高くなっている。

	回答者（人）	い出かける時間が少ない	交通の便が悪い	同好の仲間がいない	家族等周囲の人の理解が得られない	魅力のある公演や催しが少ない	公演や催しに関する情報が十分でない	費用がかかり過ぎる	入場券が入手しにくい	公演時間と生活時間等が合わない	関心がない	その他	特にない	
全体	374	24.9	7.2	12.3	3.2	24.1	12.6	10.7	7.5	13.1	32.4	7.0	7.2	
性別	男性	134	25.4	↓5.2	↓9.7	1.5	↑29.1	↑14.2	↓7.5	8.2	16.4	32.8	8.2	5.2
	女性	173	24.3	↓9.2	↓13.9	4.6	↑23.7	↑9.2	↓11.6	6.9	12.7	28.9	6.4	9.2
年齢	18～29歳	24	16.7	12.5	8.3	-	25.0	12.5	12.5	4.2	4.2	50.0	8.3	4.2
	30～39歳	39	35.9	2.6	10.3	2.6	25.6	10.3	5.1	7.7	30.8	35.9	12.8	2.6
	40～49歳	62	32.3	6.5	9.7	1.6	21.0	14.5	12.9	11.3	16.1	40.3	4.8	4.8
	50～59歳	64	34.4	1.6	9.4	7.8	28.1	10.9	12.5	6.3	9.4	32.8	3.1	6.3
	60～69歳	69	26.1	4.3	7.2	1.4	30.4	11.6	11.6	8.7	13.0	24.6	4.3	10.1
	70歳以上	114	13.2	13.2	20.2	3.5	18.4	14.0	8.8	6.1	9.6	28.1	9.6	9.6
職業	自営業・家族従事者	41	39.0	2.4	9.8	4.9	22.0	7.3	7.3	4.9	17.1	31.7	4.9	9.8
	会社員、公務員等	207	30.0	3.4	11.1	2.9	29.0	14.0	12.1	8.2	14.5	35.3	4.8	3.9
	無職	117	12.0	14.5	13.7	2.6	17.9	12.8	9.4	7.7	10.3	29.1	10.3	12.0
居住地域	富山地域	124	30.6	5.6	10.5	4.0	25.0	10.5	10.5	7.3	14.5	31.5	6.5	5.6
	高岡地域	113	27.4	9.7	14.2	2.7	23.9	20.4	12.4	7.1	12.4	26.5	6.2	8.0
	新川地域	85	11.8	5.9	11.8	1.2	22.4	5.9	5.9	9.4	14.1	40.0	10.6	7.1
	砺波地域	49	26.5	8.2	14.3	4.1	26.5	12.2	14.3	6.1	10.2	34.7	4.1	10.2

②新型コロナの影響による鑑賞頻度の変化

問2 (2) コロナ前と比べて、あなたが、この1年間に公演や展覧会などを直接鑑賞する機会はどのように変化しましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- ・「大幅に増加した」が 2.5%、「やや増加した」が 1.8%であり、『増加した(「大幅に増加した」+「やや増加した」)』は 4.3%であった。
- ・一方、「変わらない」は 39.7%、また「やや減少した」は 23.9%、「大幅に減少した」が 32.1%であり『減少した(「やや減少した」+「大幅に減少した」)』は 56.0%となった。
- ・令和3年度全国調査では、『増加した』が 3.5%、『減少した』が 51.7%と、『減少した』は本調査は全国調査を 4.3ポイント上回る。
- ・『減少した』との回答は5割を超え、『増加した』との回答を大幅に上回る
- ・男女別に見ると、『減少した』との回答は、「女性」が「男性」を 12.5ポイント上回る。
- ・年齢別に見ると、『減少した』との回答は、「60～69歳」で 59.7%と最も高く、「40～49歳」で 48.6%と最も低くなっている。

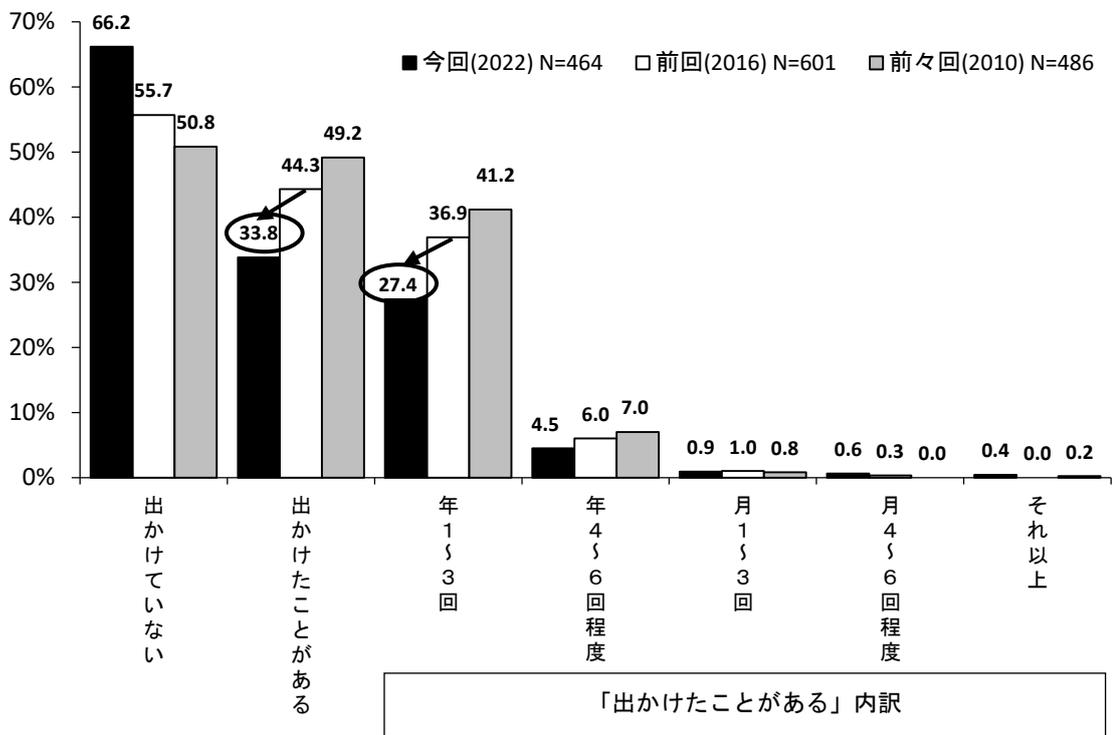


(3) 美術館・博物館について

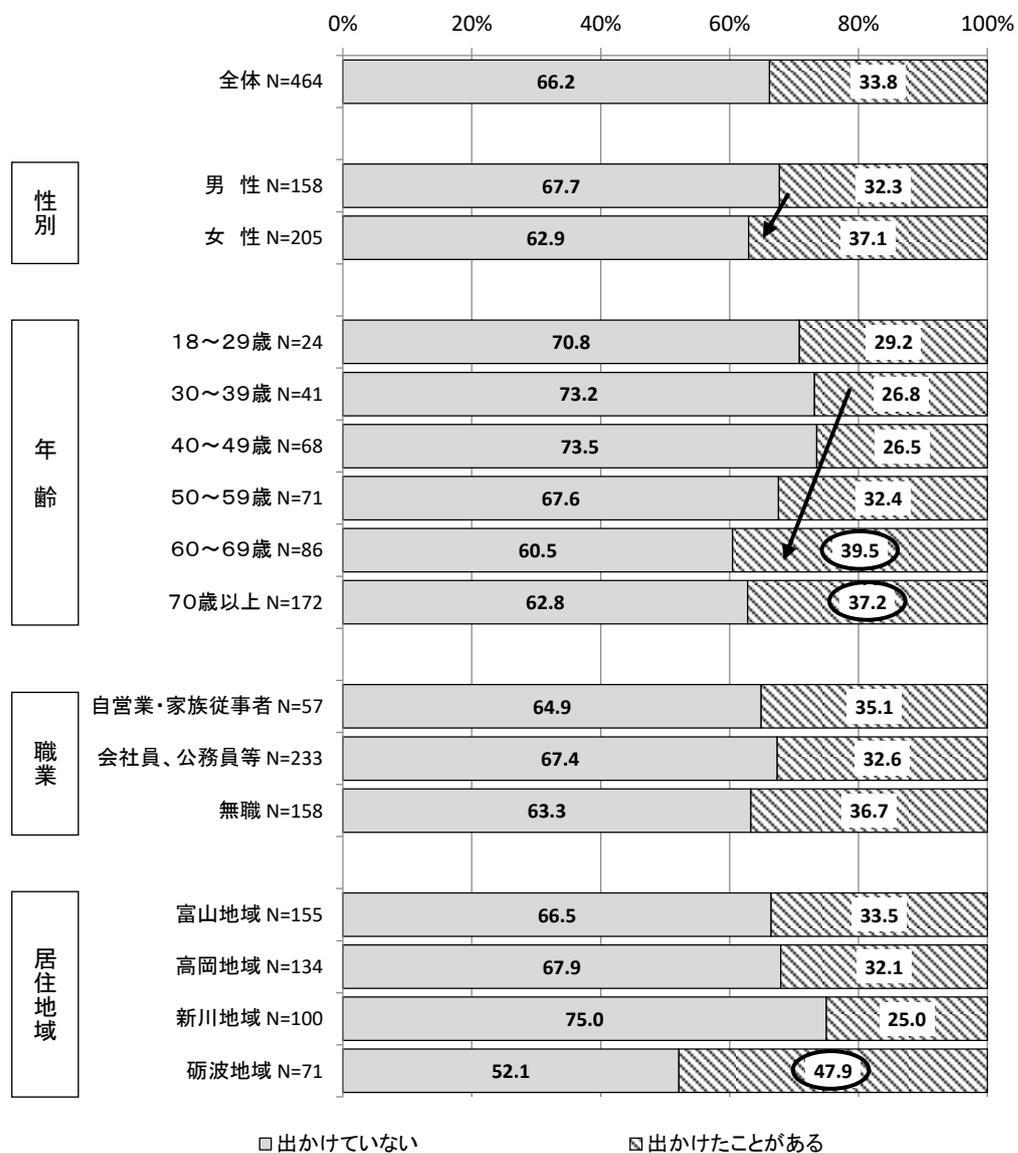
① 県内の美術館・博物館への訪問頻度

問3 (1) あなたは、この1年間に県内の美術館、博物館等へ何回くらい出かけましたか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

- ・この1年間に県内の美術館、博物館等へ『出かけたことがある(出かけたことがあるとの回答の合計)』と回答したのは33.8%となり、前回調査を10.5ポイント下回った。
- ・出かけたことがあるの内訳を見ると、「月1～3回程度」は27.4%であり最も高くなっているが、前回調査に比べて9.5ポイント低い。



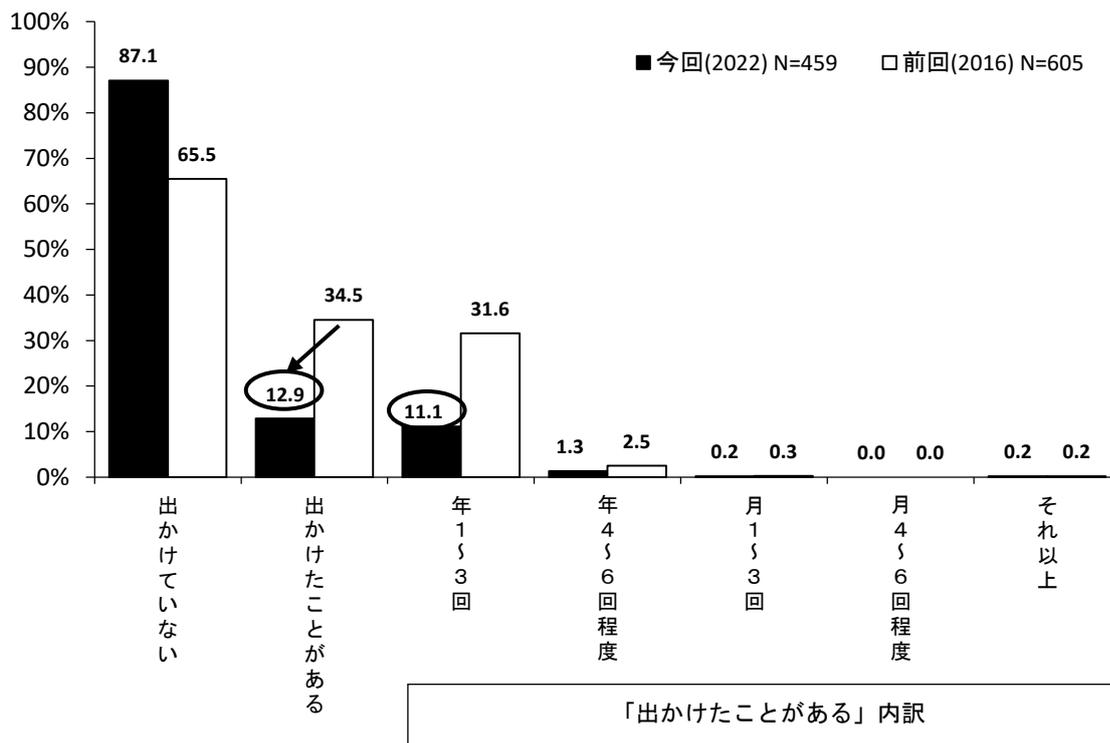
- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』は「男性」は「女性」を4.8ポイント下回る。
- ・年齢別に見ると、『出かけたことがある』は「60～69歳」で39.5%、「70歳以上」で37.2%など、年齢が上がると高い傾向がある。
- ・居住地別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「砺波地域」で47.9%と他の地域に比べて高くなっている。



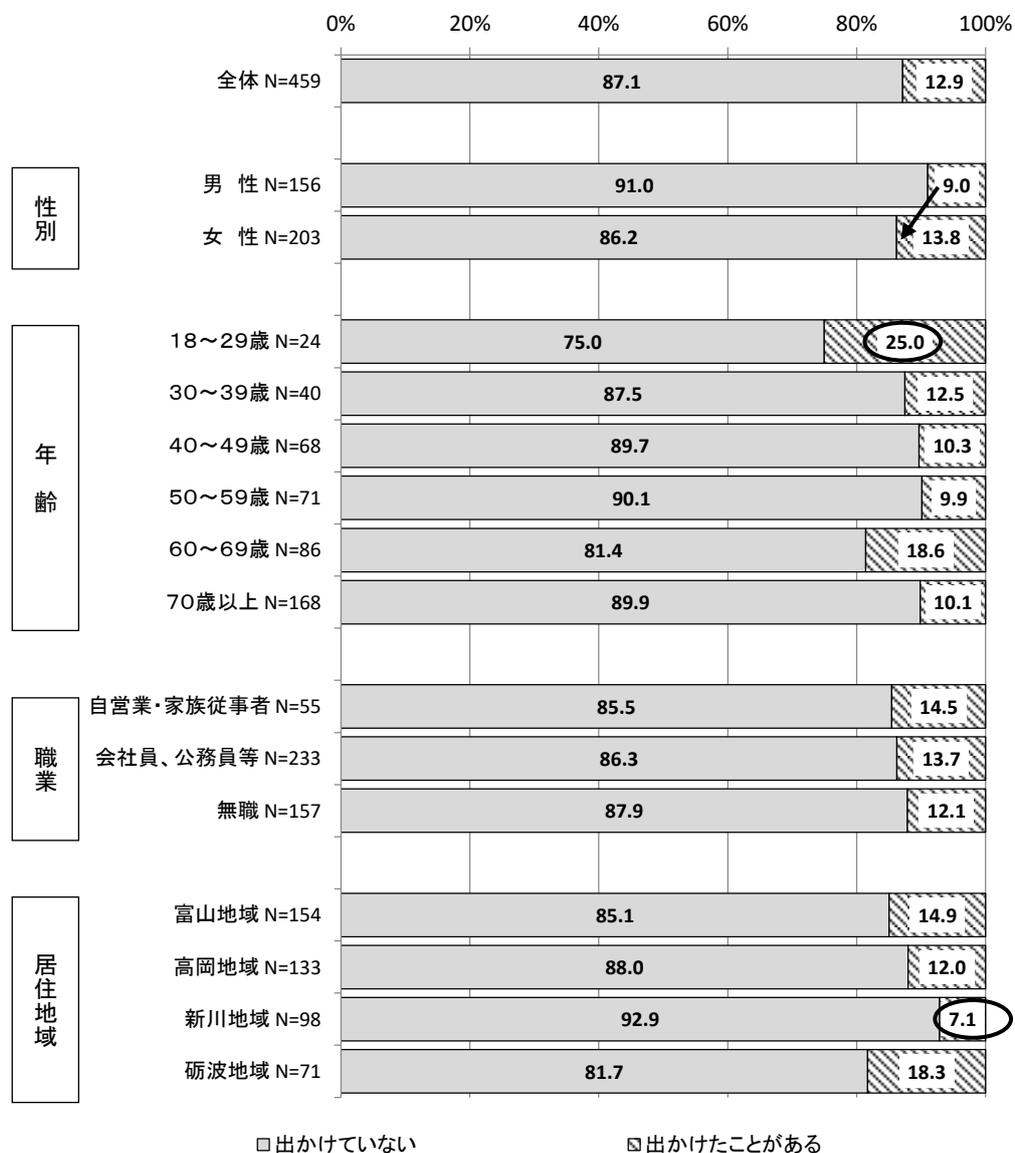
②県外の美術館・博物館への訪問頻度

問3 (2) あなたは、この1年間に県外の美術館、博物館等へ何回くらい出かけましたか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

- ・この1年間に県外の美術館、博物館等へ『出かけたことがある』と回答したのは12.9%であり、前回調査に比べて21.6ポイントと大きく減少した。
- ・『出かけたことがある』との回答の中では「年1～3回」が最も高く11.1%である。



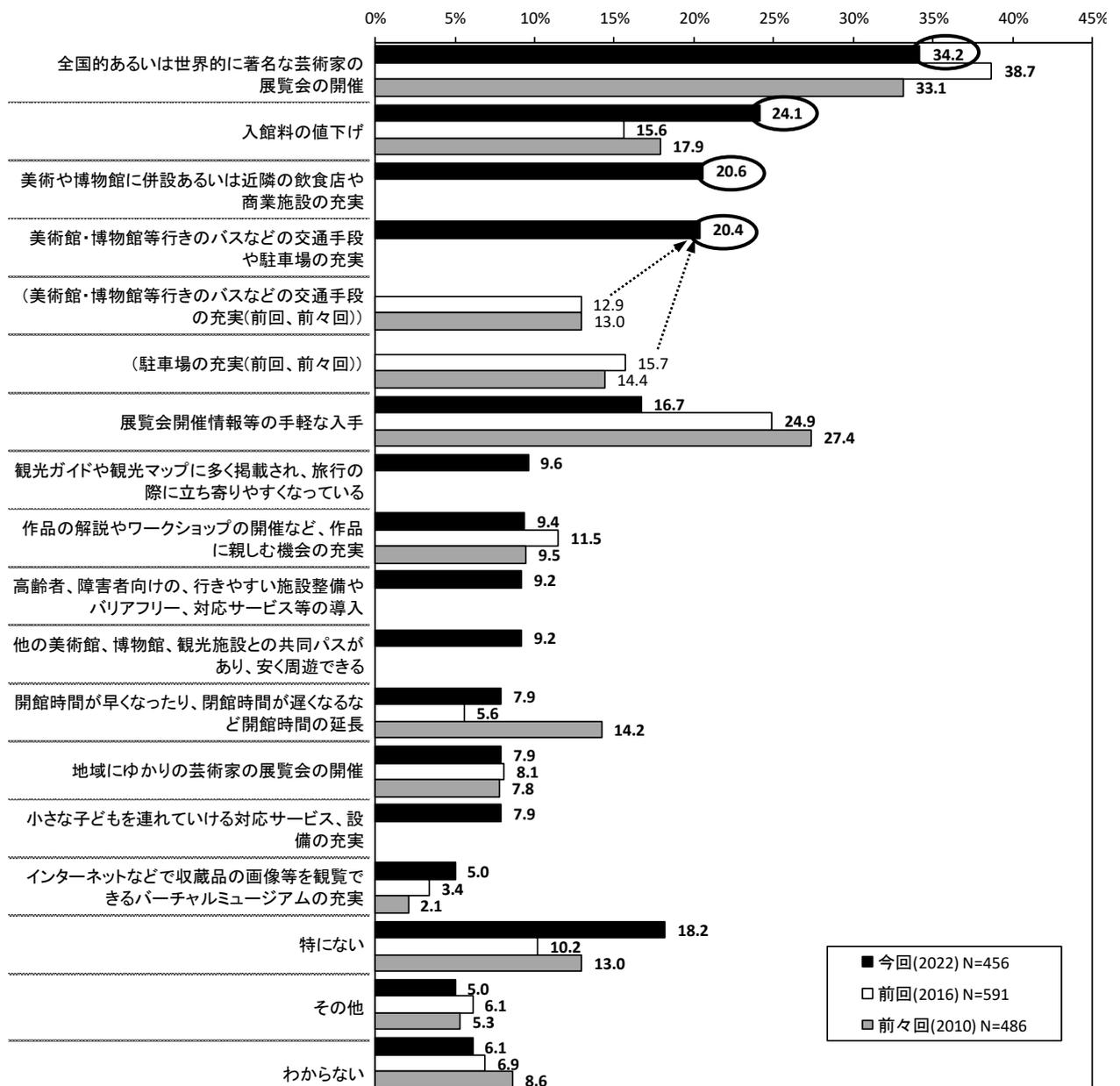
- ・男女別に見ると、『出かけたことがある』は「男性」は「女性」を4.8ポイント下回る。
- ・年齢別に見ると、『出かけたことがある』は「18～29歳」で25.0%と最も高い。
- ・居住地別に見ると、『出かけたことがある』との回答は、「新川地域」で7.1%と他の地域に比べて低くなっている。



③美術館・博物館へ出かけやすくするための方策

問3 (3) あなたは、どうなれば美術館・博物館等にもっと行きたいと思いますか。
次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- ・どうなれば美術館・博物館等にもっと行きたいと思うか尋ねたところ、「全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会の開催」が34.2%と最も高く、「入館料の値下げ」が24.1%、「美術や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設の充実」20.6%、「美術館・博物館等行きバスなどの交通手段や駐車場の充実」が20.4%と続く。
- ・令和2年度全国調査では、「入場料が安くなる」39.4%、「住んでいる地域やその近くに美術館・博物館ができる(増える)」32.8%、「美術館や博物館へ行くための交通の利便が良くなる」21.4%などとなっている。



- ・年齢別に見ると、「全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会の開催」は「40～49歳」で47.1%である一方、「70歳以上」では23.2%、「60～69歳」では33.7%などと低い。「美術や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設の充実」は「18～29歳」で45.8%と、他の年齢に比べて高くなっている。「美術館・博物館等行ききのバスなどの交通手段や駐車場の充実」は「70歳以上」が29.8%と高い。
- ・また、「小さな子どもを連れていける対応サービス、設備の充実」は「30～39歳」で34.1%と他の年齢よりも20ポイント以上高くなっている。

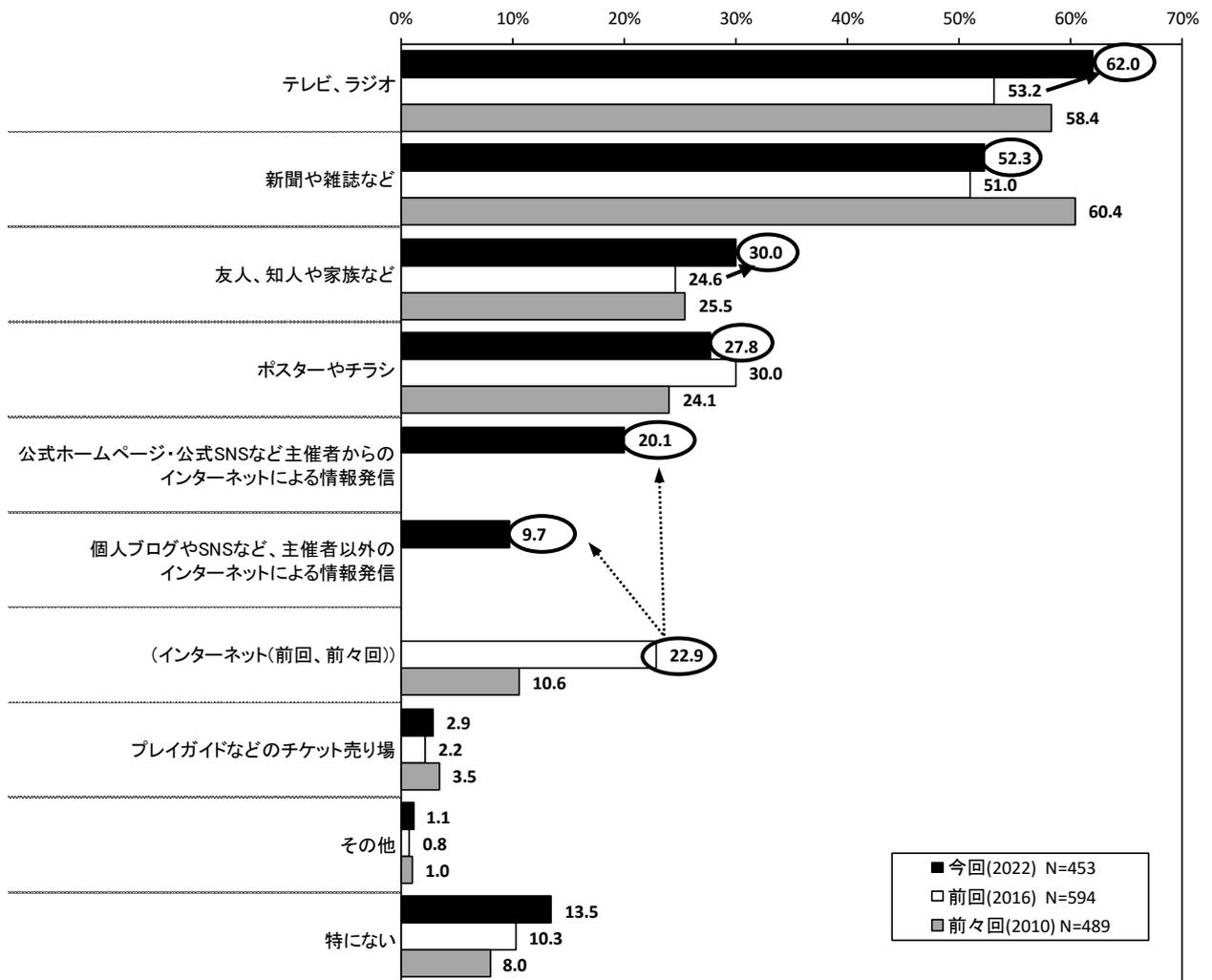
	回答者（人）	美術館・博物館等行ききのバスなどの交通手段や駐車場の充実	開館時間が早くなったり、閉館時間が遅くなるなど開館時間の延長	全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会の開催	地域にゆかりの芸術家の展覧会の開催	展覧会開催情報等の手軽な入手	作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会の充実	インターネットなどで収蔵品の画像等を閲覧できるバーチャルミュージアムの充実	高齢者、障害者向けの、行きやすい施設整備やバリアフリー、対応サービス等の導入	小さな子どもを連れていける対応サービス、設備の充実	入館料の値下げ	美術や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設の充実	観光ガイドや観光マップに多く掲載され、旅行の際に立ち寄りやすくなっている	他の美術館、博物館、観光施設との共同バスがあり、安く周遊できる	特になし	その他	わからない
全体	456	20.4	7.9	34.2	7.9	16.7	9.4	5.0	9.2	7.9	24.1	20.6	9.6	9.2	18.2	5.0	6.1
性別																	
男性	152	19.7	9.2	37.5	9.2	17.8	9.2	7.2	5.9	7.9	19.7	22.4	9.2	5.9	21.1	5.3	7.9
女性	203	22.7	6.9	34.0	7.4	13.8	11.3	2.5	9.9	9.4	28.6	21.7	9.9	11.8	15.8	4.4	3.4
年齢																	
18～29歳	24	8.3	-	41.7	8.3	12.5	8.3	16.7	4.2	12.5	33.3	45.8	-	8.3	12.5	12.5	4.2
30～39歳	41	12.2	2.4	41.5	2.4	7.3	17.1	12.2	7.3	34.1	24.4	14.6	7.3	14.6	17.1	4.9	2.4
40～49歳	68	19.1	10.3	47.1	2.9	17.6	17.6	4.4	1.5	13.2	33.8	19.1	10.3	8.8	14.7	4.4	2.9
50～59歳	70	11.4	15.7	41.4	5.7	10.0	8.6	10.0	2.9	2.9	24.3	18.6	15.7	12.9	20.0	5.7	4.3
60～69歳	83	18.1	13.3	33.7	9.6	16.9	2.4	1.2	6.0	4.8	24.1	25.3	9.6	4.8	14.5	9.6	7.2
70歳以上	168	29.8	3.6	23.2	11.3	22.0	8.3	1.8	17.9	2.4	18.5	17.9	8.9	8.9	22.0	1.8	8.9
職業																	
自営業・家族従事者	56	5.4	14.3	41.1	5.4	14.3	8.9	7.1	5.4	8.9	14.3	21.4	8.9	8.9	26.8	5.4	10.7
会社員、公務員等	229	17.9	9.6	42.4	7.0	16.6	10.0	6.6	4.4	10.0	27.1	23.6	9.2	10.0	14.4	6.6	3.9
無職	157	28.0	3.2	22.3	9.6	18.5	9.6	2.5	17.2	4.5	22.9	16.6	10.2	8.3	21.0	3.2	7.0
居住地																	
富山地域	152	22.4	8.6	38.8	6.6	15.1	9.9	5.3	11.8	5.3	21.7	20.4	7.2	8.6	16.4	4.6	6.6
高岡地域	134	24.6	7.5	30.6	7.5	23.1	8.2	4.5	6.7	9.0	23.9	19.4	8.2	10.4	17.2	4.5	8.2
新川地域	98	13.3	9.2	28.6	8.2	13.3	12.2	3.1	10.2	4.1	27.6	23.5	9.2	8.2	27.6	6.1	3.1
砺波地域	69	18.8	5.8	40.6	10.1	13.0	7.2	8.7	7.2	15.9	24.6	18.8	18.8	10.1	11.6	5.8	5.8

(4) 文化鑑賞情報の入手先

問4 公演や展覧会など、文化の鑑賞に出かけるにあたり、その情報をどこから入手していますか。

次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

- ・情報の入手先について尋ねたところ、「テレビ、ラジオ」が62.0%で最も高く、「新聞や雑誌など」が52.3%で続く。「友人、知人や家族など」は30.0%、「ポスターやチラシ」は27.8%である。
- ・前回調査に比べて、「テレビ、ラジオ」が8.8ポイント、「友人、知人や家族など」が5.4ポイント上昇している。
- ・「公式ホームページ・公式SNSなど主催者からのインターネットによる情報発信」は20.1%、「個人ブログやSNSなど、主催者以外のインターネットによる情報発信」は9.7%であった。なお、前回調査では同様の設問はないが「インターネット」は22.9%であった。
- ・その他としては、市の広報誌などが挙げられている。



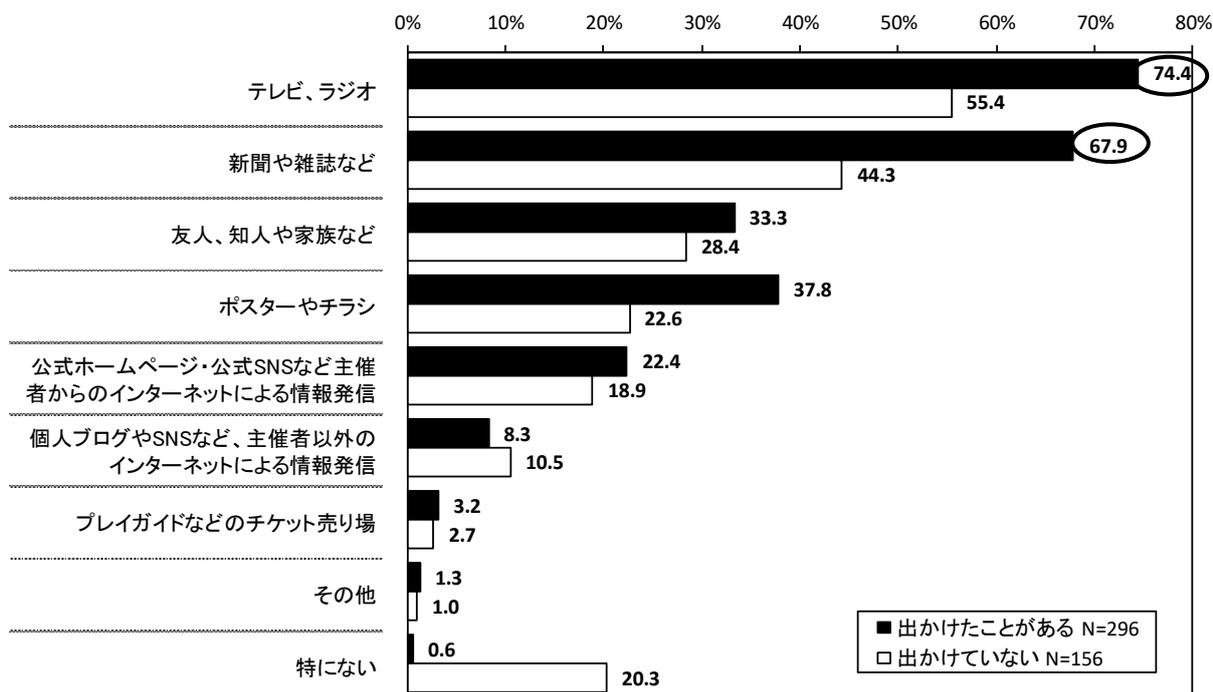
- ・年齢別に見ると、「テレビ、ラジオ」は50歳以上で6割を超えている。「新聞や雑誌など」は60歳以上で6割を超える一方、「18～29歳」では17.4%、「30～39歳」では29.3%と低い。
- ・「公式ホームページ・公式 SNS など主催者からのインターネットによる情報発信」は「18～29歳」では43.5%、「30～39歳」では39.0%である一方、「70歳以上」では5.5%に留まる。
- ・また、「個人ブログや SNS など、主催者以外のインターネットによる情報発信」は「18～29歳」では30.4%、「30～39歳」では29.3%であり、年齢が低いほど高くなっている。

		回答者（人）	友人、知人や家族など	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌など	ポスターやチラシ	プレイガイドなどのチケット売り場	公式ホームページ・公式 SNS など主催者からのインターネットによる情報発信	個人ブログや SNS など、主催者以外のインターネットによる情報発信	その他	特になし
全体		453	30.0	62.0	52.3	27.8	2.9	20.1	9.7	1.1	13.5
性別	男性	155	21.3	59.4	53.5	26.5	4.5	23.2	7.1	0.6	16.8
	女性	199	37.2	65.3	53.3	30.2	2.0	20.1	11.1	1.5	7.5
年齢	18～29歳	23	34.8	47.8	17.4	26.1	0.0	43.5	30.4	0.0	17.4
	30～39歳	41	19.5	56.1	29.3	31.7	9.8	39.0	29.3	0.0	17.1
	40～49歳	68	17.6	51.5	41.2	29.4	1.5	27.9	13.2	1.5	20.6
	50～59歳	71	29.6	67.6	49.3	31.0	5.6	29.6	12.7	1.4	7.0
	60～69歳	84	38.1	66.7	66.7	31.0	2.4	19.0	7.1	0.0	10.7
	70歳以上	164	32.9	65.2	62.2	23.8	1.2	5.5	0.6	1.8	12.8
職業	自営業・家族従事者	56	30.4	51.8	53.6	25.0	3.6	28.6	10.7	0.0	19.6
	会社員、公務員等	229	27.5	62.9	47.6	33.2	3.9	26.6	14.0	0.9	11.4
	無職	154	32.5	65.6	59.1	20.1	1.3	8.4	3.9	1.9	14.3
居住地	富山地域	152	28.9	66.4	51.3	26.3	2.0	21.1	12.5	0.7	11.2
	高岡地域	132	27.3	59.8	54.5	29.5	4.5	17.4	7.6	1.5	10.6
	新川地域	95	32.6	56.8	48.4	26.3	3.2	18.9	7.4	2.1	22.1
	砺波地域	70	35.7	62.9	57.1	30.0	1.4	25.7	11.4	0.0	11.4

- ・問3（1）（2）県内（県外）の美術館・博物館等へ訪問頻度とクロス集計したところ、県内、県外共に「テレビ、ラジオ」「新聞や雑誌など」が上位となった。
- ・県外美術館・博物館では、「公式ホームページ・公式 SNS など主催者からのインターネットによる情報発信」において「出かけたことがある」と「出かけたことがない」で 20.0 ポイントの差がある。

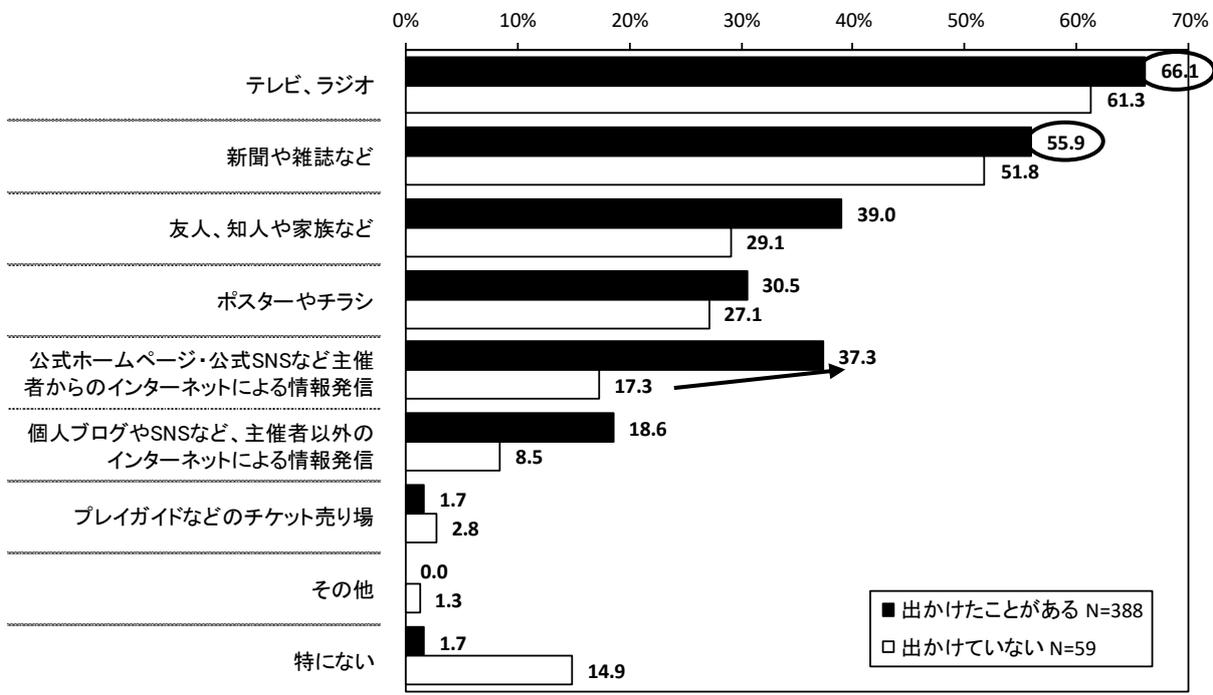
<県内>

	回答者（人）	友人、知人や家族など	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌など	ポスターやチラシ	プレイガイドなどのチケット売り場	SNS など主催者からのインターネットによる情報発信	公式ホームページ・公式 SNS など、主催者以外のインターネットによる情報発信	その他	特にない
出かけたことがある	156	33.3	74.4	67.9	37.8	3.2	22.4	8.3	1.3	0.6
出かけていない	296	28.4	55.4	44.3	22.6	2.7	18.9	10.5	1.0	20.3



< 県外 >

	回答者（人）	友人、知人や家族など	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌など	ポスターやチラシ	プレイガイドなどのチケット売り場	公式ホームページ・公式SNSなど主催者からのインターネットによる情報発信	個人ブログやSNSなど、主催者以外のインターネットによる情報発信	その他	特になし
出かけたことがある	59	39.0	66.1	55.9	30.5	1.7	37.3	18.6	-	1.7
出かけていない	388	29.1	61.3	51.8	27.1	2.8	17.3	8.5	1.3	14.9



(5) 家庭での文化の鑑賞状況

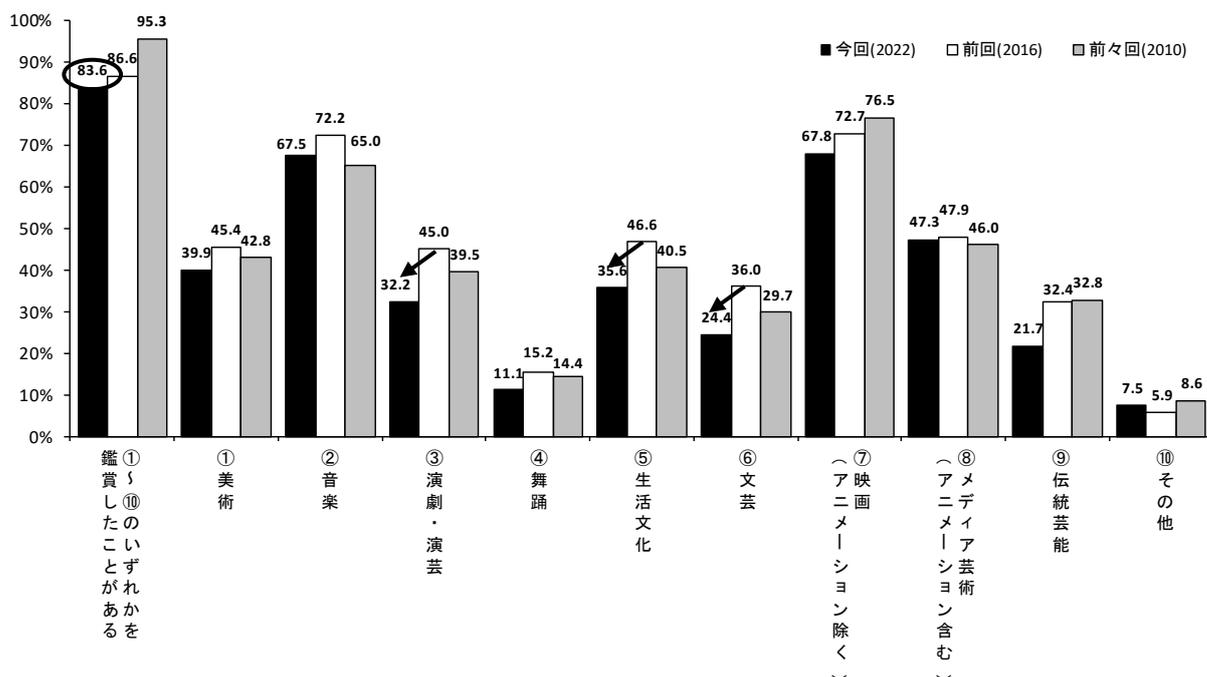
①家庭での文化鑑賞の頻度

問5 (1) この1年間に、ご家庭において、テレビ、ラジオ、CD、DVD(ブルーレイ含む記録媒体)、インターネット配信(スマートフォン、携帯電話含む)、書籍などで、何回文化の鑑賞をしましたか。

分野ごとにそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

(ア) 概要

- ・家庭において各種媒体を通じた文化の鑑賞を行った状況を尋ねたところ、なんらかの『鑑賞を行ったことがある』との回答は83.6%となり、前回調査を3.0ポイント下回った。
- ・分野ごとに前回調査と比較すると、『鑑賞したことがある(鑑賞したことがあるとの回答の合計)』は「その他」以外の全ての項目で減少している。
- ・「演劇・演芸」は前回から12.8ポイントと最も大きく減少している。次いで「文芸」が11.6ポイント、「生活文化」が11.0ポイント減少している。



・どの分野も『鑑賞していない』との回答を集計すると16.4%に対して、令和3年度に行われた全国調査において直接「鑑賞したものはない」との回答は36.7%であった。

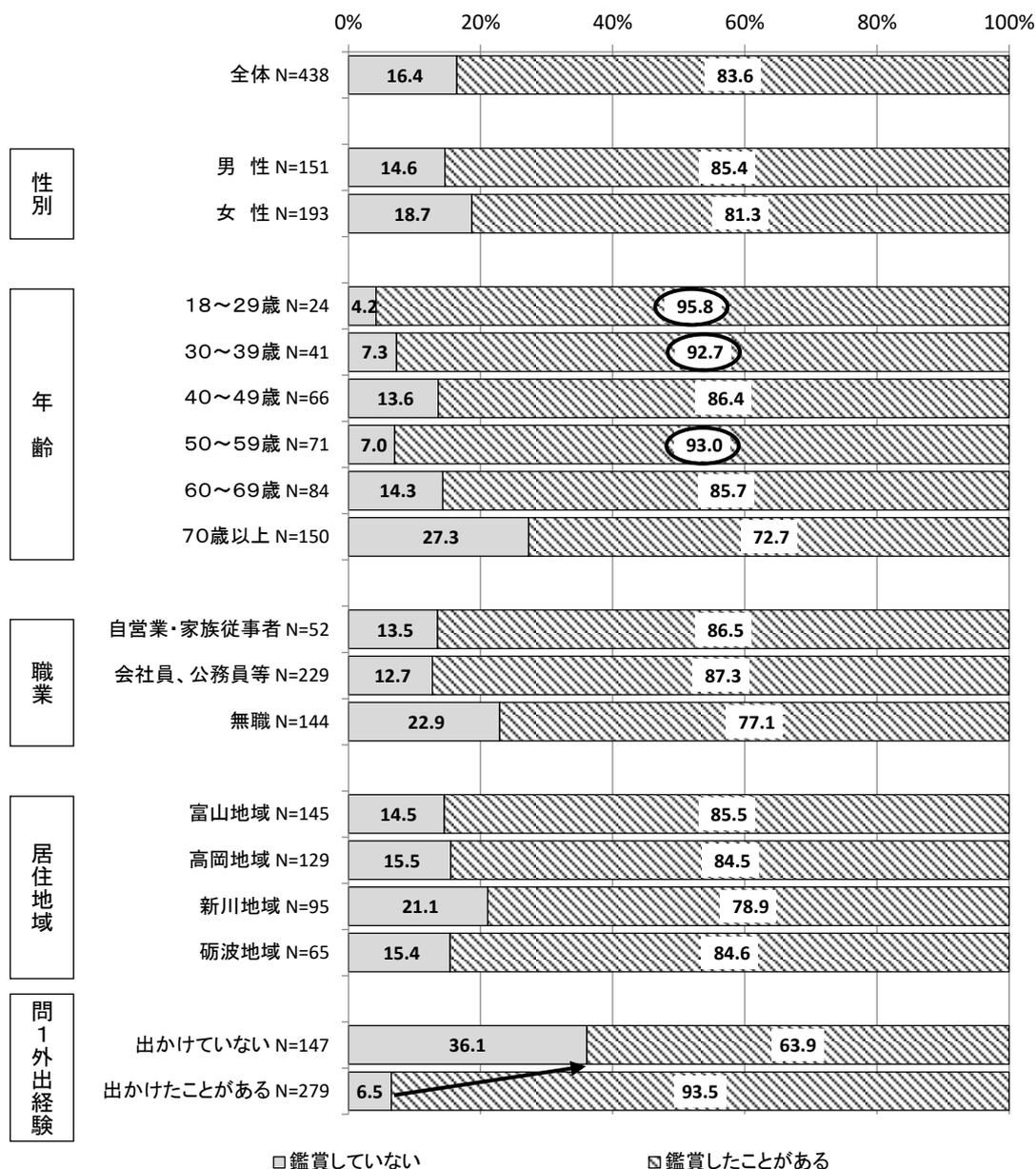
	回答者(人)	鑑賞していない	鑑賞したことがある	鑑賞した回数					
				年1～3回	年4～6回程度	月1～3回	月4～6回程度	それ以上	
(1)～(10)のいずれかを鑑賞した	今回調査	438	16.4	83.6					
	前回調査	581	13.4	86.6					
(1)美術	401	32.5	67.5	17.2	8.1	10.8	6.9	24.4	
(2)音楽	391	67.8	32.2	11.8	6.4	6.9	1.8	5.4	
(3)演劇・演芸	386	88.9	11.1	6.2	1.6	1.3	0.5	1.6	
(4)舞踊	393	64.4	35.6	12.0	4.8	7.6	2.0	9.2	
(5)生活文化	377	75.6	24.4	8.8	2.4	4.8	2.7	5.8	
(6)文芸	404	32.2	67.8	22.8	13.4	13.4	4.7	13.6	
(7)映画 (アニメーション除く)	404	32.2	67.8	22.8	13.4	13.4	4.7	13.6	
(8)メディア芸術 (アニメーション含む)	383	52.7	47.3	14.1	6.0	10.2	3.1	13.8	
(9)伝統芸能	387	78.3	21.7	13.4	3.4	2.1	1.6	1.3	
(10)その他	146	92.5	7.5	4.1	1.4	0.0	0.0	2.1	

R3年度全国調査(文化に関する世論調査、文化庁) ●あなたは、この1年間に、テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等により鑑賞したものはありますか。(複数回答)	
鑑賞したものはない	36.7
美術	11.1
美術のうち、特に現代美術	2.1
オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	14.9
ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	33.4
現代演劇、児童演劇、人形劇	1.7
ミュージカル	4.0
演芸	12.0
バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	2.2
ストリートダンス、ジャズダンス、民族舞踊、社交ダンスなど	2.9
花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント	1.2
食文化の展示、イベント	2.2
映画	38.8
アニメーション映画	22.4
日本舞踊	0.7
伝統芸能	4.1
地域の伝統的な芸能や祭り	3.8

※本調査は各分野毎の単数回答である一方、全国調査は各分野の複数回答であること、また選択肢も異なることから参考値として記載する。

。

- ・年齢別に見ると、『鑑賞したことがある』との回答は「18～29歳」で95.8%で最も高い。次いで「50～59歳」の93.0%、「30～39歳」の92.7%となっている。「70歳以上」では72.7%である。
- ・また、問1の公演や展覧会への外出経験とのクロス集計では、「出かけていない」回答者は「出かけたことがある」回答者に比べて、「鑑賞したことがある」との回答が29.6ポイント低い。



- ・問1の「公演や展覧会に出かけた状況」と問5の「家庭で鑑賞した分野」の関係を見ると、「直接鑑賞に出かけていない」回答者が「家庭で鑑賞したことがある」とした分野は、「音楽」では60.9%、「映画(アニメーションを除く)」では56.7%と他の分野に比べて高い。
- ・一方で、出かけていても「舞踊」については、「鑑賞していない」との回答が60.0%と他の分野より高い。
- ・「直接鑑賞に出かけていない」回答者は、家庭でも「鑑賞していない」と回答する傾向がある。

<出かけていない>

	(回答者)	し鑑 賞 て い な い	が鑑 賞 し た こ と	年	程年	月	程月	そ れ 以 上
				1 5 3 回	度4 5 6 回	1 5 3 回	度4 5 6 回	
(1)~(10)のどれも出かけていない	147	36.1	63.9					
(1)美術	249	77.1	22.9	11.6	2.4	4.8	1.2	2.8
(2)音楽	294	39.1	60.9	15.0	8.2	10.2	6.1	21.4
(3)演劇・演芸	325	73.2	26.8	8.9	5.5	6.5	1.5	4.3
(4)舞踊	339	91.2	8.8	4.4	1.2	1.5	0.0	1.8
(5)生活文化	293	73.0	27.0	7.8	4.8	5.1	1.0	8.2
(6)文芸	303	81.8	18.2	7.3	2.3	3.6	0.7	4.3
(7)映画 (アニメーション除く)	233	43.3	56.7	21.0	10.3	12.0	3.0	10.3
(8)メディア芸術 (アニメーション含む)	288	61.8	38.2	12.8	3.8	7.6	2.1	11.8
(9)伝統芸能	298	87.6	12.4	6.7	1.3	2.0	1.3	1.0
(10)その他	90	96.7	3.3	1.1	0.0	0.0	0.0	2.2

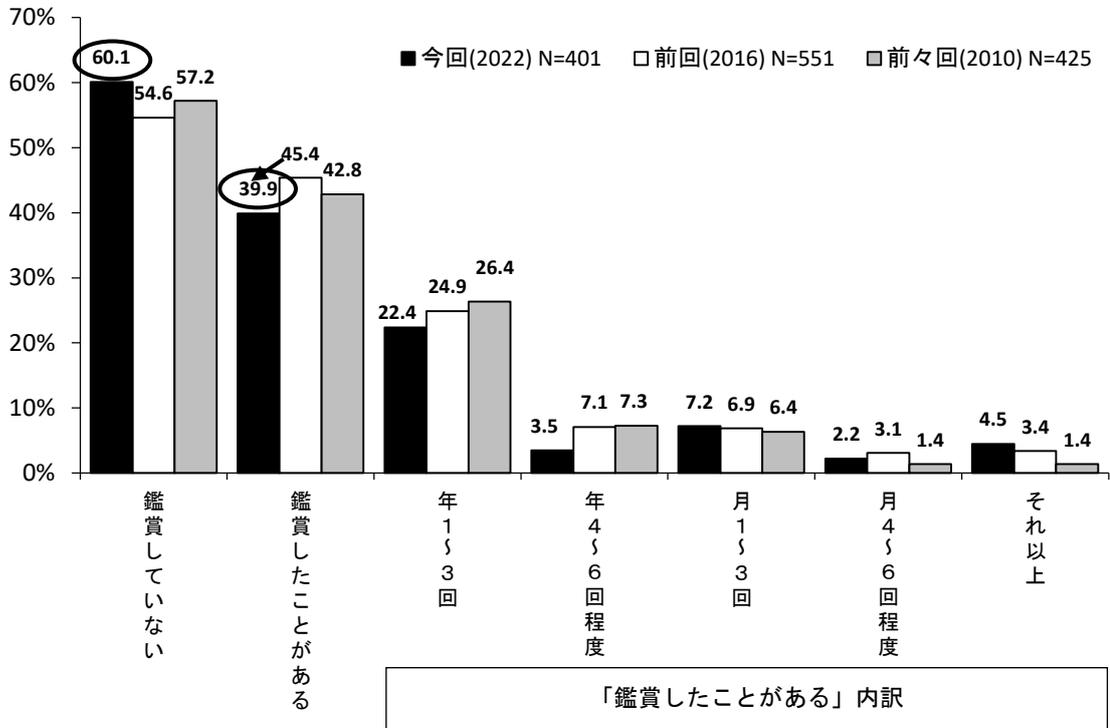
<出かけている>

	(回答者)	し鑑 賞 て い な い	が鑑 賞 し た こ と	年	程年	月	程月	そ れ 以 上
				1 5 3 回	度4 5 6 回	1 5 3 回	度4 5 6 回	
(1)~(10)のいずれかに出かけた	279	6.5	93.5					
ことがある	129	28.7	71.3	43.4	6.2	10.1	4.7	7.0
(2)音楽	70	10.0	90.0	22.9	10.0	12.9	7.1	37.1
(3)演劇・演芸	35	22.9	77.1	31.4	20.0	5.7	5.7	14.3
(4)舞踊	15	60.0	40.0	26.7	6.7	0.0	6.7	0.0
(5)生活文化	67	32.8	67.2	25.4	7.5	19.4	4.5	10.4
(6)文芸	42	35.7	64.3	19.0	4.8	9.5	14.3	16.7
(7)映画 (アニメーション除く)	142	11.3	88.7	26.1	20.4	16.9	6.3	19.0
(8)メディア芸術 (アニメーション含む)	58	8.6	91.4	19.0	19.0	19.0	8.6	25.9
(9)伝統芸能	45	33.3	66.7	44.4	13.3	2.2	4.4	2.2
(10)その他	3	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

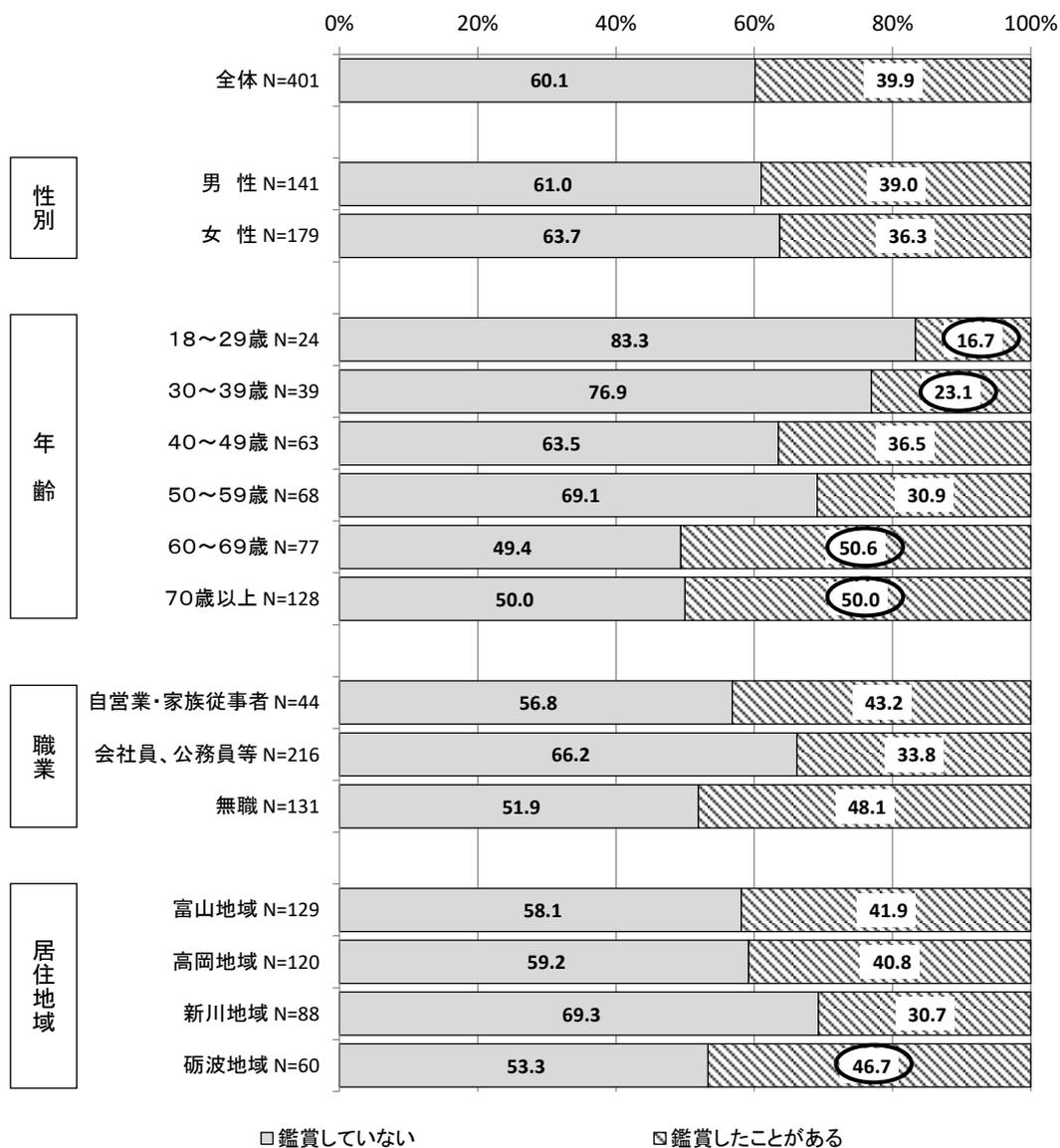
(イ) 各分野

1) 美術

- ・家庭において各種媒体により「美術」を『鑑賞したことがある』との回答は 39.9%、「鑑賞していない」との回答は 60.1%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて 5.5 ポイント減少している。

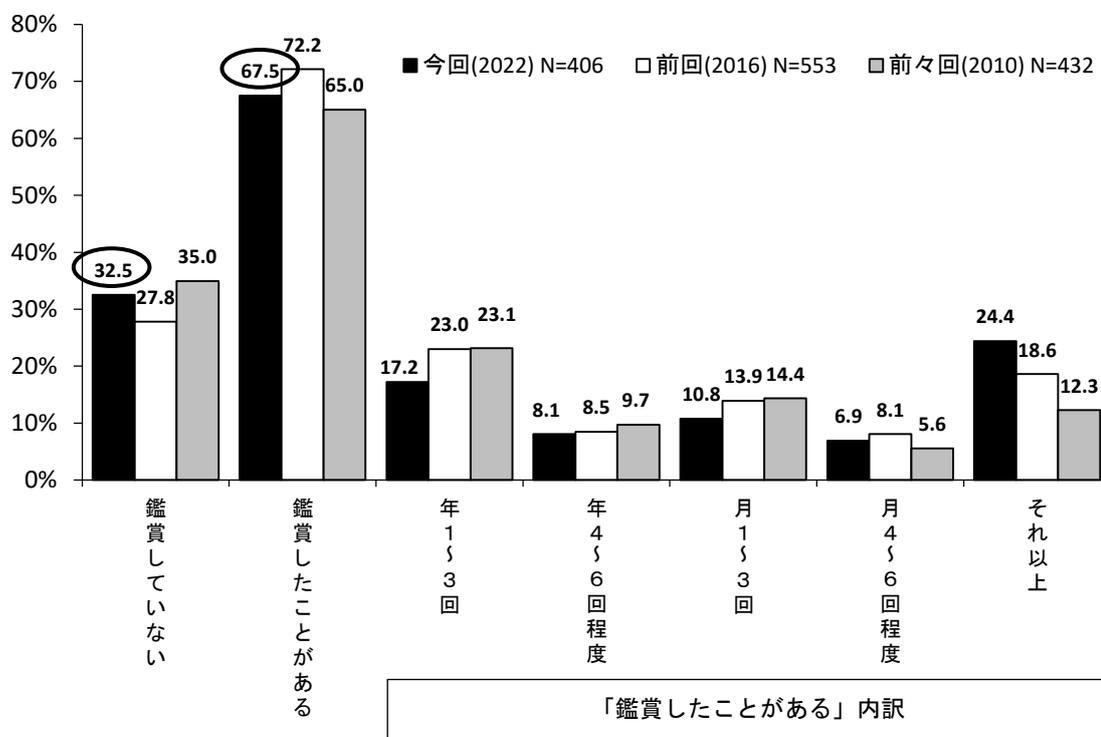


- ・年齢別に見ると、「60～69歳」、「70歳以上」で『鑑賞したことがある』との回答が5割を超えている。一方で、「18～29歳」では16.7%、「30～39歳」では23.1%などと他の年代に比べて低くなっている。
- ・居住地別に見ると、「砺波地域」では『鑑賞したことがある』との回答が46.7%と他の地域に比べて高い。

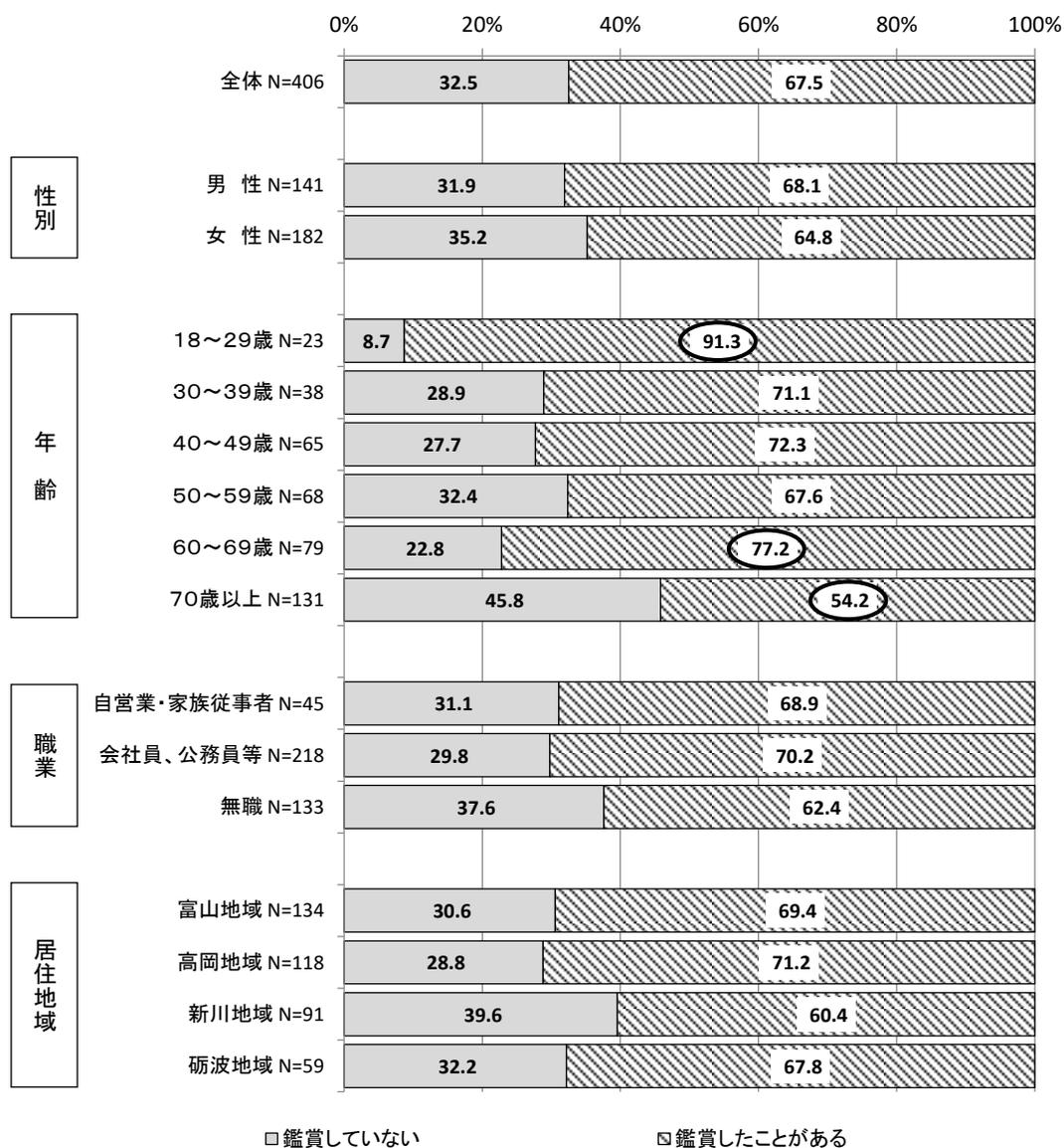


2) 音楽

- ・家庭において各種媒体により「音楽」を『鑑賞したことがある』との回答は67.5%、「鑑賞していない」との回答は32.5%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて4.7ポイント減少している。

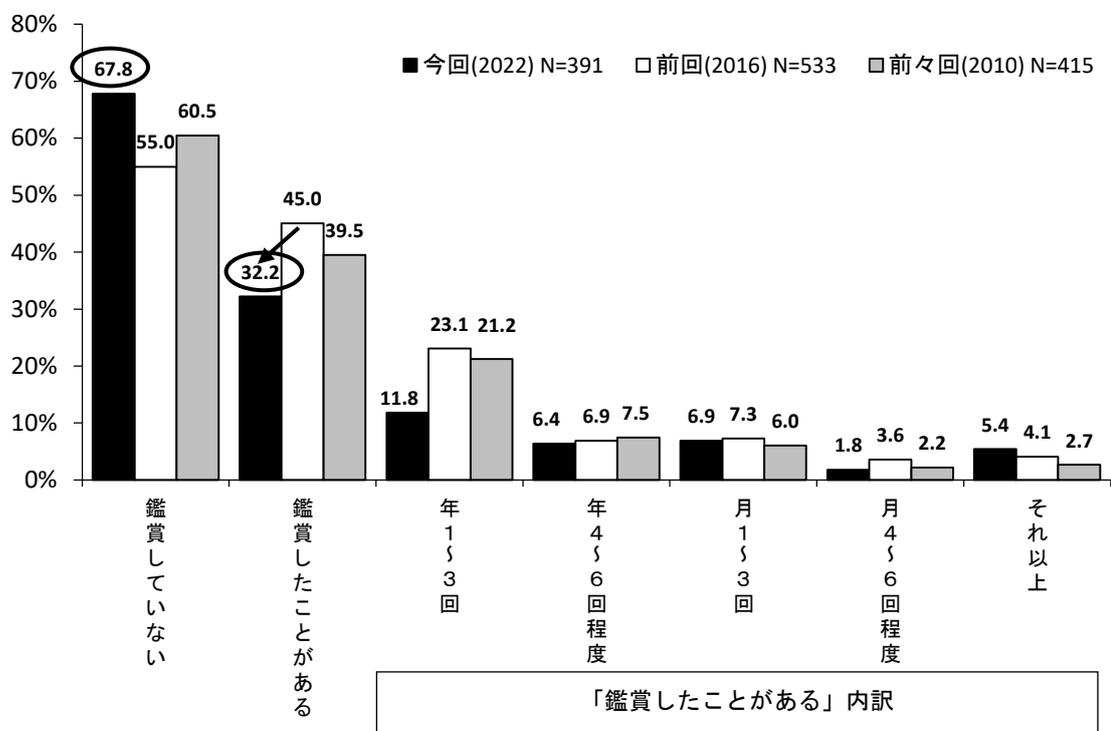


- ・年齢別に見ると、「18～29歳」では91.3%が『鑑賞したことがある』と回答している。「60～69歳」は77.2%と「18～29歳」に次いで高い。「70歳以上」では54.2%である。

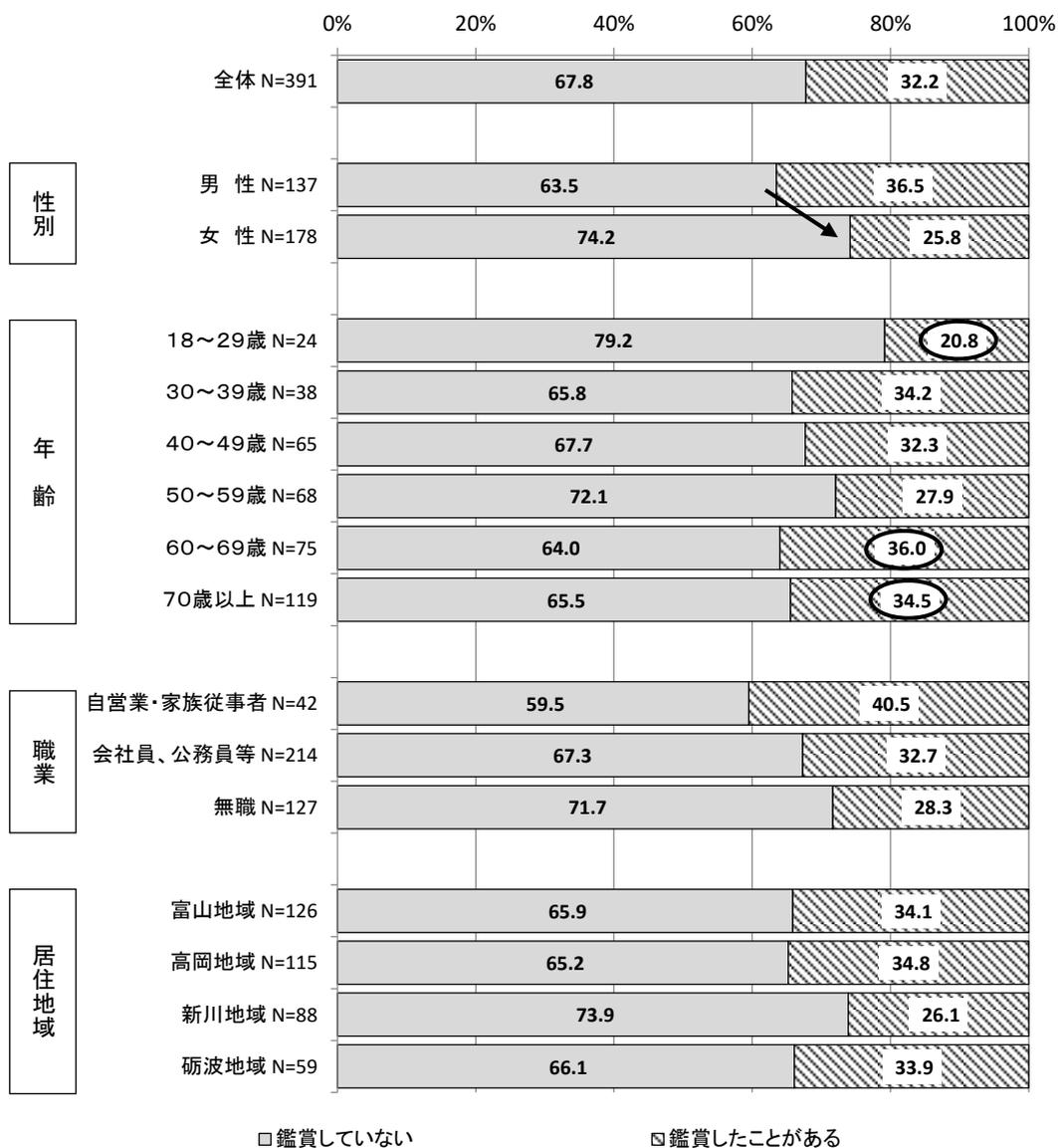


3) 演劇・演芸

- ・家庭において各種媒体により「演劇・演芸」を『鑑賞したことがある』との回答は 32.2%、「鑑賞していない」との回答は 67.8%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて 12.8 ポイント減少している。

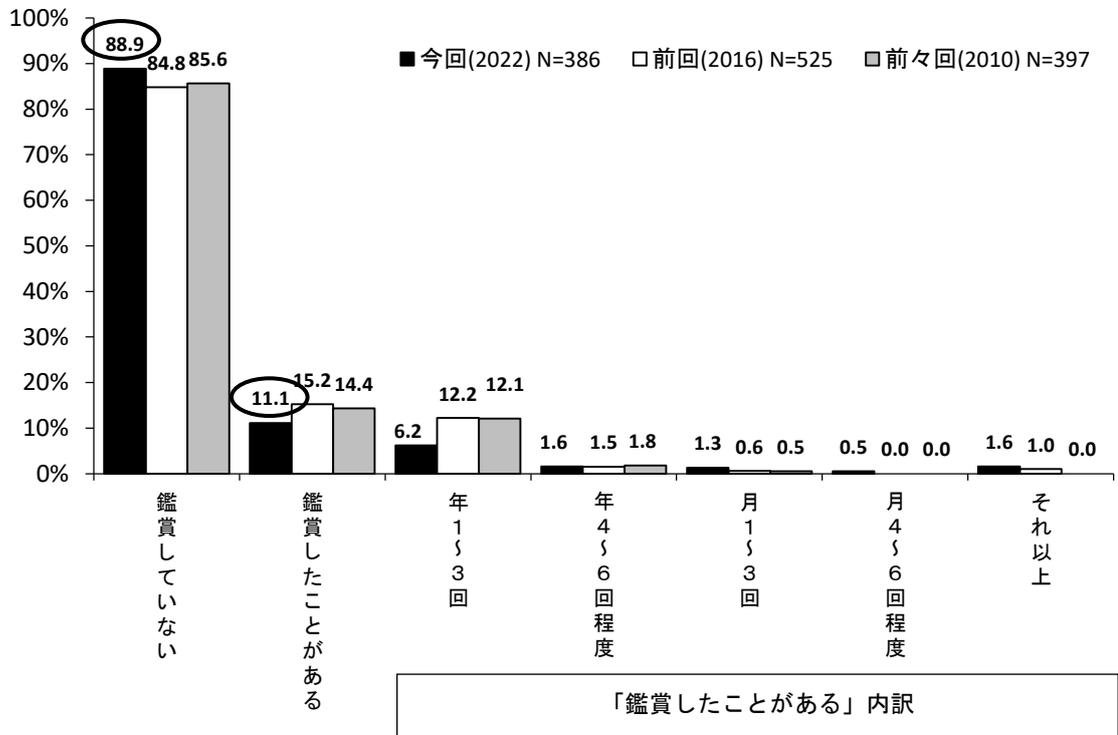


- ・男女別に見ると、『鑑賞したことがある』との回答は、「男性」に比べて「女性」が 10.7 ポイント低い。
- ・年齢別に見ると、「18～29歳」では『鑑賞したことがある』との回答は 20.8%と最も低い。「60～69歳」、「70歳以上」では『鑑賞したことがある』が3割を超える。

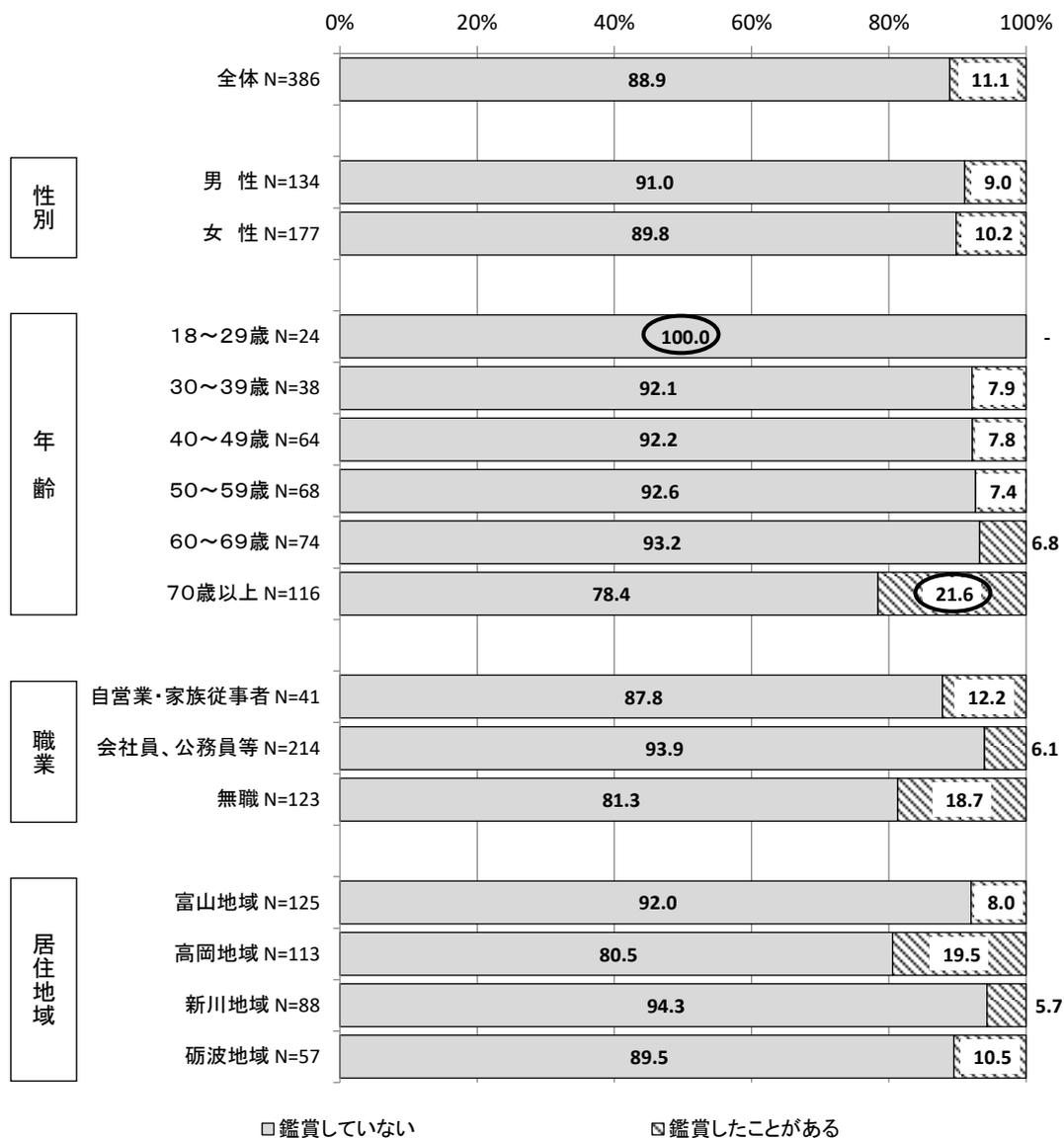


4) 舞踊

- ・家庭において各種媒体により「舞踊」を『鑑賞したことがある』との回答は 11.1%、「鑑賞していない」との回答は 88.9%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて 4.1 ポイント減少している。

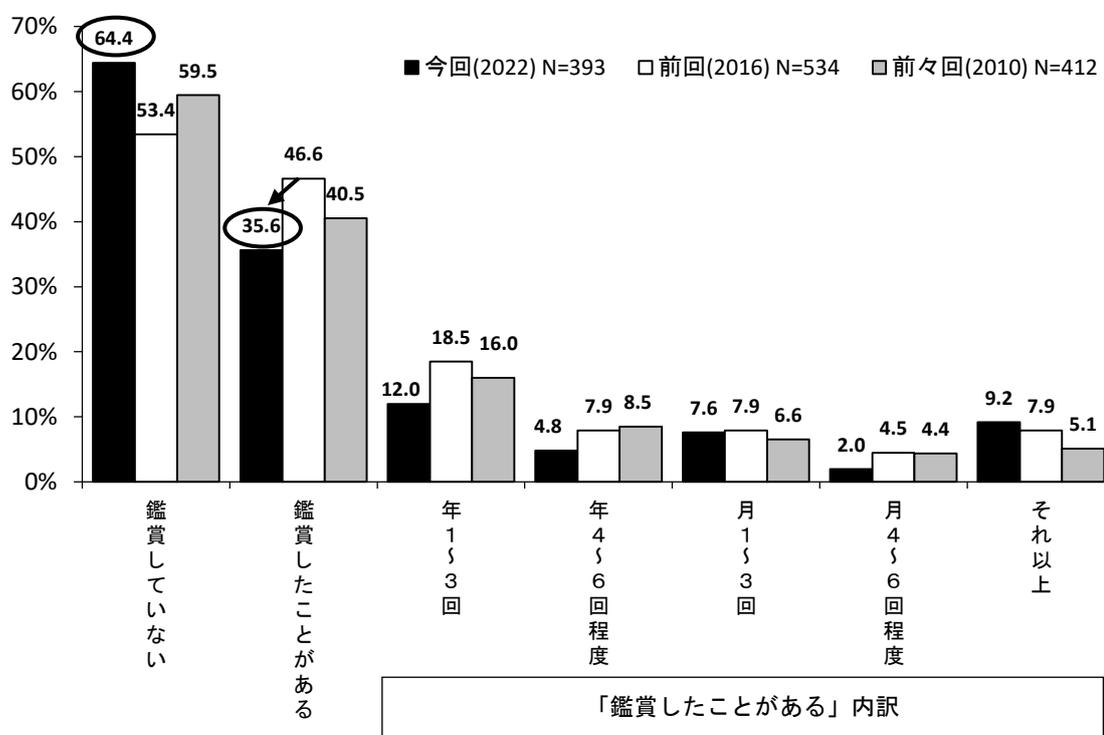


- ・年齢別に見ると、「70歳以上」で『鑑賞したことがある』との回答が21.6%、30～69歳では7%前後となっている。「18～29歳」では『鑑賞したことがある』との回答が見られなかった。

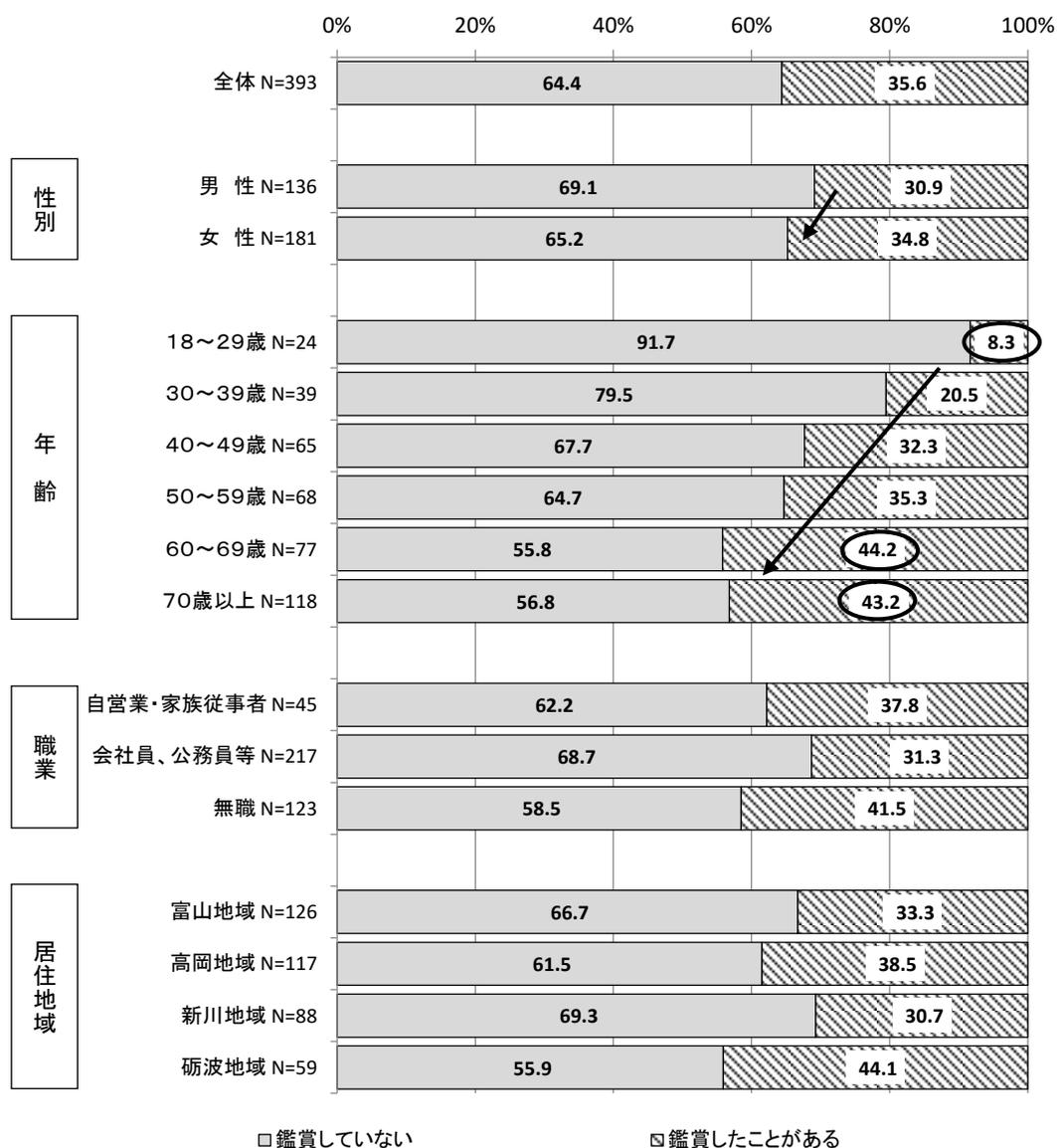


5) 生活文化

- ・家庭において各種媒体により「生活文化」を『鑑賞したことがある』との回答は 35.6%、「鑑賞していない」との回答は 64.4%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて 11.0 ポイント減少している。

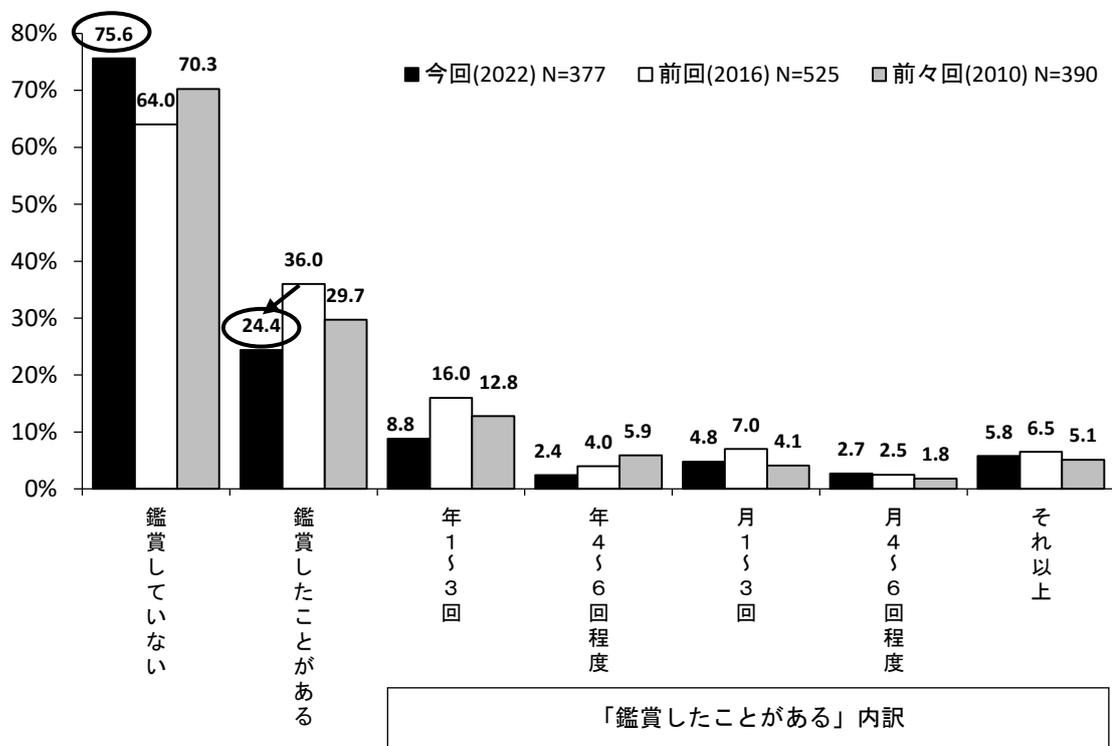


- ・男女別に見ると、『鑑賞したことがある』との回答は、「男性」に比べて「女性」が 3.9 ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、『鑑賞したことがある』との回答は「18～29歳」では最も低く 8.3%であり、年齢が上がるにつれて高くなり、「60～69歳」、「70歳以上」では4割を超えている。

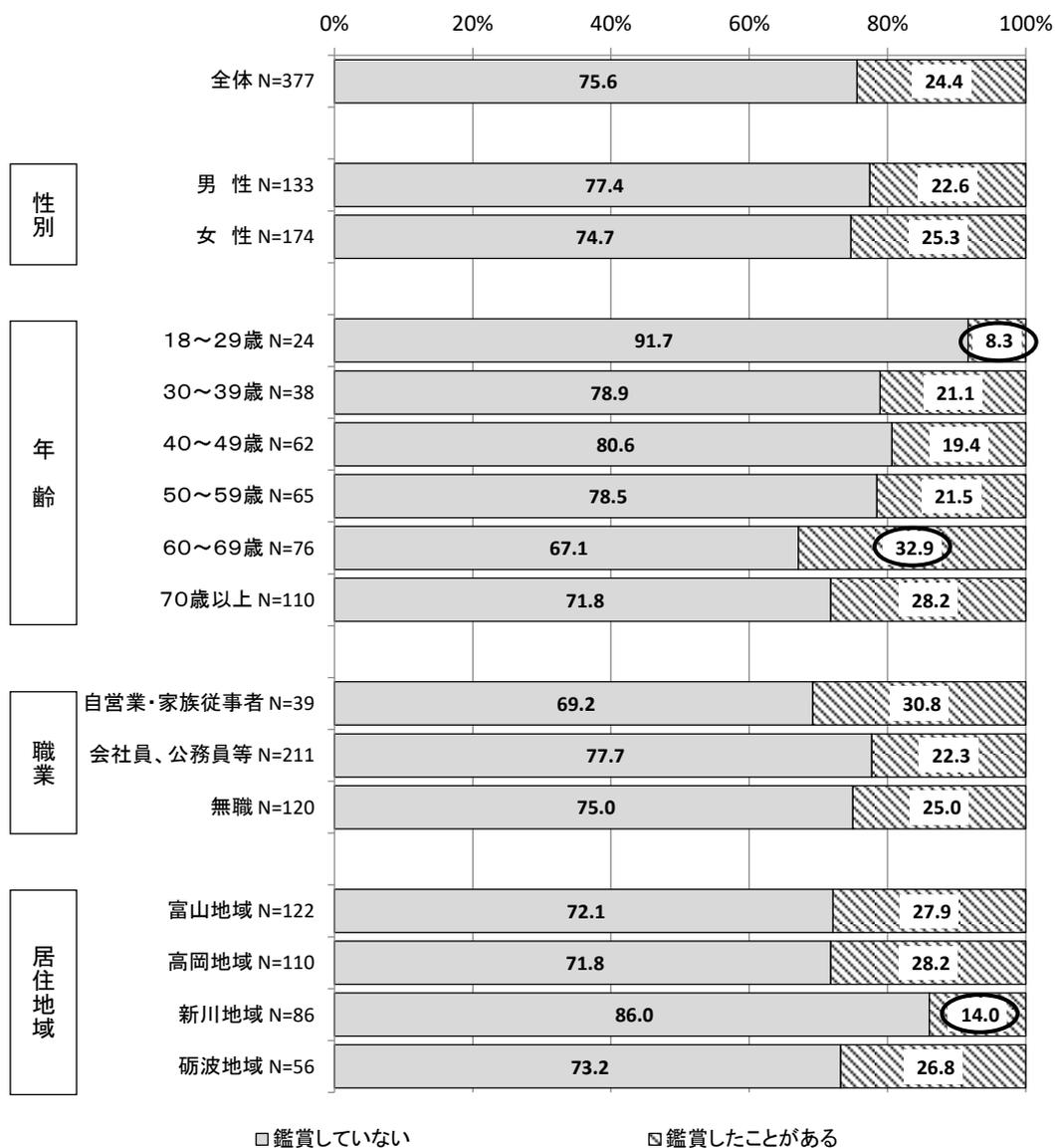


6) 文芸

- ・家庭において各種媒体により「文芸」を『鑑賞したことがある』との回答は24.4%、「鑑賞していない」との回答は75.6%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて11.6ポイント減少している。

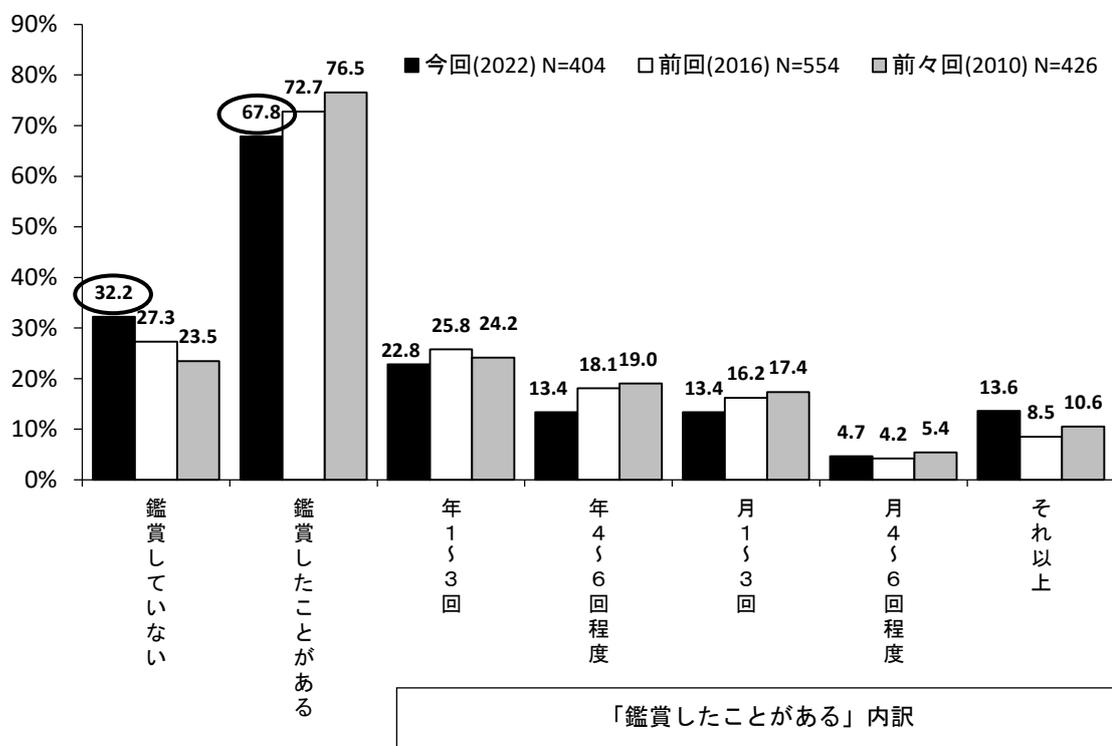


- ・年齢別に見ると、「18～29歳」では『鑑賞したことがある』との回答が8.3%と最も低い。「60～69歳」では最も高く32.9%となっている。
- ・居住地別に見ると、「新川地域」では『鑑賞したことがある』との回答が14.0%と他の地域に比べて低くなっている。

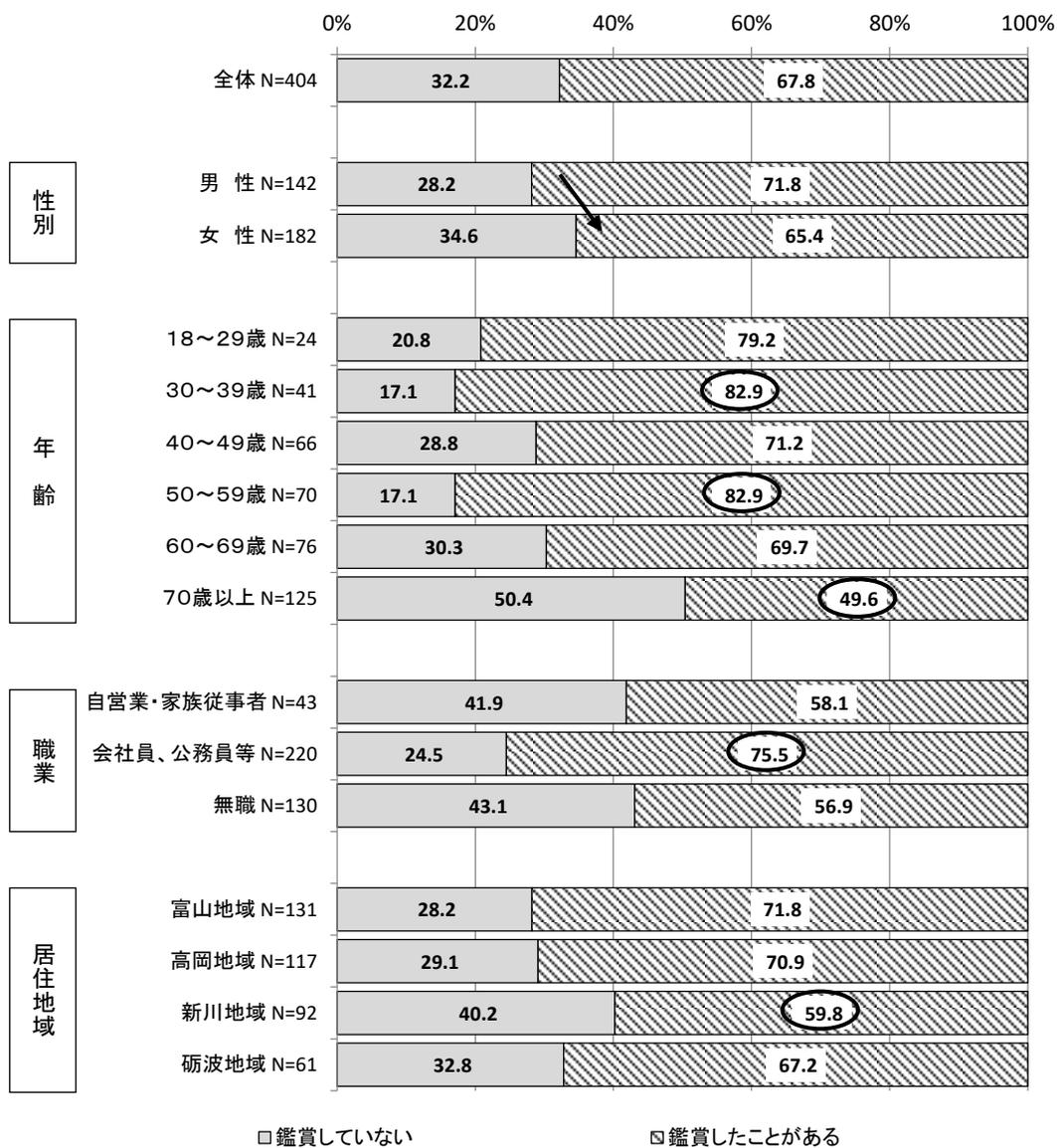


7) 映画(アニメーション除く)

- ・家庭において各種媒体により「映画(アニメーション除く)」を『鑑賞したことがある』との回答は 67.8%、「鑑賞していない」との回答は 32.2%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて 4.9 ポイント減少している。

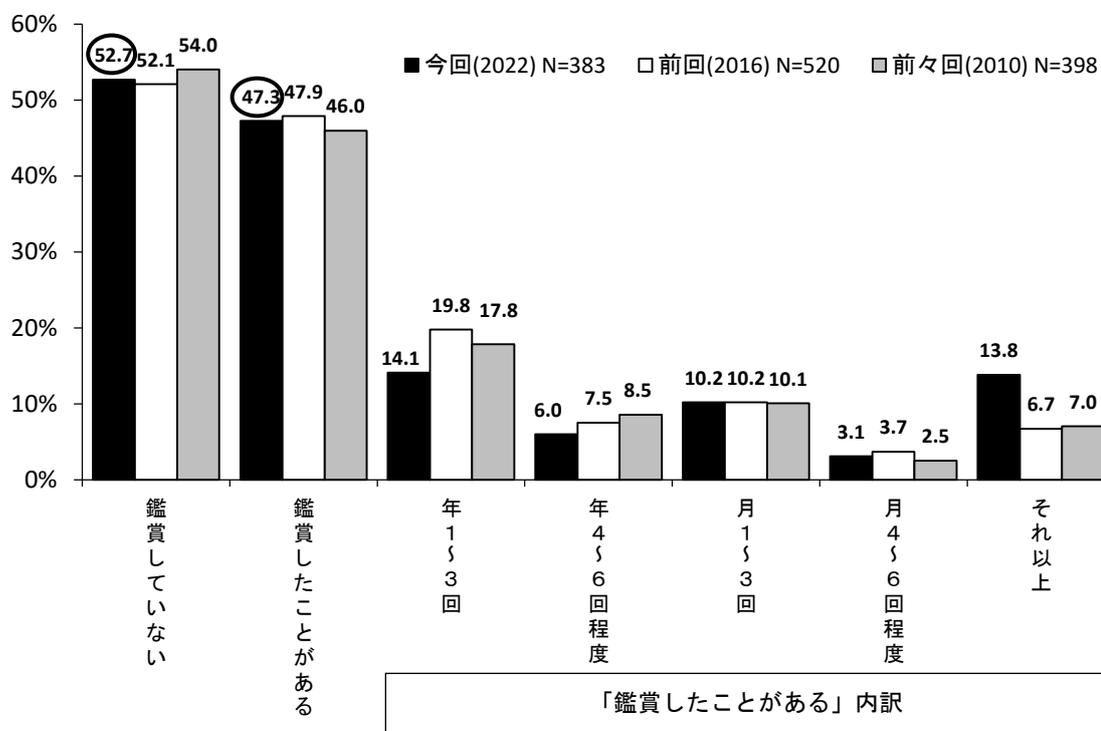


- ・男女別に見ると、『鑑賞したことがある』との回答は、「男性」に比べて「女性」が6.4ポイント低い。
- ・年齢別に見ると、「30～39歳」、「50～59歳」では『鑑賞したことがある』との回答がともに82.9%と高くなっている。「70歳以上」では49.6%と最も低い。
- ・職業別では、「会社員、公務員等」が『鑑賞したことがある』との回答が75.5%と高く、居住地別に見ると、「新川地域」が59.8%と他の地域に比べて低い。

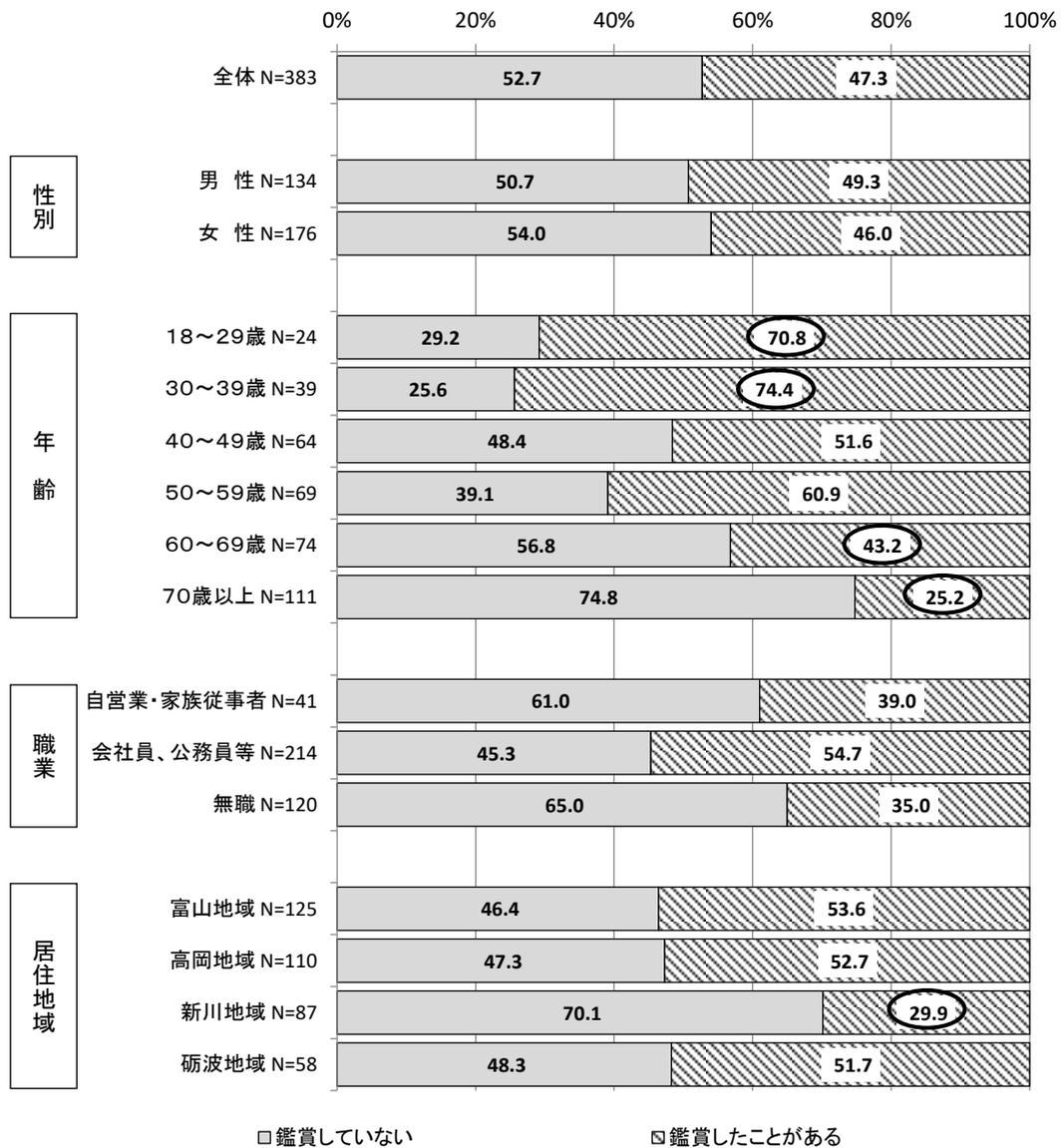


8) メディア芸術(アニメーション含む)

- ・家庭において各種媒体により「メディア芸術(アニメーション含む)」を『鑑賞したことがある』との回答は 47.3%、「鑑賞していない」との回答は 52.7%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて0.6ポイント減少している。

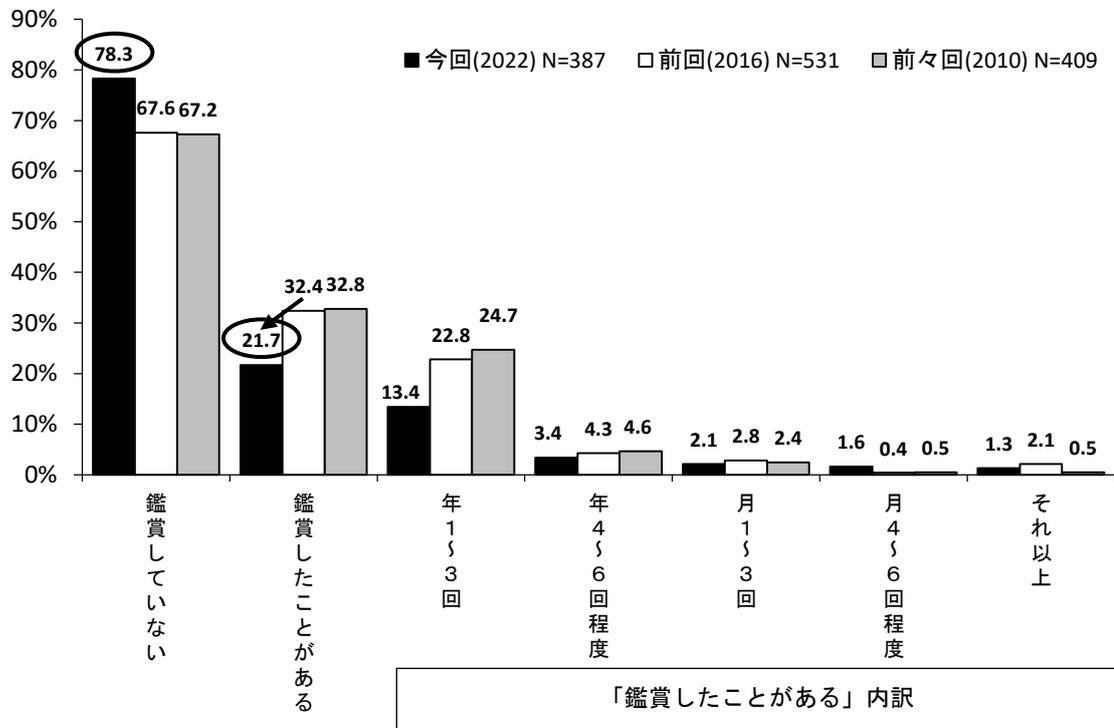


- ・年齢別に見ると、「18～29歳」、「30～39歳」では『鑑賞したことがある』との回答が7割を超える。「60～69歳」では43.2%、「70歳以上」では25.2%と低くなっていく。
- ・居住地域別に見ると、「新川地域」では『鑑賞したことがある』との回答が29.9%と他の地域に比べて低い。

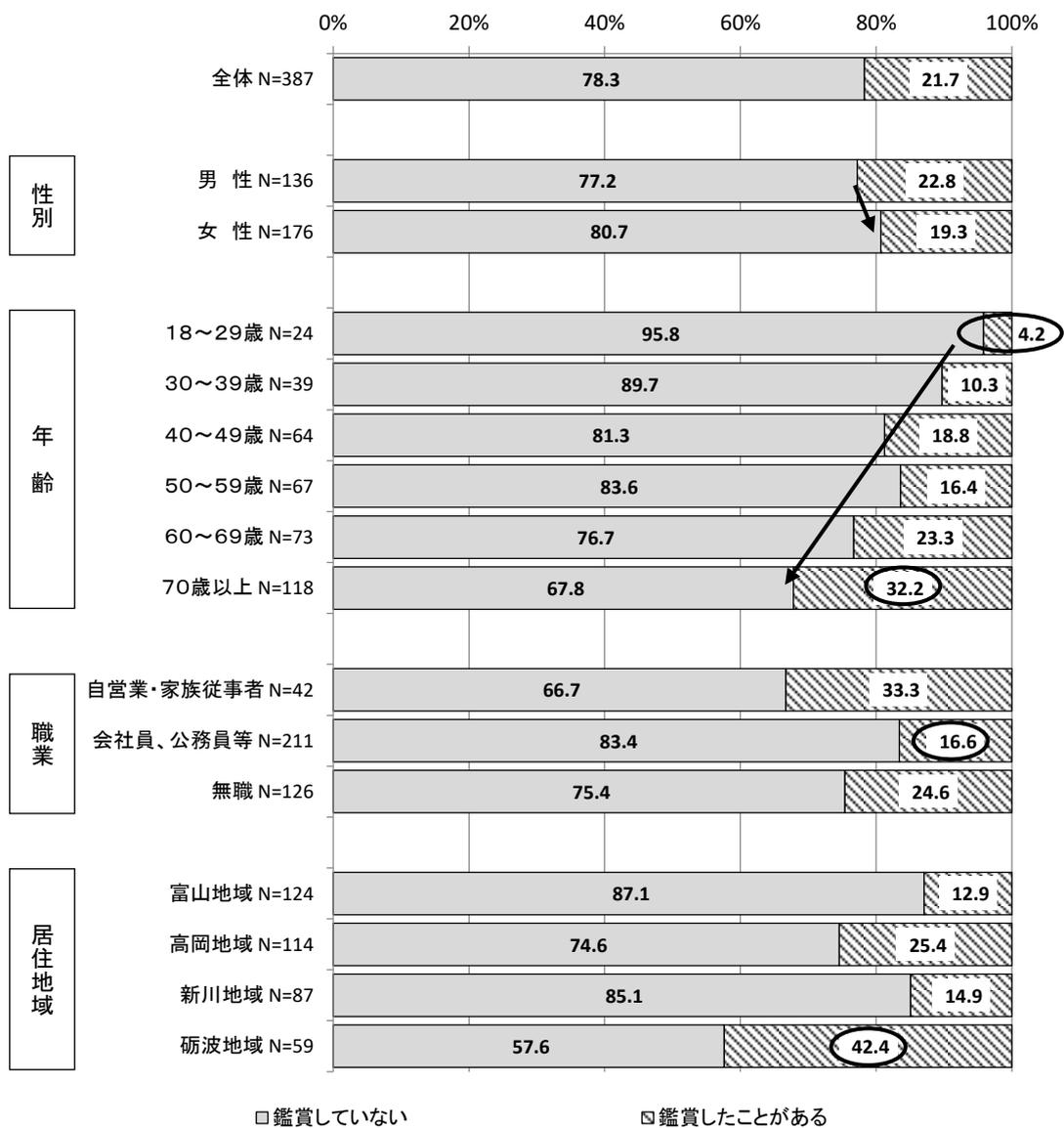


9) 伝統芸能

- ・家庭において各種媒体により「伝統芸能」を『鑑賞したことがある』との回答は 21.7%、「鑑賞していない」との回答は 78.3%であった。『鑑賞したことがある』との回答は前回調査に比べて 10.7 ポイント減少している。

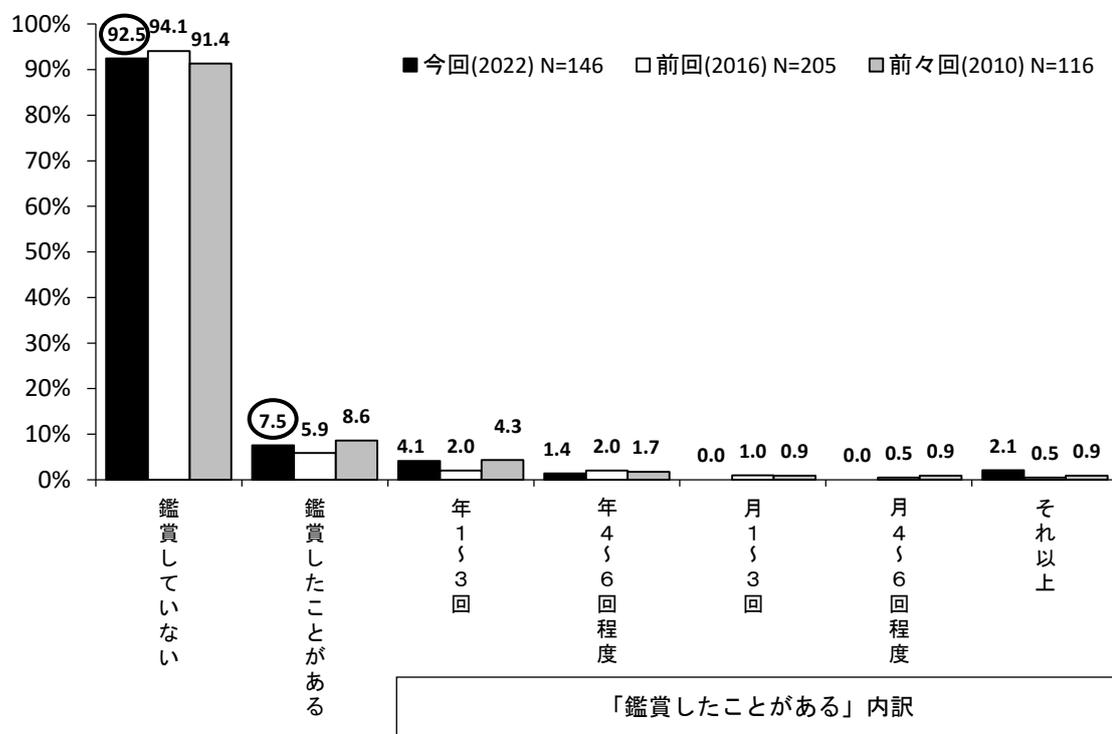


- ・男女別に見ると、『鑑賞したことがある』との回答は、「男性」に比べて「女性」が3.5ポイント低い。
- ・年齢別に見ると、『鑑賞したことがある』との回答は「18～29歳」が最も低く4.2%であり、年齢が上がるにつれて高くなり、「70歳以上」では32.2%となる。
- ・職業別では、「会社員、公務員等」が『鑑賞したことがある』との回答が16.6%と低く、居住地別に見ると、「砺波地域」が42.4%と他の地域に比べて高くなっている。

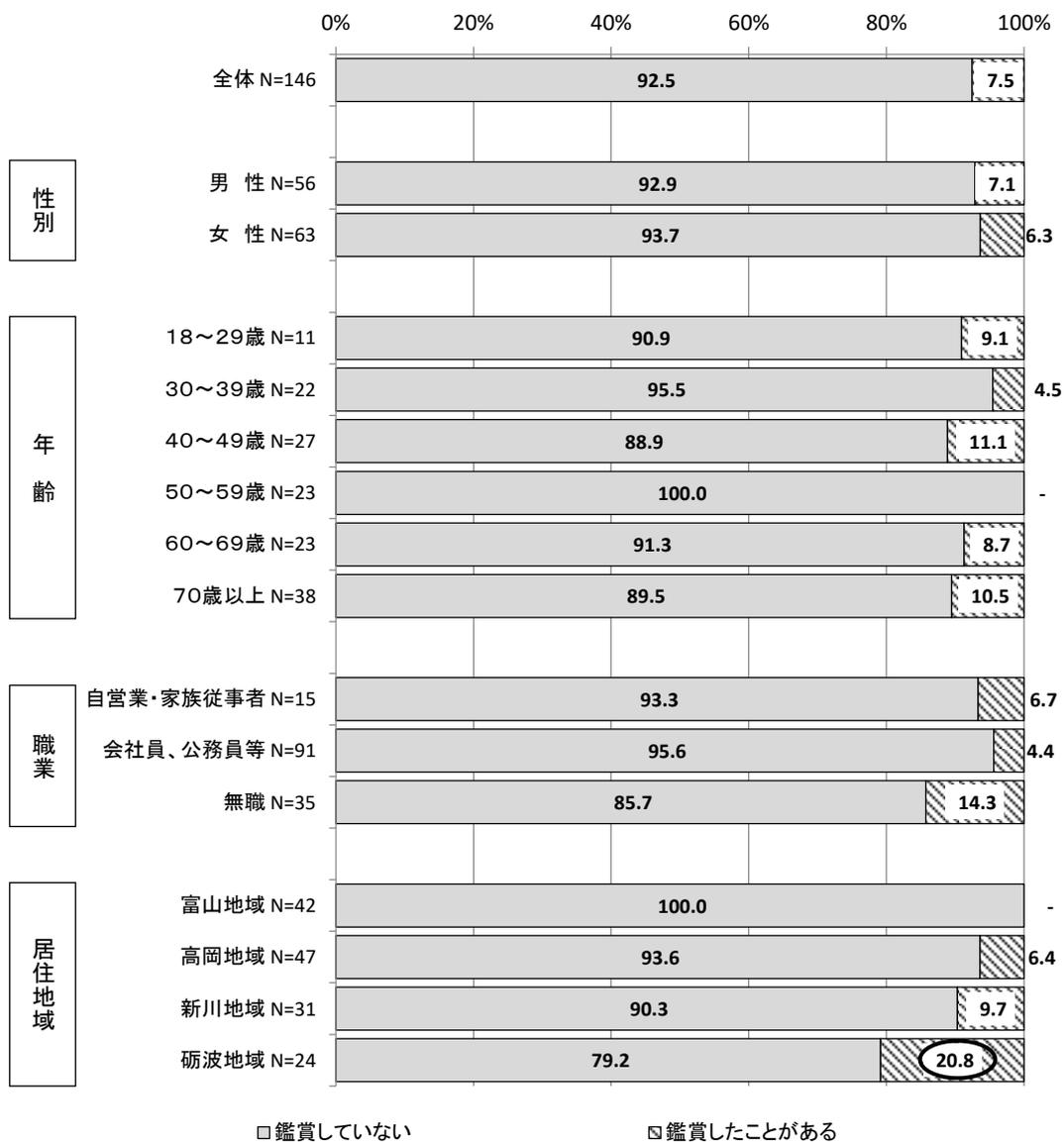


10) その他

- ・家庭において各種媒体により「その他」の分野の文化を『鑑賞したことがある』との回答は7.5%、「鑑賞していない」との回答は92.5%であった。



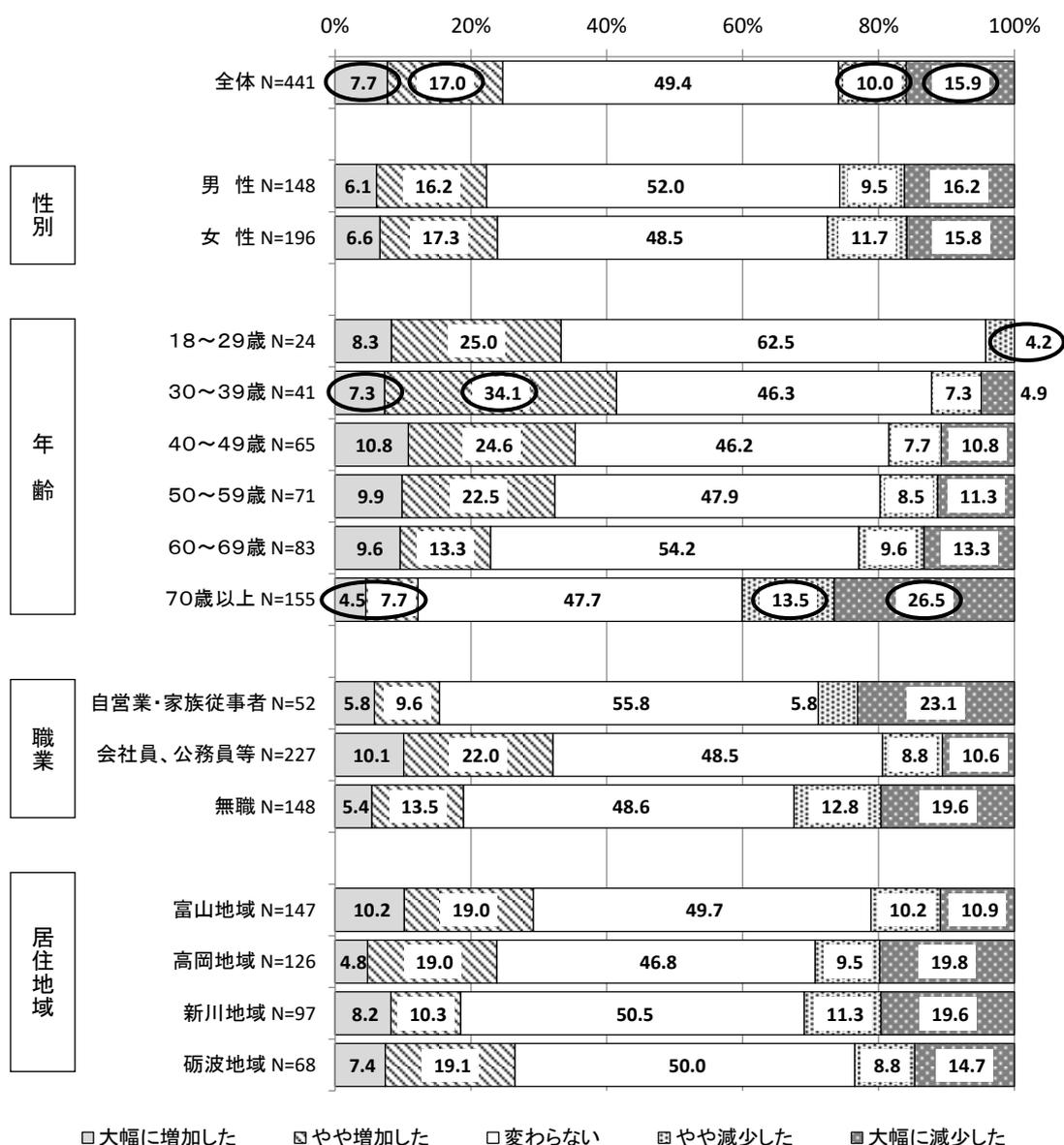
- ・地域別に見たときに、「砺波地域」で『鑑賞したことがある』との回答が 20.8%と、他の地域に比べて高くなっている。



②コロナ前後の鑑賞機会の変化

問5 (2) コロナ前と比べて、あなたが、この1年間にご家庭における鑑賞機会はどのように変化しましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- ・「大幅に増加した」が7.7%、「やや増加した」が17.0%であり、『増加した(「大幅に増加した」+「やや増加した」)』は24.7%であった。「変わらない」は49.4%と約半数である。
- ・一方、「やや減少した」は10.0%、「大幅に減少した」が15.9%であり『減少した(「やや減少した」+「大幅に減少した」)』は25.9%となった。
- ・『減少した』との回答と『増加した』との回答は、ほぼ同数である
- ・年齢別に見ると、『増加した』との回答は、「30～39歳」で41.4%で最も高く、「70歳以上」で12.2%と最も低くなっている。『減少した』との回答は、「18～29歳」で4.2%で最も低く、「70歳以上」で40.0%と最も高い。

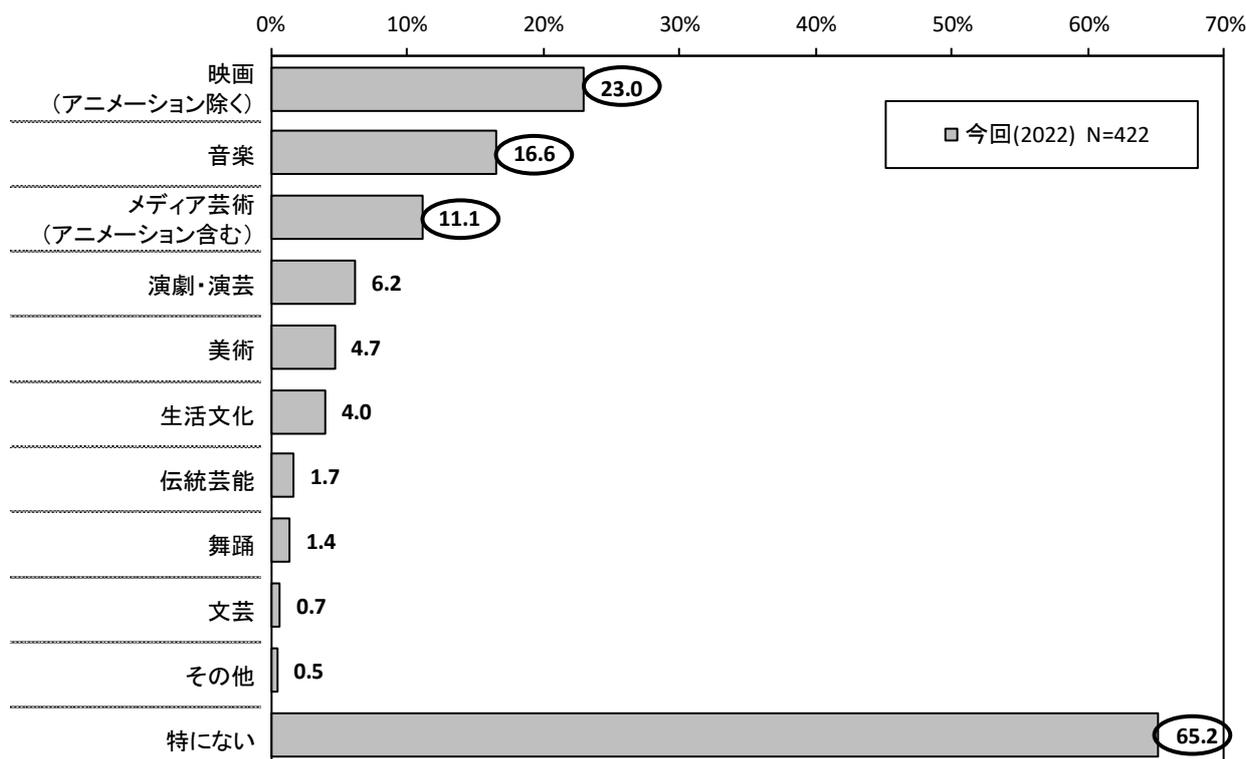


③オンライン鑑賞

問5 (3) この1年間に、インターネットによる有料(月額又はチケット購入等)のオンライン配信で鑑賞したものはありますか。また、今後インターネットによる有料のオンライン配信で鑑賞してみたいと思うものはありますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

1) これまで有料で鑑賞した分野

- ・この1年間にインターネットによる有料オンライン配信で鑑賞した分野について尋ねたところ、「映画(アニメーション除く)」が23.0%、「音楽」が16.6%、「メディア芸術(アニメーション含む)」が11.1%となった。
- ・「特にない」との回答が65.2%と最も高くなっている。
- ・令和3年度全国調査では、「映画」が11.1%、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など」が6.9%、「アニメーション映画」が6.3%などとなっており、「鑑賞したものはなし」が79.5%であった。

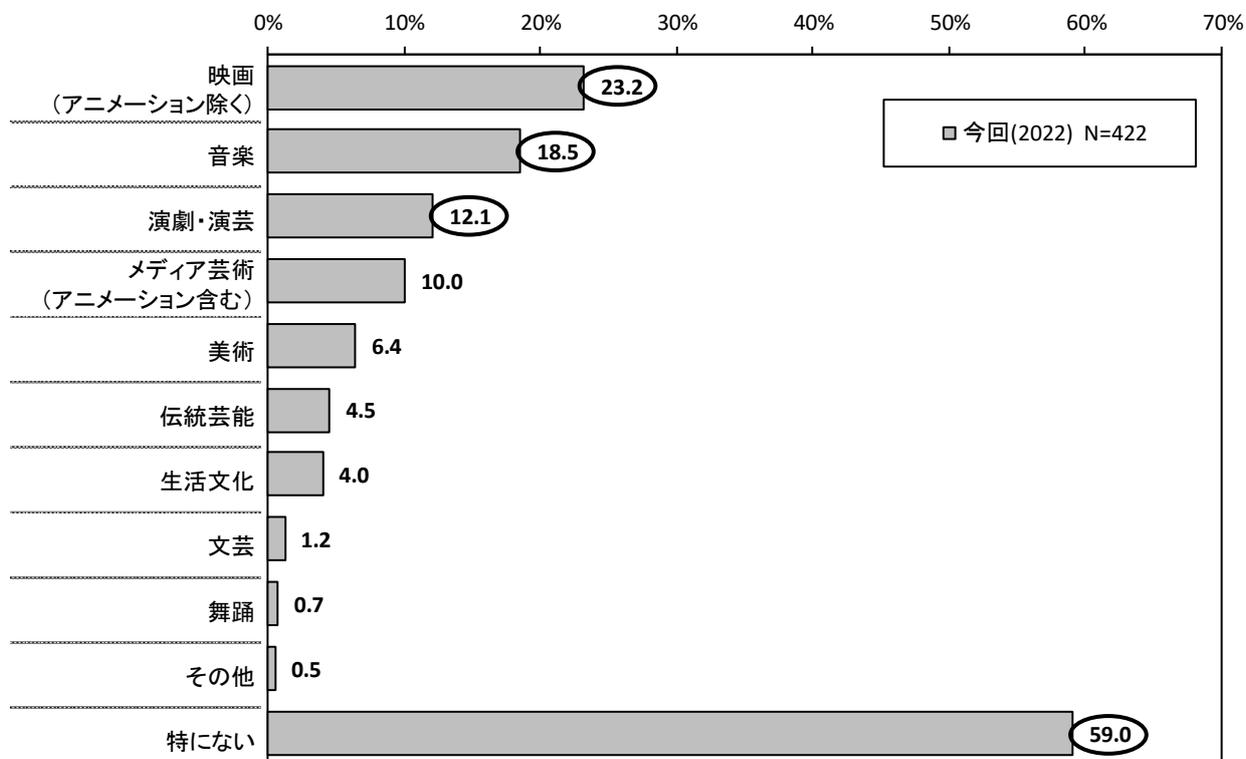


- ・年齢別に見ると、「映画（アニメーション除く）」は「30～39歳」で51.3%と最も高く、「50～59歳」で34.3%、「18～29歳」で30.4%などとなっている。
- ・「音楽」は「18～29歳」で30.4%と最も高くなっている。「メディア芸術（アニメーション含む）」では「30～39歳」で43.6%と最も高く、「18～29歳」で30.4%などとなっている。
- ・「70歳以上」では「映画（アニメーション除く）」を除いて10%未満である。

		回答者（人）	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	生活文化	文芸	映画（アニメーション除く）	メディア芸術（アニメーション含む）	伝統芸能	その他	特になし
	全体	422	4.7	16.6	6.2	1.4	4.0	0.7	23.0	11.1	1.7	0.5	65.2
性別	男性	145	3.4	18.6	5.5	2.1	4.1	0.7	27.6	15.2	0.7	0.7	60.7
	女性	189	4.2	15.9	6.3	1.1	4.2	0.5	21.2	10.6	2.1	0.5	67.2
年齢	18～29歳	23	8.7	30.4	8.7	0.0	4.3	0.0	30.4	30.4	0.0	0.0	47.8
	30～39歳	39	0.0	28.2	15.4	0.0	2.6	2.6	51.3	43.6	0.0	0.0	33.3
	40～49歳	66	6.1	21.2	7.6	0.0	4.5	0.0	28.8	18.2	1.5	1.5	56.1
	50～59歳	67	0.0	23.9	4.5	0.0	4.5	0.0	34.3	10.4	0.0	0.0	56.7
	60～69歳	79	5.1	11.4	2.5	0.0	1.3	1.3	15.2	1.3	1.3	0.0	77.2
	70歳以上	146	6.8	8.9	5.5	4.1	5.5	0.7	11.0	2.1	3.4	0.7	77.4
職業	自営業・家族従事者	50	2.0	10.0	0.0	2.0	6.0	0.0	26.0	6.0	2.0	0.0	66.0
	会社員、公務員等	218	5.5	22.0	8.7	0.5	4.1	0.9	30.3	15.6	0.5	0.0	56.4
	無職	141	4.3	11.3	4.3	2.8	2.8	0.7	12.1	7.1	2.8	1.4	76.6
居住地域	富山地域	142	5.6	20.4	8.5	0.7	1.4	0.7	25.4	15.5	1.4	0.7	60.6
	高岡地域	123	5.7	14.6	3.3	3.3	4.9	0.0	21.1	8.9	1.6	0.8	67.5
	新川地域	91	3.3	11.0	6.6	1.1	4.4	0.0	18.7	5.5	1.1	0.0	72.5
	砺波地域	63	3.2	20.6	6.3	0.0	7.9	3.2	28.6	14.3	3.2	0.0	58.7

2) 今後有料で鑑賞してみたい分野

- ・今後インターネットによる有料オンライン配信で鑑賞した分野について尋ねたところ、「映画（アニメーション除く）」が23.2%、「音楽」が18.5%、「演劇・演芸」が12.1%となった。
- ・「特にない」との回答は59.0%である。



- ・年齢別に見ると、「映画（アニメーション除く）」は「30～39歳」で45.0%と最も高く、「50～59歳」で32.9%、「18～29歳」で27.3%などとなっている。
- ・「音楽」は「18～29歳」で31.8%と最も高く、「50～59歳」が27.1%と続く。「メディア芸術（アニメーション含む）」では「30～39歳」で30.0%と最も高く、「18～29歳」で22.7%などとなっている。

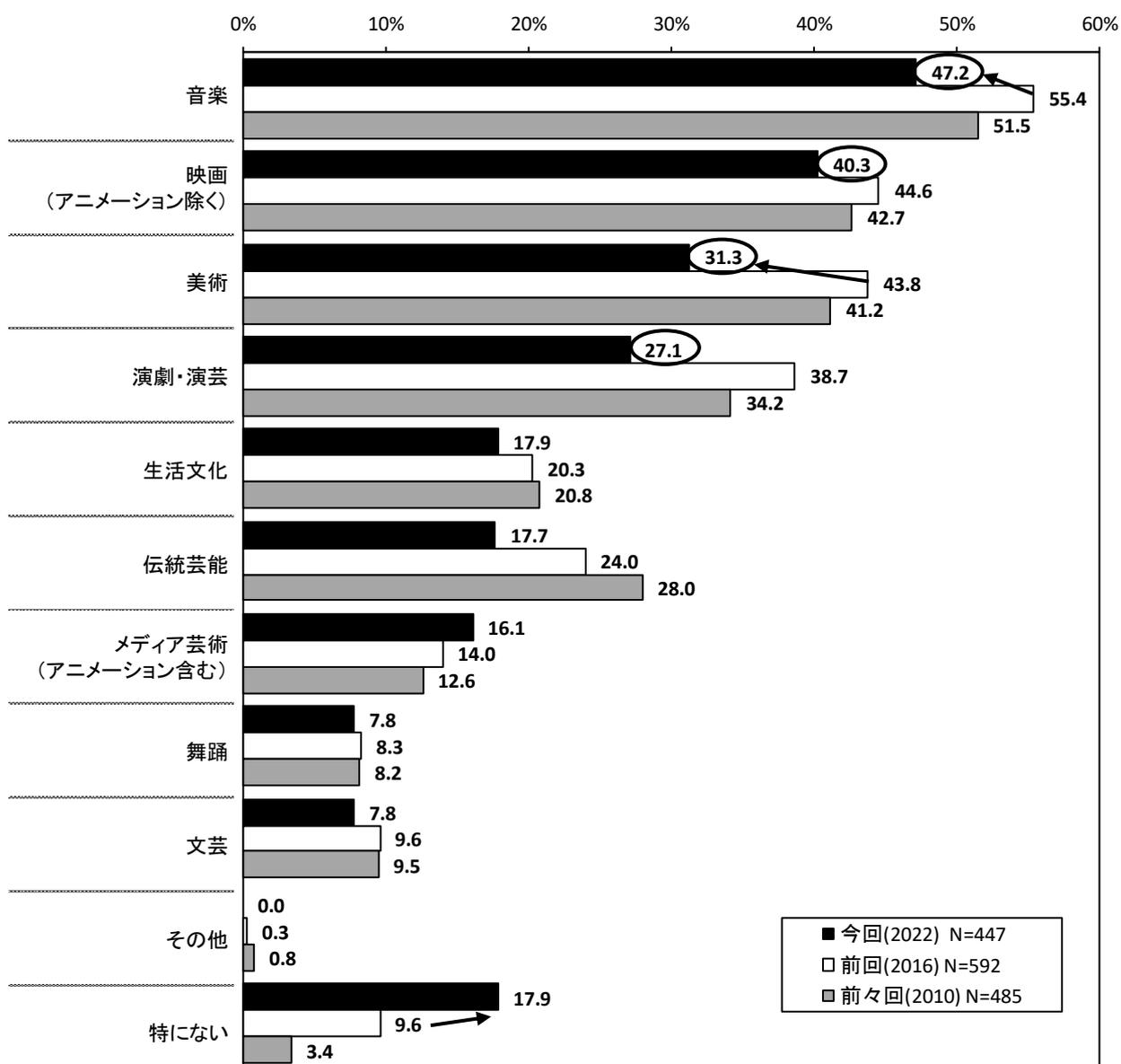
	回答者（人）	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	生活文化	文芸	映画（アニメーション除く）	メディア芸術（アニメーション含む）	伝統芸能	その他	特になし	
全体	422	6.4	18.5	12.1	0.7	4.0	1.2	23.2	10.0	4.5	0.5	59.0	
性別	男性	143	4.9	17.5	7.7	0.7	3.5	0.7	27.3	13.3	4.9	0.0	58.0
	女性	189	6.3	19.0	15.9	1.1	3.7	1.1	22.8	9.0	4.2	1.1	58.7
年齢	18～29歳	22	4.5	31.8	9.1	4.5	4.5	0.0	27.3	22.7	0.0	4.5	40.9
	30～39歳	40	5.0	15.0	17.5	0.0	5.0	2.5	45.0	30.0	2.5	0.0	37.5
	40～49歳	63	6.3	25.4	11.1	0.0	3.2	0.0	27.0	15.9	3.2	1.6	52.4
	50～59歳	70	4.3	27.1	20.0	0.0	2.9	0.0	32.9	12.9	4.3	0.0	48.6
	60～69歳	81	4.9	18.5	12.3	1.2	4.9	1.2	21.0	4.9	3.7	0.0	64.2
	70歳以上	144	9.0	10.4	7.6	0.7	4.2	2.1	11.1	0.7	6.9	0.0	72.9
職業	自営業・家族従事者	49	8.2	24.5	14.3	0.0	10.2	0.0	20.4	2.0	6.1	0.0	61.2
	会社員、公務員等	217	5.1	20.7	16.1	0.5	3.7	0.9	30.0	15.2	4.1	0.5	50.7
	無職	143	6.3	14.7	6.3	1.4	2.1	2.1	14.7	4.9	4.9	0.7	69.9
居住地域	富山地域	140	10.0	22.9	12.9	0.0	4.3	1.4	27.9	15.0	2.9	0.0	52.1
	高岡地域	125	4.8	13.6	9.6	0.8	4.0	0.8	17.6	8.0	7.2	1.6	60.0
	新川地域	92	5.4	18.5	13.0	2.2	2.2	1.1	23.9	5.4	5.4	0.0	63.0
	砺波地域	62	3.2	19.4	14.5	0.0	6.5	1.6	24.2	9.7	1.6	0.0	64.5

(6) 今後もっと鑑賞したい分野

問6 文化の鑑賞で、今後もっと鑑賞したい分野はどれですか。また、子どもたちに鑑賞させたい分野はどれですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

①あなたが鑑賞したい分野

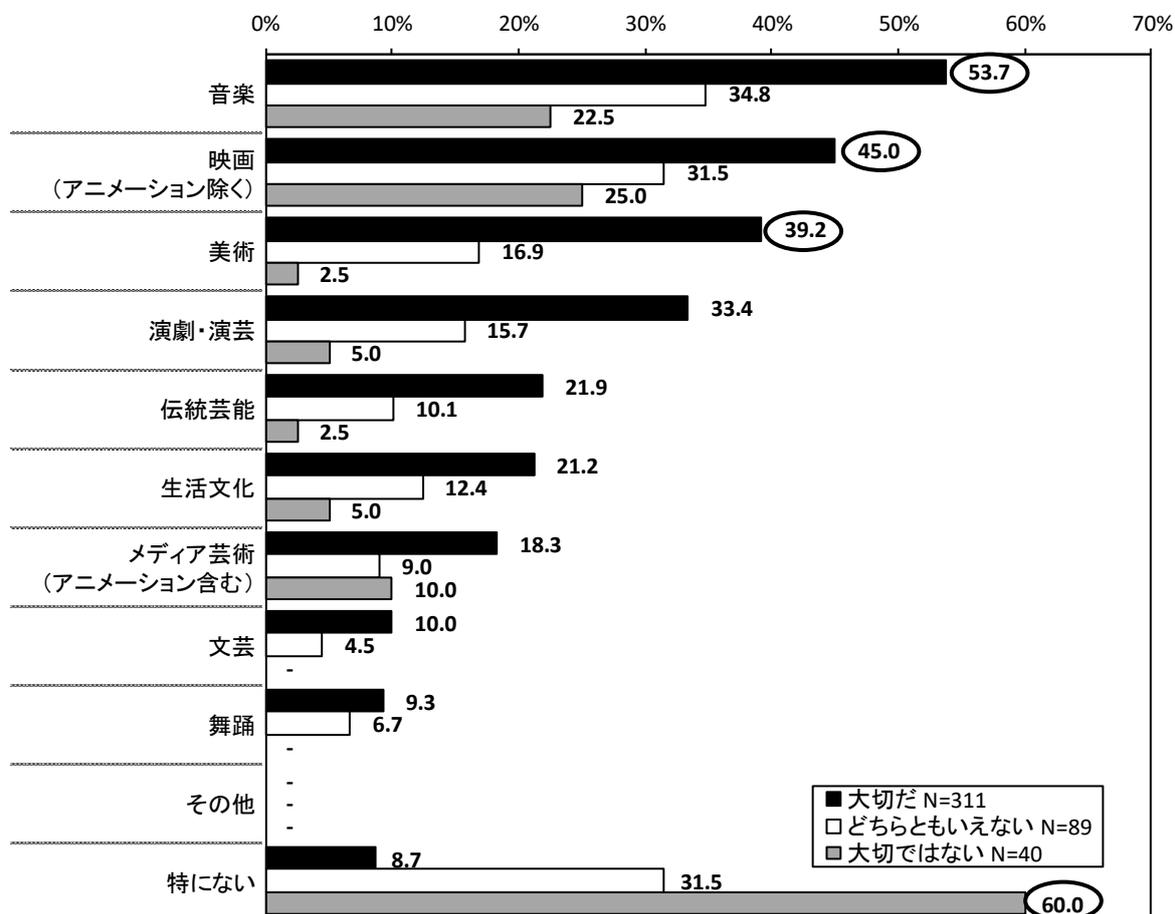
- ・今後もっと鑑賞したい分野について尋ねたところ、「音楽」が47.2%「映画（アニメーション除く）」が40.3%、「美術」が31.3%、「演劇・演芸」が27.1%となった。
- ・前回調査に比べて、「メディア芸術(アニメーション含む)」以外の分野において減少しており、「音楽」は8.2ポイント、「美術」は12.5ポイント減少している。
- ・一方で、特にないとの回答が前回調査に比べて8.3ポイント増加している。



- ・男女別に見ると、「演劇・演芸」で「男性」が「女性」を 12.2 ポイント、「生活文化」で 10.3 ポイント、「美術」で 10.1 ポイント下回っている。一方、「メディア芸術」や「映画」では「男性」が「女性」を、それぞれ 4 ポイント弱上回っている。「特にない」は 5.4 ポイント上回る。
- ・年齢別に見ると、「音楽」では「18～29歳」で 65.2%と最も高くなっている。また、「映画(アニメーション除く)」では 40歳未満で 5割を超えており、「メディア芸術(アニメーション含む)」は 40歳未満で 5割近いなど、年齢が下がるほど高くなっている。一方、「生活文化」や「伝統芸能」は年齢が高いほど値が高い。
- ・「特にない」との回答は、「70歳以上」で 25.6%と高くなった。

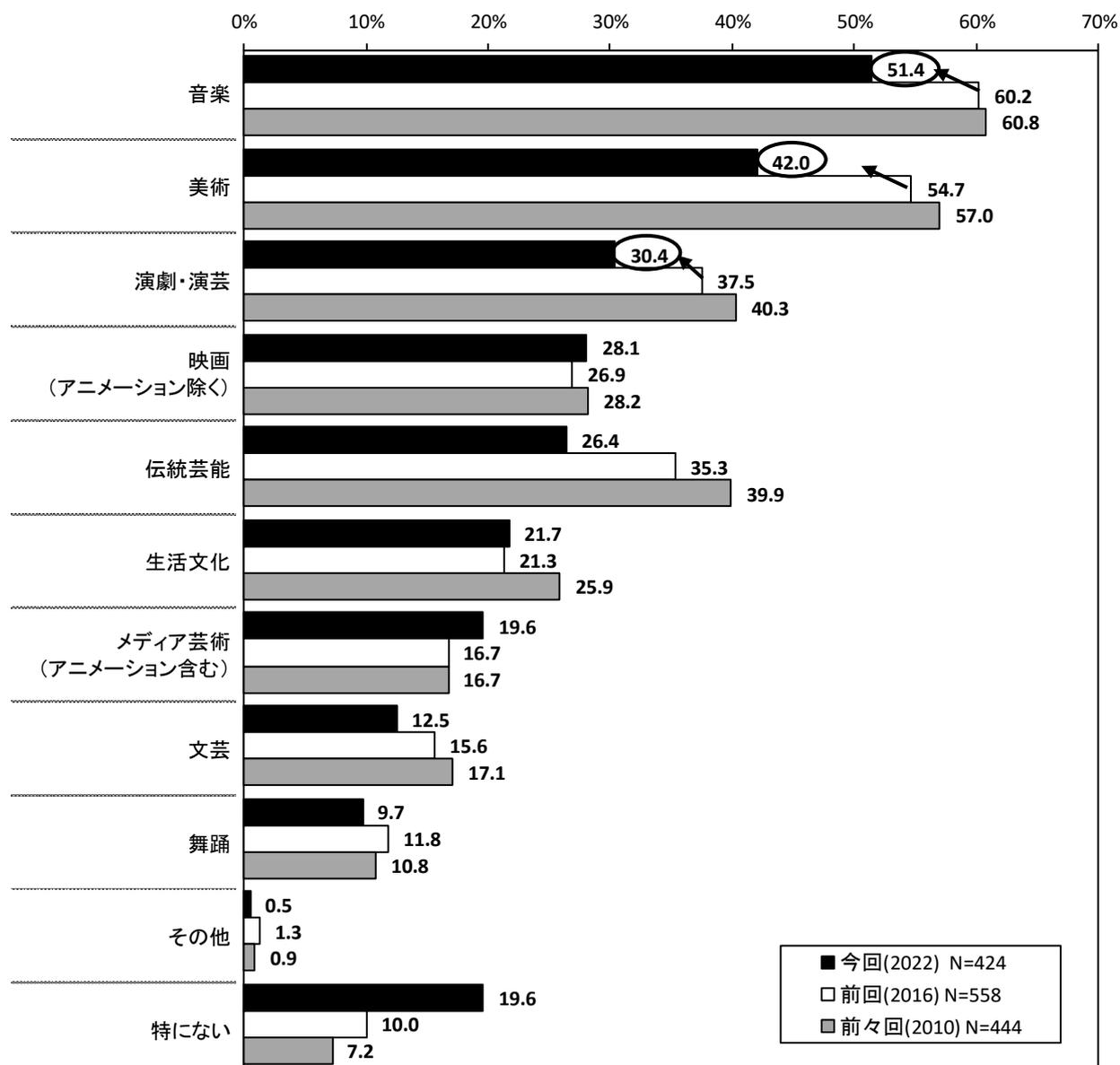
		回答者 (人)	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	生活文化	文芸	(映画 アニメーション除く)	(メディア芸術 アニメーション含む)	伝統芸能	その他	特にない
全体		447	31.3	47.2	27.1	7.8	17.9	7.8	40.3	16.1	17.7	0.0	17.9
性別	男性	150	26.0	44.0	20.0	6.0	12.0	8.0	44.7	20.7	16.0	0.0	19.3
	女性	202	36.1	50.0	32.2	9.4	22.3	9.4	41.1	16.8	18.8	0.0	13.9
年齢	18～29歳	23	26.1	65.2	21.7	4.3	8.7	13.0	56.5	47.8	4.3	0.0	4.3
	30～39歳	41	22.0	46.3	26.8	4.9	7.3	7.3	61.0	51.2	14.6	0.0	9.8
	40～49歳	67	37.3	56.7	34.3	9.0	16.4	4.5	49.3	22.4	13.4	0.0	20.9
	50～59歳	70	31.4	51.4	35.7	7.1	15.7	5.7	41.4	20.0	21.4	0.0	11.4
	60～69歳	84	33.3	56.0	25.0	6.0	16.7	11.9	44.0	6.0	16.7	0.0	14.3
	70歳以上	160	30.6	34.4	22.5	10.0	24.4	7.5	26.3	3.1	21.3	0.0	25.6
職業	自営業・ 家族従事者	53	35.8	56.6	30.2	9.4	9.4	7.5	41.5	13.2	22.6	0.0	22.6
	会社員、 公務員等	230	31.7	47.4	30.4	7.0	15.2	7.0	46.1	22.2	15.2	0.0	14.8
	無職	150	28.7	46.0	22.0	8.7	24.7	9.3	32.0	9.3	19.3	0.0	19.3
居住地	富山地域	148	36.5	58.1	29.7	8.1	16.2	7.4	42.6	18.9	17.6	0.0	11.5
	高岡地域	134	29.1	41.8	23.1	11.2	24.6	9.0	36.6	17.2	18.7	0.0	17.9
	新川地域	95	25.3	40.0	26.3	4.2	13.7	6.3	32.6	9.5	15.8	0.0	28.4
	砺波地域	67	32.8	43.3	31.3	6.0	13.4	9.0	53.7	17.9	19.4	0.0	17.9

- ・問9（1）「日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したりすることが自分にとって大切だと思うか」の回答とクロス集計を行うと、自分にとって文化を鑑賞することが『大切だ』と答えている回答者は、鑑賞したいと思っている分野に「音楽」、「映画(アニメーション除く)」、「美術」などを多く挙げている。
- ・『大切ではない』との回答者は、鑑賞したいと思っている分野が「特にない」が最も高い。



②子どもたちに鑑賞させたい分野

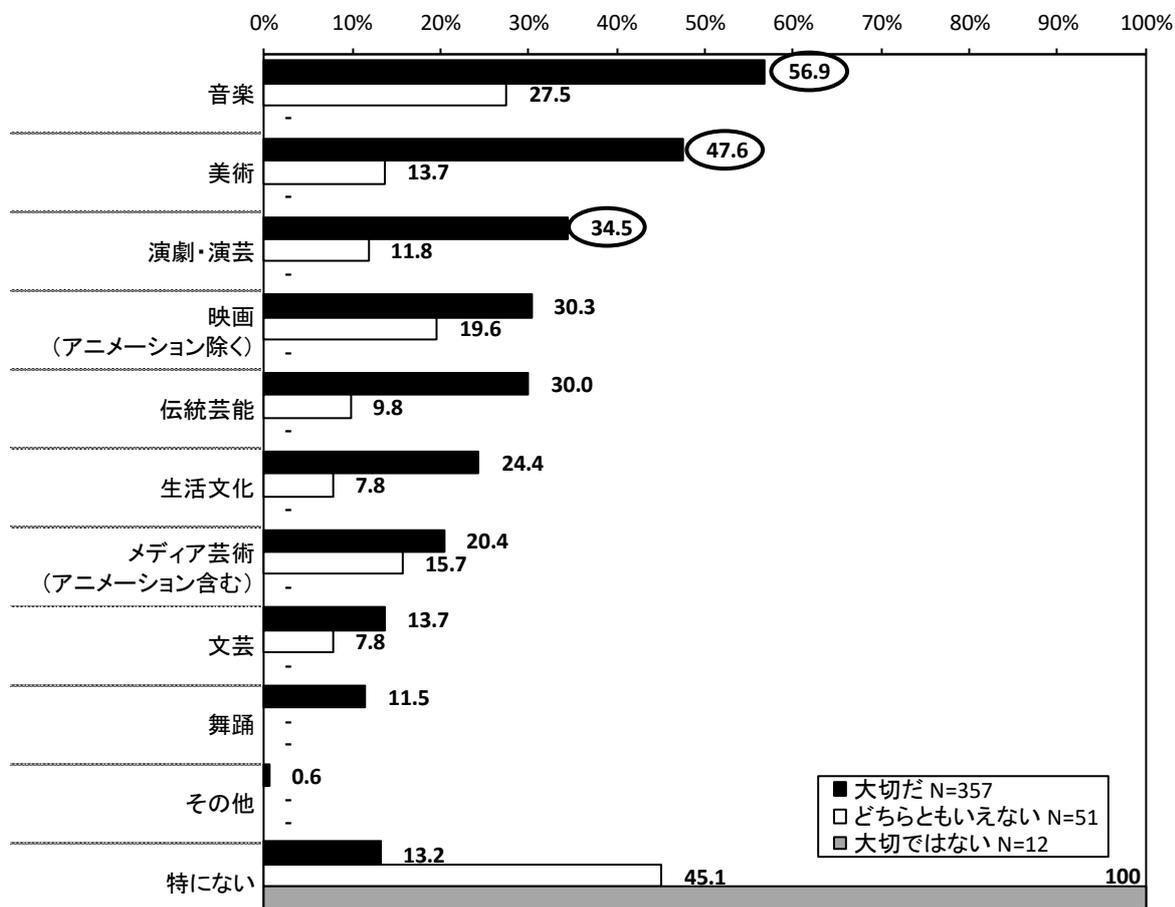
- ・今後、子どもたちに鑑賞させたい分野を尋ねたところ、「音楽」が 51.4%、「美術」が 42.0%、「演劇・演芸」が 30.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「音楽」は 8.8 ポイント、「美術」は 12.7 ポイント、「演劇・演芸」は 7.1 ポイントそれぞれ前回調査を下回っている。一方「メディア芸術(アニメーション除く)」は前回は 2.9 ポイント上回った。



- ・男女別に見ると、「映画（アニメーション除く）」で「男性」が「女性」を 11.3 ポイント上回っている。
- ・年齢別に見ると、「音楽」では「40～49歳」、「60～69歳」で6割を超えている。また、「映画（アニメーション除く）」では「30～39歳」で 53.7%と最も高くなっている。「伝統芸能」は、「40～49歳」「50～59歳」で3割を超えている。

		回答者（人）	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	生活文化	文芸	映画（アニメーション除く）	メディア芸術（アニメーション含む）	伝統芸能	その他	特になし
全体		424	42.0	51.4	30.4	9.7	21.7	12.5	28.1	19.6	26.4	0.5	19.6
性別	男性	143	43.4	55.2	27.3	8.4	20.3	15.4	37.1	22.4	26.6	0.7	18.9
	女性	190	41.6	51.6	34.2	10.0	23.7	11.6	25.8	21.6	27.4	0.5	19.5
年齢	18～29歳	21	28.6	47.6	33.3	0.0	9.5	9.5	42.9	33.3	4.8	0.0	23.8
	30～39歳	41	26.8	53.7	29.3	7.3	19.5	19.5	53.7	41.5	19.5	0.0	7.3
	40～49歳	66	48.5	60.6	40.9	9.1	19.7	7.6	36.4	22.7	30.3	1.5	22.7
	50～59歳	71	45.1	56.3	32.4	14.1	21.1	14.1	31.0	16.9	31.0	0.0	12.7
	60～69歳	81	53.1	60.5	28.4	13.6	19.8	14.8	24.7	19.8	28.4	0.0	14.8
	70歳以上	142	37.3	40.1	26.1	7.7	26.8	11.3	14.8	10.6	26.1	0.7	27.5
職業	自営業・家族従事者	51	41.2	49.0	33.3	13.7	19.6	17.6	17.6	17.6	31.4	0.0	27.5
	会社員、公務員等	222	44.6	53.6	31.5	7.2	18.9	12.2	35.6	22.5	23.4	0.5	14.9
	無職	140	37.9	50.0	27.1	12.1	25.7	10.7	20.7	15.0	27.9	0.7	22.9
居住地	富山地域	141	47.5	60.3	32.6	12.1	26.2	16.3	34.8	22.7	24.8	0.0	12.1
	高岡地域	123	39.0	51.2	31.7	11.4	20.3	12.2	25.2	14.6	27.6	0.8	18.7
	新川地域	93	36.6	39.8	24.7	4.3	19.4	8.6	18.3	17.2	21.5	0.0	30.1
	砺波地域	64	43.8	48.4	31.3	9.4	18.8	10.9	31.3	25.0	34.4	1.6	23.4

- ・問9（2）「日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したりすることが子どもたちにとって大切だと思うか」との回答とクロス集計を行うと、子どもたちにとって文化を鑑賞することが『大切だ』と思っている回答者は、鑑賞したいと思っている分野に「音楽」、「美術」、「演劇・演芸」などを多く挙げている。



(7) 演じたり、作ったりした文化活動

①自分が、この1年に活動した分野、今後活動してみたい分野

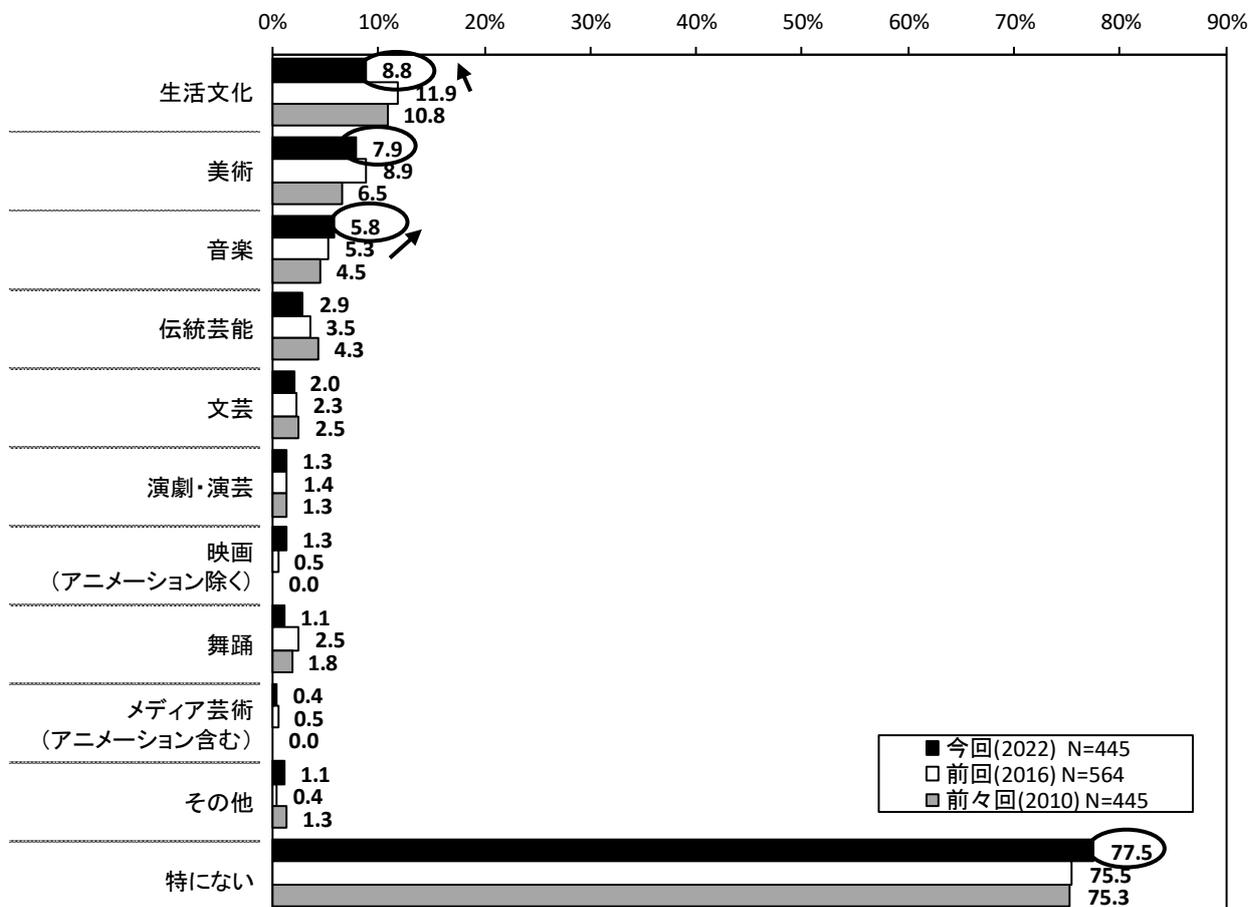
問7 (1) この1年間に、鑑賞ではなく、ご自身で演じたり、作ったりした文化活動はありますか。

また、今後ご自身で演じたり、作ったりしてみたいと思う文化活動はありますか。

次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

1) 自分がこの1年に活動した分野

- ・自分自身で演じたり、作ったりした文化活動について尋ねたところ、「特にない」との回答が77.5%と最も高く、前回調査から2.0ポイント上昇した。
- ・「生活文化」が8.8%、「美術」が7.9%、「音楽」が5.8%と続く。前回調査に比べて、「生活文化」が3.1ポイント減少した一方、「音楽」は0.5ポイント上昇した。
- ・令和3年度全国調査では、「特にしていない」との回答が90.0%と本県調査の「特にない」よりも12.5ポイント高い。最も高い値だったのは「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」の2.4%だった。

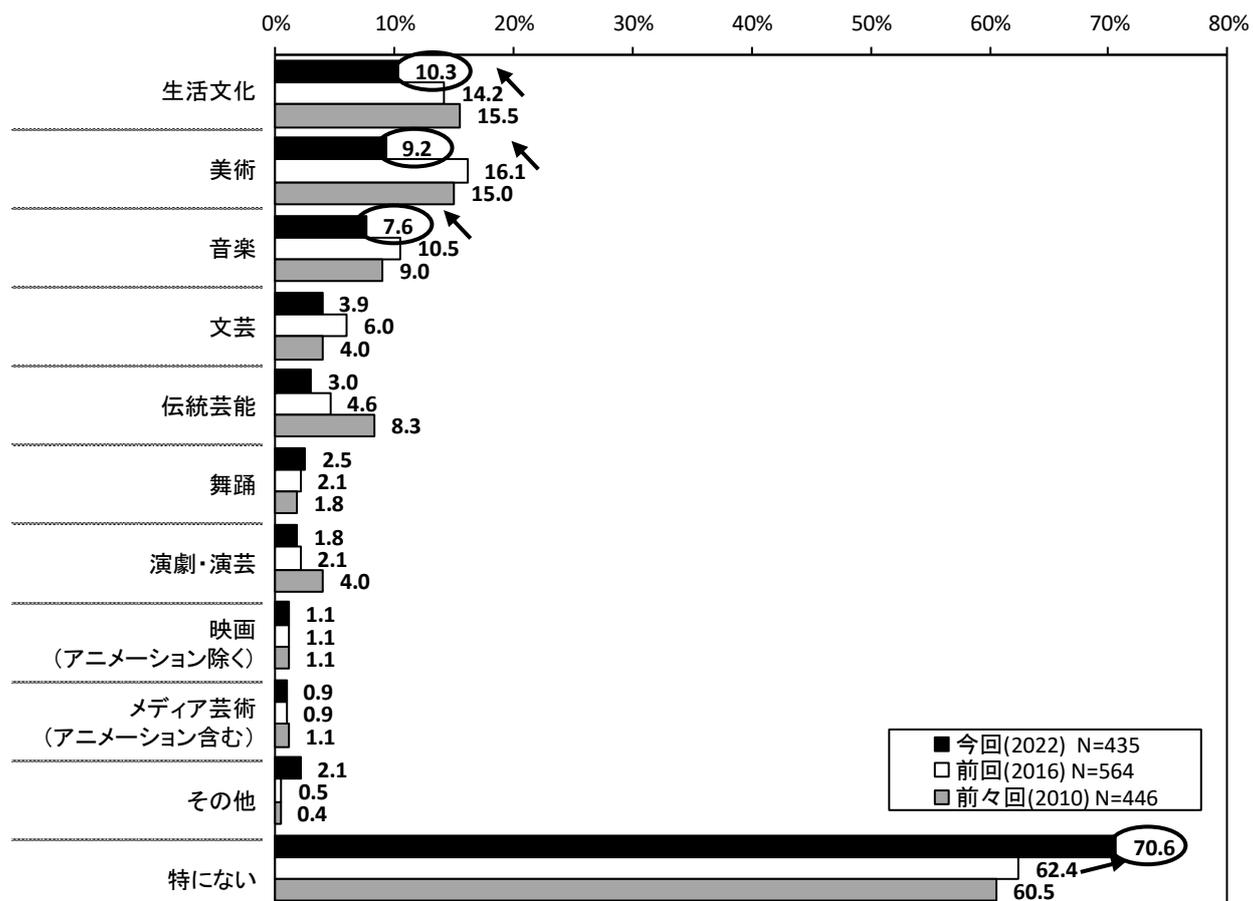


- ・男女別に見ると、「特にない」は「男性」が80.8%と「女性」を4.9ポイント上回る。「生活文化」は「女性」が「男性」を4.6ポイント上回っている。
- ・年齢別に見ると、「60～69歳」で「美術」が13.6%、「音楽」が11.1%、「生活文化」が12.3%などと他の年齢に比べて高くなっている。
- ・職業別で見ると、「自営業・家族従事者」で「美術」が15.1%と高くなっている。
- ・地域別で見ると、「砺波地域」で「美術」が13.2%と高くなっている。

		回答者（人）	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	生活文化	文芸	（映画 アニメーション除く）	メディア芸術 （アニメーション含む）	伝統芸能	その他	特にない
全体		445	7.9	5.8	1.3	1.1	8.8	2.0	1.3	0.4	2.9	1.1	77.5
性別	男性	151	6.6	6.0	2.0	1.3	6.0	1.3	2.0	1.3	2.6	0.7	80.8
	女性	199	9.5	5.5	1.5	0.5	10.6	2.5	1.0	0.0	2.5	1.0	75.9
年齢	18～29歳	24	8.3	8.3	0.0	0.0	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	79.2
	30～39歳	41	2.4	2.4	0.0	2.4	4.9	0.0	7.3	4.9	2.4	0.0	82.9
	40～49歳	67	7.5	6.0	1.5	1.5	6.0	1.5	0.0	0.0	3.0	0.0	82.1
	50～59歳	71	2.8	2.8	1.4	0.0	8.5	1.4	1.4	0.0	2.8	0.0	81.7
	60～69歳	81	13.6	11.1	3.7	0.0	12.3	3.7	1.2	0.0	1.2	3.7	70.4
	70歳以上	159	8.8	5.0	0.6	1.9	10.1	1.3	0.6	0.0	4.4	1.3	75.5
職業	自営業・ 家族従事者	53	15.1	9.4	0.0	0.0	9.4	0.0	3.8	0.0	5.7	1.9	62.3
	会社員、 公務員等	228	6.6	4.4	2.2	0.9	7.5	2.2	1.8	0.9	1.8	0.4	82.5
	無職	151	7.3	6.6	0.7	2.0	9.9	2.6	0.0	0.0	3.3	2.0	74.8
居住地域	富山地域	148	7.4	8.1	0.7	1.4	9.5	1.4	0.0	0.0	2.7	0.7	76.4
	高岡地域	132	5.3	6.8	3.0	0.8	6.8	1.5	1.5	0.0	2.3	1.5	81.1
	新川地域	94	8.5	2.1	1.1	1.1	9.6	1.1	2.1	1.1	2.1	0.0	79.8
	砺波地域	68	13.2	4.4	0.0	1.5	10.3	5.9	2.9	1.5	5.9	2.9	69.1

2) 自分が今後活動してみたい分野

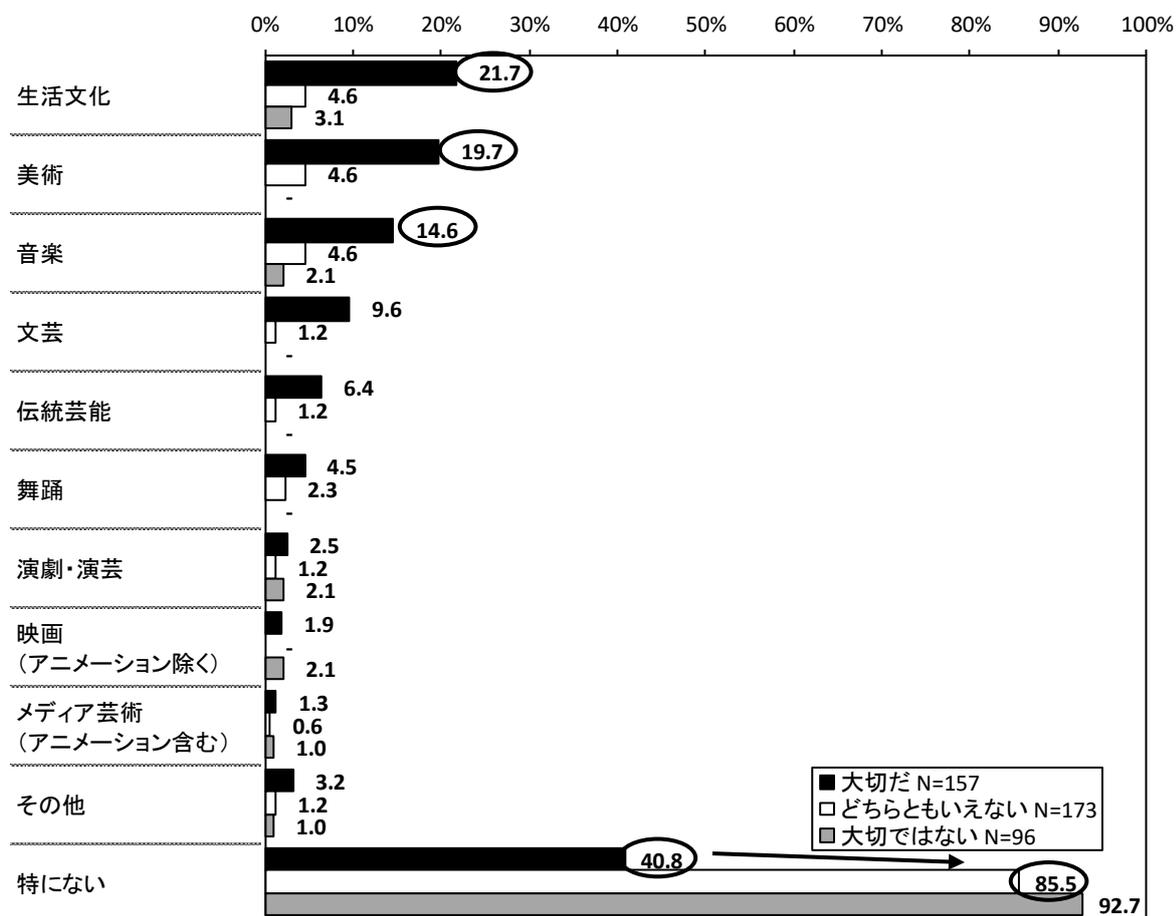
- ・今後演じたり、作ったりしてみたい文化活動について尋ねたところ、「特にない」の回答が70.6%と最も高く、前回調査から8.2ポイント上昇した。
- ・「生活文化」が10.3%、「美術」が9.2%、「音楽」が7.6%と続く。
- ・前回調査に比べて、「生活文化」が3.9ポイント、「美術」が6.9ポイント、「音楽」が2.9ポイント減少した。



- ・男女別に見ると、「特にない」は「男性」が76.0%と「女性」を8.0ポイント上回る。「生活文化」は10.2ポイント、「美術」は5.2ポイント、それぞれ「女性」が「男性」を上回っている。
- ・年齢別に見ると、「音楽」は「18～29歳」で17.4%と最も高くなっている。また「生活文化」は「60～69歳」で19.3%と他の年齢に比べて高くなっている。
- ・職業別で見ると、「自営業・家族従事者」で「音楽」が15.7%と高い。
- ・地域別で見ると、「富山地域」で「生活文化」が13.2%と高くなっている。

		回答者 (人)	美術	音楽	演劇・ 演芸	舞踊	生活 文化	文芸	映画 (アニメーション 除く)	メディア 芸術 (アニメーション 含む)	伝統 芸能	その他	特 にな い
全体		435	9.2	7.6	1.8	2.5	10.3	3.9	1.1	0.9	3.0	2.1	70.6
性別	男性	150	↓ 6.7	6.7	2.0	2.0	↓ 4.7	3.3	2.0	0.7	2.0	2.0	↑ 76.0
	女性	194	↓ 11.9	7.7	1.5	3.6	↓ 14.9	5.2	0.5	1.5	2.6	1.5	↑ 68.0
年齢	18～29歳	23	13.0	17.4	0.0	0.0	13.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	69.6
	30～39歳	40	12.5	10.0	2.5	7.5	2.5	2.5	2.5	5.0	2.5	0.0	75.0
	40～49歳	66	12.1	9.1	3.0	1.5	9.1	4.5	1.5	0.0	3.0	0.0	74.2
	50～59歳	70	4.3	7.1	0.0	1.4	8.6	5.7	1.4	1.4	5.7	0.0	70.0
	60～69歳	83	12.0	12.0	1.2	1.2	19.3	4.8	0.0	0.0	2.4	7.2	60.2
	70歳以上	151	7.3	2.6	2.6	3.3	8.6	3.3	0.7	0.0	2.6	2.0	73.5
職業	自営業・ 家族従事者	51	11.8	15.7	3.9	0.0	7.8	2.0	3.9	0.0	3.9	2.0	58.8
	会社員、 公務員等	225	9.3	6.7	1.8	2.7	11.1	4.4	1.3	1.3	3.1	1.3	71.6
	無職	145	7.6	5.5	1.4	3.4	9.7	4.1	0.0	0.7	2.1	3.4	73.1
居住 地域	富山地域	144	8.3	9.0	1.4	2.1	13.2	1.4	1.4	2.1	4.2	2.1	68.1
	高岡地域	128	7.8	8.6	2.3	4.7	9.4	6.3	0.0	0.0	3.9	2.3	69.5
	新川地域	94	11.7	4.3	2.1	2.1	8.5	2.1	1.1	0.0	2.1	1.1	76.6
	砺波地域	65	10.8	7.7	1.5	0.0	9.2	7.7	3.1	1.5	0.0	3.1	67.7

- ・問9（1）「日常生活の中でいろいろな文化を自分が演じたり、作ったりすることが自分にとって大切だと思うか」の回答とクロス集計を行うと、自分にとって『大切だ』と思っている回答者は、自分が演じたり、作ったりしてみたいと思っている分野に「生活文化」、「美術」、「音楽」などを多く挙げている。
- ・「特にない」との回答は『大切だ』との回答者では40.8%である一方、『大切ではない』との回答者は92.7%であり、51.9ポイントの差がある。

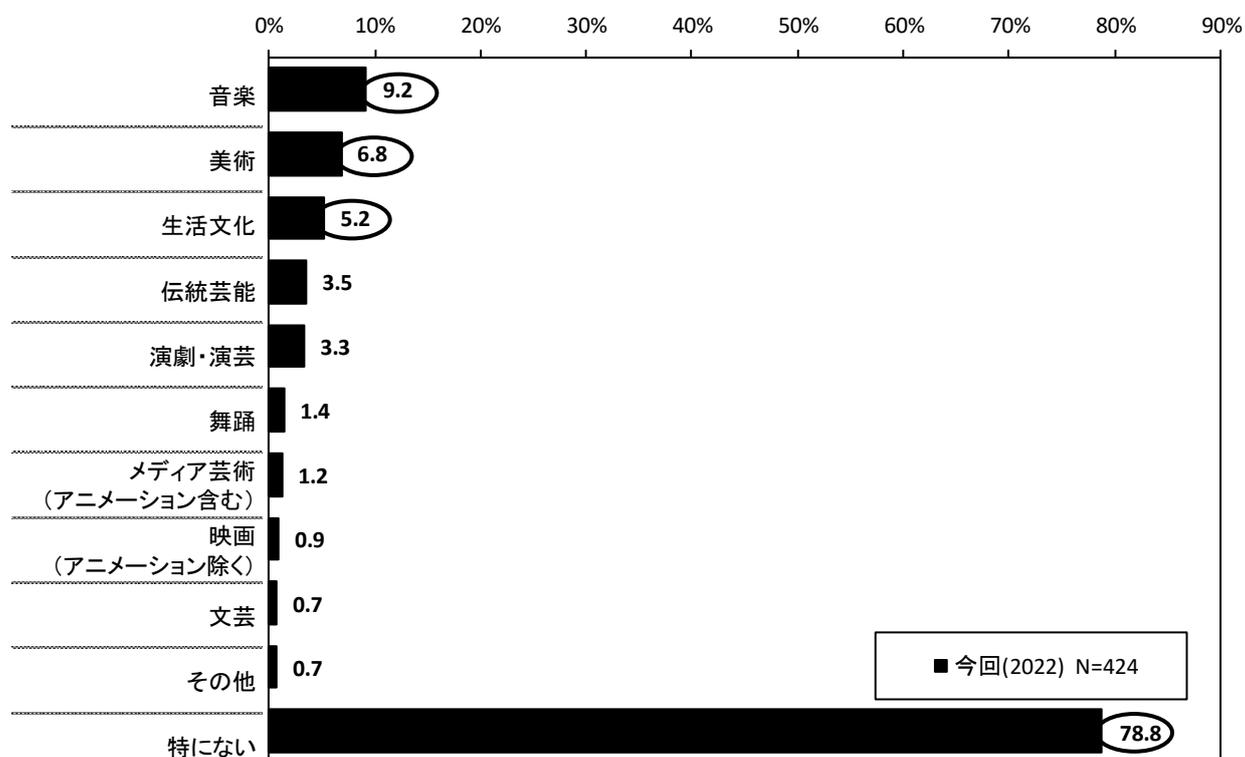


②子どもたちに、現在活動させている分野、今後活動させたい分野

問7 (2) 子どもたちに、現在演じたり作ったりさせている文化活動はありますか。また、今後、演じたり、作ったりさせたいと思う文化活動はありますか。次の中からいくつか選んで○をつけてください。

1) 演じたり、作ったりさせている文化活動

- ・子どもたちに現在演じたり作ったりさせている文化活動を尋ねたところ、「音楽」が9.2%、「美術」が6.8%、「生活文化」が5.2%と続く。「特にない」は78.8%であった。
- ・令和3年度全国調査では「特に行ったことはない」が75.2%と、本県調査よりも3.6ポイント低い。全国調査において最も高い選択肢は「マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作」の8.8%であった。

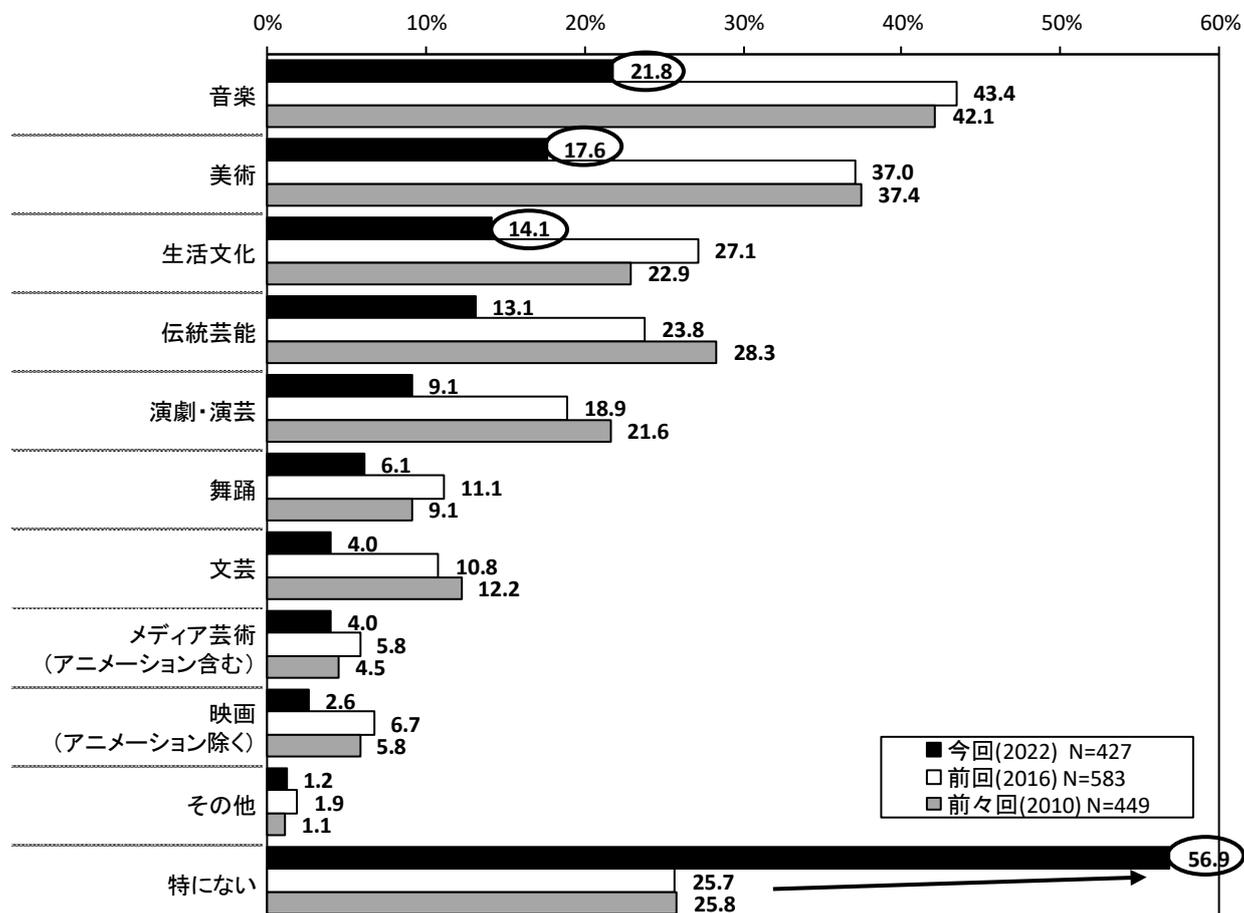


- ・男女別に見ると、「音楽」は2.5ポイント「男性」が「女性」を上回っている。
- ・年齢別に見ると、「音楽」は「50～59歳」で18.8%、「40～49歳」で16.1%と高くなっている。また「生活文化」は「40～49歳」で9.7%と他の年齢に比べて高い。
- ・職業別で見ると、「自営業・家族従事者」で「美術」が12.7%と高くなっている。
- ・地域別で見ると、「富山地域」や「高岡地域」で「音楽」が約10%となっており、「砺波地域」では「生活文化」が12.3%と高くなっている。

		回答者（人）	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	生活文化	文芸	（映画 アニメーション除く）	（メディア アート芸術 アート含む）	伝統芸能	その他	特 に な い
全体		424	6.8	9.2	3.3	1.4	5.2	0.7	0.9	1.2	3.5	0.7	78.8
性別	男性	147	8.8	10.2	3.4	1.4	4.8	0.7	0.7	1.4	3.4	0.7	77.6
	女性	183	7.1	7.7	2.2	1.1	5.5	0.5	1.6	0.5	3.8	0.5	81.4
年齢	18～29歳	21	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	90.5
	30～39歳	41	4.9	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	90.2
	40～49歳	62	6.5	16.1	3.2	0.0	9.7	0.0	1.6	1.6	3.2	1.6	72.6
	50～59歳	69	7.2	18.8	8.7	2.9	1.4	0.0	1.4	2.9	7.2	0.0	72.5
	60～69歳	84	10.7	10.7	3.6	1.2	3.6	2.4	1.2	2.4	1.2	1.2	77.4
	70歳以上	145	5.5	4.1	2.1	1.4	8.3	0.7	0.7	0.0	2.8	0.7	80.0
職業	自営業・ 家族従事者	55	12.7	10.9	7.3	3.6	5.5	3.6	0.0	0.0	1.8	0.0	74.5
	会社員、 公務員等	222	4.5	9.9	3.6	1.4	4.1	0.0	1.4	1.8	4.5	1.4	78.4
	無職	135	7.4	5.9	0.7	0.7	7.4	0.7	0.0	0.7	2.2	0.0	82.2
居住 地域	富山地域	145	9.7	9.7	2.8	0.7	4.8	0.0	0.7	0.7	1.4	0.0	77.9
	高岡地域	120	5.0	10.8	6.7	2.5	4.2	1.7	2.5	2.5	5.0	0.8	78.3
	新川地域	91	3.3	5.5	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	1.1	2.2	1.1	86.8
	砺波地域	65	9.2	9.2	0.0	3.1	12.3	1.5	0.0	0.0	7.7	1.5	70.8

2) 今後、演じたり、作ったりしてみたい文化活動

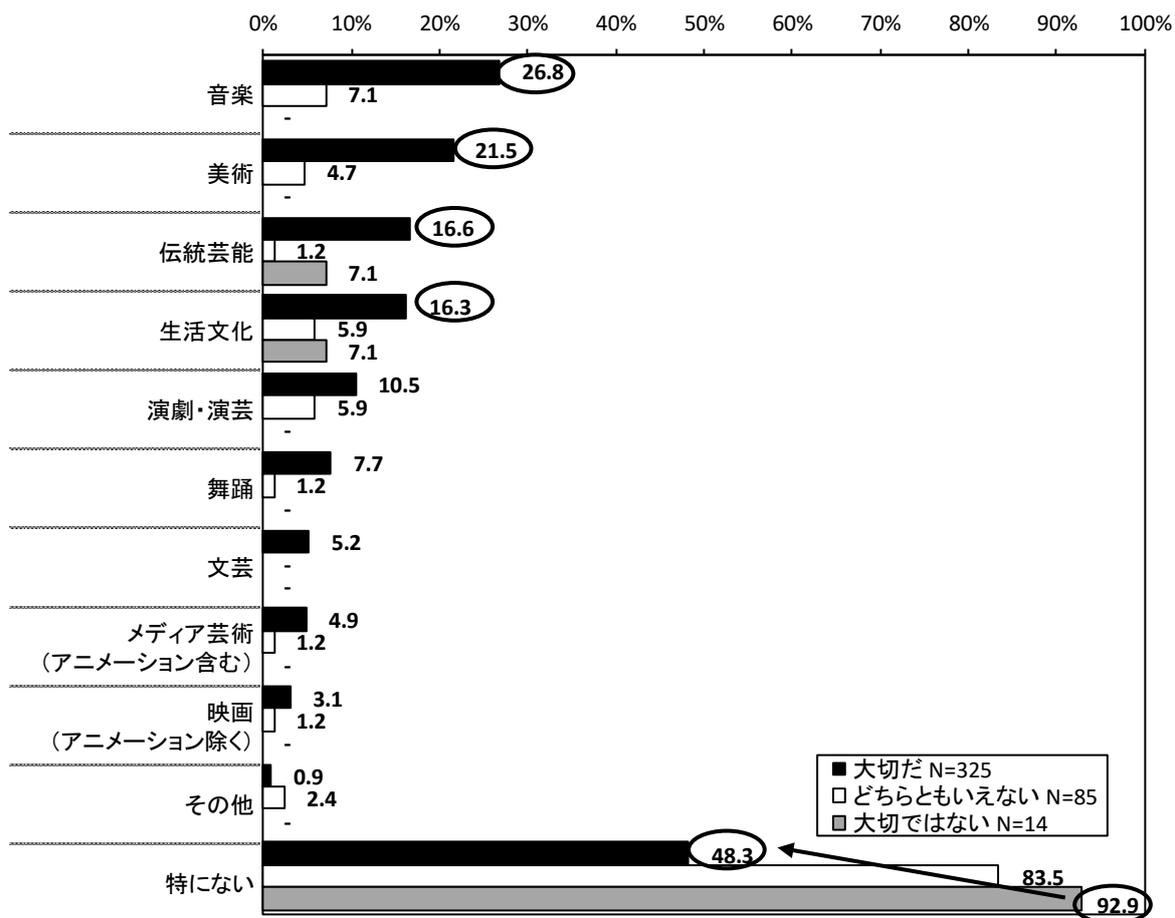
- ・子どもたちに今後、演じたり、作ったりしてみたい文化活動を尋ねたところ、「音楽」が21.8%、「美術」が17.6%、「生活文化」が14.1%と続く。「特にない」は56.9%であった。
- ・全ての分野において前回調査を下回っており、「特にない」は31.2ポイント増加した。



- ・男女別に見ると、「生活文化」は 4.2 ポイント、「音楽」は 3.9 ポイント、「男性」が「女性」を上回っている。
- ・年齢別に見ると、「18～29歳」では「美術」が 28.6%、「音楽」が 28.6%と高い。「30～39歳」では「特にない」との回答が他の年齢に比べて高くなっている。「40～49歳」、「50～59歳」では「音楽」が最も高くなっている。
- ・地域別で見ると、「富山地域」や「高岡地域」で「音楽」がそれぞれ約 24%と高い。「砺波地域」では「美術」「音楽」「伝統芸能」がそれぞれ約 2割となっている。

		回答者 (人)	美術	音楽	演劇・ 演芸	舞踊	生活文化	文芸	映画 (アニメーション除く)	メディア アート (アニメーション含む)	伝統 芸能	その他	特 にな い
全体		427	17.6	21.8	9.1	6.1	14.1	4.0	2.6	4.0	13.1	1.2	56.9
性別	男性	147	19.0	23.8	9.5	6.1	15.0	5.4	2.0	4.8	12.9	1.4	56.5
	女性	186	18.8	19.9	7.0	5.4	10.8	3.2	2.2	3.8	11.3	1.1	60.2
年齢	18～29歳	21	28.6	28.6	9.5	4.8	0.0	4.8	0.0	4.8	14.3	4.8	57.1
	30～39歳	41	17.1	14.6	4.9	14.6	7.3	0.0	2.4	2.4	17.1	0.0	65.9
	40～49歳	63	17.5	27.0	12.7	4.8	15.9	4.8	3.2	3.2	11.1	1.6	57.1
	50～59歳	70	14.3	27.1	17.1	8.6	11.4	2.9	2.9	7.1	18.6	0.0	51.4
	60～69歳	84	22.6	23.8	8.3	6.0	17.9	7.1	3.6	7.1	9.5	2.4	57.1
	70歳以上	146	14.4	17.1	5.5	3.4	16.4	3.4	2.1	1.4	12.3	0.7	56.8
職業	自営業・ 家族従事者	54	18.5	24.1	7.4	7.4	13.0	7.4	5.6	5.6	14.8	1.9	53.7
	会社員、 公務員等	222	15.8	21.2	9.9	6.3	14.0	2.7	1.8	3.2	11.3	1.8	59.0
	無職	138	18.1	20.3	8.0	5.1	13.8	3.6	2.2	4.3	15.2	0.0	55.8
居住地域	富山地域	143	16.1	24.5	11.2	6.3	11.9	4.9	3.5	5.6	9.8	0.0	58.7
	高岡地域	120	18.3	24.2	13.3	7.5	11.7	4.2	0.0	1.7	16.7	2.5	53.3
	新川地域	93	15.1	15.1	1.1	3.2	18.3	2.2	3.2	4.3	9.7	0.0	63.4
	砺波地域	67	20.9	20.9	9.0	7.5	16.4	4.5	4.5	4.5	19.4	3.0	52.2

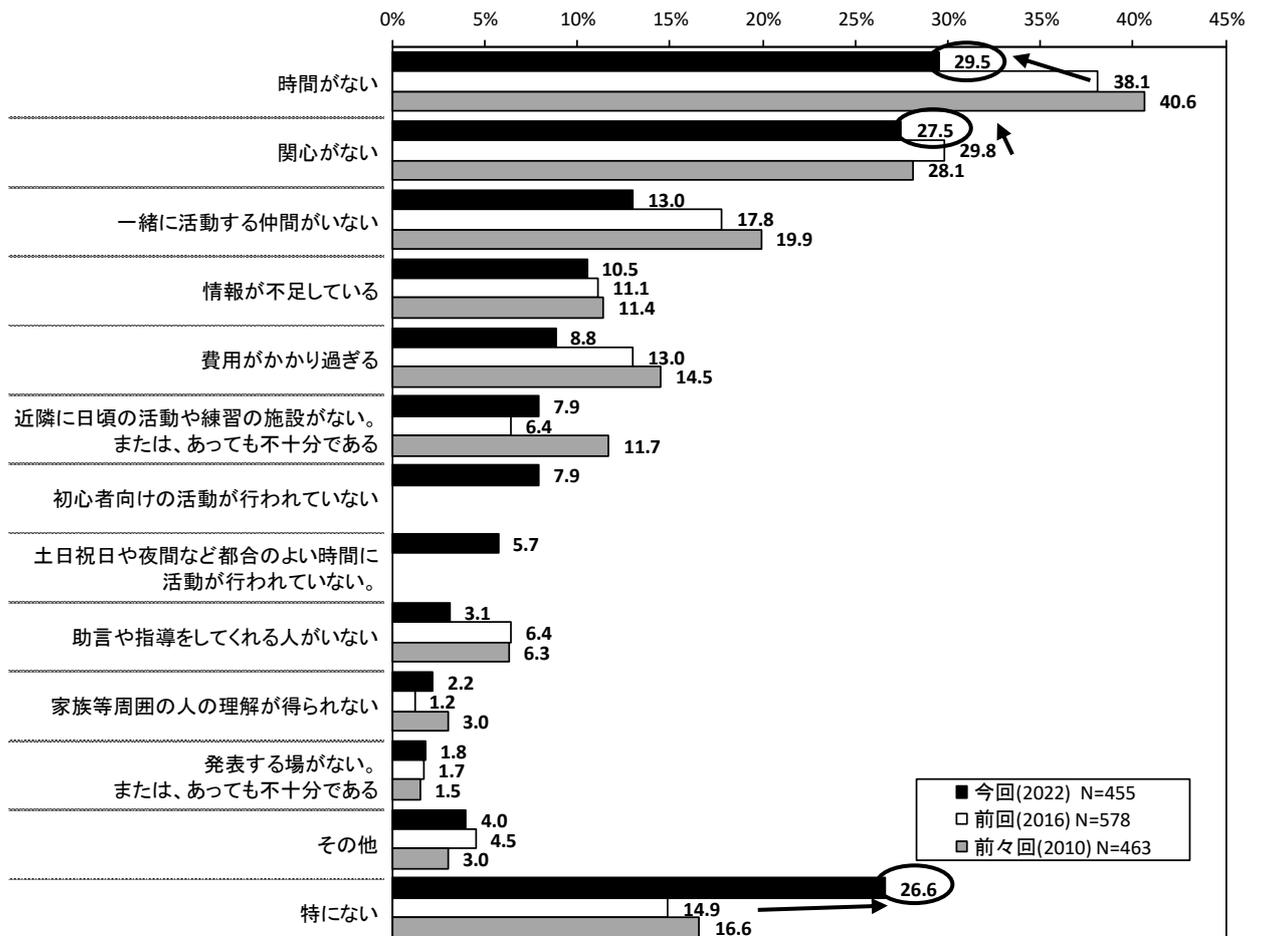
- ・問9（2）「日常生活の中でいろいろな文化を子どもたちが演じたり、作ったりすることが子どもたちにとって大切と思うか」の回答とクロス集計を行うと、子どもたちにとって『大切だ』と思っている回答者は、子どもたちにさせたいと思っている分野に「音楽」、「美術」、「伝統芸能」、「生活文化」などを多く挙げている。
- ・「特にない」との回答は『大切だ』との回答者では48.3%である一方、『大切ではない』との回答者は92.9%であり、44.6ポイントの差がある。



(8) 自分で演じたり、作ったりするうえで支障となっていること

問8 あなたがご自身で演じたり、作ったりする文化活動を行ううえで支障となっていることは何ですか。また、文化活動をしなかった方は、その理由は何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- ・文化活動の支障になっていることを尋ねたところ、「時間がない」が29.5%、「関心がない」が27.5%となった。
- ・前回調査に比べて、「時間がない」は8.6ポイント、「関心がない」は2.3ポイント減少した。
- ・「特にない」との回答が26.6%となり、前回に比べて11.7ポイント上昇した。
- ・令和3年度全国調査において「どうしたら参加しやすくなるか」尋ねているが、「魅力ある内容の活動が行われる」が31.6%、「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」が30.0%などとなっている。
- ・その他としては、健康や身体状況、コロナの影響が挙げられている。



- ・男女別に見ると、「特にない」との回答は「男性」が「女性」よりも9.3ポイント高い。「近隣に日頃の活動や練習の施設がない。または、あっても不十分である」は「女性」が「男性」を7.3ポイント上回る。
- ・年齢別に見ると、「18～29歳」、「40～49歳」では「関心がない」が4割を超える。「30～39歳」では「時間がない」が51.2%で最も高い。「70歳以上」では「特にない」が38.4%である。
- ・問7（1）この一年間に自分自身で文化活動を行った状況別に見ると、活動が「特にない」との回答者は、「関心が無い」が33.6%で最も高く、「特にない」が29.5%、「時間が無い」が27.5%で続く。

	回答者（人）	時間がない	一緒に活動する仲間がない	家族等周囲の人の理解が得られない	近隣に日頃の活動や練習の施設がない。または、あっても不十分である	土日祝日や夜間など都合のよい時間に活動が行われていない。	発表する場がない。または、あっても不十分である	費用がかかり過ぎる	助言や指導をしてくれる人がいない	初心者向けの活動が行われていない	情報が不足している	関心がない	その他	特にない	
全体	455	29.5	13.0	2.2	7.9	5.7	1.8	8.8	3.1	7.9	10.5	27.5	4.0	26.6	
性別	男性	154	29.2	10.4	1.3	4.5	3.9	2.6	8.4	2.6	8.4	11.7	29.9	2.6	30.5
	女性	203	33.0	13.3	3.4	11.8	7.9	1.5	11.3	3.0	9.4	8.9	26.1	4.4	21.2
年齢	18～29歳	24	33.3	12.5	0.0	4.2	4.2	4.2	8.3	4.2	8.3	4.2	45.8	4.2	4.2
	30～39歳	41	51.2	7.3	0.0	9.8	2.4	0.0	14.6	2.4	9.8	17.1	24.4	2.4	22.0
	40～49歳	67	35.8	13.4	0.0	4.5	7.5	1.5	7.5	4.5	6.0	13.4	40.3	1.5	19.4
	50～59歳	71	39.4	11.3	4.2	7.0	11.3	1.4	8.5	0.0	5.6	8.5	31.0	1.4	25.4
	60～69歳	86	38.4	12.8	4.7	12.8	7.0	4.7	9.3	3.5	8.1	7.0	25.6	7.0	19.8
	70歳以上	164	12.2	15.2	1.8	7.3	3.0	0.6	7.9	3.7	9.1	11.6	18.9	4.9	38.4
職業	自営業・家族従事者	54	38.9	9.3	1.9	0.0	3.7	0.0	5.6	0.0	3.7	7.4	29.6	5.6	29.6
	会社員、公務員等	234	38.5	13.2	2.6	6.8	8.5	1.3	9.0	3.8	8.1	11.5	31.6	1.7	19.7
	無職	153	13.1	13.7	2.0	13.1	2.0	2.6	9.2	3.3	9.8	10.5	21.6	7.2	34.6
居住地	富山地域	152	32.9	11.8	1.3	9.9	4.6	2.6	7.2	4.6	9.9	15.1	19.1	3.9	28.9
	高岡地域	133	32.3	15.8	3.0	8.3	6.8	0.8	10.5	2.3	5.3	10.5	28.6	3.0	22.6
	新川地域	98	22.4	6.1	1.0	4.1	9.2	0.0	6.1	2.0	8.2	7.1	37.8	6.1	29.6
	砺波地域	69	24.6	20.3	2.9	8.7	1.4	4.3	13.0	2.9	8.7	5.8	29.0	2.9	26.1
問7(1)	文化活動行った	98	34.7	11.2	3.1	14.3	7.1	6.1	16.3	8.2	9.2	14.3	8.2	5.1	19.4
	特にない	342	27.5	12.6	2.0	6.4	5.3	0.6	6.4	1.5	7.6	9.9	33.6	3.5	29.5

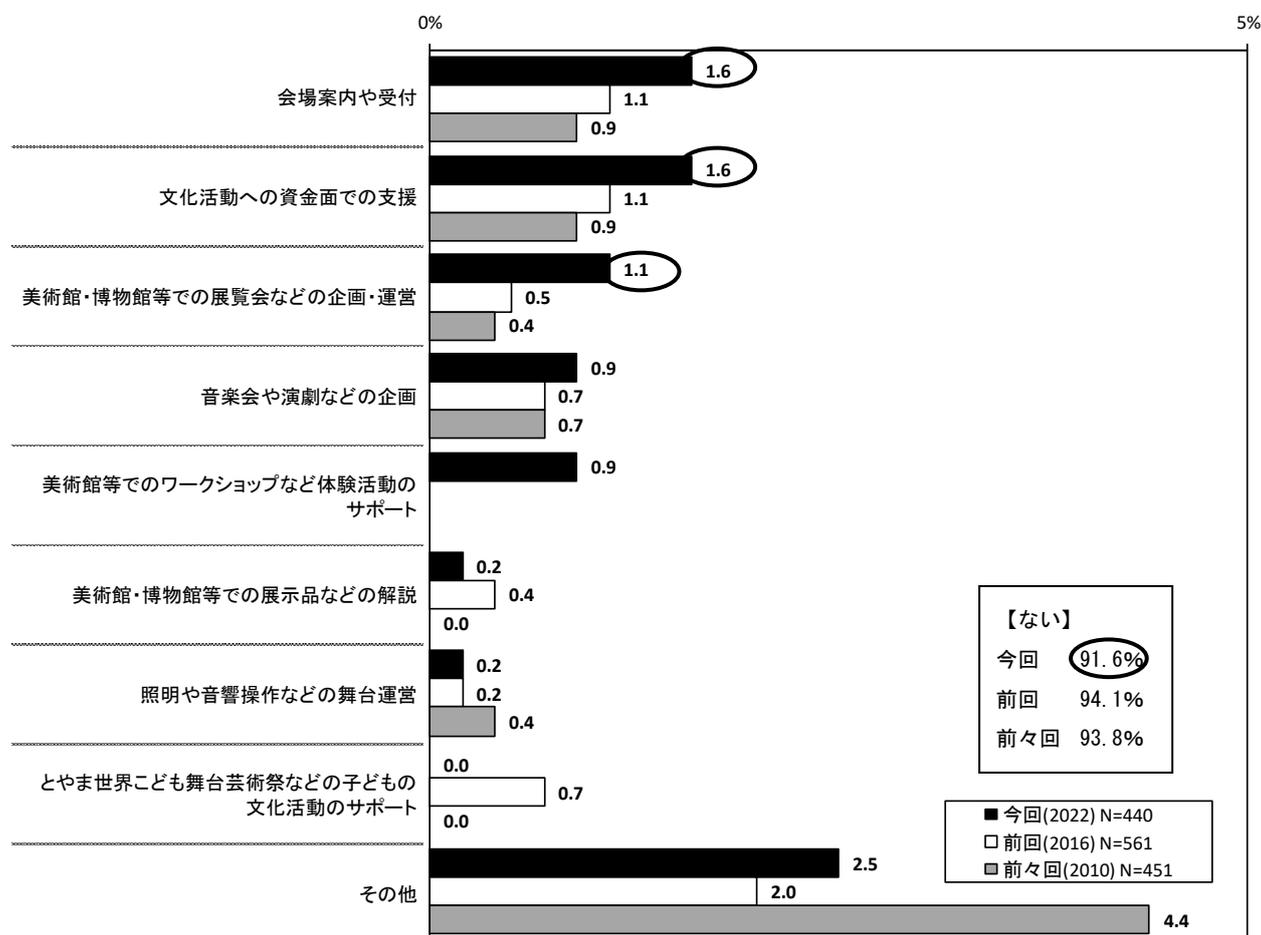
5. 文化ボランティア活動

(1) 芸術文化活動に関連するボランティア活動をしているか、今後したいと思うか

問 12 (1) 現在、何か芸術文化活動に関連するボランティア活動等をしていますか。または、今後したいと思いますか。
次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

①現在行っている芸術文化活動に関するボランティア

- ・現在行っている芸術文化活動に関するボランティアについて尋ねたところ、「ない」との回答が最も多く 91.6%であり、前回調査から 2.5 ポイント減少した。
- ・行っているボランティアでは、「会場案内や受付」、「文化活動への資金面での支援」がそれぞれ 1.6%、「美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営」が 1.1%と続く。多くの項目で前回調査を上回っている。

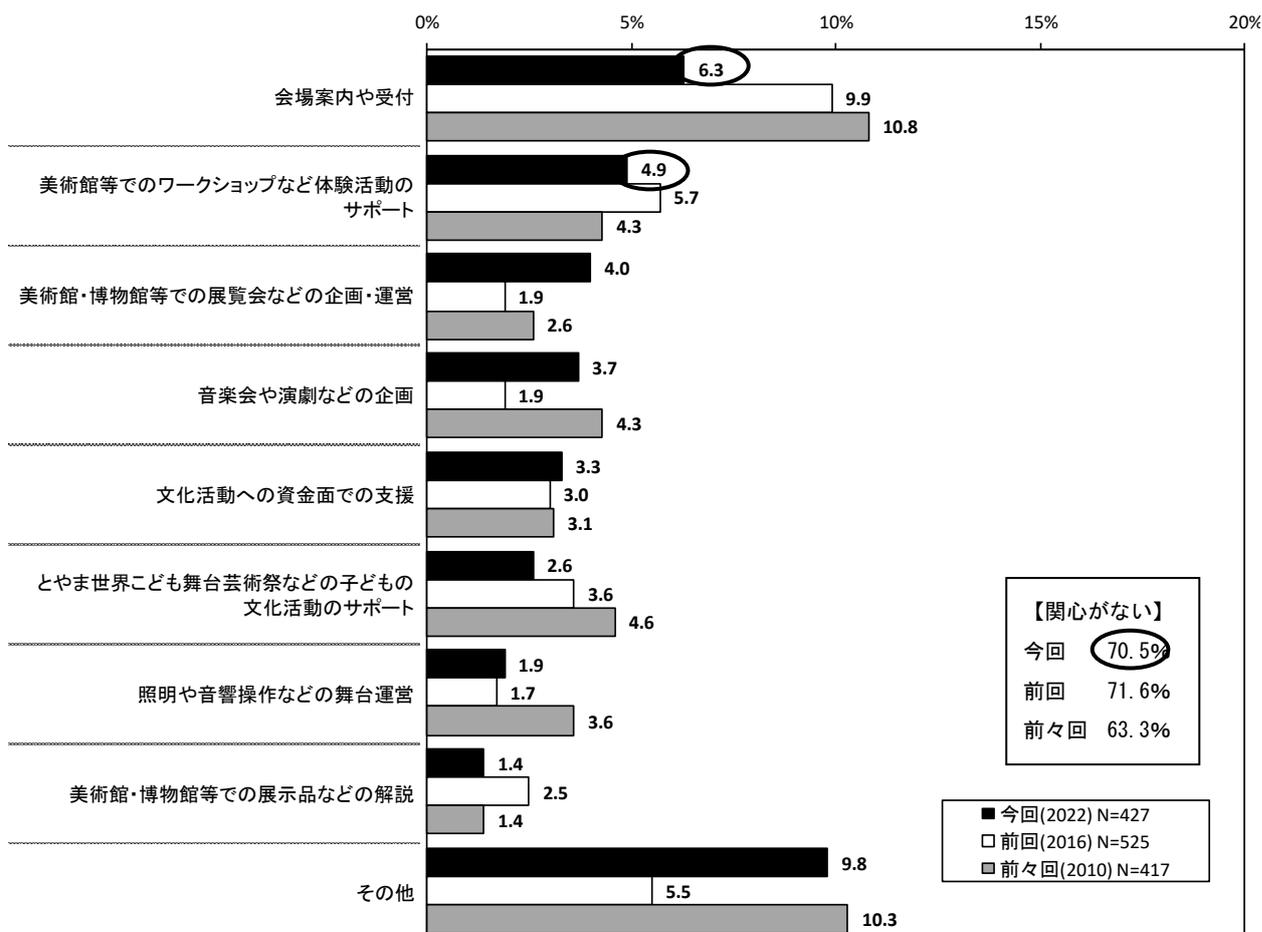


- ・男女別に見ると、「ない」との回答は、男女間で大きな差は無い。
- ・年齢別に見ると、「ない」との回答は、「30～39歳」では100%となっている。「60～69歳」では89.0%、「70歳以上」では86.1%と年齢が上がるにつれて低くなっている。

		回答者 (人)	美術館・博物館等での 企画・運営	美術館・博物館等での 展示品などの 解説	音楽会や演劇などの 企画	照明や音響操作などの 舞台運営	会場案内や受付	とやま世界子ども舞台 祭などの文化活動のサポ ート	美術館等でのワークシ ョップなど	文化活動への資金面での 支援	その他	ない
全体		440	1.1	0.2	0.9	0.2	1.6	0.0	0.9	1.6	2.5	91.6
性別	男性	153	2.0	0.0	1.3	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	2.0	93.5
	女性	197	0.5	0.0	0.5	0.0	1.5	0.0	2.0	1.5	2.0	92.9
年齢	18～29歳	24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	95.8
	30～39歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	40～49歳	66	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	97.0
	50～59歳	67	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	95.5
	60～69歳	82	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	1.2	6.1	89.0
	70歳以上	158	2.5	0.6	1.3	0.0	3.2	0.0	0.6	3.2	3.8	86.1
職業	自営業・ 家族従事者	54	5.6	0.0	3.7	0.0	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	85.2
	会社員、 公務員等	224	0.0	0.0	0.4	0.4	0.9	0.0	0.0	0.9	2.7	95.1
	無職	148	1.4	0.7	0.7	0.0	2.7	0.0	1.4	3.4	3.4	87.8
居住地	富山地域	147	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	1.4	1.4	2.0	93.9
	高岡地域	128	0.8	0.0	2.3	0.8	2.3	0.0	0.0	2.3	3.9	88.3
	新川地域	95	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	3.2	93.7
	砺波地域	67	4.5	1.5	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	1.5	0.0	89.6

②今後したいと思う芸術文化活動に関するボランティア

- ・今後したいと思っている芸術文化活動に関するボランティアについて尋ねたところ、「関心がない」との回答が最も多く70.5%であった。前回調査から1.1ポイント減少している。
- ・関心があるボランティア内容としては、「会場案内や受付」が6.3%、「美術館等でのワークショップなど体験活動のサポート」が4.9%と続く。
- ・その他としては、「小学校への花の生け込み」、「獅子舞の世話」などが挙げられた。



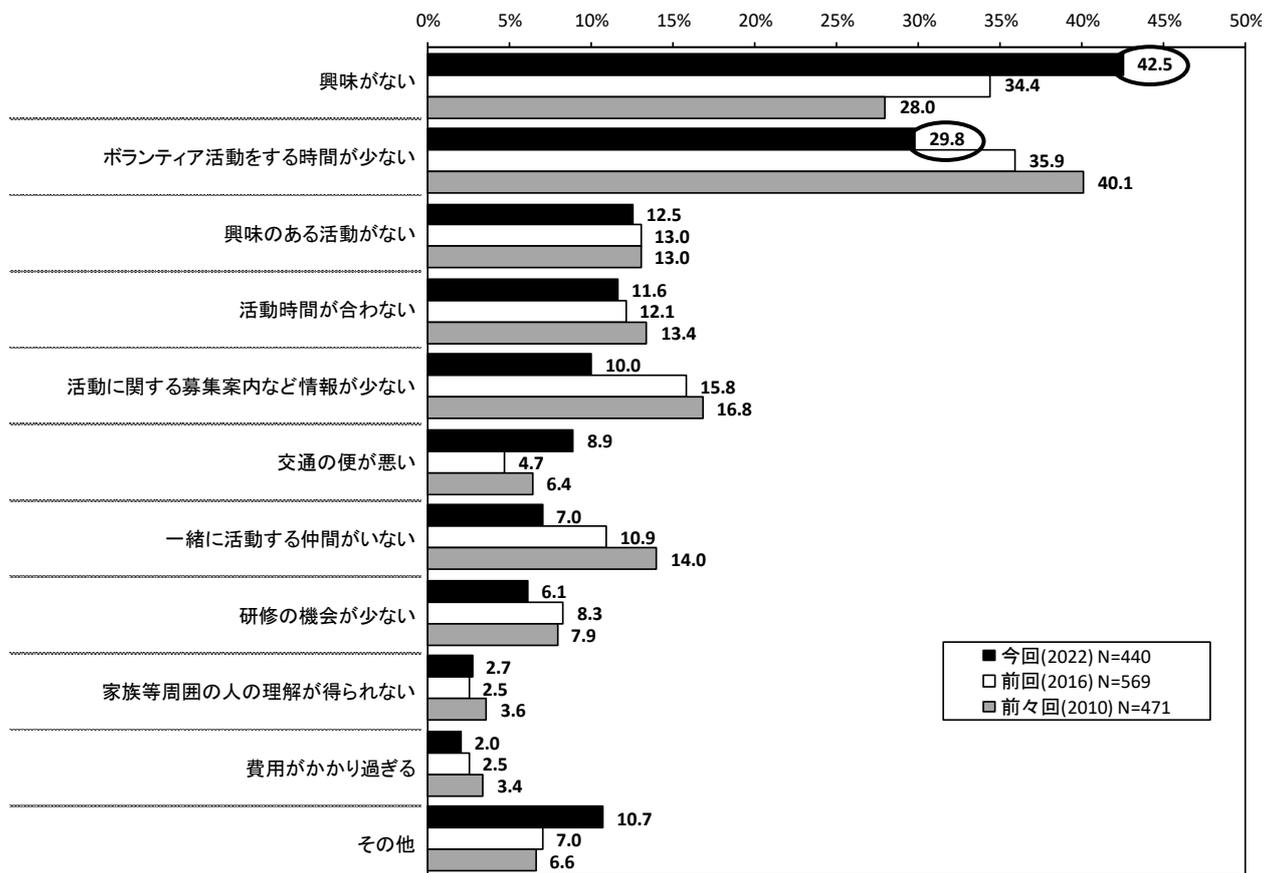
- ・男女別に見ると、「男性」は、「美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営」、「音楽会や演劇などの企画」が4.7%と他の選択肢に比べてやや高くなっている。「女性」は「会場案内や受付」が9.9%、「美術館等でのワークショップなど体験活動のサポート」が6.8%と高い。「関心がない」との回答は「男性」の方が「女性」よりも9.7ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「18～29歳」で「美術館等でのワークショップなど体験活動のサポート」が8.3%と高い。「50～59歳」で「会場案内や受付」、「美術館等でのワークショップなど体験活動のサポート」が10.3%と高くなっている。「関心がない」との回答は、「18～29歳」が83.3%で最も高く、「50～59歳」で61.8%で最も低い。

	回答者（人）	美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営	美術館・博物館等での展示品などの解説	音楽会や演劇などの企画	照明や音響操作などの舞台運営	会場案内や受付	子ども世界なども舞台芸術祭などの文化活動のサポート	美術館等でのワークショップなど体験活動のサポート	文化活動への資金面での支援	その他	関心がない	
全体	427	4.0	1.4	3.7	1.9	6.3	2.6	4.9	3.3	9.8	70.5	
性別	男性	149	4.7	2.0	4.7	2.7	2.7	1.3	2.0	4.0	6.0	77.2
	女性	191	2.6	1.0	3.1	2.1	9.9	3.7	6.8	2.6	11.0	67.5
年齢	18～29歳	24	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	83.3
	30～39歳	41	2.4	0.0	2.4	4.9	7.3	7.3	7.3	2.4	4.9	75.6
	40～49歳	65	4.6	0.0	4.6	3.1	4.6	3.1	6.2	1.5	1.5	81.5
	50～59歳	68	4.4	1.5	5.9	1.5	10.3	1.5	10.3	2.9	8.8	61.8
	60～69歳	81	4.9	3.7	4.9	1.2	4.9	0.0	4.9	3.7	9.9	71.6
	70歳以上	146	3.4	1.4	2.1	0.7	6.2	2.7	0.7	4.8	17.1	65.1
職業	自営業・家族従事者	52	9.6	0.0	5.8	1.9	1.9	3.8	3.8	0.0	7.7	69.2
	会社員、公務員等	223	4.0	1.3	3.1	3.1	7.6	2.2	5.4	4.0	7.6	71.7
	無職	138	0.7	0.7	3.6	0.0	5.8	2.9	4.3	3.6	14.5	69.6
居住地	富山地域	139	2.9	2.9	6.5	0.7	6.5	5.0	8.6	3.6	11.5	66.2
	高岡地域	125	3.2	0.0	4.8	3.2	7.2	1.6	1.6	2.4	10.4	70.4
	新川地域	95	3.2	0.0	1.1	3.2	5.3	2.1	2.1	3.2	9.5	75.8
	砺波地域	65	7.7	1.5	0.0	0.0	6.2	0.0	7.7	4.6	6.2	72.3

(2) 芸術文化活動に関連するボランティア活動をするうえで支障となっていること

問 12 (2) あなたが芸術文化活動に関連するボランティア活動をする際に支障となっていることは何ですか。あるいは、しようと考えた際に支障となると思われることは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- ・文化ボランティア活動をする際に支障となっていることを尋ねたところ、「興味がない」が42.5%で最も高く、次いで「ボランティア活動をする時間が少ない」が29.8%となっている。
- ・「興味のある活動がない」、「活動時間が合わない」、「活動に関する募集案内など情報が少ない」が約10%で続く。
- ・「興味がない」は前回調査に比べて8.1ポイント増加し、「ボランティア活動をする時間が少ない」は6.1ポイント減少した。
- ・その他としては「高齢」を理由にする回答が多い。



- ・男女別に見ると、「興味のある活動がない」は「男性」が「女性」を9.8ポイント上回っている。「興味がない」も6.4ポイント上回る。
- ・年齢別に見ると、30歳から69歳で、「ボランティア活動をする時間が少ない」が3割を超える。「18～29歳」では「活動に関する募集案内など情報が少ない」、「興味のある活動がない」が2割を超える。「30～39歳」では「活動時間が合わない」が24.4%、「興味のある活動がない」が22.0%と高い。
- ・「興味がない」は「40～49歳」で59.1%、「18～29歳」で50.0%と高くなっている。
- ・職業別に見ると、「自営業・家族従事者」で「ボランティア活動をする時間が少ない」が54.9%と高い。
- ・居住地別に見ると、「砺波地域」、「新川地域」で「興味がない」との回答が高くなっている。

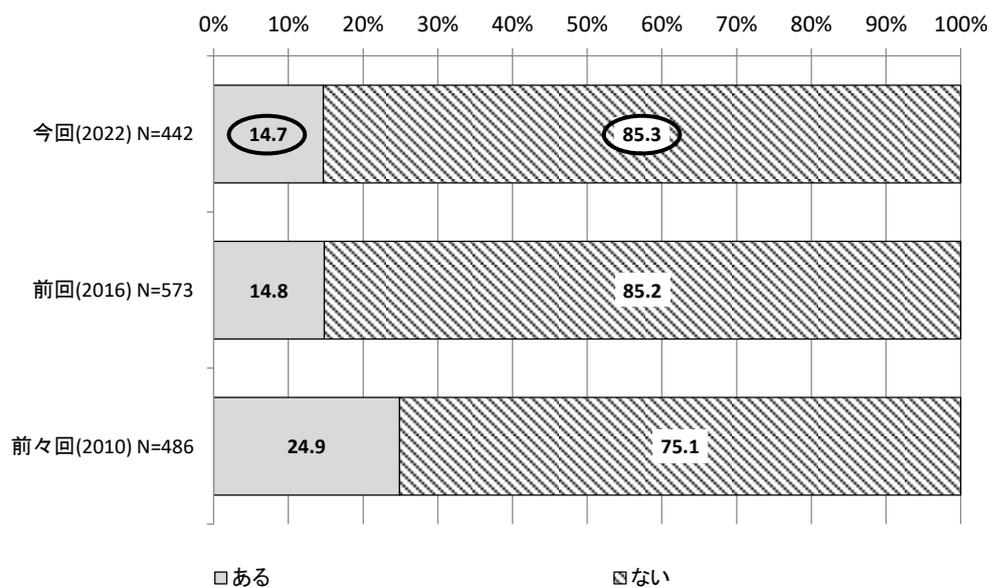
		回答者（人）	ボランティア活動をする時間が少ない	交通の便が悪い	一緒に活動する仲間がない	家族等周囲の人の理解が得られない	活動に関する募集案内など情報が少ない	活動時間が合わない	興味のある活動がない	費用がかかり過ぎる	研修の機会が少ない	興味がない	その他
	全体	440	29.8	8.9	7.0	2.7	10.0	11.6	12.5	2.0	6.1	42.5	10.7
性別	男性	152	28.9	8.6	6.6	1.3	9.2	11.8	↑ 19.1	2.0	7.2	↑ 46.1	7.9
	女性	194	30.9	8.8	7.7	3.1	11.3	12.9	9.3	2.1	6.2	39.7	14.4
年齢	18～29歳	24	25.0	4.2	4.2	0.0	20.8	12.5	20.8	0.0	4.2	50.0	8.3
	30～39歳	41	39.0	2.4	4.9	0.0	14.6	24.4	22.0	4.9	2.4	41.5	2.4
	40～49歳	66	36.4	7.6	7.6	1.5	6.1	10.6	16.7	3.0	4.5	59.1	1.5
	50～59歳	69	37.7	2.9	4.3	8.7	13.0	21.7	11.6	4.3	7.2	40.6	5.8
	60～69歳	83	33.7	6.0	4.8	2.4	10.8	7.2	13.3	1.2	6.0	37.3	12.0
	70歳以上	156	19.9	16.0	10.3	1.9	6.4	6.4	7.1	0.6	7.7	38.5	18.6
職業	自営業・家族従事者	51	54.9	2.0	5.9	0.0	3.9	11.8	13.7	3.9	3.9	43.1	3.9
	会社員、公務員等	229	35.4	5.7	5.7	3.9	10.5	15.7	15.7	2.6	6.1	44.1	6.1
	無職	145	11.7	15.9	8.3	1.4	11.7	6.2	6.9	0.7	6.9	40.7	20.0
居住地	富山地域	149	30.9	8.7	5.4	3.4	12.8	14.1	12.8	2.0	5.4	38.3	9.4
	高岡地域	130	33.8	11.5	9.2	1.5	12.3	9.2	13.1	1.5	6.9	38.5	12.3
	新川地域	96	24.0	7.3	6.3	4.2	4.2	10.4	13.5	3.1	6.3	47.9	12.5
	砺波地域	62	27.4	6.5	8.1	1.6	8.1	12.9	9.7	1.6	6.5	53.2	4.8

6. 地域の民俗芸能・祭礼行事

(1) 地域の民俗芸能・祭礼行事に最近参加したことがあるか

問 13 (1) 民謡や曳山など、あなたの住んでいる地域の民俗芸能、祭礼行事を最近ご自分で演じたり、参加したりしたことがありますか。

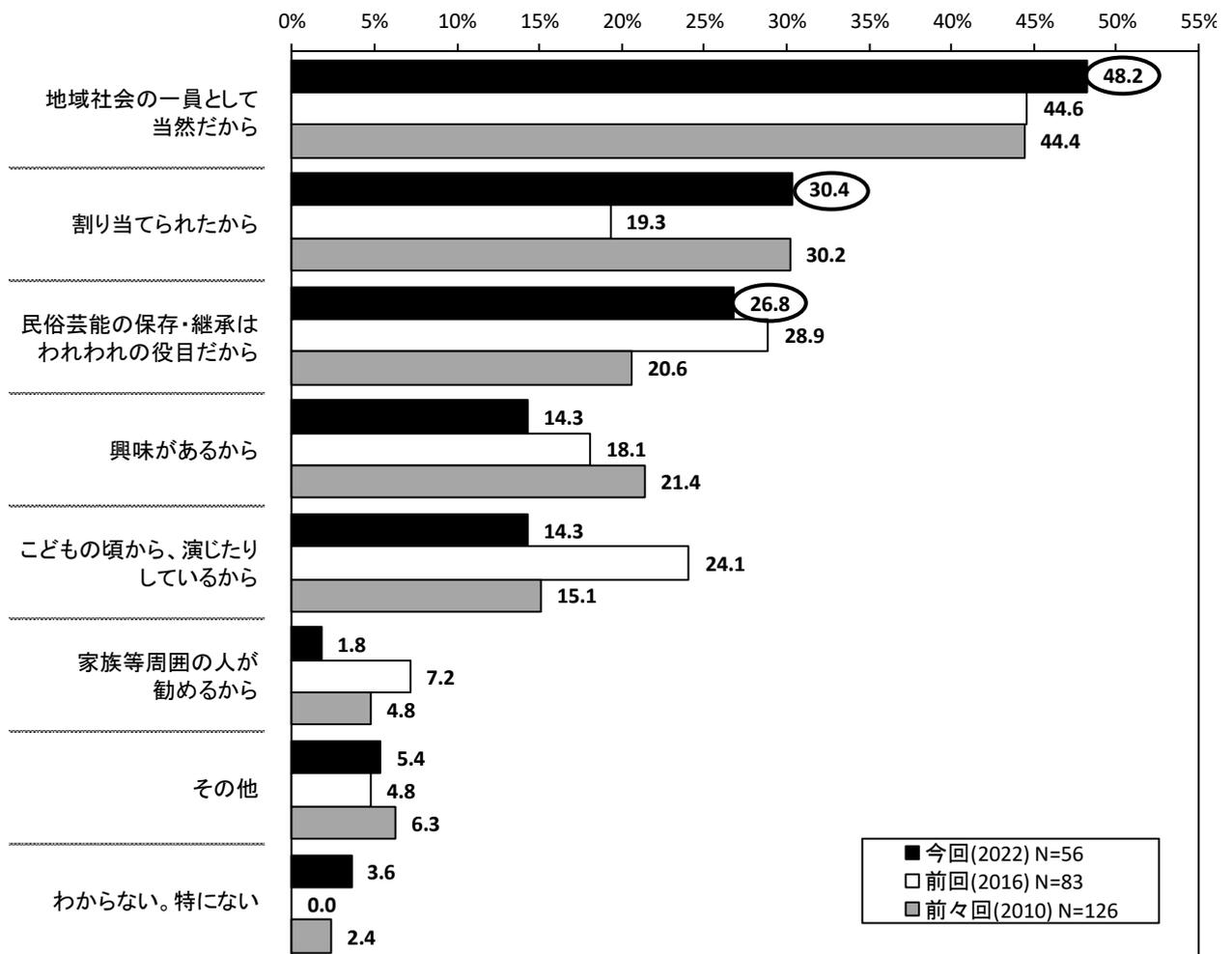
- ・地域の民俗芸能・祭礼行事に最近参加したことがあるか尋ねたところ、参加したことが「ある」との回答は14.7%、「ない」は85.3%であった。前回調査と変化はない。



(2) 地域の民俗芸能・祭礼行事に参加したきっかけはなにか

問 13 (2) 前問 (1) で「ある」とお答えになった方におたずねします。
 あなたが、ご自分で演じたり、参加したきっかけは何ですか。次の中から2つまで選ん
で○をつけてください。

- ・参加したことがあるとの回答者に対して、地域の民俗芸能・祭礼行事に参加したきっかけはなにか尋ねたところ、「地域社会の一員として当然だから」が 48.2%で最も高く、「割り当てられたから」が 30.4%、「民俗芸能の保存・継承はわれわれの役目だから」が 26.8%などとなった。



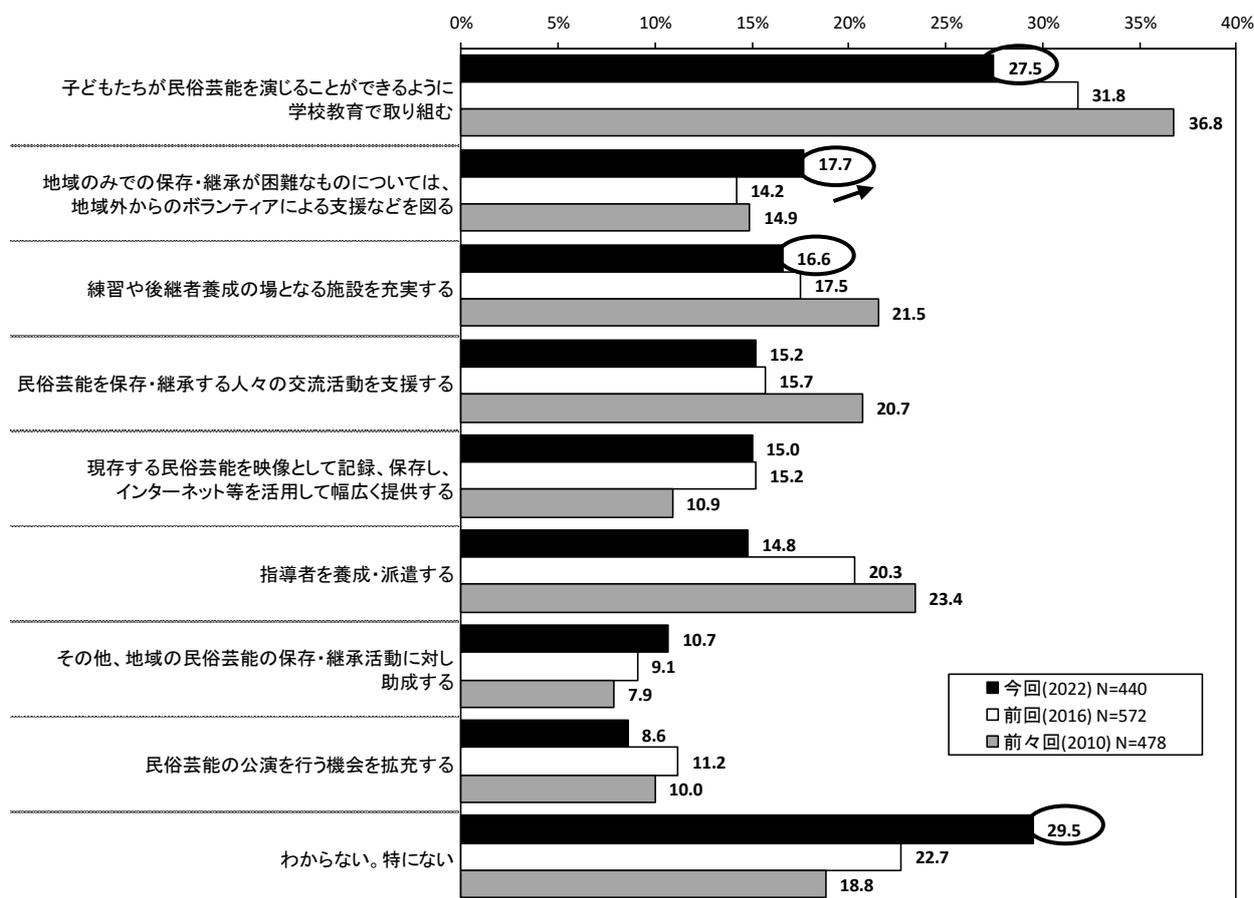
- ・年齢別に見ると「民俗芸能の保存・継承はわれわれの役目だから」が「60～69歳」で44.4%、「70歳以上」で56.3%などと高くなっている。また、「地域社会の一員として当然だから」は「70歳以上」で62.5%と高く、「割り当てられたから」は6.3%と低い。

	回答者（人）	民俗芸能の保存・継承はわれわれの役目だから	興味があるから	子どもの頃から、演じたりしているから	家族等周囲の人が勧めるから	割り当てられたから	地域社会の一員として当然だから	その他	わからない。特にない	
全体	56	26.8	14.3	14.3	1.8	30.4	48.2	5.4	3.6	
性別	男性	24	29.2	16.7	20.8	0.0	20.8	45.8	4.2	4.2
	女性	18	22.2	11.1	11.1	5.6	38.9	50.0	5.6	0.0
年齢	18～29歳	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3
	30～39歳	5	0.0	0.0	60.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	40～49歳	12	16.7	8.3	8.3	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	50～59歳	11	0.0	18.2	36.4	0.0	36.4	45.5	0.0	0.0
	60～69歳	9	44.4	0.0	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0
	70歳以上	16	56.3	25.0	0.0	0.0	6.3	62.5	0.0	6.3
職業	自営業・家族従事者	11	36.4	27.3	0.0	0.0	18.2	36.4	9.1	9.1
	会社員、公務員等	31	16.1	6.5	22.6	3.2	45.2	41.9	6.5	0.0
	無職	13	46.2	23.1	0.0	0.0	7.7	76.9	0.0	7.7
居住地域	富山地域	12	0.0	16.7	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	高岡地域	21	28.6	14.3	19.0	0.0	19.0	57.1	4.8	4.8
	新川地域	8	37.5	0.0	0.0	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0
	砺波地域	15	40.0	20.0	6.7	6.7	33.3	40.0	13.3	6.7

(3) 地域の民俗芸能、祭礼行事の保存・継承に向けて特に力を入れるべきこと

問 14 民謡や曳山など、地域の民俗芸能、祭礼行事の保存・継承に関して、今後、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。
次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- ・地域の民俗芸能、祭礼行事の保存・継承に向けて、行政が特に力を入れるべきことについて尋ねたところ、「わからない。特にない」との回答が29.5%で最も高い。
- ・具体的な取り組みの中では「子どもたちが民俗芸能を演じることができるように学校教育で取り組む」が27.5%で最も高い。
- ・次いで「地域のみでの保存・継承が困難なものについては、地域外からのボランティアによる支援などを図る」が17.7%と高く、前回調査より3.5ポイント上昇している。「練習や後継者養成の場となる施設を充実する」が16.6%などとなっている。



- ・年齢別に見ると、「子どもたちが民俗芸能を演じることができるように学校教育で取り組む」が「30～39歳」で32.5%、「40～49歳」で40.6%と高くなっている。「18～29歳」では「民俗芸能を保存・継承する人々の交流活動を支援する」が26.1%と高い。「現存する民俗芸能を映像として記録、保存し、インターネット等を活用して幅広く提供する」は「30～39歳」、「40～49歳」で2割を超えている。

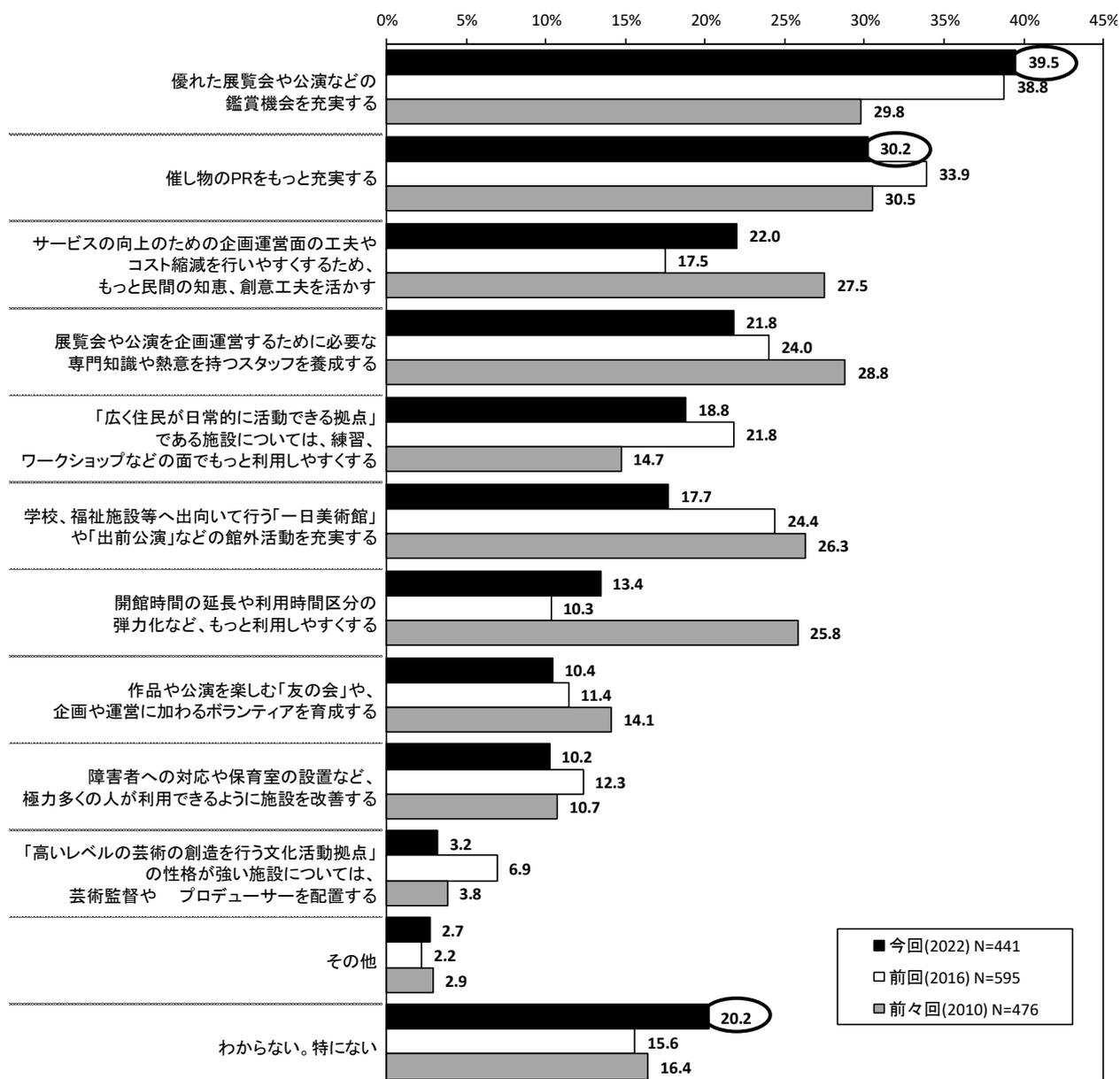
	回答者（人）	指導者を養成・派遣する	練習や後継者養成の場となる施設を充実する	子どもたちが民俗芸能を演じることができるように学校教育で取りこ	地域のついでには、地域外からのボランティアによる支援などを図るポ	地域のついでには、地域外からの困難な公演を行う機会を拡充	民俗芸能の公演を行う機会を拡充	民俗芸能を保存・継承する人々の交流活動を支援する	現存する民俗芸能を映像として記録、保存し、インターネット等を活用して幅広く提供する	その他、地域の民俗芸能の保存・継承活動に対し助成する	わからない。特にない
全体	440	14.8	16.6	27.5	17.7	8.6	15.2	15.0	10.7	29.5	
性別	男性	150	15.3	14.0	29.3	16.0	4.0	14.0	16.7	10.7	30.7
	女性	196	16.8	19.4	29.1	17.3	10.7	15.3	14.8	10.2	26.5
年齢	18～29歳	23	0.0	21.7	17.4	8.7	8.7	26.1	17.4	17.4	26.1
	30～39歳	40	12.5	5.0	32.5	15.0	10.0	7.5	25.0	5.0	37.5
	40～49歳	64	7.8	10.9	40.6	17.2	4.7	17.2	21.9	6.3	28.1
	50～59歳	65	21.5	20.0	23.1	23.1	4.6	13.8	18.5	15.4	21.5
	60～69歳	83	13.3	18.1	25.3	19.3	12.0	16.9	12.0	8.4	27.7
	70歳以上	163	18.4	19.0	25.2	17.2	9.8	14.1	9.8	12.3	32.5
職業	自営業・家族従事者	54	11.1	9.3	37.0	9.3	5.6	14.8	11.1	11.1	35.2
	会社員、公務員等	224	14.7	14.7	28.1	18.8	7.6	17.4	18.8	9.8	26.8
	無職	146	15.1	20.5	25.3	21.2	11.6	13.0	11.6	12.3	29.5
居住地	富山地域	145	15.2	16.6	29.7	14.5	8.3	14.5	17.9	9.7	31.0
	高岡地域	128	10.2	20.3	28.9	18.8	9.4	21.1	14.8	8.6	25.0
	新川地域	97	19.6	10.3	22.7	18.6	8.2	7.2	12.4	10.3	40.2
	砺波地域	67	16.4	19.4	28.4	22.4	7.5	17.9	10.4	17.9	19.4

7. 施策に対する要望

(1) 美術館や文化ホールが地域の文化活動の拠点となるために特に力を入れるべきこと

問 15 美術館や文化ホールなどの文化施設が、今後地域の文化活動の拠点となるためには、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- ・美術館や文化ホールが地域の文化活動の拠点となるために特に力を入れるべきことについて尋ねたところ、「優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する」が39.5%で最も高く、次いで「催し物のPRをもっと充実する」が30.2%と続く。「わからない。特にない」は20.2%であった。
- ・その他としては、「場所の予約やチケット予約をネットで行う」「混雑状況の可視化」「イベントや飲食との連携」などが挙げられた。



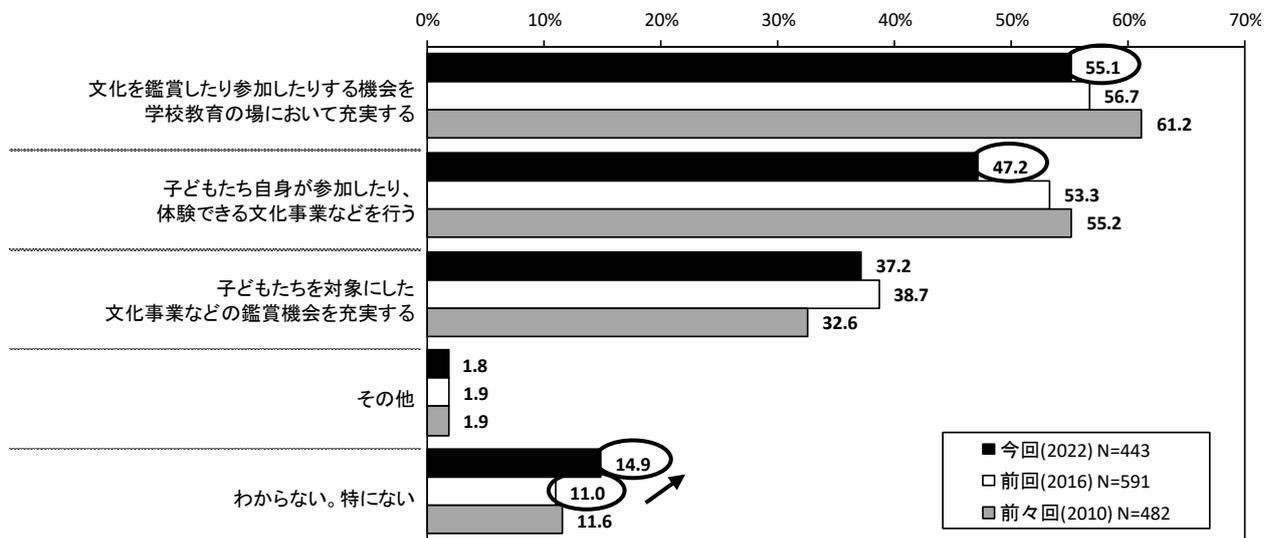
- ・男女別に見ると、「催し物のPRをもっと充実する」は「男性」に比べて「女性」が7.3ポイント高い。「展覧会や公演を企画運営するために必要な専門知識や熱意を持つスタッフを養成する」では「男性」が5.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別に見ると「優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する」は、「40～49歳」、「50～59歳」で4割を超えて高くなっている。「30～39歳」では「サービスの向上のための企画運営面の工夫やコスト縮減を行いやすくなるため、もっと民間の知恵、創意工夫を活かす」や「学校、福祉施設等へ出向いて行う「一日美術館」や「出前公演」などの館外活動を充実する」が30.8%と高い。

	回答者（人）	つ展覧会や公演を企画運営するために必要な専門知識や熱意を持つスタッフを養成する	作品や公演を楽しむ「友の会」や、企画や運営に加わるボランティアを育成する	サービスの向上のための企画運営面の工夫やコスト縮減を行いやすくなるため、もっと民間の知恵、創意工夫を活かす	開館時間の延長や利用時間区分の弾力化など、もっと利用しやすくなる	障害者への対応や保育室の設置など、極力多くの人が利用できるように施設を改善する	学校、福祉施設等へ出向いて行う「一日美術館」や「出前公演」などの館外活動を充実する	「広く住民が日常的に活動できる拠点」である施設について、練習、ワークショップなどの面でもっと利用しやすくなる	「高いレベルの芸術の創造を行う文化活動拠点」の性格が強い施設については、芸術監督やプロデューサーを配置する	優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する	催し物のPRをもっと充実する	その他	わからない。特にない	
全体	441	21.8	10.4	22.0	13.4	10.2	17.7	18.8	3.2	39.5	30.2	2.7	20.2	
性別	男性	150	↑24.7	11.3	24.7	14.0	7.3	16.0	18.0	4.0	36.7	↓26.7	2.7	19.3
	女性	194	↑19.1	9.8	25.8	11.9	11.9	18.6	20.6	1.0	41.8	↓34.0	2.1	18.6
年齢	18～29歳	23	8.7	0.0	17.4	17.4	4.3	8.7	21.7	8.7	39.1	43.5	8.7	17.4
	30～39歳	39	23.1	2.6	30.8	10.3	10.3	30.8	12.8	0.0	33.3	35.9	2.6	20.5
	40～49歳	66	22.7	4.5	19.7	13.6	9.1	18.2	24.2	4.5	47.0	31.8	0.0	19.7
	50～59歳	71	16.9	12.7	21.1	18.3	8.5	15.5	21.1	5.6	46.5	31.0	5.6	12.7
	60～69歳	84	17.9	11.9	21.4	19.0	4.8	15.5	16.7	2.4	34.5	26.2	2.4	22.6
	70歳以上	156	27.6	14.7	22.4	8.3	15.4	17.3	17.9	1.9	37.2	28.2	1.9	23.1
職業	自営業・家族従事者	52	25.0	11.5	9.6	13.5	9.6	13.5	13.5	11.5	38.5	23.1	0.0	30.8
	会社員、公務員等	231	20.8	8.7	24.2	16.5	7.8	16.5	18.6	3.0	45.9	30.3	3.0	16.5
	無職	144	21.5	12.5	22.9	9.7	13.2	22.9	21.5	0.7	32.6	30.6	3.5	21.5
居住地域	富山地域	148	18.9	12.8	21.6	12.8	10.8	18.9	16.2	0.7	44.6	31.1	2.0	17.6
	高岡地域	127	24.4	7.1	25.2	18.1	8.7	13.4	25.2	6.3	35.4	33.9	3.9	19.7
	新川地域	97	23.7	10.3	24.7	10.3	14.4	15.5	12.4	2.1	38.1	21.6	1.0	26.8
	砺波地域	66	19.7	12.1	13.6	10.6	6.1	24.2	22.7	4.5	39.4	33.3	4.5	18.2

(2) 子どもたちの文化活動機会を充実させるため特に力を入れるべきこと

問 16 あなたは、子どもたちが文化に親しむ機会を充実するため、県や市町村はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- ・子どもたちの文化活動機会を充実させるために行政が特に力を入れるべきことについて尋ねたところ、「文化を鑑賞したり参加したりする機会を学校教育の場において充実する」が 55.1%、「子どもたち自身が参加したり、体験できる文化事業などを行う」が 47.2%となった。
- ・前回調査と比較すると、それぞれの項目でやや減少し、「わからない。特にない」が前回調査の 11.0%から 14.9%と 3.9 ポイント上昇した。
- ・令和 2 年度全国調査における「あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。」という質問では、「学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる」が 38.8%、「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる」が 29.4%、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる」が 29.1%であり、「特にない・分からない」は 30.1%であった。



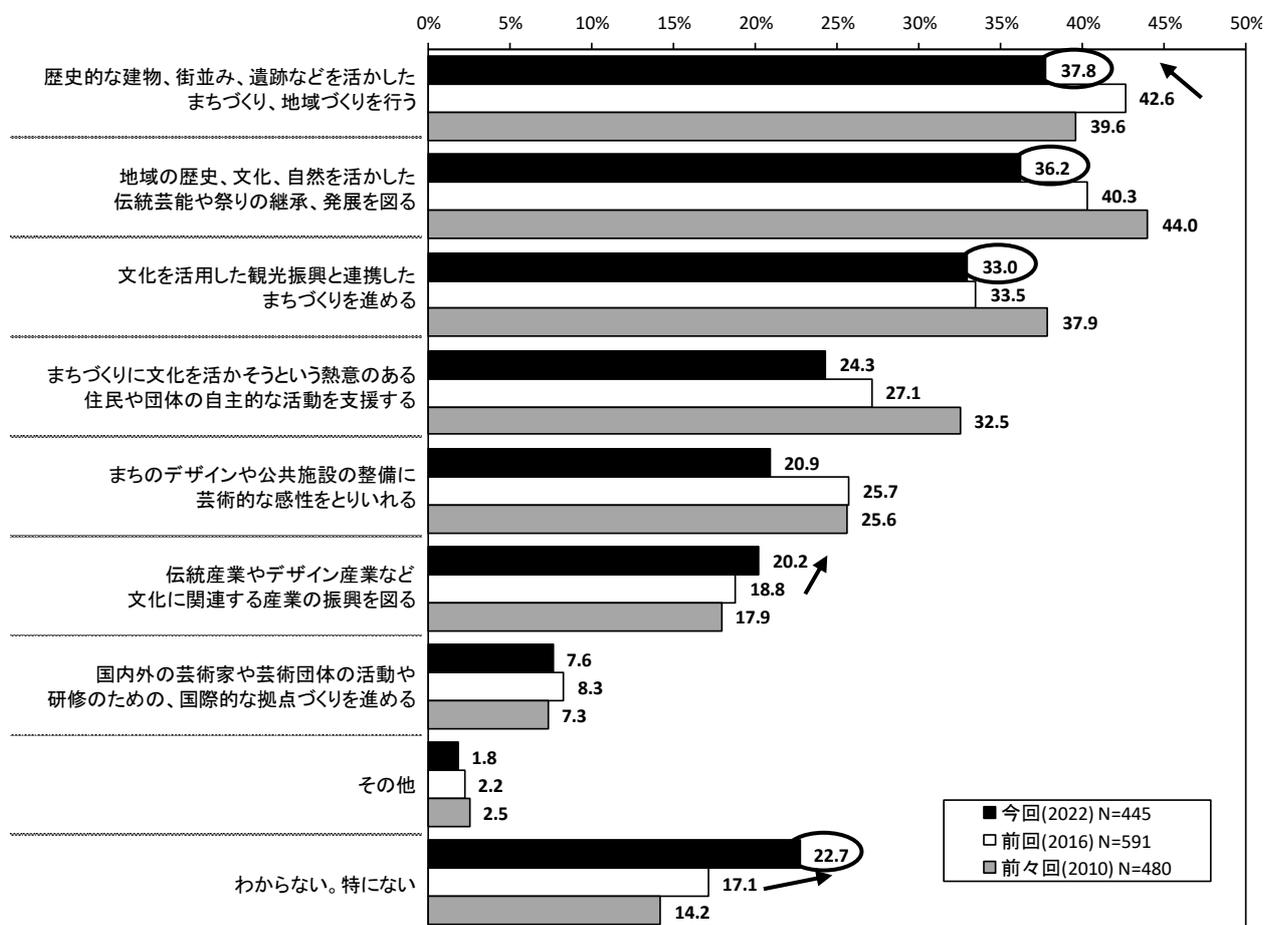
- ・年齢別に見ると「文化を鑑賞したり参加したりする機会を学校教育の場において充実する」は「18～29歳」で69.6%、「30～39歳」で66.7%と高くなっている。「子どもたちが参加したり、体験できる文化事業などを行う」は「30～39歳」で64.1%と高い。
- ・問9（2）2「子どもたちが自ら演じたり、作ったりすることは大切か」とクロス集計を行うと、子どもたちが自ら演じたり、作ったりすることが『大切だ』との回答者は「文化を鑑賞したり参加したりする機会を学校教育の場において充実する」が57.9%、「子どもたちが参加したり、体験できる文化事業などを行う」が51.6%などと高くなっている。
- ・一方、『大切ではない』との回答者は、「分からない。特にない」が46.2%と高い。

		回答者（人）	文化事業などを実施する	子どもたちを対象にした	子どもたち自身が行うことができる文化事業など	子どもたちが参加し	文化を鑑賞したり参加する	その他	わからない。特にない
全体		443	37.2	47.2	55.1	1.8	14.9		
性別	男性	151	29.8	51.7	52.3	2.0	16.6		
	女性	195	40.0	47.7	57.9	0.5	13.3		
年齢	18～29歳	23	26.1	30.4	69.6	0.0	13.0		
	30～39歳	39	25.6	64.1	66.7	0.0	7.7		
	40～49歳	66	37.9	51.5	51.5	3.0	15.2		
	50～59歳	71	35.2	54.9	49.3	0.0	12.7		
	60～69歳	84	39.3	42.9	52.4	6.0	15.5		
	70歳以上	158	41.8	43.0	55.1	0.6	17.7		
職業	自営業・家族従事者	51	33.3	39.2	47.1	3.9	23.5		
	会社員、公務員等	229	38.9	51.1	52.8	1.7	11.8		
	無職	149	36.9	44.3	63.8	1.3	14.8		
居住地	富山地域	149	34.9	50.3	57.7	2.7	13.4		
	高岡地域	128	34.4	56.3	56.3	0.0	11.7		
	新川地域	98	36.7	34.7	52.0	1.0	22.4		
	砺波地域	66	48.5	42.4	50.0	4.5	13.6		
問9(2)	大切だ	335	40.0	51.6	57.9	2.1	9.9		
	どちらともいえない	85	30.6	36.5	51.8	0.0	25.9		
	大切ではない	13	15.4	23.1	30.8	7.7	46.2		

(3) 地域文化を生かし文化と他分野との連携を進めるため特に力を入れるべきこと

問 17 文化の持つ創造性を活かした産業振興や地域活性化の取り組みが国内外で注目されつつあることから、文化と他分野との連携をさらに強化していく必要がありますが、こうした観点から個性的な地域文化を活かしていくには、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- ・地域文化を生かし文化と他分野との連携を進めるため行政が特に力を入れるべきことについて尋ねたところ、「歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う」が37.8%で最も高く、次いで「地域の歴史、文化、自然を活かした伝統芸能や祭りの継承、発展を図る」が36.2%、「文化を活用した観光振興と連携したまちづくりを進める」が33.0%となった。
- ・「伝統産業やデザイン産業など文化に関連する産業の振興を図る」以外の項目で前回調査を下回り、「歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う」では4.8ポイント下回った。「わからない。特にない」との回答は22.7%で前回よりも5.6ポイント高い。



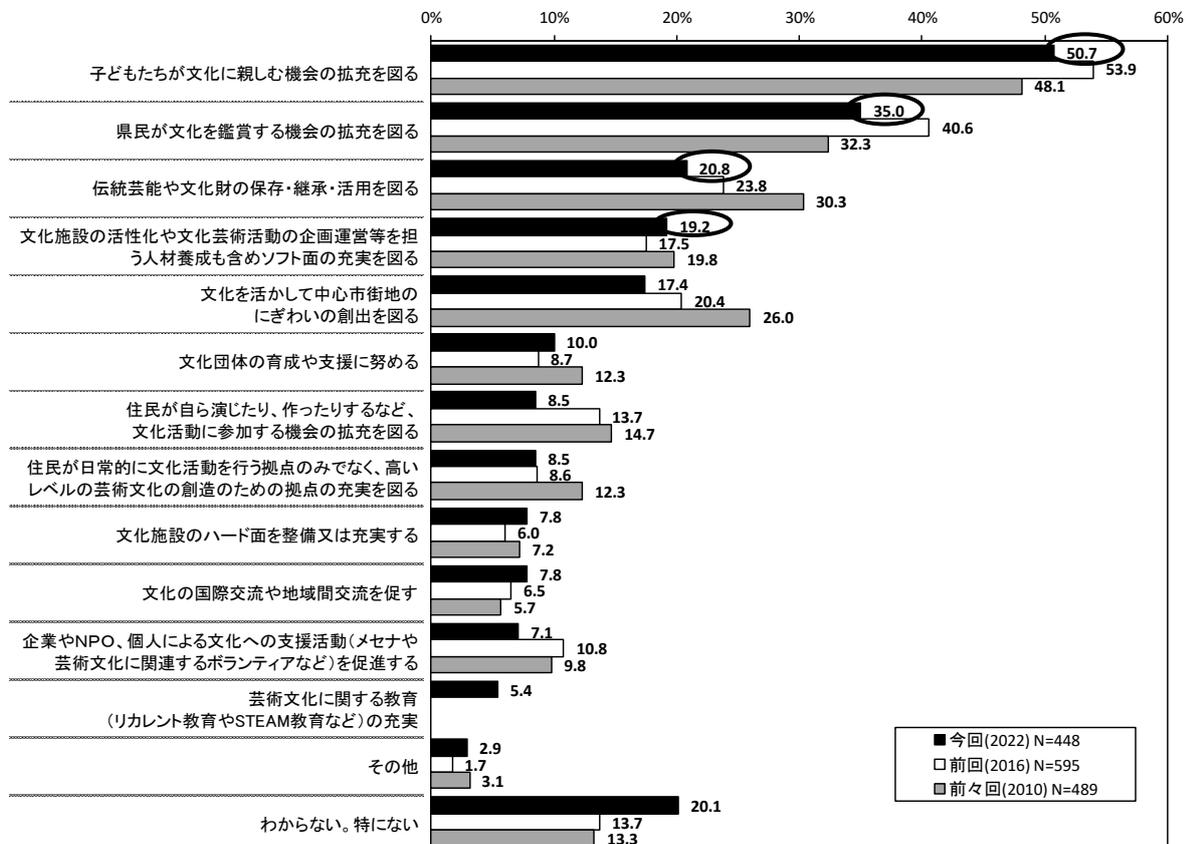
- ・男女別に見ると、「歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う」は「男性」が「女性」よりも5.4ポイント高い。一方で、「わからない。特にない」との回答は「女性」が24.0%と「男性」よりも4.8ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う」、「地域の歴史、文化、自然を活かした伝統芸能や祭りの継承、発展を図る」は年齢が高くなるほど高くなる傾向が見られる。一方、「まちのデザインや公共施設の整備に芸術的な感性をとり入れる」や「伝統産業やデザイン産業など文化に関連する産業の振興を図る」は年齢が低いほど高い傾向が見られる。

		回答者（人）	歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり	まちのデザインや公共施設の整備に芸術的な感性をとり入れる	地域の歴史、文化、自然を活かした伝統芸能や祭りの継承、発展を図る	まちづくりや文化を活性化するための住民や団体の自主的な活動の支援	国内外の芸術家や芸術団体の活動や研修のための国際的な拠点づくりを進める	伝統産業やデザイン産業など文化に関連する産業の振興を図る	文化を活用した観光振興と連携したまちづくりを進める	その他	わからない。特にない
全体		445	37.8	20.9	36.2	24.3	7.6	20.2	33.0	1.8	22.7
性別	男性	151	41.1	23.8	35.8	26.5	7.9	21.2	33.1	2.0	19.2
	女性	196	35.7	20.9	35.7	23.0	7.1	19.9	35.2	1.5	24.0
年齢	18～29歳	24	33.3	25.0	29.2	20.8	16.7	29.2	37.5	4.2	20.8
	30～39歳	39	35.9	28.2	23.1	28.2	7.7	35.9	30.8	2.6	23.1
	40～49歳	66	36.4	30.3	31.8	22.7	10.6	22.7	40.9	0.0	21.2
	50～59歳	71	33.8	23.9	28.2	22.5	4.2	15.5	38.0	1.4	25.4
	60～69歳	83	41.0	18.1	37.3	16.9	4.8	14.5	36.1	2.4	18.1
	70歳以上	160	40.0	15.0	45.0	29.4	8.1	19.4	25.6	1.9	25.0
職業	自営業・家族従事者	52	46.2	13.5	36.5	19.2	11.5	19.2	21.2	1.9	30.8
	会社員、公務員等	229	36.2	22.7	30.1	24.0	7.4	21.0	40.2	1.7	22.3
	無職	149	36.9	22.1	45.0	24.2	6.7	20.1	28.9	2.0	20.8
居住地	富山地域	151	40.4	25.8	37.7	19.9	11.3	15.9	37.7	0.7	18.5
	高岡地域	127	40.2	22.8	37.0	27.6	7.1	22.0	30.7	2.4	18.9
	新川地域	98	35.7	15.3	32.7	23.5	2.0	26.5	30.6	3.1	29.6
	砺波地域	66	30.3	15.2	33.3	28.8	9.1	18.2	31.8	1.5	30.3

(4) 文化振興のため、重点を置くべき施策

問 18 文化の振興を通じて「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山」を創造するために、県や市町村が重点を置くべき施策は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- ・文化振興のため、重点を置くべき施策について尋ねたところ、「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る」が50.7%で最も高く、次いで「県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る」が35.0%となった。「伝統芸能や文化財の保存・継承・活用を図る」、「文化施設の活性化や文化芸術活動の企画運営等を担う人材養成も含めソフト面の充実を図る」、「文化を活かして中心市街地のにぎわいの創出を図る」は2割前後である。
- ・前回調査と比較すると、「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る」は3.2ポイント、「県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る」は5.6ポイント減少し、「わからない。特にない」は6.4ポイント増加した。
- ・令和3年度全国調査における「あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を今より充実させるために、何が重要だと思えますか」という質問では、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」が19.0%、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」が16.1%などと高かった。



- ・男女別に見ると、「県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る」は、「女性」が41.4%と「男性」を13.6ポイント上回る。「文化施設の活性化や文化芸術活動の企画運営等を担う人材養成も含めソフト面の充実を図る」では、「男性」が「女性」を8.6ポイント上回る。
- ・年齢別に見ると、「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る」は「30～39歳」で66.7%と高くなっている。「文化を活かして中心市街地のにぎわいの創出を図る」は50歳以上で1割強となっている一方で、50歳未満では3割前後である。

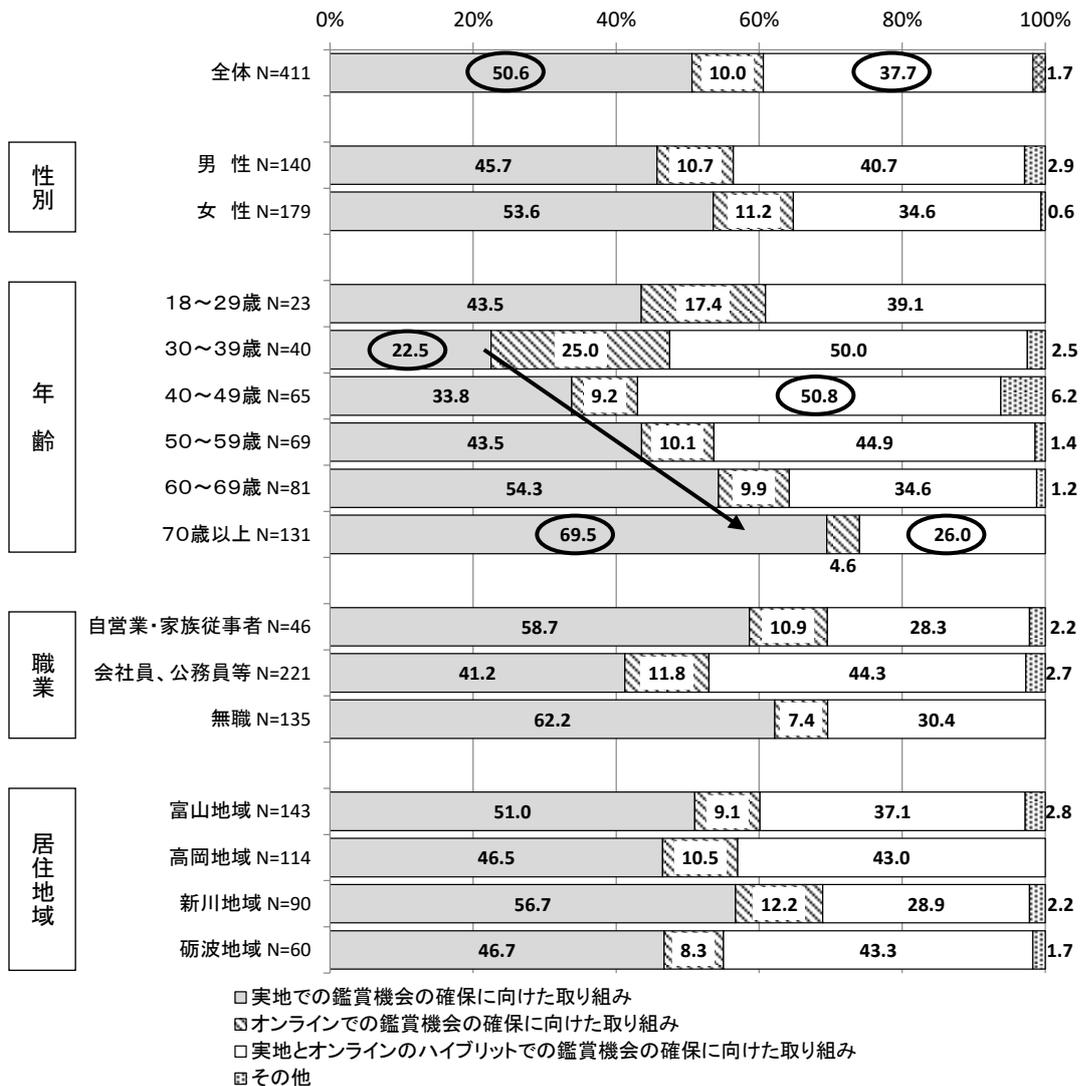
	回答者（人）	県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る	住民が自ら演じたり、作ったりするなど、文化活動に参加する機会の拡充を図る	住民が日常的に文化活動を行う拠点のみでなく、高いレベルの芸術文化の創造のための拠点の充実を図る	子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る	芸術文化に関する教育（リカレント教育やSTEAM教育など）の充実	文化施設のハード面を整備又は充実する	文化施設の活性化や文化芸術活動の企画運営等を担う人材養成も含めソフト面の充実を図る	文化団体の育成や支援に努める	伝統芸能や文化財の保存・継承・活用を図る	文化を活かして中心市街地のにぎわいの創出を図る	企業やNPO、個人による文化への支援活動（メセナや芸術文化に関連するボランティアなど）を促進する	文化の国際交流や地域間交流を促す	その他	わからない。特になし	
全体	448	35.0	8.5	8.5	50.7	5.4	7.8	19.2	10.0	20.8	17.4	7.1	7.8	2.9	20.1	
性別	男性	151	27.8	10.6	7.3	50.3	6.6	9.9	11.3	17.2	19.2	6.0	7.3	4.6	19.2	
	女性	198	41.4	7.6	8.1	51.0	4.5	6.1	7.1	20.7	16.7	8.1	8.1	1.5	22.2	
年齢	18～29歳	24	33.3	8.3	12.5	37.5	12.5	8.3	8.3	33.3	25.0	0.0	4.2	4.2	16.7	
	30～39歳	39	33.3	12.8	7.7	66.7	5.1	10.3	12.8	7.7	33.3	10.3	5.1	5.1	15.4	
	40～49歳	66	37.9	6.1	4.5	50.0	9.1	7.6	16.7	7.6	27.3	1.5	12.1	1.5	22.7	
	50～59歳	71	33.8	9.9	12.7	54.9	1.4	15.5	18.3	7.0	11.3	8.5	7.0	7.0	19.7	
	60～69歳	84	41.7	4.8	3.6	47.6	7.1	8.3	23.8	10.7	20.2	13.1	2.4	3.6	19.0	
	70歳以上	162	32.1	9.9	10.5	48.1	3.7	3.1	21.6	11.7	27.8	13.6	11.7	9.9	0.6	21.6
職業	自営業・家族従事者	52	26.9	9.6	9.6	32.7	13.5	11.5	17.3	5.8	23.1	11.5	5.8	15.4	7.7	28.8
	会社員、公務員等	229	37.6	6.6	7.4	55.0	4.4	9.6	19.7	10.5	17.9	18.8	7.4	7.0	3.5	18.8
	無職	152	34.9	8.6	9.9	51.3	3.9	3.9	19.7	11.2	25.7	17.1	7.9	6.6	0.7	19.1
居住地域	富山地域	151	39.7	7.3	9.3	51.0	7.9	6.0	17.2	4.6	15.9	19.2	4.0	7.9	4.0	21.2
	高岡地域	128	34.4	9.4	9.4	50.8	3.9	10.9	17.2	17.2	19.5	20.3	9.4	7.0	2.3	16.4
	新川地域	99	30.3	8.1	9.1	49.5	2.0	7.1	20.2	6.1	23.2	14.1	9.1	7.1	0.0	26.3
	砺波地域	67	32.8	10.4	4.5	50.7	6.0	6.0	26.9	14.9	31.3	13.4	7.5	10.4	6.0	16.4

8. コロナ対策について

(1) ウィズコロナにおける芸術文化活動継続支援、鑑賞機会確保支援として実施すべき施策

問 19 今後、ウィズコロナ下・アフターコロナ下における芸術文化関係団体の活動支援や、県民の皆様の鑑賞機会の確保について、県が実施すべき施策は何だと思えますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- ・ウィズコロナにおける芸術文化活動継続支援、鑑賞機会確保支援として実施すべき施策について尋ねたところ、「実地での鑑賞機会の確保に向けた取り組み」が 50.6%と5割を超えた。「実地とオンラインのハイブリットでの鑑賞機会の確保に向けた取り組み」は 37.7%となった。
- ・年齢別に見ると、「実地での鑑賞機会の確保に向けた取り組み」は「30～39歳」が 22.5%で最も低く、年齢が上がるにしたがって高くなり「70歳以上」では 69.5%と7割近い。
- ・「実地とオンラインのハイブリットでの鑑賞機会の確保に向けた取り組み」は30～59歳では「実地での鑑賞機会の確保に向けた取り組み」を上回り、「40～49歳」で最も高く 50.8%、「70歳以上」は最も低く 26.0%となっている。

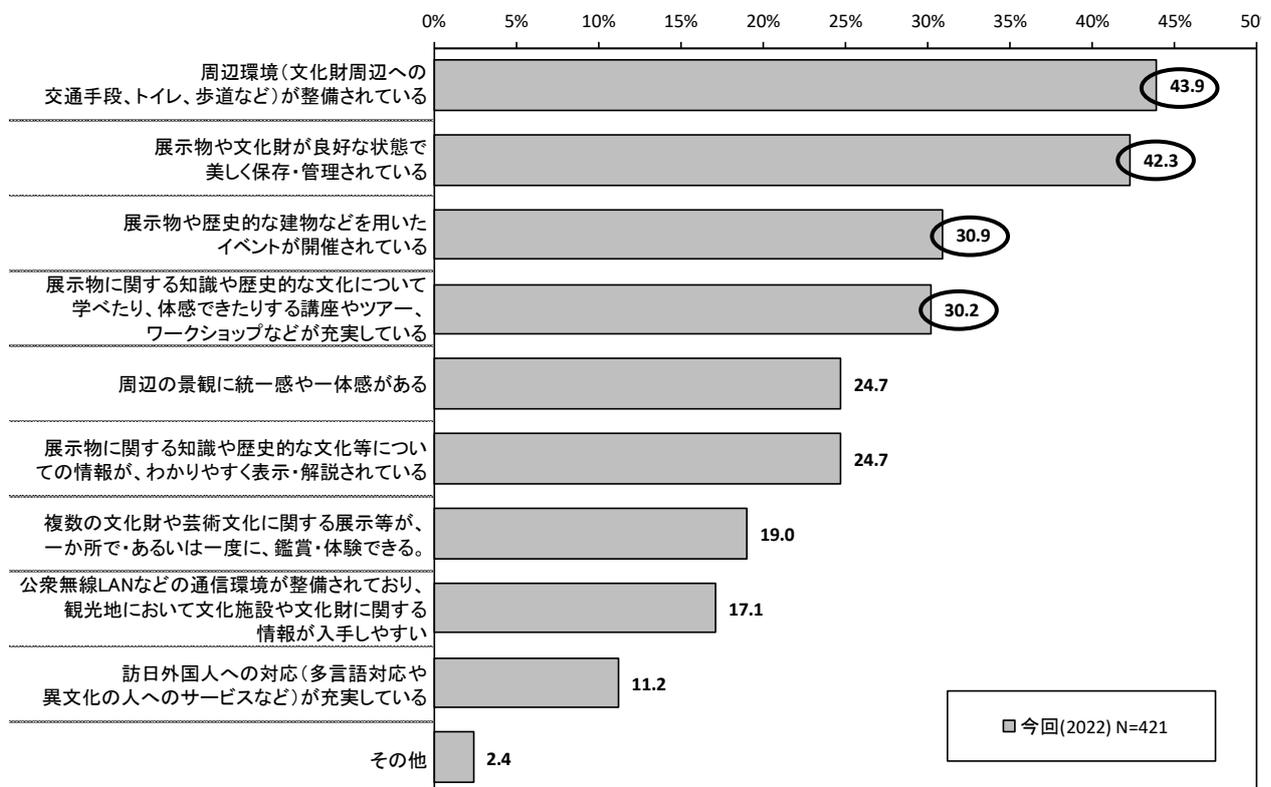


9. 文化観光について

(1) 文化施設や文化財を観光資源として活用するために重要だと思うこと

問 20 あなたは、富山県の美術館や博物館などの文化施設や、地域の祭りや伝統行事、歴史的な建造物などの文化財を『観光の資源』として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- ・文化施設や文化財を観光資源として活用するために重要だと思うことについて尋ねたところ、「周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道など）が整備されている」が43.9%で最も高く、「展示物や文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」が42.3%と続く。「展示物や歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」や「展示物に関する知識や歴史的な文化について学べたり、体感できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している」は3割台となっている。
- ・令和2年度全国調査では、「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」が最も高く52.7%、ついで「周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道など）が整備されている」が36.3%となっている。



- ・男女別に見ると、「公衆無線 LAN などの通信環境が整備されており、観光地において文化施設や文化財に関する情報が入手しやすい」は「男性」が「女性」よりも 8.3 ポイント高く、「展示物や歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」も「男性」が 6.9 ポイント高い。
- ・年齢別に見ると、「展示物に関する知識や歴史的な文化等についての情報が、わかりやすく表示・解説されている」は年齢が高くなるほど高くなる傾向が見られ、「公衆無線 LAN などの通信環境が整備されており、観光地において文化施設や文化財に関する情報が入手しやすい」は年齢が低くなるほど高くなる傾向が見られる。
- ・「展示物や歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」や「展示物に関する知識や歴史的な文化について学べたり、体感できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している」は 50 歳未満では 35%前後と、50 歳以上の値よりも高くなっている。

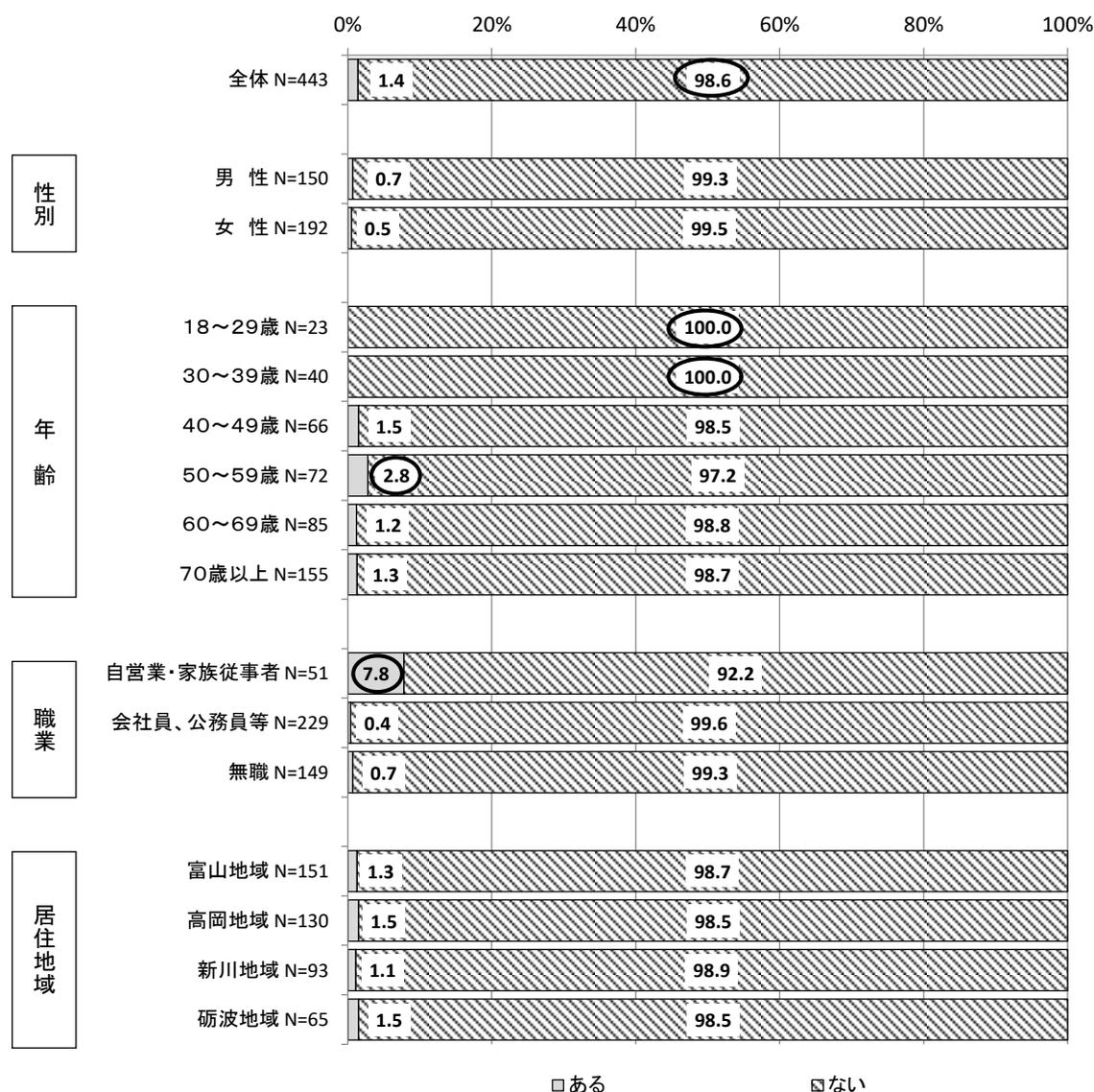
	回答者（人）	展示物や文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている	展示物や歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている	周辺の景観に統一感や一体感がある	複数が利用できる。所々で芸術文化は一度に鑑賞・体験できる。	展示物に関する知識や歴史的文化等について情報がわかりやすい表示・解説されている	展示物に関する知識や歴史的文化について学べたり、体感できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している	公衆無線 LAN などの通信環境が整備されている	訪日外国人への対応（多言語対応や異文化の外国人への対応など）が充実している	周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道など）が整備されている	その他	
全体	421	42.3	30.9	24.7	19.0	24.7	30.2	17.1	11.2	43.9	2.4	
性別	男性	143	38.5	37.8	23.1	19.6	22.4	26.6	23.8	13.3	37.8	2.1
	女性	181	41.4	30.9	21.5	19.9	27.6	33.1	15.5	11.0	44.2	2.8
年齢	18～29歳	23	39.1	34.8	30.4	17.4	4.3	34.8	34.8	8.7	39.1	0.0
	30～39歳	41	34.1	34.1	24.4	19.5	17.1	34.1	29.3	9.8	46.3	2.4
	40～49歳	64	29.7	35.9	20.3	21.9	18.8	34.4	20.3	17.2	40.6	4.7
	50～59歳	69	40.6	30.4	31.9	15.9	15.9	29.0	17.4	10.1	47.8	4.3
	60～69歳	83	43.4	28.9	19.3	21.7	22.9	28.9	15.7	10.8	50.6	1.2
	70歳以上	139	51.1	28.8	25.9	18.0	37.4	27.3	10.1	10.1	40.3	1.4
職業	自営業・家族従事者	47	66.0	27.7	38.3	21.3	14.9	25.5	14.9	8.5	29.8	2.1
	会社員、公務員等	222	35.1	35.1	20.3	16.7	20.7	32.9	19.4	13.1	46.4	3.6
	無職	142	46.5	24.6	26.8	22.5	33.1	26.8	14.1	9.9	45.1	0.7
居住地	富山地域	143	38.5	27.3	28.0	21.7	21.7	32.2	18.9	12.6	42.0	3.5
	高岡地域	121	43.8	36.4	22.3	14.0	26.4	30.6	14.9	8.3	46.3	0.8
	新川地域	91	47.3	26.4	23.1	16.5	31.9	17.6	19.8	13.2	44.0	3.3
	砺波地域	63	41.3	34.9	25.4	25.4	17.5	39.7	14.3	11.1	44.4	1.6

10. 文化に関する交流人口について

(1) 富山県外において開催される芸術文化活動や催しへの継続的な参加・協力の有無

問 21 (1) あなたは、富山県外において開催される芸術文化に関する活動や催しに、鑑賞者以外の立場で、継続的に参加・協力されている取り組みはありますか。

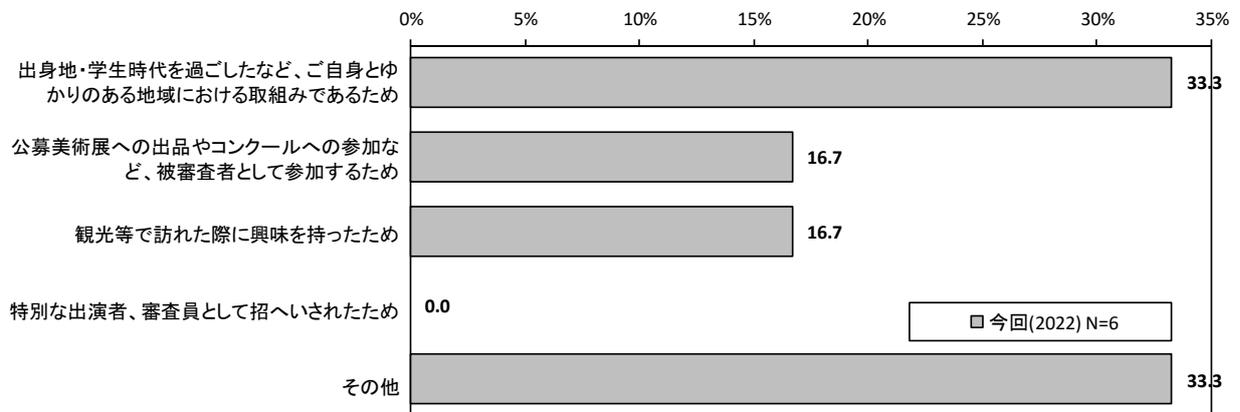
- ・富山県外において開催される芸術文化活動や催しへの継続的な参加・協力の有無について尋ねたところ、「ある」が1.4%、「ない」が98.6%であった。
- ・具体的な内容としては、「刀剣、甲冑の手入れや展示保管活動」、「コンサートへの出演」などの回答があった。
- ・年齢別に見ると40歳未満では、参加・協力があるとの回答は見られない。「50～59歳」で2.8%となっている。
- ・職業別に見ると「自営業・家族従事者」で7.8%と他の職業よりも高くなっている。



(2) 参加・協力している理由・きっかけ

問 21 (3) (1) で「1. ある」と回答した方にお聞きします。参加されることとなったきっかけや理由は何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

- ・問 21 (1) で「ある」と回答した回答者に「参加・協力している理由・きっかけ」を尋ねてところ、以下の通りとなった。
- ・その他としては、「元学芸員で保存科学等の専門分野」などの回答があった。



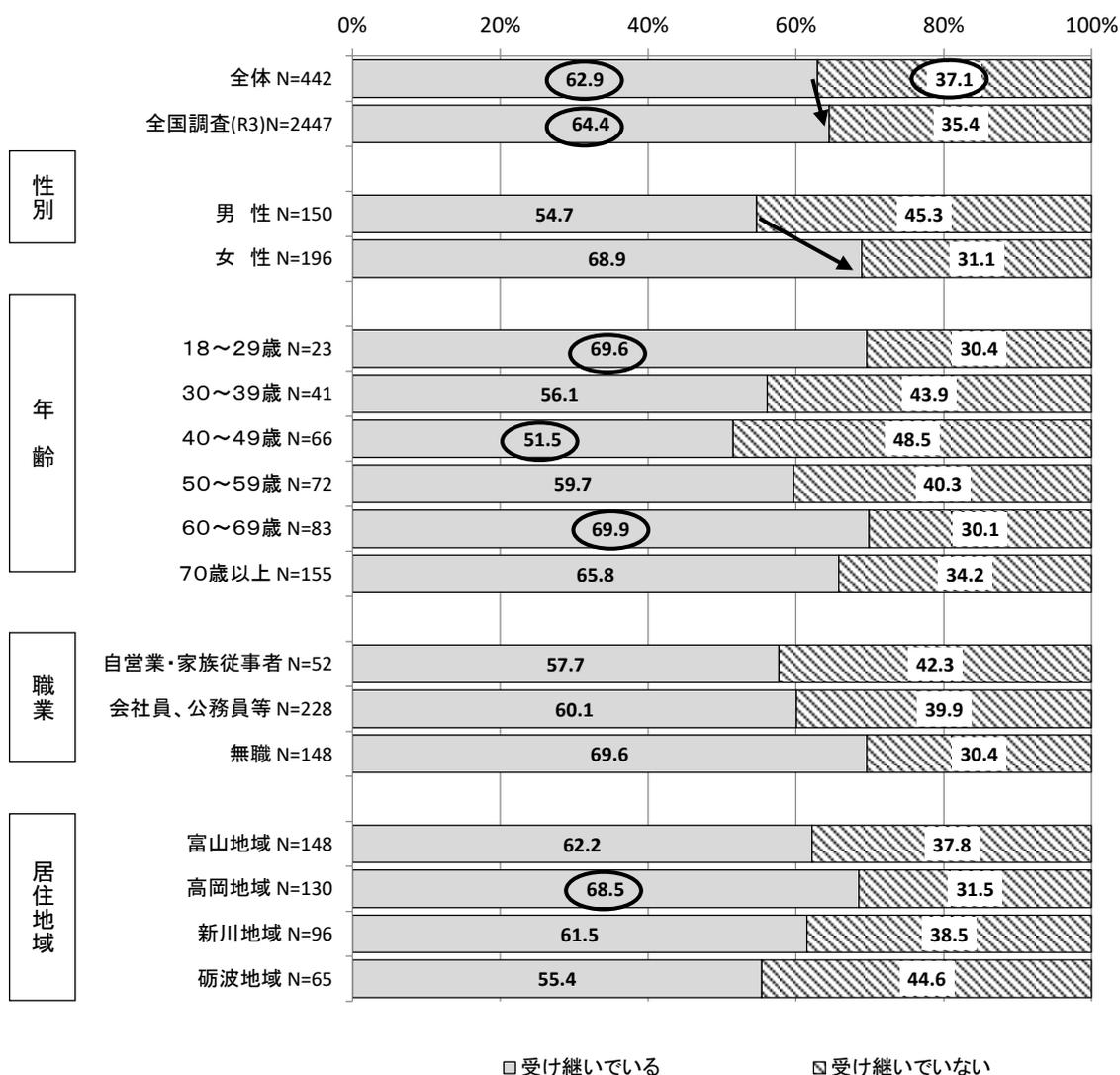
1.1. 食文化について

(1) 食文化に関する承継について

問 22 あなたは、郷土料理や伝統料理※1など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸使いなどの食べ方・作法※2などの「食文化」を受け継いでいますか。また、これら食文化を地域や次世代（子どもやお孫さんを含む）に対し伝えていますか。

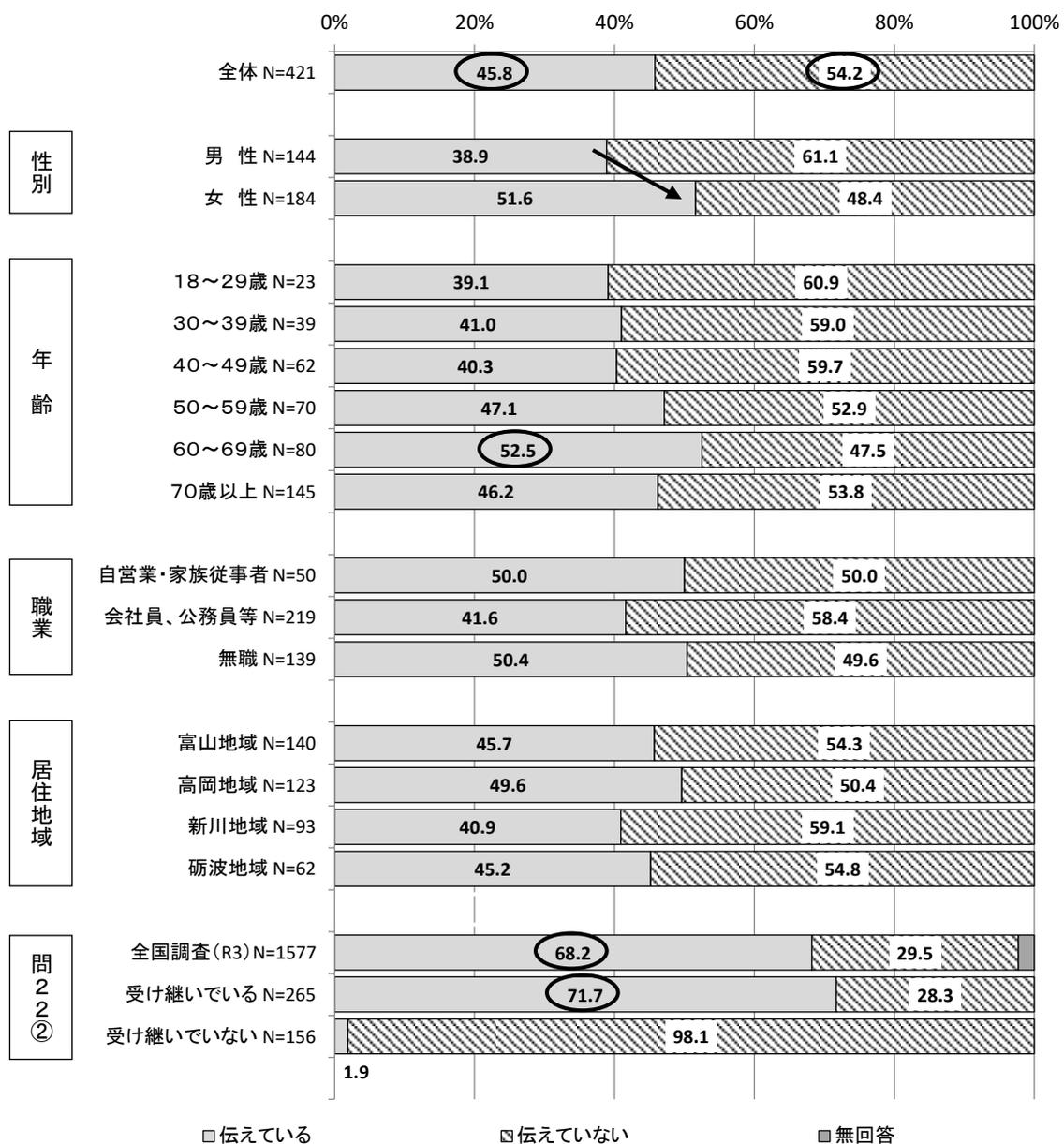
①承継しているか

- ・食文化に関する承継について、受け継いでいるか尋ねたところ、「受け継いでいる」との回答は62.9%、「受け継いでいない」は37.1%となった。
- ・令和3年度全国調査と比較すると、全国調査では「受け継いでいる」が64.4%、「受け継いでいない」は35.4%となっており、「受け継いでいる」は全国調査の方が1.5ポイント高い。
- ・男女別に見ると、「男性」は「女性」より「受け継いでいる」が14.2ポイント少ない。
- ・年齢別に見ると、「18～29歳」、「60～69歳」で「受け継いでいる」との回答が約7割と高くなっている。「40～49歳」では「受け継いでいる」との回答が51.5%で最も低い。
- ・地域別に見ると、「高岡地域」が「受け継いでいる」が68.5%で他の地域に比べて高い。



②伝えているか

- ・食文化に関する承継について、伝えているか尋ねたところ、「伝えている」との回答は45.8%、「伝えていない」は54.2%となり、「伝えている」は「受け継いでいる」の62.9%よりも17.1ポイント低くなっている。
- ・男女別に見ると、「男性」は「女性」に比べて「伝えている」が12.7ポイント少ない。
- ・年齢別に見ると、「60～69歳」で「伝えている」との回答が52.5%で最も高くなっている。
- ・地域別に見ると、「高岡地域」で「伝えている」が49.6%で他の地域に比べて高い。
- ・問22①で食文化に関する承継について、「受け継いでいる」との回答者は、71.7%が「伝えている」と回答している。令和3年度全国調査では「伝えている」との回答は68.2%である。



Ⅲ. 参考資料

1. 全国調査

(1) 文化に関する世論調査報告書（令和4年3月 文化庁）

- ① Q6 あなたは、この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞）をしたことはありますか。（複数回答）

項目	関連項目	%
オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	音楽	6.1
ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	音楽	8.9
美術	美術	10.9
美術のうち、特に現代美術	美術	2.2
現代演劇、児童演劇、人形劇	演劇・演芸	1.9
ミュージカル	演劇・演芸	2.7
バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	舞踊	1
ストリートダンス、ジャズダンス、民族舞踊、社交ダンスなど	舞踊	1.3
日本舞踊	伝統芸能	0.6
伝統芸能	伝統芸能	2
演芸	演劇・演芸	2.3
花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント	生活文化	2
食文化の展示、イベント	生活文化	2.1
映画	映画	17.6
アニメーション映画	メディア	9.6
歴史的な建物や遺跡	該当なし	11.6
歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	該当なし	6.6
地域の伝統的な芸能や祭り	伝統芸能	2.1
その他	その他	0.2
鑑賞したものはなし		60.3

（本報告書における参考設問：問1（P27））

- ② Q6SQ1 【Q6で『鑑賞したものはない』と回答した人】鑑賞しなかった理由は何ですか。
(複数回答)

項目	%
関心がない	22.8
近所で公演や展覧会などが行われていない	16.3
入場料・交通費など費用が掛かりすぎる	11.9
テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネットなどにより鑑賞できるので	7.9
一緒に行く仲間がいない	5.3
魅力ある公演や展覧会などが少ない	5.1
健康上の理由から	4.7
仕事・学業などで時間がなかなか取れない	3.4
夜間に公演や展覧会などが行われていない	2.8
育児・介護などで時間がなかなか取れない	2.6
公演や展覧会などの情報が入手できない	2.3
小さな子供を連れていける施設や行事が少ない	1.3
公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難	1.2
バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が少ない	0.6
新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、または外出を控えたから	37.6
その他	0.9
特になし・わからない	28.2

(本報告書における参考設問：問2(1)(P52))

- ③ Q6SQ2 コロナ前と比べて、あなたが、この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞した頻度は増加しましたか、減少しましたか。

項目	%
大幅に増加した	1.0
やや増加した	2.5
変わらない	44.7
やや減少した	18.2
大幅に減少した	33.5

(本報告書における参考設問：問2(2)(P54))

④ Q7 あなたは、この1年間に、テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等により鑑賞したものはありますか。

項目	関連項目	%
オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	音楽	14.9
ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	音楽	33.4
美術	美術	11.1
美術のうち、特に現代美術	美術	2.1
現代演劇、児童演劇、人形劇	演劇・演芸	1.7
ミュージカル	演劇・演芸	4
パレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	舞踊	2.2
ストリートダンス、ジャズダンス、民族舞踊、社交ダンスなど	舞踊	2.9
日本舞踊	伝統芸能	0.7
伝統芸能	伝統芸能	4.1
演芸	演劇・演芸	12
花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント	生活文化	1.2
食文化の展示、イベント	生活文化	2.2
映画	映画	38.8
アニメーション映画	メディア	22.4
歴史的な建物や遺跡	該当なし	15.2
歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	該当なし	6.2
地域の伝統的な芸能や祭り	伝統芸能	3.8
その他	その他	0.3
鑑賞したものはなし		36.7

(本報告書における参考設問：問5(1) (P65))

⑤ Q8 あなたは、この1年間にインターネットによる有料（月額又はチケット購入等）のオンライン配信で鑑賞したものはありますか。

項目	関連項目	%
オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	音楽	1.6
ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	音楽	6.9
美術	美術	1.4
美術のうち、特に現代美術	美術	0.5
現代演劇、児童演劇、人形劇	演劇・演芸	0.6
ミュージカル	演劇・演芸	1.1
パレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	舞踊	0.3
ストリートダンス、ジャズダンス、民族舞踊、社交ダンスなど	舞踊	0.4
日本舞踊	伝統芸能	0.1
伝統芸能	伝統芸能	0.4
演芸	演劇・演芸	0.8
花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント	生活文化	0.2
食文化の展示、イベント	生活文化	0.3
映画	映画	11.1
アニメーション映画	メディア	6.3
歴史的な建物や遺跡	該当なし	0.8
歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	該当なし	0.5
地域の伝統的な芸能や祭り	伝統芸能	0.2
その他	その他	0.3
鑑賞したものはなし		79.5

（本報告書における参考設問：問5（3）（P90））

- ⑥ Q9 あなたは、この1年間に、鑑賞ではなく、自分で文化芸術活動を実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）したり、ボランティアとして活動を支援したことはありますか。（複数回答）

項目	%
文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	2.4
マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	2.1
音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	2.1
音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	1.9
茶道、華道、書道などの習い事の受講	1.1
地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	1.0
高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動	0.8
郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	0.7
子どもの文化芸術体験のための支援活動	0.7
音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催のための支援活動	0.7
美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動	0.5
劇場・ホールなどにおける案内や制作補助などの支援活動	0.5
歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	0.5
その他	0.4
特にしていない	90.0

（本報告書における参考設問：問7（1）（P100）、問12（1）（P112））

- ⑦ Q9SQ2 あなたと同居している小学生～高校生のお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、学校以外で、この1年間に、この中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。（複数回答）

項目	%
マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	8.8
音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	7.1
音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	6.6
文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	6.5
茶道、華道、書道などの習い事の受講	3.8
郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	3.2
地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	2.5
その他	0.2
特に行ったことはない	75.2

（本報告書における参考設問：問7（2）（P105））

⑧ Q13 あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を今より充実させるために、何が重要だと思いますか。この中から3つまで選んでください。

項目	%
ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	19.0
公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	16.1
歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	12.2
地域の芸能や祭りなどの継承・保存	11.6
子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	10.7
文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実	10.0
郷土料理などの地域の食文化の継承・保存、体験機会の充実	8.0
著名な芸術家の招へい	7.1
芸術家や文化団体の活動の支援	6.5
文化施設の活性化や文化芸術活動の支援を担う専門的人材の育成	6.5
ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実	5.3
工芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興	4.7
日本文化の国際的な知名度やイメージの向上	4.3
文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用	3.3
その他	0.6
特になし・分からない	46.6

(本報告書における参考設問：問18 (P130))

(2) 文化に関する世論調査報告書（令和3年3月 文化庁）

① Q5 あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きたいと思いますか。（複数回答）

項目	%
入場料が安くなる	39.4
住んでいる地域やその近くに美術館・博物館ができる(増える)	32.8
美術館や博物館へ行くための交通の利便が良くなる	21.4
入場者数を制限して混雑を解消する	20.8
展覧会の開催に関する情報が分かりやすく提供される	20.7
検温や手指消毒、時間予約制等の感染症対策がきちんと行われている	20.7
全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会が開催される、作品が常に展示されている	16.5
美術館や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設が充実する	14.5
閉館時間が遅くなり、夜間でも鑑賞できるようにする	13.4
観光ガイドや観光マップに多く掲載され、旅行の際に立ち寄りやすくなっている	13.0
他の美術館・博物館や観光施設との共同パスがあり、安く周遊できる	10.0
小さな子どもを連れて行ける対応サービス、設備の充実	9.2
作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会が充実する	9.1
その地域ならではの文化財がいつも見られる観光名所の一つとなっている	8.6
高齢者、障害者向けの、行きやすい施設整備やバリアフリー、対応サービス等の導入	6.8
地域にゆかりのある芸術家の展覧会が開催される	5.8
その他	2.2
特にない・分からない	24.5

(本報告書における参考設問：問3(3) (P59))

② Q7 あなたは、どうすれば鑑賞以外の創作、出演、習い事といった活動や支援・ボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。（複数回答）

項目	%
魅力ある内容の活動が行われる	31.6
住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる	30.0
初心者向けの活動が提供される	23.9
活動に参加するための費用の負担が軽くなる	23.0
情報が入手しやすくなる	22.1
活動のための時間が取れるようになる	21.8
一緒に活動する仲間ができる	20.7
土日祝日や夜間などにも活動が行われる	12.5
参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供されるようになる	7.2
小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実	6.8
年齢や障害の有無にかかわらず、参加しやすい施設整備やバリアフリー、対応サービスの導入	5.8
その他	1.6
特になし・分からない	36.0

（本報告書における参考設問：問8（P110）、問12（2）（P116））

③ Q8 あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（複数回答）

項目	%
学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる	38.8
学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる	29.4
歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる	29.1
ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる	28.3
地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する	26.3
学校と地域の文化芸術施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を実現する	25.5
音楽祭や演劇祭など、地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する	25.0
郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会を充実させる	24.5
学校における華道・茶道・書道などの生活文化の体験機会を充実させる	23.7
その他	0.7
特になし・分からない	30.1

（本報告書における参考設問：問16（P126））

④ Q18 あなたは、日本の文化財を観光の資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。（複数回答）

項目	%
文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている	52.7
周辺環境(文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道など)が整備されている	36.3
文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある	31.0
歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている	29.4
歴史的な文化について学べたり、体感できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している	28.1
文化財の所在や内容に関する情報が充実していて分かりやすく表示・解説されている	27.8
さまざまな文化財や芸術文化、茶華道・書道・和食などの生活文化に関する展示・イベントが近隣で開催されることにより、一つの機会でも複数の鑑賞、体験を行うことができる	24.8
公衆無線LANなどの通信環境が整備されていることにより、観光地において文化財に関する情報が入手しやすい	22.3
訪日外国人への対応(多言語対応や異文化の人へのサービスなど)が充実している	20.5
その他	0.4
特にない・分からない	20.1

(本報告書における参考設問：問20 (P133))

(3) 食育に関する意識調査報告書（令和3年3月 農林水産省消費・安全局）

- ① 問13 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。この中から1つ選んで○をつけてください。

受け継いでいる	64.4
受け継いでいない	35.4
無回答	0.1

(本報告書における参考設問：問22 (P137))

- ② 問13-3 あなたが郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を、地域や次世代（子供やお孫さんを含む）に対し伝えていますか。この中から1つ選んで○をつけてください。

伝えている	68.2
伝えていない	29.5
無回答	2.3

(本報告書における参考設問：問22 (P138))

2. 調査票

文化に関する県民アンケート調査

最初に、この結果を統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。
それぞれ該当の番号に○をつけてください。

(1)性別	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
(2)年齢 (満年齢)	1. 18、19歳 2. 20～24歳 4. 30～34歳 6. 40～44歳 8. 50～54歳 10. 60～64歳 12. 70～79歳 13. 80歳以上	3. 25～29歳 5. 35～39歳 7. 45～49歳 9. 55～59歳 11. 65～69歳	
(3)ご職業	自営業・家族従事者	1. 農林水産業	2. 商工・サービス・自由業
	会社員、公務員等	3. 管理職 4. 事務・技術・営業職など ※「技術職」：研究・設計・開発・生産技術・建設 等 5. 労務・技能職 ※「技能職」：ラインでの作業など現場で実務に従事 等 6. パートタイム、アルバイト、派遣社員など	
	無職	7. 家事専業（主夫・主婦）	8. 学生 9. その他（ ）
(4)ご住所	1. 富山市 4. 氷見市 7. 砺波市 10. 射水市 13. 立山町	2. 高岡市 5. 滑川市 8. 小矢部市 11. 舟橋村 14. 入善町	3. 魚津市 6. 黒部市 9. 南砺市 12. 上市町 15. 朝日町
(5)家族 状況 (同居)	1. ひとり暮らし 2. 核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもが同居） 3. 三世帯家族（親、子、孫が同居） 4. その他（ ） ※同居しているお子さんの中で最も下のお子さんの年齢（ ）歳		

[文化の分野の大別]…今回のアンケートでは、便宜的に以下の通り大別いたします。

(1)美術	絵画、デザイン、イラスト、版画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真、現代美術など
(2)音楽	クラシック音楽、ポピュラー音楽、歌謡曲、オペラ、童謡、楽器演奏、合唱、民族音楽、作詞、作曲など
(3)演劇・演芸	現代演劇、人形劇、ミュージカル、落語、浪曲、漫才、講談など
(4)舞踊	バレエ、モダンダンス、ストリートダンス、民族舞踊（フラダンスなど）など
(5)生活文化	生け花、茶道、ファッション、人形、料理、盆栽、園芸、囲碁、将棋など
(6)文芸	小説、児童文学、詩、短歌、俳句、評論、川柳、現代文学、古典文学、随筆など
(7)映画	映画、ビデオなど（アニメーション除く）
(8)メディア芸術	漫画、アニメーションなど
(9)伝統芸能	歌舞伎、文楽、能楽、日本舞踊、民俗舞踊、邦楽、民謡、神楽、祭礼行事など

■文化活動の状況

問1 この1年間に、公演や展覧会などを直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD、DVD（ブルーレイ含む記録媒体）、インターネット配信を除く）した文化は、どの分野ですか。また何回出かけましたか。【表1】の左列にあげる分野について、①～⑥の中から分野ごとに1つ選んで○をつけてください。

問2（1）公演や展覧会など文化の鑑賞に出かけるうえで、新型コロナウイルス以外の理由で、支障となっていることは何ですか。また、出かけていない分野がある方はその理由は何ですか。下の【表2】の中からそれぞれ2つまで選んで○をつけてください

【表1】

何回出かけましたか 分野	① 出かけていない	② 年1～3回	③ 年4～6回程度	④ 月1～3回	⑤ 月4～6回程度	⑥ それ以上
(1) 美術	1	2	3	4	5	6
(2) 音楽	1	2	3	4	5	6
(3) 演劇・演芸	1	2	3	4	5	6
(4) 舞踊	1	2	3	4	5	6
(5) 生活文化	1	2	3	4	5	6
(6) 文芸	1	2	3	4	5	6
(7) 映画（アニメーション除く）	1	2	3	4	5	6
(8) メディア芸術（アニメーション含む）	1	2	3	4	5	6
(9) 伝統芸能	1	2	3	4	5	6
(10) その他（ ）	1	2	3	4	5	6



【表2】 新型コロナウイルス感染症以外の理由を回答してください。

出かけていない理由	出かけるうえで支障となっていること
1. 出かける時間が少ない	1. 出かける時間が少ない
2. 交通の便が悪い	2. 交通の便が悪い
3. 同好の仲間がいない	3. 同好の仲間がいない
4. 家族等周囲の人の理解が得られない	4. 家族等周囲の人の理解が得られない
5. 魅力のある公演や催しが少ない	5. 魅力のある公演や催しが少ない
6. 公演や催しに関する情報が十分でない	6. 公演や催しに関する情報が十分でない
7. 費用がかかり過ぎる	7. 費用がかかり過ぎる
8. 入場券が入手しにくい	8. 入場券が入手しにくい
9. 公演時間等が自分の生活時間と合わない	9. 公演時間等が自分の生活時間と合わない
10. 関心がない	10. 関心がない
11. その他（ ）	11. その他（ ）
12. 特になし	12. 特になし

問2 (2) コロナ前と比べて、あなたが、この1年間に公演や展覧会などを直接鑑賞する機会はどのように変化しましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 大幅に増加した
2. やや増加した
3. 変わらない
4. やや減少した
5. 大幅に減少した

問3 (1) あなたは、この1年間に県内の美術館、博物館等へ何回くらい出かけましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 出かけていない | 2. 年1～3回 | 3. 年4～6回程度 |
| 4. 月1～3回 | 5. 月4～6回程度 | 6. それ以上 |

問3 (2) あなたは、この1年間に県外の美術館、博物館等へ何回くらい出かけましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 出かけていない | 2. 年1～3回 | 3. 年4～6回程度 |
| 4. 月1～3回 | 5. 月4～6回程度 | 6. それ以上 |

問3 (3) あなたは、どうなれば美術館・博物館等にもっと行きたいと思いませんか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 美術館・博物館等行ききのバスなどの交通手段や駐車場の充実
2. 開館時間が早くなったり、閉館時間が遅くなるなど開館時間の延長
3. 全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会の開催
4. 地域にゆかりの芸術家の展覧会の開催
5. 展覧会開催情報等の手軽な入手
6. 作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会の充実
7. インターネットなどで収蔵品の画像等を観覧できるバーチャルミュージアムの充実
8. 高齢者、障害者向けの、行きやすい施設整備やバリアフリー、対応サービス等の導入
9. 小さな子どもを連れていける対応サービス、設備の充実
10. 入館料の値下げ
11. 美術や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設の充実
12. 観光ガイドや観光マップに多く掲載され、旅行の際に立ち寄りやすくなっている
13. 他の美術館、博物館、観光施設との共同パスがあり、安く周遊できる
14. 特にない
15. その他 ()
16. わからない

問4 公演や展覧会など、文化の鑑賞に出かけるにあたり、その情報をどこから入手していますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

- | | |
|---|-------------|
| 1. 友人、知人や家族など | 2. テレビ、ラジオ |
| 3. 新聞や雑誌など | 4. ポスターやチラシ |
| 5. プレイガイドなどのチケット売り場 | |
| 6. 公式ホームページ・公式SNSなど主催者からのインターネットによる情報発信 | |
| 7. 個人ブログやSNSなど、主催者以外のインターネットによる情報発信 | |
| 8. その他 () | |
| 9. 特にない | |

問5 (1) この1年間に、ご家庭において、テレビ、ラジオ、CD、DVD(ブルーレイ含む記録媒体)、インターネット配信(スマートフォン、携帯電話含む)、書籍などで、何回文化の鑑賞をしましたか。分野ごとにそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

分野	① 鑑賞していない	② 年1～3回	③ 年4～6回程度	④ 月1～3回	⑤ 月4～6回程度	⑥ それ以上
(1) 美術	1	2	3	4	5	6
(2) 音楽	1	2	3	4	5	6
(3) 演劇・演芸	1	2	3	4	5	6
(4) 舞踊	1	2	3	4	5	6
(5) 生活文化	1	2	3	4	5	6
(6) 文芸	1	2	3	4	5	6
(7) 映画(アニメーション除く)	1	2	3	4	5	6
(8) メディア芸術(アニメーション含む)	1	2	3	4	5	6
(9) 伝統芸能	1	2	3	4	5	6
(10) その他()	1	2	3	4	5	6

問5 (2) コロナ前と比べて、あなたが、この1年間にご家庭における鑑賞機会はどのように変化しましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 大幅に増加した
2. やや増加した
3. 変わらない
4. やや減少した
5. 大幅に減少した

問5 (3) この1年間に、インターネットによる有料(月額又はチケット購入等)のオンライン配信で鑑賞したものはありますか。また、今後インターネットによる有料のオンライン配信で鑑賞してみたいと思うものはありますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

これまで有料で鑑賞した分野	今後有料で鑑賞してみたい分野
1. 美術	1. 美術
2. 音楽	2. 音楽
3. 演劇・演芸	3. 演劇・演芸
4. 舞踊	4. 舞踊
5. 生活文化	5. 生活文化
6. 文芸	6. 文芸
7. 映画(アニメーション除く)	7. 映画(アニメーション除く)
8. メディア芸術(アニメーション含む)	8. メディア芸術(アニメーション含む)
9. 伝統芸能	9. 伝統芸能
10. その他()	10. その他()
11. 特にない	11. 特にない

問6 文化の鑑賞で、今後もっと鑑賞したい分野はどれですか。また、子どもたちに鑑賞させたい分野はどれですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

あなたが鑑賞したい分野	子どもたちに鑑賞させたい分野
1. 美術	1. 美術
2. 音楽	2. 音楽
3. 演劇・演芸	3. 演劇・演芸
4. 舞踊	4. 舞踊
5. 生活文化	5. 生活文化
6. 文芸	6. 文芸
7. 映画(アニメーション除く)	7. 映画(アニメーション除く)
8. メディア芸術(アニメーション含む)	8. メディア芸術(アニメーション含む)
9. 伝統芸能	9. 伝統芸能
10. その他()	10. その他()
11. 特にない	11. 特にない

問7 (1) この1年間に、鑑賞ではなく、ご自身で演じたり、作ったりした文化活動はありますか。また、今後ご自身で演じたり、作ったりしてみたいと思う文化活動はありますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

演じたり、作ったりした文化活動	今後、演じたり、作ったりしてみたい文化活動
1. 美術	1. 美術
2. 音楽	2. 音楽
3. 演劇・演芸	3. 演劇・演芸
4. 舞踊	4. 舞踊
5. 生活文化	5. 生活文化
6. 文芸	6. 文芸
7. 映画(アニメーション除く)	7. 映画(アニメーション除く)
8. メディア芸術(アニメーション含む)	8. メディア芸術(アニメーション含む)
9. 伝統芸能	9. 伝統芸能
10. その他()	10. その他()
11. 特にない	11. 特にない

■「真の幸せ」(ウェルビーイング)について

問9 (1) 日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、自分の「真の幸せ」(ウェルビーイング)の向上にとって大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

自分が文化を鑑賞すること	自分が自ら演じたり、作ったりすること
1. 非常に大切だ	1. 非常に大切だ
2. ある程度大切だ	2. ある程度大切だ
3. どちらともいえない	3. どちらともいえない
4. あまり大切ではない	4. あまり大切ではない
5. 全く大切ではない	5. 全く大切ではない

問9 (2) 子どもたちにとって、文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

子どもたちが文化を鑑賞すること	子どもたちが自ら演じたり、作ったりすること
1. 非常に大切だ	1. 非常に大切だ
2. ある程度大切だ	2. ある程度大切だ
3. どちらともいえない	3. どちらともいえない
4. あまり大切ではない	4. あまり大切ではない
5. 全く大切ではない	5. 全く大切ではない

問 11 (2) 前問 (1) でご回答いただいた「文化」、「文化活動」及び「文化財」をはじめ、富山県の文化の魅力や力が、県や市町村の取り組みに活かされていると感じますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。また、どういった場面でそのように感じるか教えてください。

1. よく感じる
2. ときどき感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

<感じる場面>

()

■文化ボランティア活動

問 12 (1) 現在、何か芸術文化活動に関連するボランティア活動等をしていますか。または、今後したいと思いますか。

次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

現在しているボランティア活動	今後したいと思うボランティア活動
1. 美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営	1. 美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営
2. 美術館・博物館等での展示品などの解説	2. 美術館・博物館等での展示品などの解説
3. 音楽会や演劇などの企画	3. 音楽会や演劇などの企画
4. 照明や音響操作などの舞台運営	4. 照明や音響操作などの舞台運営
5. 会場案内や受付	5. 会場案内や受付
6. とやま世界こども舞台芸術祭などの子どもの文化活動のサポート	6. とやま世界こども舞台芸術祭などの子どもの文化活動のサポート
7. 美術館等でのワークショップなど体験活動のサポート	7. 美術館等でのワークショップなどの体験活動のサポート
8. 文化活動への資金面での支援	8. 文化活動への資金面での支援
9. その他 ()	9. その他 ()
10. ない	10. 関心がない

問 12 (2) あなたが芸術文化活動に関連するボランティア活動をする際に支障となっていることは何ですか。あるいは、しようと考えた際に支障となと思われることは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

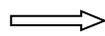
1. ボランティア活動をする時間が少ない
2. 交通の便が悪い
3. 一緒に活動する仲間がいない
4. 家族等周囲の人の理解が得られない
5. 活動に関する募集案内など情報が少ない
6. 活動時間が合わない
7. 興味のある活動がない
8. 費用がかかり過ぎる
9. 研修の機会が少ない
10. 興味がない
11. その他 ()

■地域の民族芸能・祭礼行事

問 13 (1) 民謡や曳山など、あなたの住んでいる地域の民俗芸能、祭礼行事を最近ご自分で演じたり、参加したりしたことがありますか。

1. ある

2. ない



問 1 4 へ



問 1 3 (2) へ

問 13 (2) 前問 (1) で「ある」とお答えになった方におたずねします。

あなたが、ご自分で演じたり、参加したきっかけは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 民俗芸能の保存・継承はわれわれの役目だから
2. 興味があるから
3. こどもの頃から、演じたりしているから
4. 家族等周囲の人が勧めるから
5. 割り当てられたから
6. 地域社会の一員として当然だから
7. その他 ()
8. わからない。特にない

問 14 民謡や曳山など、地域の民俗芸能、祭礼行事の保存・継承に関して、今後、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 指導者を養成・派遣する
2. 練習や後継者養成の場となる施設を充実する
3. 子どもたちが民俗芸能を演じることができるよう学校教育で取り組む
4. 地域のみでの保存・継承が困難なものについては、地域外からのボランティアによる支援などを図る
5. 民俗芸能の公演を行う機会を拡充する
6. 民俗芸能を保存・継承する人々の交流活動を支援する
7. 現存する民俗芸能を映像として記録、保存し、インターネット等を活用して幅広く提供する
8. その他、地域の民俗芸能の保存・継承活動に対し助成する
具体的に： ()
9. わからない。特にない

■施策に対する要望

問 15 美術館や文化ホールなどの文化施設が、今後地域の文化活動の拠点となるためには、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 展覧会や公演を企画運営するために必要な専門知識や熱意を持つスタッフを養成する
2. 作品や公演を楽しむ「友の会」や、企画や運営に加わるボランティアを育成する
3. サービスの向上のための企画運営面の工夫やコスト削減を行いやすくするため、もっと民間の知恵、創意工夫を活かす
4. 開館時間の延長や利用時間区分の弾力化など、もっと利用しやすくする
5. 障害者への対応や保育室の設置など、極力多くの人が利用できるように施設を改善する
6. 学校、福祉施設等へ出向いて行う「一日美術館」や「出前公演」などの館外活動を充実する
7. 「広く住民が日常的に活動できる拠点」である施設については、練習、ワークショップなどの面でもっと利用しやすくする
8. 「高いレベルの芸術の創造を行う文化活動拠点」の性格が強い施設については、芸術監督やプロデューサーを配置する
9. 優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する
10. 催し物のPRをもっと充実する
11. その他 ()
12. わからない。特にない

問 16 あなたは、子どもたちが文化に親しむ機会を充実するため、県や市町村はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 子どもたちを対象にした文化事業などの鑑賞機会を充実する
2. 子どもたち自身が参加したり、体験できる文化事業などを行う
3. 文化を鑑賞したり参加したりする機会を学校教育の場において充実する
4. その他 ()
5. わからない。特にない

問 17 文化の持つ創造性を活かした産業振興や地域活性化の取組みが国内外で注目されつつあることから、文化と他分野との連携をさらに強化していく必要がありますが、こうした観点から个性的な地域文化を活かしていくには、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う
2. まちのデザインや公共施設の整備に芸術的な感性をとり入れる
3. 地域の歴史、文化、自然を活かした伝統芸能や祭りの継承、発展を図る
4. まちづくりに文化を活かそうという熱意のある住民や団体の自主的な活動を支援する
5. 国内外の芸術家や芸術団体の活動や研修のための、国際的な拠点づくりを進める
6. 伝統産業やデザイン産業など文化に関連する産業の振興を図る
7. 文化を活用した観光振興と連携したまちづくりを進める
8. その他 ()
9. わからない。特にない

問 18 文化の振興を通じて「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山」を創造するために、県や市町村が重点を置くべき施策は何だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る
2. 住民が自ら演じたり、作ったりするなど、文化活動に参加する機会の拡充を図る
3. 住民が日常的に文化活動を行う拠点のみでなく、高いレベルの芸術文化の創造のための拠点の充実を図る
4. 子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る
5. 芸術文化に関する教育（リカレント教育やSTEAM教育など）の充実
6. 文化施設のハード面を整備又は充実する
7. 文化施設の活性化や文化芸術活動の企画運営等を担う人材養成も含めソフト面の充実を図る
8. 文化団体の育成や支援に努める
9. 伝統芸能や文化財の保存・継承・活用を図る
10. 文化を活かして中心市街地のにぎわいの創出を図る
11. 企業やNPO、個人による文化への支援活動（メセナ【※1】や芸術文化に関連するボランティアなど）を促進する
12. 文化の国際交流や地域間交流を促す
13. その他
（）
14. わからない。特にない

※1 企業が資金をはじめとして人的資源、物的資源を提供して文化、芸術活動を支援すること

問21 (3) (1)で「1. ある」と回答した方にお聞きします。参加されることとなったきっかけや理由は何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

1. 公募美術展への出品やコンクールへの参加など、被審査者として参加するため
2. 特別な出演者、審査員として招へいされたため
3. 出身地・学生時代を過ごしたなど、ご自身とゆかりのある地域における取組みであるため
4. 観光等で訪れた際に興味を持ったため
5. その他 ()

■食文化について

問22 あなたは、郷土料理や伝統料理※1など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸使いなどの食べ方・作法※2などの「食文化」を受け継いでいますか。また、これら食文化を地域や次世代（子供やお孫さんを含む）に対し伝えていますか。

ご自身が受け継いでいるか	地域や次世代に伝えているか
<ol style="list-style-type: none"> 1. 受け継いでいる 2. 受け継いでいない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 伝えている 2. 伝えていない

※1 郷土料理や伝統料理には、その地域に特有の料理や、年越しそばなど古くから受け継がれ伝えられている料理や、いわゆる「おふくろの味」などその家庭で受け継がれてきた家庭料理も含まれます。

※2 食べ方・作法は、「お椀を手に持つ」、「迷い箸をしない」、「音をたてない」など、日常の食事の際のマナーや、食事の際の挨拶である「いただきます」や「ごちそうさまでした」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現等も含まれます。

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、7月11日(月)までに投函をお願いします。